商品のお問い合わせに関して

— 商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法 —

・新製品などの商品選びのご相談
・各種ケーブルの接続などのご相談
・リモコン設定／時刻合わせ等の基本的な設定
・内蔵チューナーのチャンネル設定
・電子番組表（ADAMS）の設定
・録画／再生／削除等の基本操作
注）ネットワーク接続設定を除きます。

上記についてのお問い合わせは

『東芝 DVD インフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は）フリーダイヤル（通話料無料）**0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は）ナビダイヤル（通話料有料）**0570-00-3755**
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土　10:00～20:00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）
日曜日・祝日　10:00～16:00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）

— 本機に関する編集やネットワークなどの高度な取扱方法 —

・ネットワークに関してのご相談
・録画／編集などの高度な操作について
・その他の RD／AK シリーズの機能に関してのご相談

上記についてのお問い合わせは

『RD シリーズサポートダイヤル』

ナビダイヤル（通話料有料）**0570-00-0233**
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土　10:00～18:00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）
日曜日・祝日　10:00～16:00（年末年始、当社指定夏季休業日等を除く）
（12:30～13:30 は休止）

■ホームページ上によくあるお問い合わせ情報を掲載しておりますのでご利用ください。
また、番組データ提供に関する情報、メンテナンス情報やトラブル情報につきましても、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。
『http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/』

●「東芝 DVD インフォメーションセンター」「RD シリーズサポートダイヤル」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。
●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
●東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
〒105−8001　東京都港区芝浦1−1−1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。
79500051
ⒽPM0026923010

東芝 HDD&HD DVD レコーダー　取扱説明書

RD-A1

TOSHIBA

形名

RD-A1

東芝HDD&HD DVDレコーダー取扱説明書
▶ 操作編

VARDIA

はじめに
番組を楽しむ
録画の前に
番組表と録画予約
録画と再生
編集とダビング
ライブラリ
その他

●最初に「接続・設定編」およびその中に書かれている安全上のご注意をお読みください。

HD DVD　HD DVD R　HD DVD R DL

●このたびは東芝 HDD&HD DVD レコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●お求めの HDD&HD DVD レコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
●保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認の上、たいせつに保管してください。
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
●インターネットによるオンライン登録または、同梱されております FAX 用紙によるユーザー登録にご協力ください。
（インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス　http://room1048.jp/）

この取扱説明書について

●操作方法は特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。
本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使いかたも同じです。

本書は、このページを開いて使用すると便利です。

説明文の例

2　方向ボタンで移動させる録画タイトルを選択し [クイック] を押す

説明文では、リモコンのボタンをイラストで表しています。
（お知らせ文などで、『　』で囲んで表している場合もあります。
例：『クイックメニュー』を押す。）

画面上で選択されている状態を青色で表しています。（実際のテレビ画面では黄色です。）

1　[番組ナビ] を押す
2　【番組検索】を選び、[決定] を押す

テレビ画面上のボタンは【　】で囲んで表しています。

●この取扱説明書で使われているマーク

お知らせ
操作をするときの注意事項です。

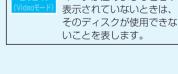
まめ知識
操作や機能についての参考情報です。

ワンポイント
操作をするときに役立つ情報です。

使用できるディスクを表すマーク

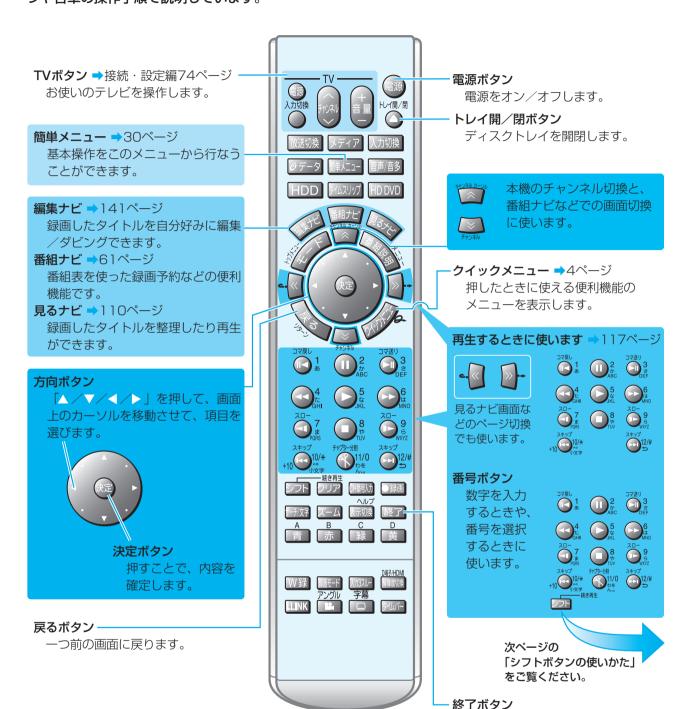
マーク	説明	マーク	説明
HDD	内蔵ハードディスク	DVD-R (Videoモード)	Videoモードで使用しているDVD-R
HD-R	HDVRモードで使用しているHD DVD-R	HD DVD ビデオ	HD DVDビデオディスク
DVD-RAM	DVD-RAM	DVDビデオ	DVDビデオディスク
DVD-RW	DVD-RW	CD	音楽用CD
DVD-R	DVD-R		
DVD-RW (VRモード)	VRモードで使用しているDVD-RW		
DVD-RW (Videoモード)	Videoモードで使用しているDVD-RW		
DVD-R (VRモード)	VRモードで使用しているDVD-R		

例

マークが左のようなときや表示されていないときは、そのディスクが使用できないことを表します。

●この取扱説明書に記載されている画面表示は、実際に表示される画面を簡略化していたり、文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面でご確認ください。
●特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。
それらの用語については➡応用編 77 ページ～の用語解説をご覧ください。

リモコン

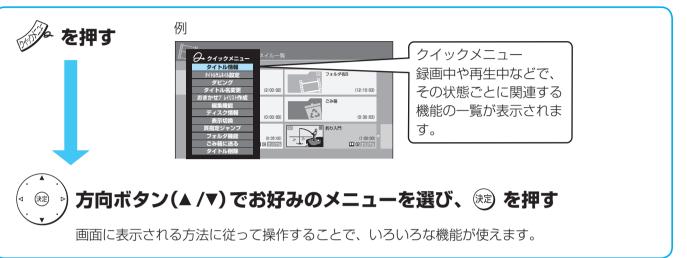
本書は、このページを開いた状態で、リモコン図を見ながらご覧いただくと便利です。

おもなリモコンのボタンについて説明しています。ここで説明されていないボタンについては➡23ページや各章の操作手順で説明しています。

※市販のHD DVDビデオディスク、またはDVDビデオディスクやCDの再生では、上記で説明している動作と異なることがあります。詳しくは➡132ページ「市販のHD DVDビデオディスク・DVDビデオディスクやCDの再生」をご覧ください。

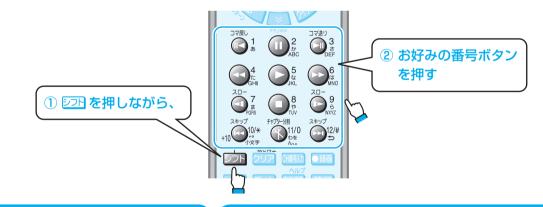
クイックメニューの使いかた

クイックメニュー を押す

方向ボタン(▲/▼)でお好みのメニューを選び、決定 を押す

画面に表示される方法に従って操作することで、いろいろな機能が使えます。

シフトボタンの使いかた

本機のリモコンでは、各操作ボタンと番号ボタンが兼用になっています。通常は、そのときの本機の動作（表示されている画面など）に応じて、操作か番号入力かが自動的に判断されます。

➡操作ボタンとして動作しているときに、番号ボタンとして使いたいときは…？

シフト の3回連打でシフトロック

シフト を押さなくても、押しているのと同じ状態になります。連続して番号を入力するときに便利です。

→無操作約1分で、シフトロックは解除されます。
手動で解除したいときは シフト を約3秒以上長押しします。

シフト を使うおもなケース

- タイトル再生時、1/20スキップやワンタッチスキップ／リプレイをしたいときに、左右カーソル移動や左右ページ移動などが動作してしまう場合
  →シフト を押しながら、目的の操作ボタンを押します。
- ヘルプ画面を表示したいとき
  →シフト を押しながら ヘルプ表示切換 を押します。
- 文字入力画面で、入力した文字を全削除するとき。（➡34ページ）
- 本機を通してテレビ放送を視聴中に、直接チャンネル番号を入力してチャンネルを切り換える場合。（➡40ページ）
- データ放送画面で、数字を入力するとき。（➡42ページ）

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、HDD&HD DVDレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

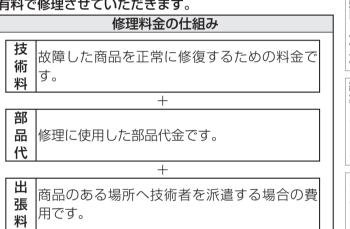
ご連絡していただきたい内容	
品名	HDD&HD DVDレコーダー
形名	RD-A1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）

電話受付：365日・24時間受付

（※フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。）

※携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220（通話料がかかります）

西日本地区（上記以外）06-6440-4411（通話料がかかります）

・「東芝家電修理ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

■新商品などの商品選びや、初期導入などよく使われる機能に関する取扱方法および編集やネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については裏表紙をご覧ください。

B-CASカードID番号記入欄

●下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

本機をお使いになる前に知っておきたいポイント

内蔵 HDD の取扱いと録画について

記録容量が大きく、編集作業にも向いているため、録画するには内蔵 HDD がお勧めです。ただし、内蔵 HDD は非常に精密な機器で、使用状況によっては記録内容が破損・消失したり、録画や再生が正常にできなくなるおそれがあります。

内蔵 HDD は録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。たいせつな映像や、残しておきたい映像は、こまめに HD DVD-R や DVD-RAM またはその他の DVD ディスクにダビングして保存してください。

使用上のご注意については詳しくは➡接続・設定編 9 ページ、または➡本書 157 ページをお読みください。

HD DVD-R ディスクについて

本機は HD DVD-R での記録に対応しています。
HD DVD-R ディスク（片面）には、片面 2 層で約 30GB（ギガバイト）と片面 1 層で約 15GB のディスクがあります。

今までの DVD ディスクと異なり、デジタルハイビジョン番組を、画質を落とさずに記録※できます。

※デジタルハイビジョン番組によっては記録できないことがあります。また、デジタル放送はほとんどの場合、コピーワンス番組のため、記録するには「AACS」に対応した HD DVD-R が必要です。AACS については➡ 7、56 ページをご覧ください。

■ HD DVD-R ディスクをお使いになる前に

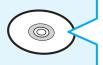
HD DVD-R 記録フォーマット（方式）は「HDVR モード」です

DVD ディスクには「VR モード」、「Video モード」があります。HD DVD ディスクにも「HDVR モード」と「HDVideo モード」※があります。
VR モードの DVD ディスクでは、高画質ハイビジョン放送をそのままの画質で録画やダビング（移動）はできませんでしたが、**HD DVD-R の HDVR モードでは、高画質ハイビジョン放送もそのままの画質で、録画やダビング（移動）ができます。**

※市販の HD DVD ビデオディスクが「HDVideo モード」になります。本機では、「HDVideo モード」での録画やダビングはできません。

■HD DVD-R に記録できるタイトルとは？

HD DVD-R（HDVR モード）に録画やダビングできるタイトルの種類は以下のとおりです。

HD DVD-R（HDVR モード）ディスク

直接録画するとき
「TS 録画」タイトル
内蔵 HDD からダビングするとき
「TS 録画」タイトル、「VR 録画」タイトル

■DVD ディスクの場合

直接録画／ダビングともに「VR 録画」タイトル

DVD-RAM、DVD-R/RW（VR モード）ディスク

内蔵 HDD に「DVD 互換モード」を「入」で録画した、Video モード互換タイトル※

DVD-R/RW（Video モード）ディスク

※DVD-R/RW（Video モード）のディスクには、直接録画することはできません。一度内蔵 HDD に「DVD 互換モード」を「入」で録画したタイトルをダビングします。

「TS 録画」タイトル：デジタル放送を、W 録（エンコーダー）選択時に「TS」で録画したタイトルのこと。

「VR 録画」タイトル：デジタル放送やアナログ放送を、W 録（エンコーダー）選択時に「VR」で録画したタイトルのこと。

W録（TS／VR）については➡52、54 ページをご覧ください。

本機をお使いになる前に知っておきたいポイント(つづき)

本機と取扱説明書でのHD DVD-Rの表示・説明について

本機の画面表示や取扱説明書では、HD DVD-R(HDVR モード)ディスクについて、「HD-R」と省略して表示、および説明している箇所があります。また、HDVR モードについては、「HDVR」と省略して表示、および説明している箇所があります。

省略される名称	本機および取扱説明書での表示と説明
HD DVD-R(HDVR モード) ディスク	HD-R、HD-R ディスク
HDVR モード	HDVR

上手にHD-Rディスクを使うには

■HD-R ディスクの録画とダビングについて(概略)

HD-R ディスクは DVD-R ディスクと同様に、一度書き込みをしてしまったところを、書き直しすることができません。書き込みをしたあとも、ファイナライズをする前は編集をすることができますが、不要なタイトルやチャプターなどを消去しても、消去した分の容量は戻りません。

HD-R には、直接デジタル放送を TS 録画※することができますが、内蔵 HDD に録画したあと、編集してからダビング(移動)することをおすすめします。

※「AACS」に対応しているディスクに限ります。視聴しているデジタル放送の番組を ●録画 を押してもすぐに録画が開始されないことがあります。
また、録画予約をするときも、HD-R への録画予約時間の前に、近接した TS 録画予約があると、予約時間がきてもすぐに録画が開始されないことがあります。

■HD-R ディスクに録画やダビングができるタイトルについて

直接録画するとき：
TS タイトル（デジタル放送を「TS」で録画したタイトル）

内蔵 HDD からダビングできるタイトル：
TS タイトル（デジタル放送を「TS」で録画したタイトル）
VR タイトル（デジタル放送を「VR」で録画したタイトル、またはアナログ放送を「VR」で録画したタイトル）

※デジタル放送の内容や含まれている情報によっては、HD-R に録画できないことや、録画したタイトルの再生ができないことなどがあります。

内蔵 HDD に録画した「1 回だけ録画可能」番組と HD-R・DVD ディスクに録画した「1 回だけ録画可能」番組について

デジタル放送は例外を除いて、ほとんどの番組が「1 回だけ録画可能」(コピーワンス番組)という、著作権を守るための制御信号を入れて番組を放送しています。HD-R や DVD ディスクに直接録画したコピーワンス番組はディスクの性質上、内蔵 HDD と異なり、ダビング(移動)ができません。

1 回だけ録画可能番組

内蔵 HDD へダビング(移動)

1 回だけ録画可能番組

「1 回だけ録画可能」(コピーワンス番組) について詳しくは➡7、56 ページをご覧ください。

本機で使用できるディスクについて

■本機で録画ができるディスク（➡ 52 ページ）

	内蔵HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW DVD-R
記録フォーマットと互換性がある録画タイトル	TS/VR互換 TSタイトル VRタイトル	HDVRモード TSタイトル VRタイトル※	VRモード VRタイトル	**VR モード**（VR タイトル用、記録フォーマット）または **Video モード**（Video タイトル用、記録フォーマット）のどちらかを選んで使います。 （HD DVD・DVDディスクの初期化➡58ページ）

※直接「VR」でデジタル放送やアナログ放送を録画することはできませんが、内蔵 HDD から ダビング（移動またはコピー）することができます。

■録画タイトルと録画方法について

TS タイトル用「TS 録画」について

- **デジタル放送専用の録画方法です。**デジタル放送をそのままの高画質･高音質で録画できます。マルチビューや番組連動データ放送も録画できます。HD-R ディスクでの直接録画は、TS 録画のみ対応しています。ただし、HD-R に 1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画やダビング（移動）をするときは、「AACS」に対応しているディスクが必要です。
- DVD ディスクにダビング（移動）するときに、画質・音質などは、VR 録画の品質に変換されます（デジタル放送番組は、コピー制限のない番組を除いて、ほとんどがコピーワンス番組です。そのため移動するときは、CPRM 対応ディスクが必要です）。

VR タイトル用「VR 録画」について

- **アナログ・デジタル放送どちらも録画できます。**TS 録画のように、デジタル放送をそのままの高画質・高音質で録画したり、マルチビューや番組連動データ放送を録画することはできません。ただし、画質･音質などの設定を行なうことで、CPRM 対応の DVD ディスクにダビング（移動）ができます。HD-R ディスクに直接録画するときは、VR は選べません。アナログ放送やデジタル放送を VR 録画で HD-R に記録したい場合は、一度内蔵 HDD に録画したあと、編集（チャプター編集など）を行なってから HD-R へダビング（移動またはコピー）してください。

■ DVD ディスクの記録フォーマット「VR モード」と「Video モード」について

VR モードの特長

○ 録画した映像を編集する場合に適しています。
○ 二カ国語の音声を両方録って、見るときに選択できます。
△ デジタル放送（コピーワンスプログラム：1回だけ録画が可能な番組）を録画できます。（DVDディスクがCPRM対応ディスクであることが必要です。）ただし、本機以外では、VRモード再生に対応した機器でないと再生することができません。
△ DVD-Rディスクの場合、編集回数に限りがあります。また、削除したタイトルの容量は戻りません。

Video モードの特長

○ 録画した映像を、市販のDVDビデオディスクと同じように、多くのDVDプレーヤーやパソコンなどで再生できます。（ファイナライズ処理➡168ページが必要です。）
× 録画した映像を、編集することはできません。
× デジタル放送（コピーワンスプログラム：1回だけ録画が可能な番組）を内蔵HDDからダビングすることはできません。
△ 二カ国語音声の映像は、あらかじめ片方を指定して録画しなければなりません。
➡60ページのDVD互換モードをご覧ください。

※VRモード、Videoモードについて詳しくは➡54ページ～をご覧ください。（HD DVDの「HDVRモード」については➡5、6ページ、および➡54ページ～をご覧ください。）
※本機では、VideoモードのDVD-R/RWに番組を直接録画することはできません。一度内蔵HDDに録画してから、VideoモードのDVD-R/RWにダビングをしてください。

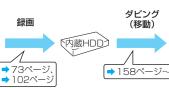
■ディスクと記録フォーマットの特徴

	互換性	編 集	二カ国語対応	コピーワンス録画
内蔵 HDD（TS ／ VR 互換）		○	○	○※3
HD DVD-R（HDVR モード）	△※1	○※2	○	○※3
DVD-RAM（VR モード）	△※1	○	○	○※3
DVD-R/RW（VR モード）	△※1	○※2	○	○※3
DVD-R/RW（Video モード）	○	×	×	×

○：適しています。
△：やや適しています。
×：適していません。

※1 各ディスクおよび各モード（HDVRやVRモードなど）に対応している機器でないと、再生できません。
※2 HD-RおよびDVD-Rディスクの場合、編集回数に限りがあります。また、削除したタイトルの容量は戻りません。
※3 DVDディスクやHD-Rは、CPRMやAACS対応のものに限ります。また、再生する機器がCPRMやAACSに対応していない場合は、再生できません。

コピーワンスプログラムの録画について（CPRM と AACS）➡ 56 ページ

デジタル放送は例外を除いてほとんどの番組が、番組制作者などの著作権を守るため、制御信号を入れたコピーワンス（1 回だけ録画が可能）番組を放送しています。コピーワンス番組は、DVD ディスクでは CPRM、HD DVD ディスクは AACS という著作権保護技術に対応した録画機器とディスクでだけ、録画することができます。本機は CPRM と AACS に対応しています。内蔵 HDD へ一度録画をすると、基本的にダビング（録画番組のコピー）はできなくなります。（1 回だけ移動することは可能です。➡ 171 ページ）

本機の特長

感動的な美しさ！市販の HD DVD ビデオディスクを再生

● HD DVD とは DVD フォーラム※が、次世代 DVD として承認した光ディスクメディア。最大で 30GB の情報を記録でき、映画 1 本分をハイビジョン画質で HD DVD ディスク 1 枚に収納することができます。ご家庭でも映画館のような高画質・高音質を楽しむことができます。

※メーカーや映画会社など、世界の 240 社以上が加盟する DVD 規格の世界標準団体。

HD DVD は新規格です。ディスクによっては本機で再生できないものもあります。
市販の HD DVD ビデオディスクなどを、480p およびハイビジョン（720p、1080i、1080p）出力でお楽しみいただくには、出力解像度に対応したテレビ（プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ）を、HDMI 端子もしくは D 端子 / コンポーネント端子で接続してください。
また、ディスクによっては AACS の規定により、アナログでの出力を禁止していることがあります。その場合は HDMI 端子を使わないと、見ることのできないコンテンツもあります。

HD DVD-R※に HD(高画質ハイビジョン放送) 記録ができます

● HD DVD-R（一層／約 15GB）と HD DVD-R DL（二層／約 30GB）の大容量に HD 画質（高画質ハイビジョン放送）をそのままの状態で記録が可能。

※記録モードは「HDVR モード」になります。「HDVR モード」については➡ 5、6、54 ページをご覧ください。また、HD-R に 1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画やダビング（移動）をするときは、「AACS」に対応しているディスクが必要です。

多彩な出力端子を装備

● 1 本のケーブルで映像／音声をデジタル信号でつなぐ HDMI 端子、480i（D1）～ 720p（D4）信号出力ができるコンポーネント映像端子と D 映像端子。また、ドルビーデジタルプラス、ドルビー True HD、DTS-HD に対応。ご家庭でもまるでライブ会場や映画館にいるような臨場感です。

高解像度の映像コンテンツの再生、あるいは従来画質の DVD をアップコンバート (従来画像の解像度を電子的に HD のレベルまであげることをいいます。) 再生をモニターで楽しむ場合は、HDMI 入力または HDCP 対応 DVI ポートのあるモニターが 必要です。

地上デジタル放送、BS デジタル／110 度 CS デジタル放送受信

地上デジタル放送対応の UHF アンテナを使用することで、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。
BS、110 度 CS デジタル用アンテナを使用することで、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をお楽しみいただけます。

デジタルハイビジョン画質をそのまま録画

ハイビジョン画質の美しい映像も、マルチ映像・音声もそのまま録画できます。

番組表機能搭載

地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS/110 度 CS デジタル放送の番組表が表示できます。
番組表から番組を選んで簡単に録画予約ができます。

豊富な予約録画機能

番組ナビ………………番組表からお好みの番組を選んで簡単に録画予約できます。
ネットdeナビ………パソコンの画面上で録画予約できます。携帯電話からも予約できます。
おまかせ自動録画……設定した条件にあてはまる番組を自動で録画予約します。
スカパー！連動………スカパー！チューナーを本機に連動させて、スカパー！の番組を録画予約できます。

タイムスリップ機能

放送中の番組をワンタッチで録画してあとから見られる「TVお好み再生」

急な来客などで席をはずさなければならないときなどに便利です。

録画途中の番組でも前に戻って見られる「追っかけ再生」

外出先から予約録画の途中に帰宅したときなど、録画終了を待たずに、録画しながら内容を最初から見られます。

映像ライブラリとして残す

いつどこへ何を録画したかが検索できる「ライブラリ」機能

たくさんあるディスクを管理できます。

どのディスクにどれだけ余りがあるか確認できる「ライブラリ」の残量確認機能

ディスクを挿入せずに、管理されているディスクの残量が確認できます。

「スポーツ延長」機能で録画時間を自動で延長

スポーツ延長機能で録りのがしの不安が解消

「スポーツ中継が延長して、そのあとに録画予約したドラマのクライマックスが録画できていなかった！」こんなことにならないように「スポーツ延長」機能が延長に合わせて自動的に録画時間を延長します。

「番組追っかけ」機能で録画時間を自動変更

録画予約した番組の放送時間の変更に対応

「毎週録画予約していたドラマ、最終回だけ 30 分長く放送して、延長した分の録画ができなかった！」「録画予約した番組の前に特別番組がはいって、放送時刻がずれてしまった！」こんなときに「番組追っかけ」機能が変更に合わせて自動的に録画時刻を変更します。

他にもまだまだこんな機能があります

● 録画中に以前録画した番組も見られる
「別タイトル再生」
● 選んだ場面だけを好きな順で見られる
「プレイリスト」
● 録画番組の CM と本編の間をチャプター分割
「本編自動チャプター分割」
● 録画番組のジャンルにあわせて自動チャプター分割
「マジックチャプター分割」
● CMや、CMの前後で番組の内容が重なった部分を取り除いたプレイリストを作る
「おまかせプレイリスト作成」
● CMを取り除いたプレイリストを作る
「奇数／偶数チャプタープレイリスト作成」
● DVD にメニュー画面が付けられる
「DVD-Video 作成」

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること” を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること” を示します。

***1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。**
***2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。**
***3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。**

■ 図記号の例

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠” は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●” は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△” は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

別冊（接続・設定編）の安全上のご注意を必ずお読みください。

もくじ

1 はじめに（2ページ～）

●お使いになる前にお読みください。

お使いになる前に よく読んで ください

2 番組を楽しむ（37ページ～）

3 録画の前に（47ページ～）

内蔵ハードディスク

HD DVD-Rディスクと 3種類のDVD ディスクが使える (DVD-RAM/RW/R)

ハード ディスク

4 番組表と録画予約（61ページ～）

5 録画と再生（101ページ〜）

●タイムスリップ機能

「追っかけ再生」
予約録画の終了を待たずに、その内容を最初から見られます。

「TVお好み再生」
放送中の番組をワンタッチで録画してあとから見られます。急な来客などで席をはずしてしまうときに便利です。

もくじ(つづき)

6 編集とダビング（141ページ～）

7 ライブラリ（173ページ～）

8 その他（181ページ～）

目的別もくじ

便利な機能・使いたい機能を、早く知りたいときにお役立てください。

録画予約をするとき

再生するとき

録画の設定など

ダビングするとき

録画したタイトルの整理など

その他知りたいこと

早く知りたいこんなこと

知っておきたい機能や操作についての簡単な説明とさくいんです。
さらに詳しく知りたいときは、各説明ページをご覧ください。

録画の準備／録画

番組を簡単に録画予約するには？

「番組表」を使いましょう！

録画したい番組を選んで予約！

■番組表を使って録画予約するまで…（地上アナログ放送の場合）

①〜⑦の順番に確認と設定を行ないましょう

① 本機とアンテナ、テレビとの接続はお済みですか？（➡接続・設定編 13 ページ〜）
② 設定はお済みですか？（➡接続・設定編 29 ページ〜）
③ 本機を通して放送番組が映るか確認する
④ 番組表の設定をする（➡接続・設定編 47 ページ）
⑤ 番組表データの受信確認をする（➡接続・設定編 47 ページ）
※ **「番組表データの受信確認」は、「ADAMS」を使ったデータを受信できる状態かどうかを確認するものです。番組表のデータそのものは受信しません。**
⑥ 番組表データが受信されるのを待つ
⑦ 番組表の内容が表示されるか確認する
内容が正しく表示されれば、番組表は準備完了です。さっそく録画予約をしてみましょう。

ここを確認 1

「③ 本機を通して放送番組が映るか確認する」で、テレビで映るチャンネルと本機を通して映るチャンネルに違いがないかを確認します。

《例》東京 23 区の場合

テレビ：テレビだと「1、3、4、14、6、42、8、10、46、12、38、16」チャンネルが映る

本機：本機を通すと「14、46、16」チャンネルが映らない！どうして？

■チャンネル設定を変更します（➡接続・設定編 38 ページ）

ご使用の環境によっては、自動的に設定したチャンネルと実際に映るチャンネルが異なることがあります。本機で映らないチャンネルは手動で設定する必要があります。

ここを確認 2

「⑤ 番組表データの受信確認をする」で、いったん番組表を開きます。本機を通して映るチャンネルがすべて表示されているか確認します。

※この段階ではまだ番組表のデータがないため、内容は表示されません。

本機を通して映るチャンネルが、すべてここに表示されているか確認します。リモコンの で表示が切り換わります。

表示されるチャンネルが足りないときは…

■【番組ナビチャンネル設定】で変更／追加をします（➡接続・設定編 49 ページ）

この機種でどんなディスクに録画できるの？

本機で録画ができるHD DVDディスクは「HD DVD-R（HDVRモード）」。DVDディスクは「DVD-RAM(VRモード)」、「DVD-R（VRモード)」、「DVD-RW（VRモード)」です。（➡52ページ）

※DVD-R/RW(Videoモード)は、「高速そのままダビング」「DVD-Video作成」だけができます。

■DVDディスクで一番のお勧めはカートリッジ付きDVD-RAM

キズやホコリに強く、保存性に優れています。また、録画の制限事項が少ないのもポイントです。（➡53ページ）

各ディスクの記録モードと録画方法の関係は？

ディスクにはそれぞれ記録モード（方式）があります。また、それに合った録画方法があります。（➡54ページ）

DVDディスクの記録モード

「VRモード」
ビデオレコーディング記録方式で、多彩な録画や編集機能が特長です。ただし、DVDプレーヤーなどは一部のVRモード再生対応機でしか再生できません。
本機で録画可能なDVD-RAM/DVD-RW/DVD-Rが対応

DVDディスク

「Videoモード」
市販のDVDビデオディスクと同じ記録方式で、多くのDVDビデオ対応機器（DVDプレーヤーなど）で再生できる方式です。
DVD-RとDVD-RWが対応

DVD-RW　DVD-R

本機の録画方法

「TS録画」
デジタル放送をそのままの高画質 - 高音質で録画する方法です。
内蔵HDDとHD-Rディスクが対応

内蔵HDD　HD DVD-R

「VR録画」
デジタル放送を録画するとき、画質を変更して録画します。またアナログ放送を録画する方法です。
内蔵HDDと各種記録用DVDディスクが対応
※HD-Rには直接録画できませんが、内蔵HDDにVR録画したタイトルをダビングすることができます。

内蔵HDD　DVDディスク

買ってきた録画用のHD DVDやDVDディスクは録画の前に何をすればいいの？

種類や用途によっては初期化が必要です。（➡58ページ）

■記録モードによって初期化の必要／不要があります。

DVDディスク	DVD-RAM	DVD-R	DVD-RW
Videoモードで使う	―	不要	必要
VRモードで使う	必要	必要	必要

※ HD DVDディスクは「HDVRモード」に初期化が必要です。

DVDディスクの記録モードを選ぶポイント

Videoモードは、ほかのDVDプレーヤーなどでも見たいときに選びます。

VRモードは、あとで多彩な編集がしたいときに選びます。

早く知りたいこんなこと(つづき)

画像や音声をきれいにとりたい！

録画するときに、お好みの画質や音質が設定できます。(➡57 ページ)

■将来 DVD ディスクに保存したい内容は、ディスクの空き容量を考えて設定しましょう。

本機で設定できる画質の一例

《SP》標準の画質。2 時間番組を 1 枚（片面 4.7GB）のDVD ディスクに保存するのにお勧め。
《LP》あとで消す予定、または画質が落ちても長く録画したいとき。

画質や音質を高く設定すると、それだけ多くのディスク容量を必要とします。

内蔵HDDとHD-RやDVDディスク、どれに録画するのがお勧め？

まず内蔵 HDD に録画しておき、あとで保存用に HD-R や DVD ディスクにダビングする方法がお勧めです。

■内蔵 HDD で不要なシーンと必要なシーンとに分けて、必要なシーンだけ HD-R や DVD ディスクへダビング（➡151 ページ～）

●こんな場合は内蔵 HDD 録画前にご注意ください。

- あとで DVD-R/RW（Video モード）にダビングする場合
  ①二カ国語放送の映画やドラマのときは、録画予約するときに「DVD 互換モード」を【入（主)】または【入（副)】のどちらかに設定してください。
  ②録画解像度設定（➡応用編 63 ページ）を最適解像度に設定している場合、録画予約するときに「DVD 互換モード」を【入（主)】または【入（副)】のどちらかに設定してください。

なぜ「DVD 互換モード」を設定するの？？

「DVD 互換モード」を【切】で録画したタイトル（二カ国語放送など）は DVD-R/RW（Video モード）には正しくダビングができません。また、解像度によっては、DVD-R/RW（Video モード）にダビングができません。Video モードには DVD-Video 規格による制約があるためです。

予約録画を途中で止めたいときはどうすればいいの？

■リモコンの ■(8 や TUV) を押して画面のメッセージにしたがって録画を中止させます。

再生

録画した番組を見るには？

[見るナビ] を押すと、録画番組が一覧表示されます。(➡110ページ)

■見たい番組を選んで [決定] を押すと再生を始めます。

HDD　HD DVD

どちらが操作中かわかるように、本体前面の各ボタンインジケーターが点灯します。切り換えるときは、リモコンまたは本体の「HDD」または「HD DVD」ボタンを押します。

見たい番組を選んで再生！

見終わった録画番組を消したいときは？

■ [HDD] または [HD DVD] を押したあと、[見るナビ] を押し、消したい番組を選んで [クイックメニュー] を押します。(➡111ページ)

【タイトル削除】を選び、[決定] を押します。

本機の状態（録画中やダビング中など）やディスクによっては削除ができない場合があります。

「しまった！間違って消しちゃった！」
を防ぐために…

一度削除してしまうと元には戻せないため、削除してもいい録画番組はいったん**「ごみ箱」**にいれておき、あとでまとめて削除することをお勧めします。(➡126ページ)

録画中に別の録画番組を見るには？

■再生したい録画番組がある [HDD] または [HD DVD] を押し、[見るナビ] を押します。
(➡114ページ)

一覧の中から選んで再生ができます。ただし以下の条件があります。

●別の録画番組を再生できる条件

録画中＼再生	内蔵HDD	HD DVD-R	DVD-RAM	DVD-R/RW
内蔵HDD	○※	○※	○	○
HD DVD-R	○	×	×	×
DVD-RAM	○※	×	×	×
DVD-R/RW	○※	×	×	×

※ただし、「VR」でデジタル放送を録画中に、「TS」で録画されたタイトルは、再生できません。

★こんなときに便利！

内蔵 HDD にドラマを録画中でも、HD-R や DVD ディスクに録画しておいた映画が見られるから時間が有効に使えて便利！

早く知りたいこんなこと(つづき)

録画済みの番組を整理するには?

■フォルダ機能を使うと、連続ドラマや同じジャンルの番組をまとめて整理するのに便利です。(➡123 ページ)

●フォルダの種類

「通常のフォルダ」:
内蔵 HDD、HD-R、DVD-RAM や DVD-R/RW(VR モード)に作ることができます。(24 個まで作れます。名前もつけられます。)

「カギ付きフォルダ」:
内蔵 HDD だけにあるフォルダです。このフォルダはフォルダ内の録画番組をむやみに消されたりしないように保護します。(ただし自動削除対象タイトルは除きます。)

「ごみ箱」:
内蔵 HDD だけにあるフォルダです。録画番組は一度削除してしまうと、元には戻せません。削除しようか迷ったら、一度「ごみ箱」へ移動しておき、あとで確認してからまとめて削除することをお勧めします。また、録画中には録画番組の削除はできませんので、そんなときにも「ごみ箱」を使うと便利です。

編集/ダビング

子供の運動会などの映像をDVDディスクで友人に見せたいときは?

Video モードの DVD-R か DVD-RW にダビングしましょう(➡161 ページ)

■他の多くの DVD プレーヤーで再生できるディスクを作りたいときは、Video モードでダビングします。

ダビングしたディスクを他の機種でも見られるようにします(➡168 ページ)

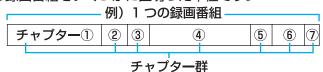
■他の DVD プレーヤーなどで再生するには、「ファイナライズ」という処理が必要です。
■「DVD-Video 作成」で、ダビングとファイナライズが同時にできます。(➡165 ページ)

番組の本編や名場面だけを集めてダビングするには？

内蔵 HDD に録画します。

【チャプター分割】をします。（➡146 ページ）

■チャプターとは…

1 つの録画番組をいくつかに区切った単位です。

■録画予約するときに、自動的にチャプター分割する設定を活用する（➡86～87 ページ）

《自動チャプター分割の使いわけ》

- **音楽番組の録画：無音部分自動チャプター分割**
  音声がない部分で自動的にチャプター分割されます。ビデオクリップなどの境目付近で分割されます。
- **バラエティ番組の録画：本編自動チャプター分割**
  CM 前と CM 後で同じ内容がくり返されるときに、CM 前の内容付近と CM の前後でチャプター分割されます。
- **映画やドラマの録画：本編自動チャプター分割**
  本編とその他（たとえば CM など）の境目付近で自動的にチャプター分割されます。本編と CM との間にチャプター分割をする手間をはぶきたいときや、本編以外の部分を飛ばして見たいときに便利な機能です。
- **ニュース番組：マジックチャプター分割**
  ニュース番組の切り換わりの前後でチャプター分割されます。

自動的にチャプターを分割する設定をしておくと、再生時の頭出しやプレイリスト作成がとても楽になります。

プレイリストにします。

■プレイリストを作りましょう（➡151 ページ）

プレイリストとは再生したい順番の管理表です。

例）1 つの録画番組

本編	CMなど	本編	CMなど	本編	CMなど
チャプター①	②	③	④	⑤	⑥

本編だけを再生するリストを作ります（チャプター① ③ ⑤）

本編だけを再生するリスト

本編	本編	本編
チャプター①	③	⑤

■【おまかせプレイリスト作成】で簡単にプレイリストを作成しましょう（➡153 ページ）

■プレイリストについて

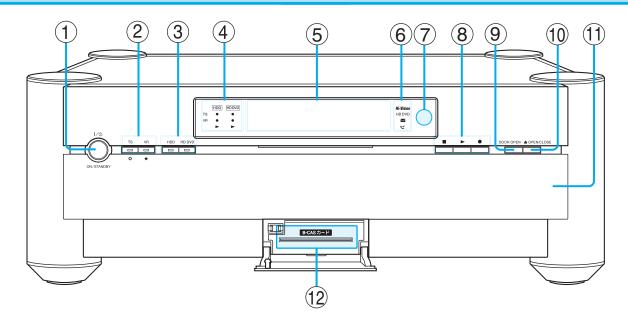
プレイリストはいわば再生順の管理表（再生リスト）です。プレイリストは画像と音声のデータそのものではないので、ディスクの**容量はほとんど使いません。**
「プレイリストを作っても、その参照元の録画番組は削除してはいけません。」プレイリストで使われている元の録画番組を削除すると、削除した部分がプレイリストからも消えてしまいます。プレイリストは HDD 内、HD-R ディスクや DVD ディスクにダビングすると、別の新しいタイトル（録画番組）になります。そのあとに、参照元の録画番組を削除することをお勧めします。（誤削除を防ぐため）

チャプターを作る手間をはぶきたいときは**【本編自動チャプター分割】と【おまかせプレイリスト作成】**の組み合わせで、簡単にプレイリストが作れます。

ダビングします。（➡158 ページ）

各部の名前

詳しくは➡のページをご覧ください。

前面

① **ON/STANDBY ボタン ➡ 27 ページ**
電源を入（ON）／待機（STANDBY）にします。
入／待機でインジケーターの色が変わります。

② **TS ／ VR ボタン／インジケーター ➡ 102 ページ**
TS ボタン：TS 画質で録画するときに選択します。TS が選ばれているときにボタンが点灯します。
VR ボタン：TS 画質以外で録画するときに選択します。VR が選ばれているときにボタンが点灯します。

③ **HDD ボタン／ HD DVD ボタン／インジケーター ➡ 17、102 ページ**
HDD ボタン：録画や再生などの操作を内蔵 HDD 側にします。内蔵 HDD 側が選ばれているときにボタンが点灯します。
HD DVD ボタン：録画や再生などの操作を HD DVD 側にします。HD DVD 側が選ばれているときにボタンが点灯します。

④ **HDD ／ HD DVD インジケーター**
HDD：③の HDD ボタンを押して、内蔵 HDD 側が選ばれている時に、操作によって以下の箇所が点灯や点滅します。
TS ●：内蔵 HDD 側でデジタル放送を TS 録画（TS 画質で録画）中に点灯します。ダビング時には点滅します。
VR ●：内蔵 HDD 側で録画中（VR 録画）に点灯します。ダビング時には点滅します。
▶：内蔵 HDD 側で再生中に点灯します。

HD DVD：③の HD DVD ボタンを押して、HD DVD 側が選ばれている時に、操作によって以下の箇所が点灯や点滅します。
TS ●：HD DVD 側でデジタル放送を TS 録画（TS 画質で録画）中に点灯します。ダビング時には点滅します。HD DVD 側で TS 録画できるのは、HD-R のみです。
VR ●：HD DVD 側で録画中（VR 録画※）に点灯します。ダビング時には点滅します。
▶：HD DVD 側で再生中に点灯します。

※ HD-R には VR での直接録画はできません。DVD ディスクに録画中のときに点灯します。

⑤ **表示窓 ➡ 24 ページ**

⑥ **Hi-Vision Hi-Vision インジケーター**
現在選ばれている（視聴中・再生中・録画中）の映像の解像度が HD（デジタルハイビジョン画質）の場合に点灯します。

HD DVD インジケーター
HD DVD ドライブに HD DVD ディスクが入っているときに点灯します。

✉ お知らせインジケーター ➡応用編 67 ページ
未読のデジタル放送のお知らせ（放送局からのお知らせ／本機に関するお知らせ）があるときに点灯します。

通信インジケーター
電話回線を使用中のときに点灯します。

⑦ **リモコン受光部 ➡接続・設定編 31 ページ**

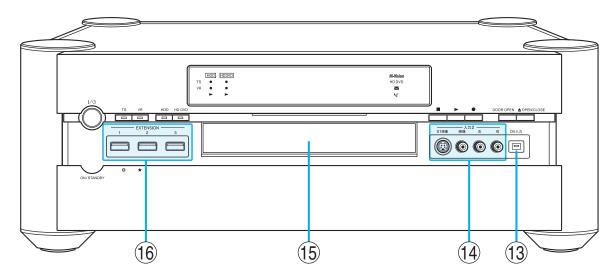
⑧ **停止ボタン（■）➡ 103、111、116、132 ページ**
再生や録画を停止します。
再生ボタン（▶）➡ 116、132 ページ
再生を開始します。
録画ボタン（●）➡ 103 ページ
録画を開始します。

⑨ **DOOR OPEN ボタン ➡ 28 ページ**
⑪の前面扉を開閉します。

⑩ **OPEN/CLOSE（▲）ボタン ➡ 28 ページ**
ディスクトレイを開閉します。

⑪ **前面扉**
⑨の DOOR OPEN ボタンを押すと、開閉します。

⑫ **B-CAS カードスロット ➡接続・設定編 34 ページ**
付属の B-CAS カードを挿入します。

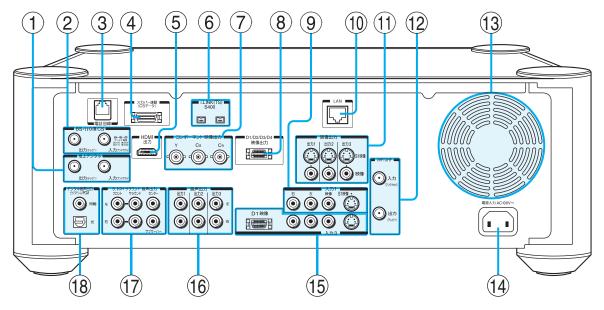
※⑨の「DOOR OPEN」ボタンを押して、前面の扉⑪が開いた状態です。

⑬ **DV 入力端子** ➡ 108 ページ
デジタルビデオカメラなどからの映像・音声をダビングするときに使います。

⑭ **入力２端子** ➡ 104 ページ
カメラ一体型ビデオなどの外部機器から映像・音声をダビングするときに使います。

⑮ **ディスクトレイ** ➡ 28 ページ
HD DVD ドライブに本機に対応のディスクを入れます。
対応ディスクに関しては➡ 52、115 ページをご覧ください。

⑯ **EXTENSION 端子** ➡ 35、136、接続・設定編 78 ページ
パソコン（DOS/V（Windows 搭載）機）などの USB キーボードや、本機対応 Bluetooth™通信機器などを接続します。

各部の名前(つづき)

背面

① **地上デジタルアンテナ入力端子**
➡接続・設定編 15、16 ページ
UHF アンテナから出ているアンテナ線（75 Ω同軸ケーブル）を接続します。
地上デジタルアンテナ出力端子
➡接続・設定編 15、16 ページ
アンテナ線(75Ω同軸ケーブル)で、地上放送対応のチューナーやテレビのアンテナ入力端子と接続します。

② **BS・110 度 CS アンテナ入力端子**
➡接続・設定編 17 ページ
BS・110 度 CS アンテナから出ているアンテナ線（75 Ω同軸ケーブル）を接続します。
BS・110 度 CS アンテナ出力端子
➡接続・設定編 17 ページ
アンテナ線（75 同軸ケーブル）で、本機と BS・110 度 CS 対応のチューナーやテレビの BS・110 度 CS アンテナ入力端子と接続します。

③ **電話回線端子 ➡接続・設定編 24 ページ**
付属の電話線を接続します。

④ **スカパー連動（CS データ）端子**
➡接続・設定編 22 ページ
スカパー！チューナーの CS データ端子と接続します。

⑤ **HDMI 出力端子 ➡接続・設定編 18 ページ**
テレビやモニター、AV アンプに映像／音声信号を出力します。テレビやモニター、AV アンプに HDMI 端子があるときに接続します。

⑥ **i.LINK（TS）端子 ➡接続・設定編 27 ページ**
D-VHS ビデオデッキの i.LINK 端子と接続します。

⑦ **コンポーネント映像出力端子**
➡接続・設定編 19 ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにコンポーネント端子があるときに接続します。

⑧ **D1/D2/D3/D4 映像出力端子**
➡接続・設定編 19 ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターに D1/D2/D3/D4 端子があるときに接続します。

⑨ **入力 1 端子 ➡ 104 ページ**
他のビデオデッキ、カメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声入力と接続します。

⑩ **LAN 端子 ➡応用編 12 ページ**
パソコンやネットワーク接続環境などと接続します。

⑪ **映像出力 1 端子／映像出力 2 端子／映像出力 3 端子**
➡接続・設定編 14 ページ
テレビや AV アンプに映像信号を出力します。

⑫ **VHF/UHF（地上アナログ）入力端子**
➡接続・設定編 14 ページ
テレビのアンテナ線（75 Ω同軸ケーブル）を接続します。
VHF/UHF（地上アナログ）出力端子
➡接続・設定編 14 ページ
テレビのアンテナ入力端子と接続します。

⑬ **冷却用ファン**
通風孔をふさがないでください。

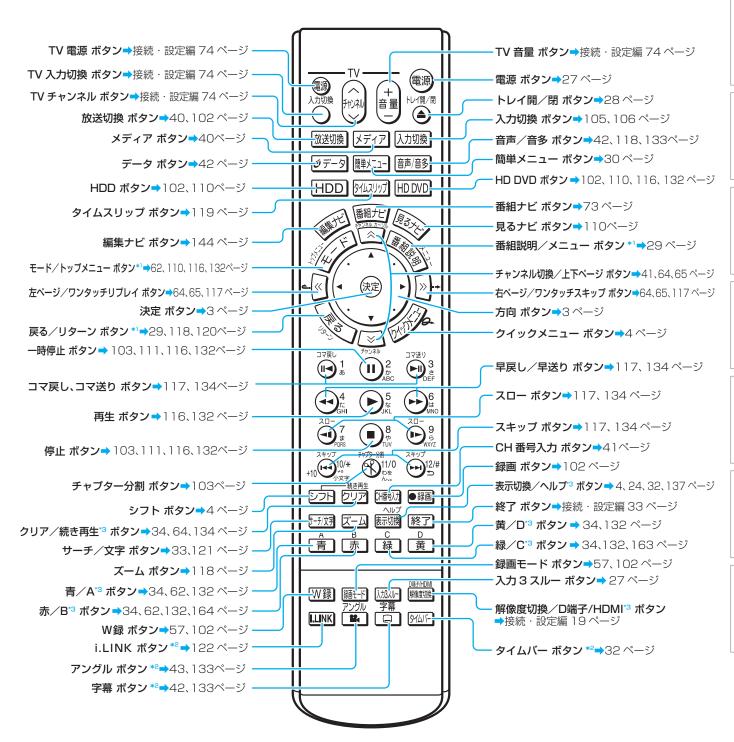
⑭ **電源入力端子 ➡接続・設定編 14 ページ**
付属の電源コードを接続します。

⑮ **入力3 端子・入力3 D1 映像端子**
➡ 104 ページ、接続・設定編 22 ページ
BS デジタルチューナー、スカパー！チューナーなどの外部機器に接続します。BS デジタルのワイド放送を録画するには、S1 または入力 3D1 映像端子に接続してください。ただし、チューナー側の設定が正しくない場合や、映像端子（黄）で接続している場合は正しく動作しません。

⑯ **音声出力 1 端子／音声出力 2 端子／音声出力 3 端子**
➡接続・設定編 14 ページ
テレビや AV アンプに音声信号を出力します。

⑰ **5.1CH サラウンド音声出力端子**
➡接続・設定編 20 ページ
5.1ch 音声入力対応アンプと接続します。

⑱ **デジタル音声出力ビットストリーム／ PCM（光／同軸）端子 ➡接続・設定編 20 ページ**
デジタル音声信号を出力します。
デコーダ内蔵 AV アンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。

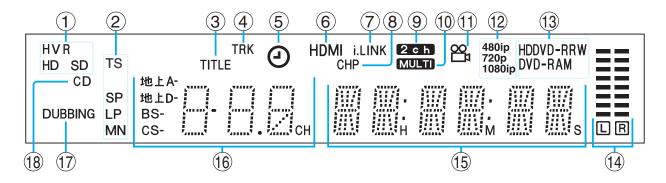
リモコン

*1 市販のHD DVDビデオディスク、DVDビデオディスクやファイナライズ済のDVD-R/RW（Videoモード）ディスク挿入時で、DVDドライブが選択されているときは、それぞれ『トップメニュー』『メニュー』『リターン』として動作します。

リターンボタンについて
市販のHD DVDビデオディスク、DVDビデオディスクなどで指定された画面に戻ります。
ディスク側の説明書もご覧ください。

*2 シフト を押しながら各ボタンを押すと、テレビ側の放送切換として機能します。（対応していないテレビもあります。）詳しくは、➡接続・設定編74ページをご覧ください。

*3 シフト を押しながら各ボタンを押すと、機能します。

各部の名前(つづき)

表示窓

① **録画方式表示 ➡ 54 ページ**
現在選ばれている録画方式が点灯します。(再生時にも点灯します。)
- V　：Video モード
- VR　：VR モード
- HV　：HDVideo モード
- HVR：HDVR モード
- HD　：TS 画質で解像度が HD(デジタルハイビジョン画質)
- SD　：TS 画質で解像度が SD(デジタル標準画質)

※ TS 録画できる設定･状態のとき、HD/SD が点灯します。

② **画質モード表示 ➡ 57 ページ**
現在選ばれている画質モードが点灯します。TS(トランスポート・ストリーム= HD/SD 画質)/MN(マニュアル=任意)/SP(スタンダード･プレイ=標準)/LP(ロング・プレイ=長時間)/A1、A2、DL のときは「MN」「SP」「LP」が同時に点灯します。

③ **タイトル表示**
タイトル番号を表示しているときに点灯します。

④ **トラック表示**
トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑤ **録画予約アイコン表示**
録画予約があるときに点灯します。

⑥ **HDMI 表示 ➡接続・設定編 18 ページ**
HDMI 出力を選択しているときに点灯します。

⑦ **i.LINK 表示 ➡接続・設定編 27 ページ**
i.LINK 接続をしているときに点灯します。

⑧ **チャプター表示**
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑨ **音声出力 2ch 表示**
音声出力が 2 チャンネル (L/R) のときに表示します。

⑩ **音声出力マルチ表示**
音声出力が 5.1ch のときに表示します。

⑪ **アングルアイコン表示 ➡ 43、133 ページ**
マルチビュー、マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点灯/点滅します。

⑫ **D 出力表示 ➡接続・設定編 18、19 ページ**
D 端子/HDMI の出力解像度が表示されます。(480i=D1/480p=D2/1080i=D3/720p=D4/1080p=D5※)
※ 1080p(D5) は HDMI のみ。

⑬ **ディスク表示**
ディスクトレイに入っているディスクの種類が点灯します。

⑭ **音声出力レベルメーター**
音声の出力レベルを表示します。
L + R　　：ステレオおよび二重放送(主+副)
L　　　　：左チャンネル(主音声)
R　　　　：右チャンネル(副音声)
L、R 消灯：モノラル
レベルメーター表示はあくまでも目安であり、正確に音量を表示するものではありません。

⑮ **マルチ表示**
現在の時刻、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑯ **チャンネル表示**
チャンネル、外部入力、タイトル番号、トラック番号などを表示します。

⑰ **ダビング表示**
番組のコピーまたは移動中に点灯します。

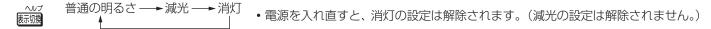
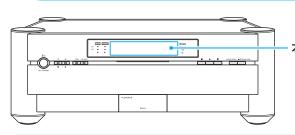
⑱ **CD 表示**
ディスクトレイに CD が入っているときに点灯します。

■表示窓の見かた

ヘルプ 表示切換　チャンネル表示、タイトル番号など、それぞれの表示をリモコンの『表示切換』ボタンで切り換えます。ディスクや録画されている状態によって表示が切り換わらないことや初期状態に戻ったり、切り換わり方が異なることがあります。

■表示窓の明るさを変えるには

リモコンの『表示切換』ボタンを約 3 秒以上押し続けるたびに表示窓の明るさが切り換わります。

• 電源を入れ直すと、消灯の設定は解除されます。(減光の設定は解除されません。)

本機のエラー表示／メッセージについて

本機の本体表示窓や、テレビ画面に本機の状態を表す色々なメッセージが表示されます。ここでは、おもなメッセージやエラー表示について説明します。

本体表示窓のメッセージについて

■特定の操作を行なえば、消すことができます。	
ALERT	テレビ画面に何らかの警告メッセージが表示されています。 →テレビ画面を確認してみてください。(詳しくは➡応用編96ページをご覧ください。)
MONI	入力3スルー機能稼動時に表示されます。 →解除するには、リモコンの [入力3スルー] ボタンを押してください。(➡27ページ)
LOCK	トレイロック中であることを示します。 →トレイロックを解除するとUNLOCKと表示されます。(➡28ページ)
V-MUTE	アナログ映像出力が禁止されている状態です。HDCP対応のHDMI機器にのみ出力が可能です。再生を停止するか、出力先をHDMI端子に切り換えてみてください。
■本機での内部処理が終了すれば消えます。しばらくお待ちください。	
SYS-LD	放送波からバージョンアップ情報をダウンロード中に表示されるメッセージです。
V-CHK	ソフトウェアバージョンアップ時のバージョンチェック中です。
V-UP	ソフトウェアバージョンアップ中です。
ADAMS	ADAMSによる番組表(EPG)データをダウンロード中です。
DEPGT	デジタル放送の番組表(EPG)データを取得中です。
DEPGI	インターネット経由で番組表(EPG)データを取得中です。(iNET)
WAIT	電源投入時などの、本機内部での動作処理中です。
LOGO	BSとCSのチャンネルロゴデータのダウンロード中です。
DTVON	B-CASカード認証時(電話回線発信時等)に表示されます。
T-ADJ	ジャストクロック(➡接続・設定編70ページ)作動中に表示されます。
MAIL	録画予約メールチェック中に表示されます。

本体表示窓のエラー表示について

■リモコンの『表示切換』ボタンを押すことで、表示を消すことができます。	
ER70XX (7000番台の4けた数字) ERR-09 ERR-0F	本体内部異常のエラーです。 →速やかに修理をご用命ください。(➡193ページ)
ER000D	データ取得の失敗です。 →電源の入れなおしで状態が回復する可能性があります。
ER0001 ER0004 ERR-0E	内部通信エラーです。 →電源の入れなおしで状態が回復する可能性があります。
ERR-05	ソフトウェアダウンロード／バージョンアップ失敗を示します。
ERR-10～32	DVD作成関係・ダビング時のエラーです。 →ダビング元のタイトルのDVD互換モードが「入」かどうかなど、DVDディスクまたはHDDの内容を確認してください。
ERR-3B～3E	HDMI接続時のエラーです。 →HDMIケーブルの抜き差し、本機あるいは接続機器の電源の入れなおし等をお試しください。

※リモコンや本体での操作を受け付けない場合には、性急に電源プラグを抜いたりせずに、本体の電源ボタンを押し続けることで強制的に電源を切ることができます。(➡応用編95ページ)
※電源が入ったまま電源プラグを抜いたりすると、本機に著しい障害を及ぼす可能性がありますので、不用意には行なわないでください。
※エラー番号に関わらず頻繁にエラーが出る状態のときは、本体異常を始め、ディスクやケーブル類の不具合、または本機と接続機器との相性など様々な可能性が考えられます。状況の確認を含め、RDシリーズサポートダイヤルにご相談ください。

本機のエラー表示／メッセージについて（つづき）

テレビ画面にメッセージが現れたら

操作中、テレビ画面にメッセージ画面が表示されることがあります。状況によって内容は異なりますが、おもに以下のように操作してください。詳しくは、➡応用編 96 ページをご覧ください。

選択項目が二つ

方向ボタン（◀/▶）でどちらかを選んだあと（黄色で選択）（決定）を押してください。
メッセージ画面が消えます。

選択項目が一つ

内容を確認したら（決定）を押してください。
メッセージ画面が消えます。

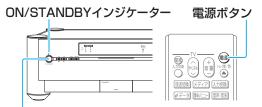
選択項目なし

自動的に消えます。

電源を入れる／番組を見る／ディスクを入れる

電源を入れる

・テレビの電源を入れて、本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換えてください。

1 本体の ⏻ またはリモコン右上の 電源 を押す

電源がはいると、本体の ON/STANDBY インジケーターが、赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。
しばらくすると接続したテレビやモニターなどの画面右上には、「読込み中」アイコンが表示され本機が使えるまでの準備をしていますので、しばらくお待ちください。

起動・ディスクの読み込み・録画終了時に表示されます。

「読込み中」アイコンが消えると準備完了です。

本機とテレビを HDMI 端子で接続したときは

お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れたときや、【設定を出荷時に戻す】（➡応用編 67 ページ）をしたときなどは、出力先の設定が HDMI ではありません。しばらくしてから シフト を押しながら、D端子/HDMI 解像度切換 を押して出力先を HDMI に切り換えます。

本体表示窓　「HDMI」が点灯
HDMI

出力先が HDMI に切り換わると、本体表示窓に「HDMI」が点灯します。

※本体表示窓に、「HDMI」が点灯していても映像が表示されないときは、本機と機器との接続に問題が考えられます。➡接続・設定編18ページをご参考いただき、接続の確認、またはしなおすことをおすすめします。

お知らせ

- お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れたときには、ヘルプ画面が表示されます。メッセージをお読みになり、リモコンの『終了』を押して、画面を閉じてください。
- 本体表示窓に「WAIT」と表示される場合は、本機内部での動作処理中です。起動するまでしばらくお待ちください。

電源の切りかた

本体の ⏻ またはリモコン右上の 電源 を押します。
画面右上に「処理中」のアイコンが表示され、電源が切れて待機状態になります。ON/STANDBY インジケーターは赤に変わります。

ディスクの取出し・終了時に表示されます。

本機を通してテレビを見る

本機の電源がはいったあとは、通常は放映中の映像が接続したテレビに出ています。
番組の選局のしかたについては➡ 40 ページをご覧ください。

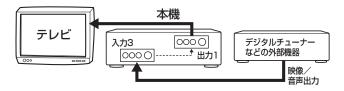
入力 3 スルー機能を使う

デジタルチューナーなどの外部機器を本機背面の入力 3 端子に接続していると、本機の電源を切った状態（待機状態）でもリモコンの 入力3スルー を押すことで、外部機器からの番組が見られます。

約3秒以上長押しする

本機の電源が待機状態でも、接続を変えずに、そのまま見られます。

- 番組選局は、外部チューナー側のチャンネル切換えで行なってください。
- 本機が電源入りの状態で、この機能が働いているときは、本体表示窓に「MONI」が表示されます。
- 入力 3 スルー機能を解除するには、もう一度 入力3スルー を押します。

接続
接続例は、➡接続・設定編 22、23 ページをご覧ください。

- デジタルチューナーなどの外部機器を本機背面の入力 3 端子に接続する
- 出力 1 端子とテレビを接続する
- 本機入力 3 端子（S 端子）と外部機器を接続した場合は、必ず本機出力 1 端子（S 端子）とテレビを接続する
- 本機入力 3 端子（映像／黄）と外部機器を接続した場合は、必ず本機出力 1 端子（映像／黄）とテレビを接続する

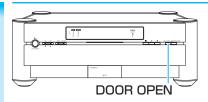
入力 3 端子と出力 1 端子の接続端子の種類が異なると、本機能が働きませんのでご注意ください。

お知らせ

- 入力 3 の D1 映像端子からの映像は、この機能が働きません。
- 『入力 3 スルー』を押してこの機能を使うと、本機から「カチッ」と音がしますが、これは異常ではありません。
- 本機に接続された外部機器の状態や本機の動作状態によっては、入力 3 スルー機能を使うとノイズがはいったり、音量の低下がおこったりすることがあります。そのため録画をするときは、入力 3 スルー機能を使わないでください。

電源を入れる／番組を見る／ディスクを入れる(つづき)

ディスクの入れかた

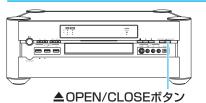
1

本体の DOOR OPEN を押す

前面扉が下がります。

・前面扉の開閉はボタン操作で行ない、前面扉には直接力を加えないでください。直接触れて開閉すると、故障の原因となります。
・前面扉を閉めるときは、EXTENSION 端子を接続しないでください。
・電源を入れた直後などは、前面扉の開閉ができないことがあります。
・ディスクトレイをあけると、自動的に前面扉も開きます。

2

本体の ▲OPEN/CLOSE またはリモコン右上側にある トレイ開/閉 を押す

▲トレイ開／閉ボタン

●カートリッジなし

ラベル面を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

●カートリッジあり

片面ディスク
印刷がある面を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

両面ディスク
記録／再生する面の表示を上にして、矢印を奥に向け、ディスクトレイの溝に合うように奥まで入れます。

ディスクを入れたら本体の「▲ OPEN/CLOSE」またはリモコンの『▲トレイ開／閉』を押してトレイをとじます。

トレイ開　トレイの引出し時に表示されます。

トレイ閉　トレイの収納時に表示されます。

トレイロック機能

ディスクトレイが不意の操作で開かないようにロックできます。

本体の ■ (停止) を押しながら、リモコンの ❚❚ 2かABC を押す

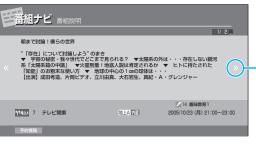
• ロックを解除するときも、停止中に本体の ■ (停止) を押しながら、❚❚ 2かABC を押します。
電源を切ると、ロックは解除されます。

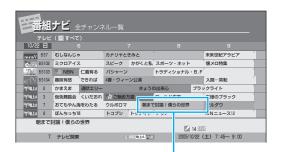
• ディスクトレイの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
• 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
• ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
• ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護機能によって自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損することがありますのでご注意ください。
• 万一ディスクがトレイから取り出せなくなった場合は、いったん本機の電源を切ります。その後本体の「▲ OPEN/CLOSE」またはリモコンの『▲トレイ開／閉』を押せば、本機の電源がはいってディスクトレイが開くことがあります。この操作を行なってもディスクが取り出せない場合は、本取扱説明書の➡ 193ページに記載の「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。
• 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出る DVD-RAM を、本機以外の機器で録画／再生すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので注意してください。
ディスクを初期化して正常な状態に戻した場合は問題なく使用できます。

番組説明について

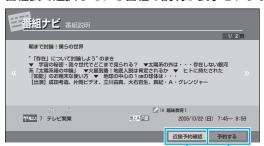
番組表の表示中や、現在番組を見ているときに を押すと、選択している番組の情報が表示されます。ただし、番組ナビの設定が必要です。

・番組によっては番組説明が表示されない場合もあります。
・デジタル放送の番組説明は表示に数分かかることがあります。また、地上デジタル放送を録画中や番組追跡(番組追っかけ)の処理中は他チャンネルの情報を取得できません。この場合は、簡易番組説明が表示されます。

テレビを見ているときに 番組説明 を押す

このマークがある場合、«/»を押すとページがめくれます。

現在見ている番組の番組説明が表示されます。
・ディスクトレイに HD DVD ビデオディスクや DVD ビデオディスクが挿入され、「HD DVD」が選択されている場合は、「メニュー」として動作し、番組説明は表示されません。

カーソルで選択している番組

番組表を表示しているときに を押す

番組表で選択している番組の説明が表示されます。

【近接予約確認】
選択している番組を予約する前に、同じ時間帯にほかに録画予約がないか確認する場合、選びます。

【予約する】
選択している番組を録画予約する場合に、選びます。
選択し、決定を押すと「録画予約(基本的な設定)」に移動します。

見るナビ

「見るナビ　サムネイル一覧（またはタイトルリスト一覧）」を開き、「番組説明」を見たいタイトルを選び、番組説明 を押す

（再生中に 番組説明 を押した場合、再生を停止し、「番組説明」を表示します。）

録画予約一覧

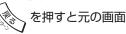
「録画予約一覧」を開き、「番組説明」を見たい予約タイトルを選び、番組説明 を押す

(番組表から録画予約した直後は、番組ナビから引き継いだ番組情報を表示します。)

ライブラリ・編集ナビ

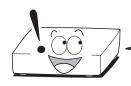
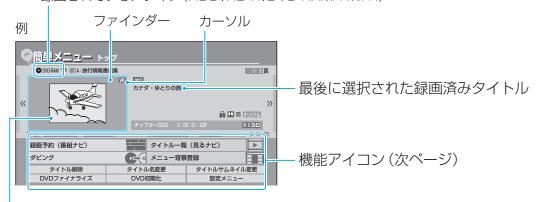
「番組説明」を見たいタイトルを選び、 を押す

→「番組説明」画面が表示されます。

「番組説明」を閉じる場合、 を押すと元の画面に戻ります。

本機を簡単に操作するには(簡単メニュー)

「録る」「見る」「保存する」「消す」などの操作を簡単にできるのが、「簡単メニュー」です。
« » で録画したタイトルを選択したあと、決定 でプレビューや再生ができます。はじめて本機をお使いの場合や、操作に慣れたいときなどに便利です。

準備
- テレビの電源を入れて、テレビ側の入力切換で本機を接続したビデオ入力(例:ビデオ1)に切り換えます。

1 簡単メニュー を押す

「簡単メニュー」画面が表示されます。(表示される画面は操作状態で変わります。)

録画済みの番組の1シーンを表示した小さな画面を「サムネイル」と呼びます。

簡単メニューからの再生のしかた

「簡単メニュー」画面を表示したときには、最後に選択されたタイトルのサムネイルが表示されます。(DVD-R/RW(Videoモード)では本機でダビングされファイナライズされていないものだけが対象です。)

1 « / » でタイトルを選ぶ

録画済みタイトルのサムネイルが表示されます。
(フォルダ機能で施錠されているカギ付フォルダ内のタイトルは表示されません。)
- 表示するドライブを HDD、HD DVD で選びます。

※TS録画(TS画質で録画)(➡48、54~55ページ)されたタイトルのサムネイルは表示されない場合があります。

2 ファインダー上で再生したい番組(タイトル)のサムネイルが表示されたら、▶(5) または 決定 を押す

選んだ番組の再生が始まります。
- ファインダー上で再生中に、決定 を押すと、フルスクリーンで表示されます。
- 再生の操作方法の詳細は、➡110ページ~をご覧ください。

3 ■(8) を押して再生を止める

2 終了するときは、簡単メニュー を押す

機能アイコンの使いかた

で操作したい機能アイコンを選び、決定 を押す

「番組ナビ」画面になります。番組表を使って録画予約をします。
➡73ページ

残したい番組をダビングします。
➡160ページ

「見るナビ」画面になります。
➡110ページ
（録画済みの番組を一覧表示して再生できます。）

ファインダー上に表示されている番組のお好みの場面をDVD-Video作成するときのメニュー背景にできます。
➡155ページ

タイトル削除	ファインダー上に表示されている番組を削除します。メッセージで【はい】を選ぶと、その番組を削除します。
タイトル名変更	ファインダー上に表示されている番組のタイトル名を変更できます。➡113ページ
タイトルサムネイル変更	ファインダー上に表示されている番組のサムネイル画面を変更できます。 ➡113、150ページ
DVDファイナライズ	DVD-R/RWディスクを他のDVDプレーヤーなどで再生したいときに、DVD-VideoまたはDVD-VRファイナライズ処理をします。また、HD-Rのファイナライズ処理をすることもできます。➡168、169ページ
DVD初期化	本機の機能を十分に使うために、新品のHD DVD-RやDVD-RAM/R/RWディスクを初期化します。➡58ページ ※以下の未使用のディスクは、最初に初期化する必要があります。 HD DVD-R ：HDVRモードに初期化が必要 DVD-RAM ：VRモードに初期化が必要（不要な場合もありますが、初期化してお使いになることをおすすめします。） DVD-R ：VRモードで使う場合には、初期化が必要 DVD-RW ：VRモード、Videoモード共に、使うモードに初期化が必要
設定メニュー	設定画面になります。➡応用編52ページ

動作と設定の状態を画面で確認する

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)	DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)

状態表示と設定状況の表示

現在どの部分をどのような設定条件で操作しているかなどを、画面に表示させて確認できます。（ディスクや放送によって内容は異なります。）市販の HD DVD ビデオディスク、DVD ビデオディスクや CD（CD-R/RW などで作成した音楽ディスク（CD-DA）も含む）の状態と設定状況の表示については、➡ 137 ページをご覧ください。

1 ヘルプ 表示切換 を押す

例：内蔵HDD再生中の画面表示

タイトル番号／チャプター番号
タイトル経過時間／チャプター経過時間
裏エンコーダーの状態表示
状態表示
タイトル名
チャプター名
ディスクの種類
選択しているドライブの残量表示

2 もう一度 ヘルプ 表示切換 を押す

本機の設定状態と再生残時間などが表示されます。

・さらに ヘルプ 表示切換 を押すと、表示が消えます。

タイムバーを使う

タイムバーとは、再生や録画で現時点と全体との時間の関係を図式化した表示です。

1 再生中または録画中に タイムバー を押す

タイムバーが表示されます。（ディスクによって内容は異なります。）

例：再生中の画面表示

ロケーター（現在位置を示します。）
チャプター境界
00:00:00　再生位置 00:06:18:08F　1:02:41
経過時間
再生中のタイトルの総時間数

例：録画中の画面表示

ロケーター（現在位置を示します。）
00:00:00　録画位置 00:15:18　00:30:00
経過時間
録画経過時間(30分単位)

2 タイムバーの表示位置を変更するには、方向ボタン(▲/▼)を押す

通常位置とそれより下方の 2 段階で表示位置が切り換えられます。

3 タイムバーを消すには、もう一度 タイムバー を押す

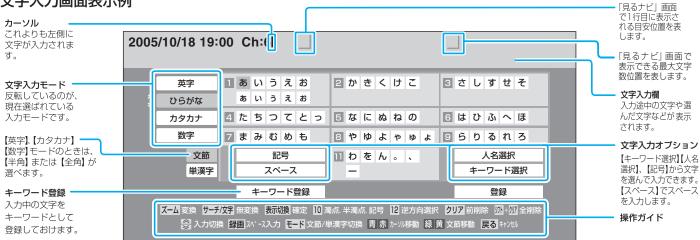
タイムバーの表示が消えます。

文字を入力する

本機では、録画した番組のタイトル名を変更する場合などに、文字入力画面が表示されます。ここでは文字入力画面での文字入力のしかたをご紹介します。

録画した番組のタイトル名を変更したいんだけど、そんなときはどうすればいいの？

ディスク名やタイトル名・チャプター名を画面上の文字入力画面から入力できます。
本機にパソコンなど（DOS/V（Windows搭載）のパソコン対応品）でお使いのUSBキーボードを接続すれば、キーボードを使って文字を入力することができます。➡35ページ
また、「ネットdeナビ」がご使用できる環境の場合、さらに手軽に文字の入力ができます。詳しくは➡応用編34、43ページをご覧ください。

文字入力画面表示例

リモコンのボタンと操作ガイド

文字は次のどちらかの方法で入力します。
- 方向ボタンで選び、（決定）を押す
- 行頭の数字と同じ番号ボタンをくり返し押す
  （たとえば、ひらがなモードでリモコンの（1）を押すごとに、「あ」→「い」→「う」→…と変わります。）

そのほかに使うボタンは画面下部の操作ガイドでお知らせします。

例

ボタン	操作
青／赤	左右にカーソルの位置を移動します。
続き再生 クリア	カーソルより左にある文字を、一文字ずつ削除します。
シフト＋続き再生 クリア	入力欄にある文字を、すべて削除します。
チャンネル カーソル ︿／﹀ チャンネル	入力するモードを切り換えます。
戻る リターン	文字入力をキャンセルして、前の画面に戻ります。
緑／黄	変換する文字群の変換単位を、前後に移動します。
ズーム	ひらがなを漢字に変換します。
サーチ/文字	ひらがなを漢字に変換しないで、ひらがなのまま決定します。
表示切換	変換した漢字を決定します。
+10 10/＊ 小文字	入力した文字を濁点、半濁点文字にしたり大文字、小文字に変換します。

入力モードを切り換える

文字を入力する前に、（チャンネル カーソル ︿）／（﹀ チャンネル）を押して、入力モードを選びます。
選べるモードは以下の四つです。

【英字】：
アルファベットや数字を入力できます。

【ひらがな】：
ひらがなを入力できます。入力したひらがなは漢字に変換できます。

【カタカナ】：
カタカナを入力できます。

【数字】：
数字を入力できます。

- 「文節移動」、「変換」、「無変換」、「確定」は、ひらがなモード以外では使用できません。
- 文字入力モードは、方向ボタンで選び、『決定』を押しても切り換えられます。

文字を入力する(つづき)

文字の入力

カーソルの左側に文字がはいっている場合があります。不要であれば、次のいずれかの方法で文字を削除してください。

文字削除のしかた

- 文字入力欄の文字をまとめて削除する
  シフト を押しながら、続き再生 クリア を押す。
- カーソルの左側の文字を1字削除する
  続き再生 クリア を押す。

例:「ライブtops」を入力する

1 チャンネル カーソル / チャンネル **を押して、入力モードを選ぶ**

カタカナモードを選びます。

2 **番号ボタンで文字を選び、入力する**

9 → 1 → 1 → 6 → 6 → 6 → +10 10/*の順にボタンを押します。

3 チャンネル カーソル / チャンネル **を押して英字モードに切り換えて、手順 2 の要領で文字を選ぶ**

8 → 6 → 6 → 6 → 7 → B 赤 → 7 → 7 → 7 → 7 の順にボタンを押します。
さらに文字を追加する場合は、1、2の手順をくり返します。

4 **文字入力が終わったら、方向ボタンで【登録】を選び 決定 を押す**

画面が変わり、入力したディスク名やタイトル名が表示されます。

■文字入力オプションについて

本機に登録してある「キーワード」やダウンロードした番組データの人名から選んで入力できます。
方向ボタンで選び、決定 を押して切り換えます。

【キーワード選択】:
【通常キーワード設定】(➡95ページ)で登録したキーワードを選んで入力できます。

【人名選択】:
ダウンロードした番組データから人名を選んで入力できます。(【人名選択】は番組表が表示できていることが必要です。➡「番組表と録画予約」章をご覧ください。)

【キーワード登録】:
よく入力するキーワードを登録できます。
詳しくは➡95ページをご覧ください。

【記号】:
特殊な文字や、絵記号などを選んで入力できます。
« / » を押すとページがめくれます。

- 入力できる文字は、最大で全角48文字、半角では96文字(DVDディスクの場合は全角で32文字、半角で64文字)です。

漢字を入力する

例:「後半」を入力する

1 チャンネル カーソル / チャンネル **を押して、ひらがなモードを選ぶ**

2 **番号ボタンで文字を選び、入力する**

2 → 2 → 2 → 2 → 2 → 1 → 1 → 1 → 6 → 11/0 → 11/0 → 11/0

3 ズーム **を押す**

漢字に変換されます。
変換せずにそのままひらがなを入力したい場合は、チーチ/文字 を押して無変換を選びます。
入力したひらがなに下線がついている状態でないと、変換できません。

こうはん ⇒ ズーム ⇒ 公判
(変換を押す)

- 変換したい漢字が1回で出ないときには、ズーム をくり返し押します。
  また、このとき方向ボタン(▲/▼)で前後の候補を選ぶことができます。
- 変換したい漢字が出ないときには、その入力をいったんクリアし、方向ボタンで【単漢字】を選び 決定 を押してから、再度入力して変換しなおします。

4 **希望の漢字が表示されたら、** ヘルプ 表示切換 **で決定する**

ヘルプ 表示切換
(確定を押す)

文節を移動する

変換途中に C 緑 / D 黄 を押すと、隣の文節を選べます。
文節のくくりが正しくないときは、A 青 / B 赤 でカーソルを移動すると変更できます。

USBキーボードを使って文字を入力する

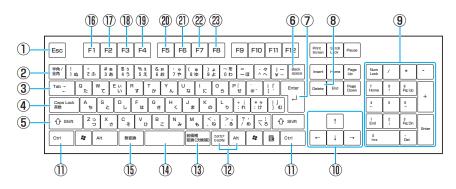
市販の USB キーボードと接続すると、文字入力画面でキーボードを使って文字を入力することができます。接続する USB キーボードの取扱説明書をよくお読みください。

■対応のUSBキーボードについて

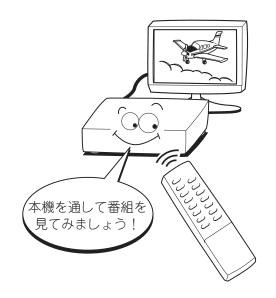
対応のUSBキーボードの条件は『DOS/V（Windows搭載）パソコン用USBキーボード』になります。（接続するUSBキーボードの取扱説明書をよくお読みください。）
対応する市販のUSBキーボードに関しては http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/ をご覧ください
・マウスを使うことはできません。
・接続したキーボードによっては認識しない場合や、対応キーが異なる場合があります。
・データ放送で起動する文字入力画面には、USBキーボードは対応していません。

キーボードの配列と対応キーについて

一般的なキーボードの配列で説明しています。本機に対応しているキーについては以下の通りです。
配列に関しては USB キーボードの取扱説明書をご覧ください。

• ローマ字／かな入力はパソコンで入力したときと同じようにローマ字、またはかな文字入力ができます。
ただし、入力によっては異なる変換がされることがあります。
• パソコンでは可能な、選択範囲での文字のコピーや削除などはできません。

番号	キー名称	対応動作
①	ESC	変換中の文字がある場合：変換中の文字を削除します。 変換中の文字が無い場合：文字入力を終了します。入力内容は破棄されます。 「記号選択」などを表示している場合：リモコンの「戻る」ボタンと同じ動作です。
②	半角 / 全角	英数入力モードのときに半角／全角を切り換えます。
③	Tab	変換中の文字がある場合：動作しません。 変換中の文字が無い場合：半角８文字分のスペースを入力します。
④	CapsLock/英数	変換中の文字が無い場合：押すたびに「ひらがな」→「全角英数」→「ひらがな」…と切り換わります。 変換中の文字がある場合：変換中の文字を確定したあと、押すたびに「ひらがな」→「全角英数」→「ひらがな」…と切り換わります。
⑤	Shift	ほかのキーと組み合わせて使います。
⑥	BackSpace	押すたびにカーソルの左側の文字を一文字削除します。
	Shift ＋ BackSpace	入力した文字を全削除します。

USBキーボードを使って文字を入力する(つづき)

⑦	Enter		変換中の文字があるとき：変換中の文字を確定します。 変換中の文字が無いとき：文字列を登録し、文字入力画面を終了します。 「記号選択」などを表示しているとき：選んでいる記号を決定します。		
	Ctrl + Enter		リモコンの「決定」ボタンと同じ動作です。 文字・項目選択一覧上で、カーソルが選んでいる項目を決定します。		
⑧	Delete		押すたびにカーソルの右側の文字を一文字削除します。		
⑨	テンキー	0/Ins	NumLock がオン：「0」が入力されます。 NumLock がオフ：動作しません。	6/ →	NumLock がオン：「6」が入力されます。 NumLock がオフ：→キーと同じ動作をします。
		1/End	NumLock がオン：「1」が入力されます。 NumLock がオフ：動作しません。	7/Home	NumLock がオン：「7」が入力されます。 NumLock がオフ：動作しません。
		2/ ↓	NumLock がオン：「2」が入力されます。 NumLock がオフ：↓キーと同じ動作をします。	8/ ↑	NumLock がオン：「8」が入力されます。 NumLock がオフ：↑キーと同じ動作をします。
		3/PgDn	NumLock がオン：「3」が入力されます。 NumLock がオフ：動作しません。	9/PgUp	NumLock がオン：「9」が入力されます。 NumLock がオフ：動作しません。
		4/ ←	NumLock がオン：「4」が入力されます。 NumLock がオフ：←キーと同じ動作をします。	./Del	NumLock がオン：「. 」が入力されます。 NumLock がオフ：Delete キーと同じ動作をします。
		5	NumLock がオン：「5」が入力されます。 NumLock がオフ：動作しません。	NumLock	テンキーを数字入力モードに切り換えます。
		/	「/ 」が入力されます。	*	「* 」が入力されます。
		-	「- 」が入力されます。	+	「+ 」が入力されます。
		Enter	変換中の文字があるときは、変換中の文字の確定します。		
⑩	方向キー	↑キー	文字列の先頭に移動します。 「記号選択」などを表示しているときは、上にカーソル移動します。		
		↓キー	文字列の末尾に移動します。 「記号選択」などを表示しているときは、下にカーソル移動します。		
		←キー	変換中の文字がある場合：押すたびに、変換中の文字列内でカーソルが左側へ一文字移動します。 変換中の文字が無い場合：押すたびに、カーソルが左側へ一文字移動します。上に行があるときに、文字列の左端にカーソルが来たときは、上の行の右端へ移動します。 「記号選択」などを表示しているときは、左にカーソル移動します。		
		→キー	変換中の文字がある場合：押すたびに、変換中の文字列内でカーソルが右側へ一文字移動します。 変換中の文字が無い場合：押すたびに、カーソルが右側へ一文字移動します。下に行があるときに、文字列の右端にカーソルが来たときは、下の行の左端へ移動します。 「記号選択」などを表示しているときは、右にカーソル移動します。		
	Ctrl +方向キー		リモコンの方向ボタンと同じ動作です。 文字・項目選択一覧上で、カーソルを移動させることができます。		
⑪	Ctrl キー		ほかのキーと組み合わせて使います。		
⑫	Alt +カタカナ／ひらがな		「Alt」+「カタカナ / ひらがな」で、ローマ字入力／かな入力の切換えをします。		
⑬	前候補 変換（次候補）		変換中の文字がある場合：押すたびに次の変換候補の文字へ切換えます。 変換中の文字が無い場合：動作しません。		
	Shift +前候補 変換（次候補）		変換中の文字がある場合：押すたびに前の変換候補の文字へ切換えます。 変換中の文字が無い場合：動作しません。		
⑭	スペース		変換中の文字がある場合：押すたびに変換候補の文字を切換えます。 変換中の文字が無い場合：スペースが入力されます。		
⑮	無変換		変換中の文字が無い場合：押すたびに「ひらがな」→「全角カタカナ」→「ひらがな」…と切り換わります。 変換中の文字がある場合:変換中の文字を無変換で確定したあと、押すたびに「全角カタカナ」→「ひらがな」→「全角カタカナ」…と切り換わります。		
	Shift + 無変換		変換中の文字が無い場合：現在の入力モードから押すたびに→「全角英数」→「半角英数」→「全角英数」…と切り換わります。 変換中の文字がある場合：変換中の文字を確定したあと、押すたびに→「全角英数」→「半角英数」→「全角英数」…と切り換わります。		
⑯	F1		「記号選択」一覧が表示されます。		
⑰	F2		「人名選択」一覧が表示されます。		
⑱	F3		「キーワード選択」一覧が表示されます。		
⑲	F4		「キーワード登録」一覧が表示されます。		
⑳	F5		文字入力を英字モードに切り換えます（USB キーボードでは英数字入力の動作になります)。		
㉑	F6		文字入力をひらがなモードに切り換えます。		
㉒	F7		文字入力をカタカナモードに切り換えます。		
㉓	F8		文字入力を数字モードに切り換えます（USB キーボードでは英数字入力の動作になります)。		

2 番組を楽しむ

本機を通して、テレビ放送を視聴するための方法や便利機能についてご紹介します。

放送の種類を表すマークについて

■特定の放送にだけかかわる機能や操作手順である場合に、以下のマークを表記しています。
マークがついていない機能や手順は、すべての放送が対象です。

マーク	表す放送メディアの種類
地上アナログ	地上アナログ放送
地上デジタル	地上デジタル放送
BSデジタル	BSデジタル放送
CSデジタル	110度CSデジタル放送

・各放送についての詳細は
➡38ページをご覧ください。

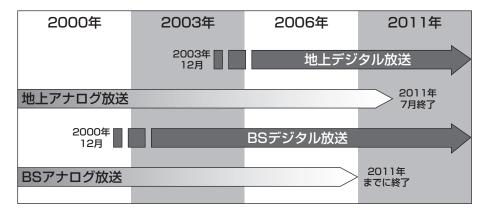
受信できるテレビ放送について

放送の種類	説明	本機で利用できる主なサービス（○：利用できる　×：利用できない）			
		番組表（DEPG）	字幕放送	データ放送	双方向サービス
地上アナログ 地上アナログ	・従来のNHKや民放各局の地上波のテレビ放送（VHF/UHF）です。	○	×	×	×
地上デジタル 地上デジタル	・地上波のUHF放送（13～62ch）の周波数帯域を使って行なうデジタル放送です。アナログ放送は、今後このデジタル放送に変わっていきます。 ・最新のデジタル技術を活用することで、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送をお楽しみいただけます。 ・音声信号を効率よく圧縮して放送することができ（デジタルオーディオ：MPEG2 AAC方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに、5.1chのサラウンド放送も行なわれています。 ・放送は各地域の放送局から送信されます。地域密着型データ放送や、双方向通信サービスによる視聴者参加型プログラムなども予定されています。	○	○	○	○
BSデジタル BSデジタル	・ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行なわれる放送のため、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。	○	○	○	○
110度CSデジタル CSデジタル	・通信衛星（Communications Satellite）を使って行なう放送です。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。 ・ほとんどの番組は有料です。 ・スカパー！110への加入申込みと契約が必要です。	○	○	○	○

■110度CSデジタル放送について

「スカパー！ 110」にはCS1とCS2の二つの放送サービスがあります。

■アナログ放送からデジタル放送への移行について

・地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも2006年末までに放送が開始される予定です。
該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

• 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。
• 地上デジタル放送では、携帯電話などで受信できる部分受信サービスが実施され、車や電車などでの移動体受信サービスが予定されています。本機では移動体受信サービスは受信できますが、部分受信サービスは受信できません。

テレビ放送について

デジタルハイビジョン放送を中心に、5 種類のフォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送			プログレッシブ放送	通常放送（従来のBSアナログ放送と同じレベルの画質）
放送フォーマット	1125p(1080p) 放送	1125i(1080i) 放送	750p（720p）放送	525p（480p）放送	525i（480i）放送
走査線の数	1125 本（有効 1080 本）	1125 本（有効 1080 本）	750 本（有効 720 本）	525 本（有効 480 本）	525 本（有効 480 本）
走査の方式	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3
映像の種類	HD 映像	HD 映像	HD 映像	SD 映像	SD 映像

デジタルハイビジョン放送 1 番組と通常放送 3 番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。
HD 映像：高画質デジタルハイビジョン映像
SD 映像：標準テレビ映像

ラジオ放送について

●ラジオ放送は、BS デジタルおよび 110 度 CS デジタル放送で行なわれています（2006 年 3 月現在、110 度 CS デジタル放送ではラジオ放送は放送されていません。）
●地上デジタル放送では行なわれていません。
（ラジオ放送とは別の音声放送は行なわれています。）
●静止画や動画を使ったデータ付きのラジオ放送もあります。

データ放送について

●番組連動データ放送
デジタル放送の番組に関連したデータ放送です。（例：野球放送中に他球場の速報を放送、クイズ番組への参加、など）
●独立データ放送
番組とは無関係の独立したデータ放送です。（例：天気予報、ショッピング情報（オンライン通販）、など）
※本機は ep サービスに対応していません。
（ep サービスは、イーピー株式会社が提供する事前蓄積用データ放送サービスです。）
●双方向通信サービス
電話回線などを使用した、視聴者参加型のサービスです。番組連動データ放送や独立データ放送で、画面に表示される操作ガイドに従って、リモコンのカラーボタンなどで操作をします。
双方向通信サービスに使用される通信方式には、以下の三種類があります。
※使用される通信方式は双方向通信サービスを行なう事業者によって異なります。詳しくは、各事業者にお問合せください。

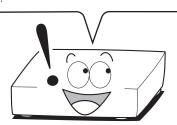
①電話回線を使用した基本通信
・本機の電話回線接続端子を使った通信です。
・地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送で使用されます。
・接続・設定については➡接続・設定編 24 ～ 26、53 ページをご覧ください。

②イーサネット通信
・本機の LAN 端子を使用したネットワーク通信です。ADSL や CATV などによる通信があります。
・地上デジタル放送で使用されます。
・接続・設定については➡応用編 12、14 ～ 16 ページをご覧ください。

③ダイヤルアップ通信
・本機の電話回線接続端子を使用したネットワーク通信です。
・地上デジタル放送では、番組によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合に使用されます。
また、ダイヤルアップ通信を使用する場合は、【通信接続方法選択】を【イーサネット優先】にしてください。（お買い上げ時は【イーサネット優先】に設定されています。詳しくは➡接続・設定編 52 ページをご覧ください。）

番組の選びかた

本機を通して、番組を見てみましょう！テレビ側の入力切換で本機を接続したビデオ入力（例：ビデオ 1）に切り換えてね！

1 放送切換 を押して、放送を選ぶ

本体表示窓

地上 A※	：地上アナログ放送
地上 D	：地上デジタル放送
BS	：BS デジタル放送
CS	：110 度 CS デジタル放送

- ボタンを押すたびに、地上A※→地上D→BS→CS→地上A※…と切り換わります。

※「TS」を選択中の場合、地上Aは表示されません。

2 デジタル放送(地上D・BS・CS)の場合は、メディア を押して、メディアを選ぶ

- ボタンを押すたびに、テレビ→(ラジオ)→データ→テレビ…と切り換わります。
- 地上Dの場合はラジオ放送はありません。

3 チャンネルを選ぶ

- 以降の選局方法の中から選んで行なってください。

番号ボタンを押して選局する

1 シフト を押しながら、番号ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

シフト ＋ 1～12

- 1～12の番号に割りあてられた放送局が選べます。
（割りあてる放送局を変更するには➡接続・設定編 38、44 ページ）

■お買い上げ時に設定されている内容

●手順1でBS（BSデジタル放送）を選択したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
シフト＋1	NHK BS1	101	BS デジタル放送
シフト＋2	NHK BS2	102	
シフト＋3	NHK ハイビジョン	103	
シフト＋4	BS 日テレ	BS テレビのチャンネル	
シフト＋5	BS 朝日		
シフト＋6	BS-i		
シフト＋7	BS ジャパン		
シフト＋8	BS フジ		
シフト＋9	WOWOW		
シフト＋10/＊	スターチャンネル		

●手順1でCS（110度CSデジタル放送）を選択したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
シフト＋1	CS プロモーション CH	001	110 度 CS デジタル放送
シフト＋2	CS プロモーション CH	100	

※他のボタンには設定されていません。

チャンネル（チャンネル カーソル / チャンネル）ボタンで選局する

1 チャンネル（チャンネル カーソル / チャンネル）を押して、チャンネルを選ぶ

- チャンネルを順送りで選局します。

3けたチャンネル番号を入力して選局する

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル　※地上アナログ放送の場合は2けた入力になります。

1 CH番号入力 を押す

- 画面左上に3けた入力欄が表示されます。

チャンネル番号入力：地上D - - -

2 番号ボタンを押して、3けたチャンネル番号を入力する

3 決定 を押す

- 入力したチャンネルに切り換わります。

■「⁎」マークを使った入力方法

見たいチャンネルの3けたの番号がはっきりわからないとき、+10 10/* を使って、次のように選ぶことができます。

例1：BSデジタル放送を選んでいる状態で、300番台のBSチャンネルを見たいとき

CH番号入力 → 3 → +10 10/* と押す

・300番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

例2：BSデジタル放送を選んでいる状態で、450番台のBSチャンネルを見たいとき

CH番号入力 → 4 → 5 → +10 10/* と押す

・450番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

■枝番号の異なる放送を選局するには（地上デジタル放送）

枝番号とは、将来多くの地域で地上デジタル放送が開始され、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に追加される番号のことです。

（例） 手順2）で入力した3けたチャンネルに枝番号がある場合

- 画面左上に枝番号チャンネル選択の表示がでます。

方向ボタン（▲/▼）で放送局を選び、決定 を押して選局します。

番組を楽しむ

番組情報を見る

1 番組を視聴中に、 を押す

・番組情報が表示されます。

（例） 番組説明画面

・2ページ以上ある場合は « / » を押してページを切り換えます。

2 番組説明を消すには、もう一度 を押す

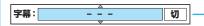
・視聴していた画面に戻ります。

字幕を切り換える

地上デジタル BSデジタル CSデジタル

・字幕のある番組をご覧のとき、字幕の表示切換えをすることができます。

1 字幕 を押す

・現在の字幕設定が表示されます。

設定番号および言語

2 方向ボタン（▶）で【入】または【切】を選び、字幕 を押して切り換える

・【切】にすると字幕は表示されません。

3 【入】にした場合は、方向ボタン（◀）で【字幕】を選び、字幕 を押して好きな言語を選ぶ

・方向ボタン（▲/▼）で選ぶこともできます。
・字幕設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

お知らせ
・『クイックメニュー』からも、字幕の切換えができます。（➡45ページ）

データ放送を見る

地上デジタル BSデジタル CSデジタル

1 データ放送のある番組を選局し（➡ 40 ページ）、データ を押す

・データ放送の画面が表示されます。

2 方向ボタンで見たい項目を選び、決定 を押す

・番組によって、カラーボタンや番号ボタンを使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。

・データ放送中に番号ボタンや文字入力画面で文字を入力する場合、『シフト』を押しながら番号ボタン、各文字入力ボタンを押してください。
・サービスの種類によっては、電話回線を使用する場合があります。電話回線の接続・設定については➡接続・設定編24〜26、53ページをご覧ください。
・データ放送を表示中に、各ナビ画面などを表示させた場合、データ放送が表示されなくなることがあります。
・「TS」または「VR」でデジタル放送を録画中のときはデータ放送は見られません。

音声を切り換える

・主音声と副音声がある番組をご覧のとき、音声を切り換えて楽しむことができます。

1 音声/音多 を押す

・現在の音声設定が表示されます。

2 音声設定の表示中に 音声/音多 をくり返し押して好きな音声を選ぶ

二重音声の番組

「主」（主音声）→「副」（副音声）→「主＋副」（主音声＋副音声）（→「主」に戻る）

・『クイックメニュー』からも、音声の切換えができます。（➡44ページ）
マルチ音声の場合は、クイックメニューから切り換えます。

マルチビュー放送を見る（映像切換）

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

・マルチビュー放送とは、複数の映像（音声・データも含む）を同じチャンネルで楽しむことができる放送です。

1 マルチビュー放送を行なっている番組を選局する

2 アングル を押して、見たい映像を選ぶ

・押すたびに、映像が切り換わります。

たとえば、野球中継で、3方向(バックネット裏、真上、バックスタンド)からの映像を切り換えて見るときに使います。

- 『クイックメニュー』からも、映像切換ができます。（➡44ページ）
- 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。(これをマルチビューサービスといいます。)

文字スーパー表示の設定を変更する

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

・デジタル放送は、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。
文字スーパー表示の入／切と、表示言語の設定を変更することができます。(お買い上げ時は【入】で日本語を優先で表示する設定になっています。)
詳しくは➡接続・設定編 65 ページをご覧ください。

有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)を購入して見る

BSデジタル　CSデジタル

- 有料放送を番組単位で購入して見ることができます。
- 有料チャンネルを見るには、放送事業者との契約が必要です。また、ペイパービュー（番組単位で購入）を視聴・録画するには、以下の購入操作が必要です。

1 ペイパービューの番組を選局し、決定 を押す

・番組によっては、プレビュー画面が表示されます。(プレビューとは、有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービスです。)

2 方向ボタンで項目を選び、決定 を押す

この番組はﾍﾟｲ･ﾊﾟｰ･ﾋﾞｭｰ番組です。
D 1 コピー　コピー　コピー
購入料金：　¥10000
PPV 料金
購入しますか？
購入する　しない
◀ ▶ で選び 決定 を押す

・番組によって、選べる項目が変わります。

購入する：　番組を購入したことになり、視聴できます。
コピーガードのある番組は、録画ができません。
購入しない：番組を購入しません。
視聴購入：　料金を払うと視聴できますが、コピーガードのある番組は録画ができません。
録画購入：　料金を払うと視聴と録画ができます。

■視聴制限がはたらいている場合

この番組には視聴制限があります。
・視聴年齢制限を超えています。
視聴するには 決定 を押す

・左のメッセージが表示されます。購入する場合は以下の操作を行ないます。

① 決定 を押す
暗証番号入力画面になります。
②番号ボタンで暗証番号を入力する

次の設定をしてください。
・暗証番号設定
・視聴年齢制限設定
設定の方法は取扱説明書をご覧ください。

・左のようなメッセージが表示されたら、以下の設定をしてください。

・暗証番号の設定(➡接続・設定編66ページ)
・視聴年齢制限の設定(➡接続・設定編67ページ)
・番組購入限度額の設定(➡接続・設定編68ページ)

お知らせ

- 番組購入後は、視聴購入から録画購入への変更、またはその逆の変更はできません。
- 複数の映像・音声・データを視聴するには追加購入が必要な場合があります。この場合は、購入したい映像／音声／データに切り換えてから追加購入してください。
- 録画予約を登録したときに購入することはできません。放送開始時に録画購入の操作を行なってください。
- TS録画(➡48、54～55ページ)をするときは、あとで視聴したいものはすべて追加購入の操作を行なってください。

番組を楽しむ(つづき)

クイックメニューからの切換（デジタル放送）

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

・『クイックメニュー』からでも、デジタル放送の信号（映像・音声・データ・字幕・降雨対応）を切り換えられます。

1 デジタル放送を視聴中に

を押す

2 方向ボタン（▲/▼）で【信号切換】を選び、決定を押す

・【信号切換】は、デジタル放送を視聴中のときだけ表示されます。

3 各項目選択へ

映像を切り換える（マルチビュー放送のとき）

1 【映像切換】を選び、決定を押す

映像切換
音声切換
データ切換
字幕切換
降雨対応放送切換

2 見たい映像を選ぶ

（例）

映像：1/3　映像1

データを切り換える（データ放送のとき）

1 【データ切換】を選び、決定を押す

映像切換
音声切換
データ切換
字幕切換
降雨対応放送切換

2 見たい項目を選ぶ

（例）

データ：1/1　データ1

音声を切り換える（マルチ音声のとき）

1 【音声切換】を選び、決定を押す

映像切換
音声切換
データ切換
字幕切換
降雨対応放送切換

2 好きな音声を選ぶ

（例）

音声：2/4　音声2

字幕を切り換える（字幕放送があるとき）

1 【字幕切換】を選び、決定 を押す

映像切換
音声切換
データ切換
字幕切換
降雨対応放送切換

2 好きな字幕を選ぶ

（例）

字幕：1 日本語 入

降雨対応放送に切り換える

BSデジタル　CSデジタル

- 衛星を利用した放送では、雪や雨などの影響で電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。その場合でも、降雨対応放送が行なわれているときには、以下の操作で放送が見られます。

1 【降雨対応放送切換】を選び、決定 を押す

- 降雨対応放送が行なわれているときだけ、メニューが表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で【降雨対応放送】を選び、決定 を押す

（例）

降雨対応放送：降雨対応放送

- 通常の放送に戻すときは、ここで【通常の放送】を選び、決定 を押します。

- 放送の電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品質が落ちる場合があります。
- 録画中に、降雨対応放送に自動的に切り換わることがあります。
- TS録画（デジタル放送をTS画質で録画）中に降雨などで通常の受信ができなくなると、その間の録画は一時停止状態になります。

3 録画の前に

本機で録画をする前に知っておきたいことや準備について説明しています。

録画についてのお知らせ

同時録画（W 録）について

本機では、以下の場合に、同時刻または放送時間が重なる二つの録画／予約録画ができます。
目的に合わせて同時録画を使いこなしましょう。

本機での録画のしくみについて

放送メディア

デジタル
- 地上デジタル放送
- BSデジタル放送
- CSデジタル放送

アナログ
- 地上アナログ
- ライン1
- ライン2
- ライン3

本機に接続したチューナー（スカパー！）など

- ラインU

W録（エンコーダー※）

TS

VR

録画品質
SP
LP
MN
（A1）
（A2）
（DL）

TS録画 ②

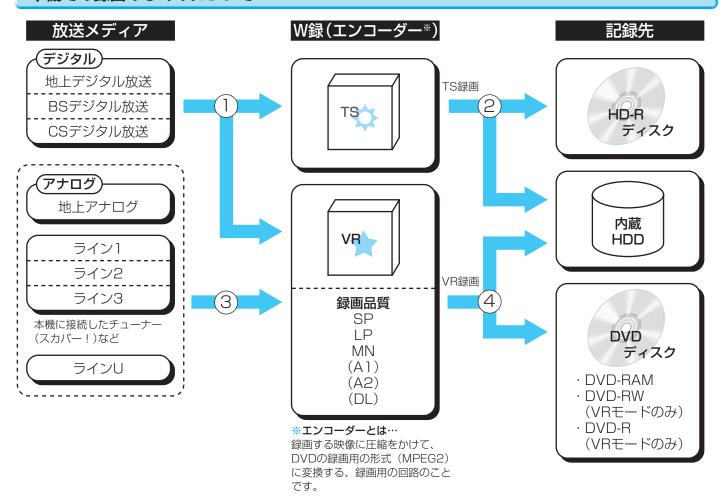
VR録画 ④

記録先

HD-R ディスク

内蔵 HDD

DVD ディスク
- DVD-RAM
- DVD-RW（VRモードのみ）
- DVD-R（VRモードのみ）

※**エンコーダーとは…**
録画する映像に圧縮をかけて、DVDの録画用の形式（MPEG2）に変換する、録画用の回路のことです。

① デジタル放送の番組を、ハイビジョン画質や5.1ch音声をそのままに録画するには、「TS」を選びます。デジタル放送の番組を、画質や音質は下がっても、内蔵HDDの容量を節約したいときや、DVDディスクに録画をしたいときは、「VR」で任意の録画品質（SP、LP、MN）を選んで録画します。

② HD-Rへの直接録画は、本機内蔵のデジタルチューナーを使ったTS録画のみ、対応しています。

③ デジタル放送以外の録画は、すべて「VR」で、任意の録画品質（SP、LP、MN、A1、A2、DL）を選んで録画します。

④ 「VR」では記録先に「内蔵HDD」または「DVD」ディスクが選択できます。「1回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組は、内蔵HDD、DVD-RAMまたはCPRM対応のDVD-R/RWに録画できます。また、HD-RとDVD-R/RW（Videoモード）には、本機では番組を直接録画することはできません。

CSデジタル放送などの有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)を録画する際の注意

有料放送（録画が禁止されていない）を録画する際、以下の点にご注意ください。
録画予約した有料放送のあとに録画時間が重なる他の録画予約があると、同時録画の条件※に合わない録画や録画優先度※が同じ録画は、あとの時間帯から始まる録画を優先して録画します（他の録画予約時間がくると、有料／無料にかかわらず録画を停止して、あとの時間帯の録画を開始します）。有料放送や録り逃したくない番組などを録画する際は、時間帯が重なる録画がないかご確認ください。
番組購入後の【視聴購入】、【録画購入】の変更はできません。

※「同時録画の条件」については➡48ページをご覧ください。
※「録画優先度」については➡76ページをご覧ください。

録画中にコピーガード信号を検出した場合

コピー禁止（コピーガード）の映像は録画できません。
録画中にコピーガード信号を検出した場合には、録画は自動的に一時停止し、画面にはメッセージが表示されます。この状態は『一時停止』ボタンを押しても解除できません。（『停止』ボタンで録画を停止させることはできます）コピーガード信号が継続して検出されると録画を停止します。

録画についてのお知らせ(つづき)

W 録でできる同時動作

本機では、以下のような組合せで、二つの番組の録画（同時録画）や、録画中の再生などができます。

■できることの例

	TS		VR		その他の動作
可	HDDへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	HDDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	HDDまたはHD DVD側の再生
可	HDDへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	HDDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	録画中の番組の追っかけ再生
可	HDDへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	DVDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	HDDの再生
可	−		HDDまたはDVDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	TSでのTVお好み再生
可	HDDへデジタル放送を録画（TS録画）		−	をしながら	アナログ放送のTVお好み再生
可	−		HDDへデジタル放送をTS以外の画質で録画（VR録画）	をしながら	HDDまたはHD DVD側の再生（TS録画のタイトルを除く）
可	−		HDDへデジタル放送をTS以外の画質で録画（VR録画）	をしながら	録画中の番組の追っかけ再生
可	−		DVDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	HDD内ダビングまたはLANへの高速そのままダビング（コピー）
可	−		HDDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	HDDからHD DVD側へ高速そのままダビング（コピー）
可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	HDDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	HDDの再生
可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	HDDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	アナログ放送の追っかけ再生
可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）		−	をしながら	HDD内ダビングまたはLANへの高速そのままダビング（コピー）
可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）		−	をしながら	HDD内のタイトルを、接続しているDLNA対応機器へ配信（配信が可能なタイトルのみ）

■できないことの例

	TS		VR		その他の動作
不可	HDDへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	HDDへデジタル放送をTS以外の画質で録画（VR録画）		–
不可	–		DVDへアナログまたはデジタル放送を録画（VR録画）	をしながら	DVDの再生
不可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）		–	をしながら	録画中の番組の追っかけ再生
不可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）		–	をしながら	デジタル放送のTVお好み再生
不可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）		–	をしながら	HD-R内の再生
不可	HD-Rへデジタル放送を録画（TS録画）	をしながら	HDDへアナログ放送を録画（VR録画）	をしながら	ダビング全般

- 同時動作の組み合わせによっては、以下の動作ができません。
  「市販の HD DVD ディスク、DVD ビデオディスクまたは音楽 CD を再生をしているとき」
  - 各ナビ画面の表示
  - ネット de モニターなどのネット de ナビ機能全般

本機で録画が可能なディスク

録画／再生ができます

記録メディアの種類	ロゴ	記録対応メディア	記録フォーマット	特長	対応している録画方法	1回だけ録画可能な番組の録画
内蔵 HDD（ハードディスク）		1TB（1000GB）	TS（内蔵デジタルチューナー）／VR（Video モード互換）互換	くり返し録画可能	TS 録画 VR 録画	○ 可
HD DVD-R	HD DVD R	片面 1 層 15GB（12cm）	HDVR モード *5（TS/VR 録画互換対応）	一回だけ録画が可能	TS 録画	○ 可（AACS 対応ディスクのみ）
	HD DVD R DL	片面 2 層 30GB（12cm）				○ 可（AACS 対応ディスクのみ）
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	片面1層 4.7GB（12cm）／両面1層 9.4GB（12cm）／カートリッジ対応 /CPRM 対応 Ver.2.0 Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0 Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0	VR モード	くり返し録画可能	VR 録画	○ 可（CPRM 対応ディスクのみ）
DVD-RW*2	DVD RW	片面1層 4.7GB（12cm）/CPRM 対応 Ver.1.1 Ver.1.1/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0 Ver.1.2/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0 Ver.1.2/6X-SPEED DVD-RW Revision 3.0	VR モード	くり返し録画可能	VR 録画	○ 可（CPRM 対応ディスクのみ）
			Video モード *4		—	× 不可
DVD-R	DVD R	片面1層4.7GB（12cm）/CPRM対応 for General Ver.2.0 for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0 for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0 for General Ver.2.x/16X-SPEED DVD-R Revision 6.0	VR モード	一回だけ録画が可能	VR 録画	○ 可（CPRM 対応ディスクのみ）
			Video モード *4		—	× 不可
		片面 2 層 8.5GB（12cm） for General Ver.3.0/4X-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0	VR モード	一回だけ録画が可能	VR 録画	○ 可（CPRM 対応ディスクのみ）
			Video モード *4		—	× 不可

*1 推奨ディスク、確認済ディスクについて、動作確認はしておりますが、すべてのディスクの動作を保証するものではありません。

*2 DVD-RWについて
- ビデオ用、録画用、120minなどの表示があるディスクを選んでください。
- 録画が禁止または制限されている映像(コピー禁止やコピーワンス)は、Videoモードでは録画できません。コピーワンスの映像を録画するには、CPRM対応の表示があるディスクを、VRモードで初期化してご使用ください。
- くり返し録画ができる回数には限りがあります。また、くり返し録画を行なうなどで記録層の劣化が進むと、本機で録画再生が可能でも、他機種やパソコンでの再生ができなくなる場合があります。

*3 DVD-Rについて
- DVD-Rの場合、一度初期化をすると、再度初期化しなおすことはできません。また、VRモードに初期化をしても、他のディスクと違い、編集回数などの編集機能にいくつかの制限があります。

*4 **DVD-R/RWをVideoモードでお使いになる場合、本機では「高速そのままダビング」と「DVD-Video作成」だけのご利用となります。DVD-R/RW（Videoモード）に番組を直接録画することはできません。**

*5 **HD-RにVRで番組を直接録画することはできません。内蔵HDDにVR録画したタイトルを「高速そのままダビング」でダビング（移動またはコピー）してください。**
また直接TS録画、または内蔵HDDからダビング（移動またはコピー）する際、録画したい番組やダビングしたいタイトルによっては、それらができないことがあります。

●万一、何らかの不具合が発生した場合でも、録画／編集ができなかった内容の補償、録画／編集されたデータの損失、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
以下のような場合に発生した不具合も含まれます。
- 本機で録画したHD-RやDVDディスクを他社のHD DVDまたはDVDレコーダーやパソコンのHD DVDまたはDVDドライブで動作（挿入、再生、録画、編集など）させた場合。
- 上記の動作を行なったDVDディスクを、再び本機で動作させた場合。
- 他社のHD DVDまたはDVDレコーダーやパソコンのHD DVDまたはDVDドライブで記録したDVDディスクを本機で動作させた場合。

●PC用のディスクではライブラリ機能など一部の機能が正常に働かない場合があります。

初期化	推奨ディスク／確認済みディスク *1
不要（設定メニューから初期化もできます）	
必要	**推奨ディスク** 推奨ディスクに関しては、当社ホームページをご覧ください。 http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/
必要	
必要（初期化済みのディスクもあります）	**推奨ディスク** Panasonic（2X、3X、5X）
必要	**推奨ディスク** ビクター・JVC（2X、4X、6X）
必要	
必要 *3	**推奨ディスク** 太陽誘電（4X、8X、16X） 東芝 RD-RVR 120（CPRM 対応） 東芝 RD-RVR 120P5（CPRM 対応） 太陽誘電 DR-C12WTY5PA（CPRM 対応） 太陽誘電 DR-C12WPY10SA（CPRM 対応） 太陽誘電 DR-C12WPY10BA（CPRM 対応） 日立マクセル DRD120B.1P（CPRM 対応） 日立マクセル DRD120B.1P5S（CPRM 対応）
不要（初期化すると VR モードになってしまいます）	
必要 *3	**確認済ディスク** 三菱化学メディア（4X）
不要（初期化すると VR モードになってしまいます）	

HD-R や DVD ディスク使い分けのヒント

■ 内蔵 HDD に録画した TS 録画タイトルを保存するには…HD-R

DVDディスクとは異なり、HD-Rディスクには本機内蔵のデジタルチューナーで録画したTS録画タイトルをそのままの画質でダビング(移動)できます。
※録画したデジタル放送番組によっては、ダビング(移動)できないことがあります。

■ たいせつな映像を保存するには…DVD-RAM

たいせつな映像を保存するにはカートリッジ付き DVD-RAM をお使いください。カートリッジ付きは両面ディスクでも扱いやすく、保存性にも優れています。

■ DVD プレーヤーなどの他の DVD 機器で再生するには…DVD-R（Video モード）

DVD プレーヤーなど他の DVD 機器で再生したい場合は、互換性の高い DVD-R（Video モード）をお使いください。ただし、DVD-R DL（2 層）を他の DVD 機器で再生する場合は、DVD-R DL（2 層）に対応しているかご確認ください。
はじめにフォーマット (初期化) をしないで使用すると、DVD プレーヤーなどの互換性のある他の DVD 機器で再生できる Video モードとなります。
DVD-R は記録が 1 回しかできず、記録済みのタイトルを消去しても容量は増えません。また、他の DVD 機器で再生したい場合は、ファイナライズ（終了処理）が必要です。

■ 他の DVD プレーヤーなどで再生するには…DVD-RW（Video モード）

ディスクにすでに書かれている録画内容を消して、くり返し使うとき、また、DVD プレーヤーなど他の DVD 機器で再生したい場合は DVD-RW をお使いください。
ただし、一部の DVD 機器では再生できないことがあります。
使用する前にフォーマット (初期化) が必要です。他の DVD 機器などで再生するためにはファイナライズ（終了処理）が必要です。

ディスクの内容の区分

●DVD-RAM/R/RWまたは内蔵HDDに録画をした場合、1回の録画を一つの「タイトル」として収録します。
●「タイトル」は本機の編集機能で「チャプター」という小さい区切りに分けることができます。

タイトル： 1回の録画内容を一つの「タイトル」とします。
チャプター： タイトルの内容を、場面ごとにさらに小さく区切ったものです。

ディスクの取扱いかた

●再生面には手を触れないでください。
●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。メガネふきのような柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
●ディスクの説明書もよくお読みください。

ディスクの保管のしかた

●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。
●ディスクの説明書もよくお読みください。

本機で録画が可能なディスク(つづき)

記録先・録画方法やモード別の「できること」一覧表

ディスクの種類やモードの違いによって、以下のような差があります。
ディスク選択やモード選択の際の参考にしてください。

記録先と録画方法や記録モード ／「できること」	HDD		HD DVD-R (HDVR モード)		DVD-RAM (VR モード)	DVD-RW		DVD-R	
	TS 録画	VR 録画	TS 録画	VR 録画	VR 録画	VR 録画 (VR モード)	Video モード	VR 録画 (VR モード)	Video モード
デジタル放送の録画	○	○	○*8	○*8	○	○	× ただしコピーフリーの番組は可	○	× ただしコピーフリーの番組は可
アナログ放送の録画	—	○	×	○*8	○	○	○	○	○
外部入力からの録画	×	○	×	○*8	○	○	○	○	○
一回だけ録画可能な番組の記録	○	○	○ (AACS対応ディスクのみ)	○*8 (AACS対応ディスクのみ)	○ (CPRM対応ディスクのみ)	○ (CPRM対応ディスクのみ)	×	○ (CPRM対応ディスクのみ)	×
二カ国語放送の両音声の録画（アナログ放送同等の二カ国語音声）	○	○	○	○*8	○	○	×	○	×
二カ国語放送の両音声の録画（マルチ音声）	○	×	○	×	×	×	×	×	×
二カ国語放送の両音声の録画音声について（DVD 互換モードの選択）	—	○*2	—	○*2、*8	○*2	○*2	△*5	○*2	△*5
字幕放送の録画	○	×	○	×	×	×	×	×	×
編集機能	○*1	○*1	○*1	○*1	○*1	○*1	×*6	○*1	×*6
他プレーヤーとの互換性	×	×	△*4	△*4	△*3	△*3	○*7	△*3	○*7

ダビングのみの対応となります。

※本機では、DVD-R/RW（Video モード）に番組を直接録画できません。内蔵 HDD に録画したあとで Video モードの DVD ディスクにダビングする場合の参考として掲載しています。

*1 不要部分の削除やチャプター分割、プレイリスト編集など、録画した後に編集できます。
HD-RやDVD-Rディスクは、不要な部分を削除しても、削除した分が空き容量としてふえることはありません。

*2 アナログ放送の場合、以下の 3 通りからお好みの音声を選択できます。
①DVD互換モード【切】：再生時に音声(主･副)を選択できます。
②DVD互換モード【入(主音声)】：主音声で録画されます。
③DVD互換モード【入(副音声)】：副音声で録画されます。

*3 DVD-RとDVD-RWディスクのVRモードに(コピーワンス番組については、CPRMにも)対応したDVDプレーヤーだけで再生ができます。DVD-RWのVRモードに対応していても、DVD-RのVRモードに対応していないプレーヤーも多いので、注意が必要です。

*4 HD DVD-RのHDVRモードに対応したプレーヤーだけで再生ができます。インターオペラブルコンテンツ(Interoperable contents)に対応したプレーヤーの場合、ファイナライズ処理をしたHD-R内のVR録画タイトルは再生することができます。

*5 DVD-Video規格によって、音声は主音声か副音声のどちらか一方しか記録できません。あとでDVD-R/RW（Videoモード）にダビングする場合は、あらかじめ以下の2通りから選択をしてください。
①DVD互換モード【入(主音声)】：主音声で録画されます。
②DVD互換モード【入(副音声)】：副音声で録画されます。

*6 記録したあとに編集することができません。

*7 本機でダビングやDVD-Video作成をしたディスクをファイナライズすることで、他のDVDプレーヤーでも再生することができます。(再生できないプレーヤーもあります。)

*8 HD DVD-R（HDVRモード)に直接録画できるのは、本機の各内蔵デジタルチューナーで受信したデジタル放送をTS録画するときだけです。ダビングの場合は、TS録画タイトル・VR録画タイトルのどちらも記録できます。

DVD-R/RW の VR モードについて

VR モードを使用することで、DVD ディスクの使いこなしの幅が広がります。ただし、ディスクの使用に関してさまざまな制約があります。そのため DVD レコーダーをはじめてお使いのときや、タイトルを記録したディスクをファイナライズ処理して、他の DVD 機器などで再生するために DVD-R/RW を使用している方は、本機の操作に十分慣れるまでは、このモードでの使用は控えてください。
以下をお読みになり、Video モードとの使い分けができると判断された場合だけ、DVD-R/RW の「VR モード」をお使いください。

■ VR モードとは…

VR モードは、録画の際の制限事項が少なく、CPRM 対応のディスクならデジタル放送などの 1 回だけ録画が可能 (コピーワンス) の映像を録画することもできる録画方式です。ただし、このモードで録画されたディスクは、本機または各ディスクの VR モードの再生に対応した機器でないと再生ができません。（本機以外で再生するにはファイナライズ処理をすることをお勧めします。）
VR モードに未対応の機器に VR モード録画をしたディスクを挿入すると、機器およびディスクが故障･破損するおそれがあります。

■ DVD-R/RW で VR モードを使う際の注意点

• DVD-R/RW に VR モードで録画するには、録画する前に必ず VR モードでのディスクの初期化（論理フォーマット）をしてください（➡ 58 ページ）。

内蔵 HDD と HD DVD-R への「TS 録画」(Transport-stream Recording)

HDD　HD-R

- W録は「TS」を使用します。
- 本機内蔵のデジタルチューナーで受信したデジタル放送番組を、そのままの画質や音質で録画する専用の方法です。
- 録画品質（画質と音質）は、TS（Transport Stream）に固定されます。
- 内蔵 HDD と HD-R のみ、TS 録画できます。
- ハイビジョン画質や 5.1ch 音声をそのまま録画できます。
- 録画した TS 録画タイトルは、HD-R や、本機に接続した i.LINK 機器（D-VHS）にダビング（移動）できます。
- TS 録画タイトルでできる編集機能については、➡146 ページ「HDD や DVD ディスクなどによってできる編集の違い」をご覧ください。

「TS録画」はこんな場合に選択します。

地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル

- デジタル放送のハイビジョン放送を、そのままの高画質や 5.1ch 音声のまま録画したいとき。
- 内蔵 HDD に録画したタイトルを、i.LINK 機器や HD-R にダビング（移動）したいとき。

■ 本機で TS 録画ができる HD DVD-R には、以下のモード（記録フォーマット）があります。

HDVR モード（HD Video Recording Format）

- 録画したタイトルは、さまざまな編集ができます。ただし、HD-R は編集回数に限りがあります。また、不要な部分を削除しても、削除した分が空き容量としてふえることはありません。
- ディスクの再生は、HD DVD-R（HDVR モード）の再生に対応している機器でだけできます。
- AACS 対応の HD-R なら、「1 回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を、内蔵 HDD からダビング（移動）または直接録画できます。（コピーフリーのタイトルも、ダビングまたは録画できます。）AACS 非対応のディスクでは、本機内蔵のチューナーや外部接続機器から内蔵 HDD に録画した、コピーフリーのタイトルのみ保存できます。
- HD-R 内の TS 録画タイトルを、i.LINK 機器にダビングすることはできません。

内蔵 HDD と DVD ディスクへの「VR 録画」(Video Recording Format)

HDD　DVD-RAM　DVD-RW（VRモード）　DVD-R（VRモード）

- W録は「VR」を使用します。
- 任意の録画品質（SP、LP、A1、A2、DL、MN）で録画することができます。
- デジタル放送を、VR モードの DVD ディスクに録画したいときに選びます。（録画品質は「TS」以外になります。）
- ハイビジョン画質や 5.1ch 音声などをデジタル放送そのままの画質・音質で録画することはできません。
- HD-R には内蔵 HDD にある VR 録画タイトルを、「高速そのまま」ダビング（移動またはコピー）することができます。
- DVD-R/RW（Video モード）には内蔵 HDD にある VR 録画タイトル（デジタル放送などのコピーワンス番組以外で DVD 互換「入」で録画したタイトル）を、ダビング（移動またはコピー）することができます。
HD-R と DVD-R/RW へのダビングについての注意などは➡160 ページ「ダビング先別の「できること」一覧表」をご覧ください。

「VR録画」はこんな場合に選択します。

地上デジタル　BS デジタル　CS デジタル　地上アナログ

- 録画したあとに編集したいとき。
- デジタル放送を VR モードの DVD ディスクに録画したいとき。
- 地上アナログ放送の二カ国語番組で音声を切換えできるようにしたいとき。

■ 本機で直接 VR 録画ができる、また内蔵 HDD にある VR 録画タイトルをダビングができる DVD ディスクには、以下のモードがあります。

VR モード（Video Recording Format）

- 録画したタイトルは、さまざまな編集ができます。
- 録画したディスクは、各ディスクの VR モードに対応した DVD プレーヤーでだけ再生ができます。
- 「1 回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を、CPRM 対応の DVD-RAM や DVD-R/RW に録画することができます。
- 録画したタイトルを i.LINK 機器にダビングすることはできません。

Video モード（Video Format）　DVD-RW（Videoモード）　DVD-R（Videoモード）

- Video モードの DVD-R/RW に直接録画することはできません。
- 市販の DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブと互換性のある記録モードです。録画したタイトル（コピー制限のないものに限ります）を他のプレーヤーで再生したいときや、個人で撮影した映像集などをダビングして配付したいときに選びます。
- ただし、編集機能には多くの制限があります。
- 「1 回だけ録画が可能（コピーワンス）」の番組を記録することはできません。
- 本機では、いちど内蔵 HDD に DVD 互換「入」で録画してから DVD-R ／ RW（Video モード）にダビングします。
DVD 互換については➡60 ページ「あとで DVD-R ／ RW（Video モード）にダビングする場合の設定」をご覧ください。

- 1 回だけ録画が可能（コピーワンス）の映像を録画したいときは、新品の「CPRM 対応」表示のあるディスクをお使いください。
- 「CPRM 対応」「VR モード録画対応」の表示があるディスクでも、はじめに必ず VR モードでのディスクの初期化をしてください。初期化をしないと Video モードでの使用になります。
- 「VR モード録画対応」の表示がない DVD-R ディスクでも、VR モードで初期化をすると録画ができることがありますが、動作については保証できません。
- 本機で VR モードで録画したディスクは、本機および VR モードに対応した機器でだけ再生することができます。
VR モード未対応の機器にディスクを挿入すると、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。
その際の障害や損害など、当社は一切の責任を負いません。
- CPRM 対応という表示のある DVD-R/RW ディスクに VR モードで録画した場合でも、本機および CPRM 方式に対応した機器以外では再生ができません。未対応の機器にディスクを挿入するだけで、機器およびディスクが故障・破損するおそれがあります。
その際の障害や損害など、当社は一切の責任を負いません。
- DVD-R の VR モード録画は、録画したあとの編集回数に制限があります。
その他編集時の制約についての詳細は➡ 146、157 ページをご覧ください。

1回だけ録画可能な番組(コピーワンス)の録画について

デジタル放送は番組制作者等の著作権を守るため、コピー制御信号を入れて録画を 1 回に制限する「1 回だけ録画可能」な（コピーワンス）番組を放送しています。

■ デジタル放送の録画制限と CPRM と AACS 対応について

ディスク／放送番組の種類	HDD		HD DVD-R（AACS対応）	HD DVD-R（AACS非対応）	DVD-RAM（CPRM対応）	DVD-RAM（CPRM非対応）	DVD-R（CPRM対応）	DVD-R（CPRM非対応）	DVD-RW（CPRM対応）	DVD-RW（CPRM非対応）
	TS録画	VRモード録画	TS録画	TS録画						
制限なしに録画可能／コピー可能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1回だけ録画可能	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×
録画禁止	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○：録画ができます　×：録画ができません

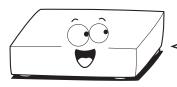
- 「1 回だけ録画可能」な番組は CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応した録画機器と DVD ディスクで録画ができます。また HD DVD の場合は、AACS（Advanced Access Content System）という、ディスクに含まれるコンテンツやタイトルを保護する技術に対応しています。AACS に対応した録画機器や、書込みが可能な HD DVD ディスクで録画ができます。
- 「1 回だけ録画可能」な番組を録画したディスクを、他の機器で再生する場合は、その機器が CPRM 方式の著作権保護技術と各ディスクの VR モードの再生に対応している必要があります。また HD DVD も同様に、他の再生機器が HDVR モードと、AACS に対応している必要があります。
- CPRM 対応の DVD-R/RW で「1 回だけ録画可能」な番組を録画する場合は、お使いになる前に VR モードで初期化（論理フォーマット）してください。同様に、本機では未使用の HD DVD-R ディスクで録画をする前に、HDVR モードで初期化が必要です。

■ 本機での録画

- 1 回だけ録画可能な（コピーワンス）番組は一世代だけ録画が許された番組で、録画するとその時点で一世代目となり、コピー禁止のタイトルとなります。
- 内蔵 HDD（ハードディスク）に TS 録画した場合は、AACS 対応の HD DVD-R への「高速ダビング」と、CPRM 対応の DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW）に対して「画質指定ダビング」と「ぴったりダビング」による【移動】だけが可能です。また、TS 画質以外（VR モード）で録画した場合は、AACS 対応の HD-R または、CPRM 対応の DVD ディスクへの高速そのままダビングによる【移動】も可能です。いずれの場合も、逆方向はできませんので、ご注意ください。移動すると内蔵 HDD 内の移動された部分のみ削除されます。
- HD DVD-R にコピーワンス番組を直接録画した場合は、その時点でコピーも移動も禁止のタイトルになるため、ダビングによる移動もできません。
- Video モードは、コピーが制限されたタイトルを録画することが規格として対応できません (コピー管理システムに対応していないためです)。

■ 各機能別の対処方法および制限

- 見るナビ : タイトル一覧
  - ・タイトルサムネイル上またはタイトル名の末尾の行にコピー禁止マークが表示されます。
- 簡単メニュー・見るナビ・編集ナビ
  : 高速そのままダビング
  - ・【移動開始】のみ選択できます。（録画先が DVD ディスクの場合は、TS 録画以外のタイトルで選択できます。）
  - ・一つのチャプターを移動した場合、残されたタイトルは移動した部分が欠けた状態になり、元に戻すことはできません。
  - ・一つのタイトルから必要な部分だけをディスクに保存するには、不要なチャプターを「編集ナビ」の【一括削除】または「見るナビ」のクイックメニューから削除して必要な部分だけにし、これを高速そのままダビングで移動します。また、必要な部分だけの「プレイリスト」を作成して、高速そのままダビングで移動することもできます。
  - ・移動は、できるだけオリジナルタイトルごとに行なってください。プレイリストを移動したり、チャプターを一つ一つ移動したあとに結合しても、チャプターの境界で再生時に一瞬静止するようになってしまいます。
  - ・チャプター分割をしすぎた場合は、移動前に「チャプター編集」のクイックメニューの【前と結合】などでチャプターを結合し、移動する単位にしてください。ディスクに移動したあとで、必要な場合は、あらためてチャプター分割をしてください。
- 簡単メニュー・見るナビ・編集ナビ : 画質指定ダビング
  - ・ダビング先が HD DVD-R 以外のときに、【移動開始】だけが選択できます。
  - ・TS 録画したタイトルは容量が大きいので、指定のレートに変換して移動します。
- 簡単メニュー・見るナビ・編集ナビ : ぴったりダビング
  - ・ダビング先が HD DVD-R 以外のときに、【移動開始】だけが選択できます。
  - ・録画先の容量に収まるように、レートを自動変換してダビングします。
- 編集ナビ : プレイリスト編集
  - ・作成したプレイリストを「移動」すると、プレイリストが参照するオリジナルタイトルの該当部分が削除されます。
- 編集ナビ :DVD-Video 作成、DVD-Video 背景登録
  - ・Video モードは、コピーが制限されたタイトルを録画することが規格として対応できないので、コピーワンスでの DVD-Video 作成はできません。したがって、DVD-Video 背景登録もできません (コピー管理システムに対応していないためです)。

録画品質(画質／音質)の設定をする

録画品質（画質と音質の組合せ）で、録画できる容量が変わります。
よく使う録画品質をあらかじめ設定しておくと、録画するときに設定する手間がかからず便利です。

録画の画質／音質の詳細設定

1 停止中に を押す

2 で【録画品質設定】を選び、決定を押す

3 画質／音質の設定をする

（例）

設定メニュー

最初に設定する値

		HDD	DVD
設定1	SP (4. 6) D/M1	●	○
設定2	LP (2. 2) D/M1	●	●
設定3	MN 6. 6 L−PCM	○	●
設定4	MN 6. 0 D/M2	●	●
設定5	MN 3. 2 D/M1	●	●

登録

画質・音質の組合せを作る

1）方向ボタン（▲／▼）で組合せを変更したい設定（1 ～ 5）を選び、決定 を押す

2）方向ボタン（◀／▶）で項目（「モード」､「レート」､「音質」の順に並んでいます。）を選ぶ

3）方向ボタン（▲／▼）で設定を変え、決定 を押す

録画品質を選ぶ

1）方向ボタンで録画先（HDD/DVD）の録画予約の初期値に指定したい設定（1 ～ 5）の HDD/DVD 欄を選び、決定 を押す

2）方向ボタンで【登録】を選び、決定 を押す

お知らせ

・画質「SP」「LP」に設定すると、音質「L-PCM」は選べません。
・デジタル放送を TS 画質で録画する場合は、リモコンの『W 録』ボタンなどで設定します。（➡ 73、102 ページ）

録画品質の設定方法

1 HDD/DVDの録画モードの設定：

1）録画モードを設定したい HDD / HD DVD を押す

2）デジタル放送で HDD の場合、W録 を押して、TS 画質にするかどうかを選ぶ

3）TS 画質を選ばなかった場合（VR）、録画モード を押して録画モードを選ぶ

本体表示窓

(TS) SP LP MN 選んでいる録画モードが表示されます。

録画モード を押すたびに録画品質設定の No. ごとに変わります。

例 MN→SP→LP→MN→MN
(1) (2) (3) (4) (5)

例：

録画モード	録画時間	画質
SP	約 2 時間 *1	標準
LP	約 4 時間 *1	SP より劣る
MN	自由に変更できます。録画品質設定で設定してください。	
TS 点灯（HD/SD）	（放送内容と HDD の空き容量によって変動します）*2	HD（デジタルハイビジョン画質）／ SD（デジタルスタンダード画質）

*1 DVD-RAM 片面 4.7GB に記録した場合の目安です。
*2 詳しくは➡ 182 ページ「録画可能時間一覧表」をご覧ください。

• 録画中のタイトルは、録画モードの変更ができません。

録画する前のHD DVD-R・DVDディスクの初期化

本機の機能を使う前に、未使用の HD DVD-R や DVD ディスクは初期化をする必要があります(DVD-R の Video モードは除く)。以下の表を参考にしてください。

	HD DVD-R	DVD-RAM	DVD-RW		DVD-R	
	HDVR モード		VR モード	Video モード	VR モード	Video モード
未使用ディスクの初期化	必要 *2	必要 *1	必要	必要	必要 *2	不要

ディスクの初期化（論理フォーマット）

1 ディスクを入れる（➡ 27 ページ）

（➡ 27 ページ）

2 クイックメニュー を押す

3 方向ボタン（▲/▼）で【ディスク管理】を選び 決定 を押す

4 方向ボタン(▲/▼)で【DVD 初期化】を選び 決定 を押す

5 記録モードとディスク情報を入力する

●HD DVD-Rの場合

・ディスク番号：変更できます。
・ディスク名　：変更できます。
・記録モード　：HDVR モードで固定

●DVD-RAMの場合

・ディスク番号：変更できます。
・ディスク名　：変更できます。
・記録モード　：VR モードで固定

●DVD-Rの場合

・ディスク番号：変更できます。
・ディスク名　：変更できます。
・記録モード　：VR モードで固定

●DVD-RWの場合

DVD初期化
ディスク番号 :
ディスク名 :
記録モード : Videoモード
初期化 : 未処理
DVDを初期化しますか？
開始　中止

・モードを選ぶ（必須です➡ 54 ページ）
　①方向ボタン（◀/▶）で【Video モード】または【VR モード】を選ぶ

・ディスク番号
自動で番号がつけられますが、好きな番号（3 ケタ）に変更できます。4 ケタ目は、両面ディスクの区分用に「A」か「B」を設定します。
①方向ボタン（▲/▼）でディスク番号を選び 決定 を押す
②方向ボタン（▲/▼/◀/▶）で番号を入力し 決定 を押す
※【Videoモード】を選ぶと、ディスク番号は設定できません。

・ディスク名
ディスクに名前をつけることができます。
①方向ボタンでディスク名を選び 決定 を押す
②「文字を入力する」（➡ 33 ページ）に従って、ディスク名を入力する
③方向ボタンで【登録】を選び 決定 を押してディスク名を保存し、初期化画面に戻る

ご注意

本機では、以前の RD シリーズで作成された「予約ディスク」は扱えません。ご利用になるには、設定した RD シリーズで予約ディスクを解除するか、必要なタイトルをバックアップしたのち本機で初期化してお使いください。

*1 DVD-RAM の初期化には以下の二とおり方法があります。
①論理フォーマット・・・通常はこの方法で初期化してください。
②物理フォーマット・・・論理フォーマットをしても使用できない場合、この方法で初期化してください。（初期化しても使用できない場合もあります。）

*2 初期化は、新品（未使用）のディスクでしか行なえません。

6 方向ボタンで【開始】を選び 決定 を押す

7 方向ボタン（◀/▶）でもう一度【開始】を選び 決定 を押す

・初期化が始まります。

・ディスクに劣化や欠陥が多くなると、録画ができなくなることがあります。

DVD-RAM の物理フォーマット

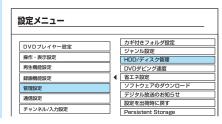
何度初期化をしても正しく認識されなかったり、使用しているうちに認識されなくなった DVD-RAM に対して行なってください。（使用可能になることを保証するものではありません。）

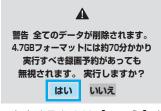
1 DVD-RAM を入れ、簡単メニュー を押す

「簡単メニュー」画面が表示されます。

2 方向ボタンで【設定メニュー】を選び 決定 を押す

3 【管理設定】を選び 決定 を押す

4 【HDD／ディスク管理】を選び 決定 を押す

5 【DVD-RAM 物理フォーマット】を選び 決定 を押す

6 【はい】を選び 決定 を押す

・中止するときは【いいえ】を選び 決定 を押します。

7 終了後自動で電源を切るかのメッセージが表示されたら【はい】または【いいえ】を選び 決定 を押す

・途中で物理フォーマットに失敗した、または中止したディスクを使用する場合は、物理フォーマットを最初からやり直す必要があります。
・上記以外にも、お知らせがあります。（➡ 185 ページ）

あとでDVD-R／RW(Videoモード)にダビングする場合の設定

他の DVD プレーヤーで見るためなどの目的で、あとで DVD-R/RW の Video モードにダビングしたいときに必要な設定です。

設定する項目

Videoモードには、DVD-Video規格による制約があります。あとで内蔵HDDからDVD-R/RW（Videoモード)にダビングする場合、内蔵HDDに録画するときから、あらかじめ設定しておいてください。

●DVD互換モード

DVD-Video規格によって、Videoモードでは音声は主音声か副音声かのどちらかしか記録できません。

切：
二カ国語放送などでは主音声も副音声も両方記録します。そのため、DVD-Video作成を前提としていません。録画品質(画質・音質)の設定によっては、DVD-Video作成ができない場合もあります。

入(主音声)：
音声多重放送の場合、元の主音声だけを左、右チャンネルの両方に記録します。

入(副音声)：
音声多重放送の場合、元の副音声だけを左、右チャンネルの両方に記録します。

※外部入力から録画するときは、この設定によらず入力された音声信号がそのまま記録されますので、記録したい音声を外部機器側で選んでおいてください。

設定のしかた

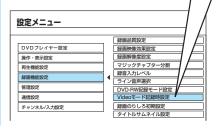
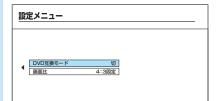
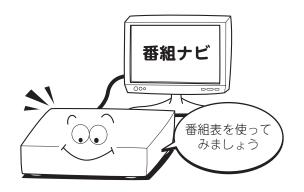
1 簡単メニュー を押す

簡単メニューが表示されます。

2 方向ボタンで【設定メニュー】を選び、決定 を押す

設定メニューが表示されます。

3 【録画機能設定】を選び、決定 を押す

4 【Videoモード記録時設定】を選び、決定 を押す

5 方向ボタン（▲/▼）で項目を選び、決定 を押す

6 方向ボタン（▲/▼）で内容を選び、決定 を押す

4 番組表と録画予約

番組表や番組リストの使い方や機能、便利な録画予約のしかたについて紹介します。

番組ナビ関係図

「番組ナビ」としてご使用いただける各画面の一覧は以下の通りです。
※番組表をお使いいただくには、番組表のデータが受信されている必要があります。デジタル放送の番組表で、番組名が「歯抜け」のような状態になっていることがあります。これはデジタル放送の受信状況などによっておこりますが、故障ではありません。

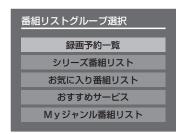
番組表（➡ 64 ページ）

放送予定の番組を一覧表示します。

全チャンネル一覧

チャンネル別一覧

A 青：リストグループ表示から選択
トップに戻らなくても他の番組リストに移動できます。

B 赤：グループ内切換表示から選択
同じリスト内の他のカテゴリに直接移動できます。
（例）

録画予約一覧（➡ 75 ページ）

現在はいっている録画予約について確認する画面です。

ユーザー予約＋おまかせ自動予約

録画実行チェック

ユーザー予約のみ

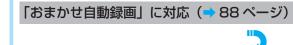
おまかせ自動録画 番組リスト

おまかせ自動予約のみ

番組リスト

My ジャンル番組リスト（➡ 68 ページ）

設定したジャンルごとに、放送予定の番組を一覧表示します。

赤 または チャンネル で画面切換

お気に入り番組リスト（➡ 69 ページ）

設定した条件にあてはまる番組を一覧表示します。

赤 または チャンネル で画面切換

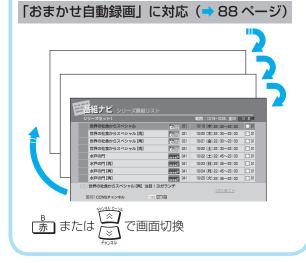
おすすめサービス（➡ 92 ページ）

インターネットを使用して、人気番組のランキング情報などを一覧表示します。

シリーズ番組リスト（➡ 69 ページ）

設定した条件にあてはまる番組を一覧表示します。

「おまかせ自動録画」に対応（➡ 88 ページ）

赤 または チャンネル で画面切換

「番組表」の表示と機能

全チャンネル一覧

« / » ：時間方向の切換

チャンネル ∧ / ∨ ：チャンネル方向の切換

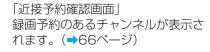
「すべて(全チャンネルの番組表)」

「近接予約確認画面」
録画予約のあるチャンネルが表示されます。(➡66ページ)

上ページ

下ページ

次ページ

前ページ

一発切換機能(➡96ページ)

番号ボタンを押すと、割りあてられた放送だけの番組表に絞り込んで表示することができます。

- 11/0 すべて
- 1 地上アナログ
- 2 地上デジタル
- 3 BS デジタル
- 4 110 度 CS デジタル
- 5 ライン入力 A
- 6 ライン入力 B
- 7 ライン入力 C
- 8 絞り込み表示 A
- 9 絞り込み表示 B
- 10/＊ 絞り込み表示 C

例)ライン入力Cにつないだスカパー!だけの番組表
(割りあて番号「7」)

例) 絞り込み表示Aだけの番組表
(割りあて番号「8」)
設定の方法は➡97ページをご覧ください。

絞り込み表示機能(➡97ページ)

番組表をお好きなチャンネルで絞り込んで表示する設定ができます。3パターンまで登録できます。

現在日時へジャンプ

クリア を押すと、現在日時が画面左端になるように番組表を表示します。

番組表表示順変更(➡97ページ)

番組表での全チャンネルの表示順番を並べ替えることができます。

チャンネル別一覧

«/» ：時間方向の切換

チャンネル カーソル ⌃ / ⌄ チャンネル ：チャンネル方向の切換

「近接予約確認画面」
左ページの全チャンネル一覧の時と同じ画面が表示されます。

上ページ

下ページ

次ページ

前ページ

表示モード切換

ズーム で番組表で表示する表示時間帯の幅を変更することができます。押すたびに、表示幅が切り換わります。

1時間表示に戻る

番組説明（➡ 29 ページ）

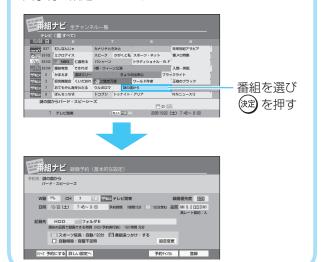
お好きな番組を選択し を押すと、その番組の情報が表示されます。

近接予約確認画面を表示します（➡66ページ）。

録画予約を設定することができます。

録画予約（➡ 73 ページ）

お好みの番組を選んで 決定 を押すことで、簡単に録画予約の設定ができます。

番組を選び 決定 を押す

番組表のクイックメニュー機能

「番組表(全チャンネル一覧)」と「番組表(チャンネル別一覧)」でのクイックメニューについて紹介します。

「番組表(全チャンネル一覧)」または「番組表(チャンネル別一覧)」で、 を押す

方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、決定 を押す

日時指定ジャンプ（全チャンネル一覧）

表示したい日時を指定して、番組表を表示します。
表示できる範囲は7日先までです。
(「地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」でADAMSを選択の場合は、地域によって1日先や6日先までとなります。)

1 方向ボタンで表示したい日時を選び、決定 を押す

指定した日時の番組表が表示されます。

時間指定ジャンプ（チャンネル別一覧）

時間を指定して、番組表を表示します。

1 方向ボタンで表示したい時間を選び、決定 を押す

ジャンプ先時間指定

0時	5時	10時	14時	18時	22時

指定した時間からの番組表が表示されます。

近接予約確認

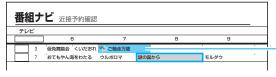
予約する番組と同じ時間帯に、すでにほかの番組が予約されていないか確認できます。
9:00 ～ 10:00、10:00 ～ 11:00 などの隣接する予約も表示されます。

1 番組表で録画予約する番組を選び、 を押す

録画予約予定の番組

2 【近接予約確認】を選び、決定 を押す

近接の他の予約番組が表示されます。

3 予約をキャンセル、または変更する場合、番組タイトルを選び 決定 を押す

録画時間が重なっている番組

予約確認の画面が表示されます。項目を選び 決定 を押すと、「録画予約(基本的な設定)」が表示されます。

番組検索

「キーワード」や「ジャンル」などを設定し、番組データから検索します。

1 番組検索画面で必要な項目を設定し、【検索開始】を選び、(決定) を押す

検索に必要な項目の設定については「検索条件を入力して番組検索する」(➡90ページ)をご覧ください。

2 検索結果に録画する番組がある場合は、番組名を選び、(決定) を押す

「番組ナビ - 録画予約(基本的な設定)」画面に移動します。

同名番組検索

同じ名前の番組を検索表示します。

複数回のシリーズ番組を検索したいときなどに便利です。
キーワードを追加や変更して検索することもできます。

1 番組表で同名の番組を検索する

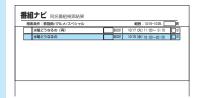
番組を選び、 を押す

同名の番組を検索する番組を選んでおきます。

【同名番組検索】を選び、(決定) を押す

【検索開始】を選び、(決定) を押す

検索に必要な項目の設定については、「検索条件を入力して番組検索する」(➡90ページ)をご覧ください。

2 検索結果に録画する番組がある場合は、番組名を選び、(決定) を押す

放送局からのお知らせ

放送局からのメッセージを表示します。
番組表や番組リストで「ℹ」のアイコンが表示されているときに (クイックメニュー) を押します。

※【放送局からのお知らせ】は、ADAMSで、放送局からのメッセージがある場合にだけ表示されます。

【放送局からのお知らせ】を選び (決定) を押します。

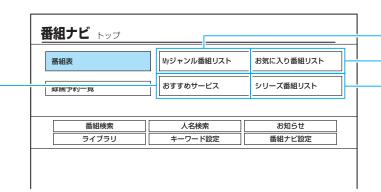
表示順/絞り込み設定

番組表で表示するチャンネルを設定したり、表示順を変えたりできます。(➡97ページ)

表示順を変更すると全チャンネルの番組データは再度取得しなおすことになります。

番組リストについて

番組リストでは、番組表からさまざまな目的にあわせて番組を集めて一覧表示をします。番組リストには以下の4種類があります。

■おすすめサービス➡ 92 ページ
インターネットのサーバーと通信をして、おすすめの番組や、全国のおすすめサービス対応ユーザーの録画予約状況を集計したランキングなどを表示します。
※番組リスト「おすすめサービス」は、iNETを設定している地上アナログ、NHK BSアナログのチャンネルだけが対象です。（2006年5月現在）

My ジャンル番組リストの使いかた

番組表をあらかじめ設定したジャンル別に絞り込んでリスト表示します。

1 番組ナビ を押す

「番組ナビ　トップ」が表示されます。

2 【Myジャンル番組リスト】を選び、決定 を押す

3 表示させたいジャンルを選択し、決定 を押す

リスト表示中は、チャンネル カーソル／チャンネルで、前後のリストに切り換えて表示することもできます。

■Myジャンル番組リスト➡68ページ
選択したジャンル別に番組表を絞り込んで表示します。

■お気に入り番組リスト➡69、88ページ
あらかじめ登録したキーワード・設定した条件にあてはまる番組を自動検索し、表示します。検索した番組が自動的に録画されるようにも設定できます(おまかせ自動録画)。

■シリーズ番組リスト➡69、88ページ
あらかじめ登録した番組名とそれに類似した番組(第○話や、シリーズものなど)、設定した条件にあてはまる番組を自動検索し、表示します。検索した番組が自動的に録画されるようにも設定できます(おまかせ自動録画)。

お気に入り／シリーズ番組リストの見かた

このリストを表示させるには、まず「おまかせ自動録画設定」で条件入力を行なってください。(➡89ページ)
「おまかせ自動録画設定」で設定した条件ごとに、番組データ更新時に検索された番組の一覧を確認することができます。

例：「お気に入り」番組リスト選択

お気に入り選択

お気に入り1	お気に入り2
お気に入り3	お気に入り4
お気に入り5	お気に入り6
お気に入り7	お気に入り8
お気に入り9	お気に入り10
お気に入り11	お気に入り12

おまかせ自動録画設定一覧

番組ナビ お気に入り番組リスト
お気に入りセット1　範囲：11/17~11/24. 全CH　頁

	番組名		CH	日時	
	世界の社食からスペシャル		031	10/18 (火) 11:00~ 0:15	01
	水曜シネマ劇場		BS101	10/19 (水) 19:00~20:00	01
	歌うたい星人・スペシャル		BS151	10/20 (木) 21:00~23:00	03
	MTSBミュージックアワード		SP456	10/21 (金) 23:00~23:55	09
	タイムラインスケーター		041	10/21 (金) 16:55~18:59	01
	冥王星ドカン		BS151	10/22 (土) 18:05~20:00	06
	歌うたい星人・スペシャル		031	10/23 (日) 21:00~23:00	03
	世界の社食から		SP456	10/24 (月) 11:00~11:30	08

1 番組ナビ を押す

2 【お気に入り番組リスト】または【シリーズ番組リスト】を選び、決定 を押す

「お気に入り」または「シリーズ」番組リスト選択画面が表示されます。

3 表示したいリスト名を選び、決定 を押す

選択したリストが表示されます。

リスト表示中は、チャンネル カーソル／チャンネルで、前後のリストに切り換えて表示することもできます。

- キーワードの変更／追加をした場合、登録時とつぎの番組データの更新時に結果が反映されます。
- 上記以外にも、お知らせがあります。(➡190ページ)

番組リストについて(つづき)

番組リストのクイックメニュー機能

■検索結果の表示順を変更する

並べ替え

番組検索や同名番組検索などの検索結果が多数ある場合は、結果の表示順を並べ替えて見やすく表示させることができます。

1 番組リストを表示中に、 を押す

2 【並べ替え】を選び、決定 を押す

サブメニューが表示されます

3 項目を選び、決定 を押す

番組名順

番組名順に並べ替えます。

チャンネル順

チャンネル順に並べ替えます。

ジャンル順

ジャンル順に並べ替えます。

日付昇順

日付順に並べ替えます。

ランク順

ランキング順に並べ替えます。「おすすめサービス」で表示されるリストの場合にだけ表示されます。

おまかせ順

「おまかせ自動録画設定一覧」のリスト順に並べ替えます。
「お気に入り番組リスト」「シリーズ番組リスト」で表示されるリストの場合にだけ表示されます。

■検索結果を絞り込む

絞り込み

番組検索や同名番組検索などの検索結果が多数ある場合は、条件をつけて、さらに結果を絞り込むことができます。

1 番組リストを表示中に、 を押す

2 【絞り込み】を選び、決定 を押す

サブメニューが表示されます

3 項目を選び、決定 を押す

チャンネル別

登録してあるチャンネルで指定し、番組を絞り込みます。

日付別

日付を指定し、番組を絞り込みます。

ジャンル別

ジャンルで指定し、番組を絞り込みます。

キーワード指定

登録してあるキーワードで指定し、番組を絞り込みます。

- 並べ替えや絞り込みをすべて解除するには、『クイックメニュー』を押し、【並べ替え／絞り込み解除】を選び『決定』を押します。『戻る』を押すと、一つ前の表示に戻ります。

■検索結果のジャンプ機能

ジャンプ

番組検索や同名番組検索などの検索結果から、キーワードなどを指定して該当する番組の表示場所にジャンプします。
先に並べ替えをしておくと探しやすくなります。

1 **番組リストを表示中に、** **を押す**

2 **【ジャンプ】を選び、 決定 を押す**

サブメニューが表示されます

※【頁指定】は検索結果が複数ページある場合にだけ表示されます。

3 **項目を選び、 決定 を押す**

文字指定

番組タイトルの先頭の文字を指定して該当する番組の表示場所にジャンプします。

文字列を入力し、【実行】を選び 決定 を押すと、該当する番組の表示場所にジャンプします。【実行】を押すごとに次の該当番組の表示場所にジャンプします。

キーワード指定

登録してあるキーワードで指定し、該当番組の表示場所にジャンプします。

チャンネル指定

登録してあるチャンネルで指定し、該当番組の表示場所にジャンプします。

頁指定

ページ数が多い場合に、指定したページ番号で該当ページにジャンプします。

表示マークやラインについて

22 23 0 時間帯の下に引かれているライン	時間帯の下に表示しているラインは、その時間帯に予約録画が実行されることを表します。チャンネル別一覧では、カーソルのある行の日付に対応して表示されます。
VR シーズー百科 番組名の下に引かれているライン	ライン入力の予約を行なった場合、どのチャンネルの予約かを特定できないため、同一のライン入力のチャンネルすべての該当日時に薄いマークと赤いアンダーラインを表示します。
番付 VR きょうの出来心 VR ご馳走 万歳. . ワールド作家 予約番組の帯の濃さがかわっている	濃くなっている部分（時間）が他の録画予約と重複して録画できないことを表します。番組名下に引かれているラインも、同様に色が濃くなります。 ただし、9：00〜10：00、10：00〜11：00などの二つの隣接する予約の境界部分が録画できない場合は表していません。

- 番組表では、番組と番組の合間にある短い番組のタイトルは表示されないことがあります。（番組表下の表示欄には表示されます。）
- 録画予約を示すアイコンは
  TS で録画の場合：TS
  その他の録画の場合：VR
- デジタル放送を録画中に、「番組追っかけ」機能（リアルタイム追跡）で終了時刻が延長された場合、その後の予約が濃い色で表示される場合があります。

■番組の属性を示すアイコンについて

●番組データの情報を示すアイコン

メッセージ	i	ADAMSによる番組データで、放送局から番組に関するメッセージがある場合に表示されます。➡67ページをご覧ください。
データ取得先	DT	デジタル放送による番組データであることを示します。
	AD	ADAMSによる番組データであることを示します。
	NK	日刊編集センター情報による番組データであることを示します。（iNET）
		スカパー！による番組データであることを示します。（iNET）

●放送形態を示すアイコン

音声	ステレオ	ステレオ放送の番組の場合に表示されます。
	二重	二カ国語放送の番組の場合に表示されます。Videoモードで録画する予定がある場合には注意が必要です。➡54、60ページをご覧ください。外部チューナーの場合、必要に応じてチューナー側の番組予約時に変更する必要があります。
	モノラル	モノラル放送の番組の場合に表示されます。
	SS	サラウンド放送の番組の場合に表示されます。
画面比	16:9	デジタル放送で画面の横と縦の比が16：9の信号の放送の場合に表示されます。
解像度	HD	デジタル放送でハイビジョン品質の番組の場合に表示されます。（デジタルハイビジョン画質）
	SD	通常品質の番組の場合に表示されます。（デジタル標準画質）
画面/多重音声切換	切換可	デジタル放送で、映像、音声、字幕などの切換が可能な番組である場合に表示されます。必要に応じて番組予約時に設定を変更する必要があります。

●視聴制限を示すアイコン

ペイパービュー	PPV	有料放送の場合に表示されます。本機で視聴・録画するには購入操作が必要です（➡43ページ）。また、放送事業者との視聴契約が必要となります。録画が禁止されている有料放送の場合、録画予約しても録画は正常に実行されません。
年齢制限		年齢制限のある番組の場合に表示されます。

お知らせ

- 本機を通してテレビ番組を見ているときに、画面右上に i マークが表示されている場合は、未読のデジタル放送のお知らせがあることを表します。（応用編➡ 67 ページ）
- 放送形態・視聴制限を示すアイコンは番組データ提供元が作成したもので、すべての番組に対して該当するアイコンが表示されることを保証するものではありません。また、表示されるアイコンの内容が正しいことを保証するものでもありません。目安としてご覧ください。

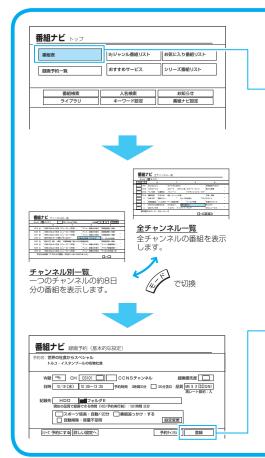
番組表から録画予約をする

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

「番組表」を使えば、簡単に番組を録画予約できます。録画タイトル、番組説明などの番組情報も自動的に記録されます。

準備

- 番組表をお使いになる前に、あらかじめ「番組表の設定」をして番組表が表示できる状態にしてください。
  ➡接続・設定編 47 ページ
- HD-R、DVD-RAM/R/RW に録画するときは、ディスクを入れておきます。
- あとで DVD-R/RW（Video モード）にダビングするときは、【DVD 互換モード】を【入】にするなど、はじめに必要な設定をしてください。（➡ 60 ページ）
- HD-R への直接録画は、本機内蔵チューナーで受信したデジタル放送の TS 録画に限ります。また、HD-R に 1 回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画やダビング（移動）をするときは、「AACS」に対応しているディスクが必要です。

1 番組ナビ を押す

「番組ナビ　トップ」が表示されます。

2 【番組表】を選び、決定 を押す

- 番組表をはじめて表示したときは、現在日時・チャンネルで表示されます。
- 次回以降は、前回表示した日時で表示されます。
- 前回表示した番組表の日時が過去日時である場合は、現在日時で表示されます。

3 録画したい番組を選び、決定 を押す

「録画予約（基本的な設定）」が表示されます。

4 設定項目を変更する場合は、項目を選び、決定 を押す

変更のしかたは➡ 74 ページをご覧ください。

5 【登録】を選び、決定 を押す

記録先が HD-R のときには、録画時間が来てもすぐに録画が開始されないことがあります。
HD-R へは直接録画できますが、いったん内蔵 HDD に録画したあとに、編集してから HD-R へダビング（移動）することをおすすめします。

有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)の番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、録画購入の操作を行なう。
（➡ 43 ページ）
TS 録画で映像／音声／データの追加購入をする場合は、追加したい分のすべての購入操作をしてください。

視聴年齢制限／番組購入限度額設定で制限される番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、制限を解除する。
（➡ 43 ページ）

または

放送が開始される前に、制限を解除しておく。
（➡接続・設定編 67、68 ページ）
※制限を解除しないと、録画ができません。

録画予約の重複について

番組表を使って録画予約するときに、他の予約と録画時間帯が重複している場合や、すでに同じ番組が録画予約されている場合、以下の画面が表示されます。
項目を選択し、決定 を押してください。キャンセルする場合は 戻る を押してください。

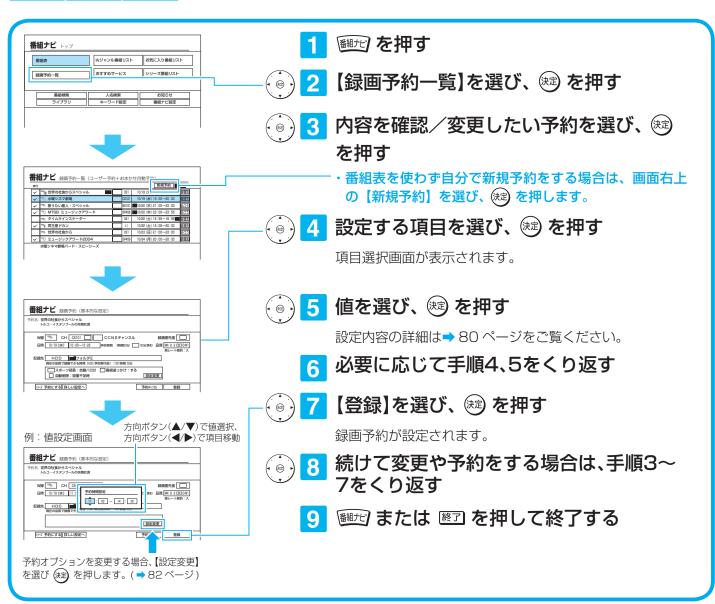
- そのまま予約する：そのまま新規予約します。
- 予約しない：予約せずに番組表に戻ります。
- 近接予約確認画面を表示する：近接予約確認画面を表示し、予約時間帯が重複している番組を確認します。

同じ番組を再度予約する場合

- この番組を新規予約する：そのまま新規予約します。
- この番組を含む予約を確認する：すでに予約されている番組の録画設定の確認／変更／キャンセルができます。
- 近接予約確認画面を表示する：近接予約確認画面を表示し、予約時間帯が重複している番組を確認します。

予約内容を変更する／番組表を使わずに予約する

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

「録画予約一覧」で番組表から予約した録画予約を確認したり、変更します。また、番組表を使わずに自分で日時やチャンネルなどを設定して予約をすることもできます。

1 番組ナビ を押す

2 【録画予約一覧】を選び、決定 を押す

3 内容を確認／変更したい予約を選び、決定 を押す

・番組表を使わず自分で新規予約をする場合は、画面右上の【新規予約】を選び、決定 を押します。

4 設定する項目を選び、決定 を押す

項目選択画面が表示されます。

5 値を選び、決定 を押す

設定内容の詳細は➡ 80 ページをご覧ください。

6 必要に応じて手順4、5をくり返す

7 【登録】を選び、決定 を押す

録画予約が設定されます。

8 続けて変更や予約をする場合は、手順3～7をくり返す

9 番組ナビ または 終了 を押して終了する

例：値設定画面

方向ボタン(▲/▼)で値選択、
方向ボタン(◀/▶)で項目移動

予約オプションを変更する場合、【設定変更】を選び 決定 を押します。(➡ 82 ページ)

有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)の番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、録画購入の操作を行なう。(➡ 43 ページ)

※録画購入をしないと、録画ができません。TS 録画で映像／音声／データの追加購入をする場合は、追加したい分のすべての購入操作をしてください。

視聴年齢制限／番組購入限度額設定で制限される番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、制限を解除する。(➡ 43 ページ)

または

放送が開始される前に、制限を解除しておく。(➡接続・設定編 67、68 ページ)

※制限を解除しないと、録画ができません。

録画予約一覧の使いかた

録画予約一覧の切換

録画予約一覧は、目的に応じて以下の５種類に切り換えて表示することができます。

選択し 決定 を押して「✓」のつけはずしをします。
「✓」のついていない予約の録画は行なわれません。
・毎予約（➡81ページ）の場合は「✓c」マークになります

「番組追っかけ」「スポーツ延長」の情報アイコンが表示されます。（➡83、84ページ）

選択し 決定 を押して、他の録画と重なった場合の優先度（➡78ページ）を変更できます。

「おまかせ自動録画」（➡88ページ）の番組リストのアイコンが表示されます。

ユーザー予約＋おまかせ自動予約	はじめに表示される録画予約一覧です。 すべての予約一覧を表示します。
ユーザー予約のみ	おまかせ自動録画予約以外の予約一覧を表示します。
おまかせ自動予約のみ	おまかせ自動録画の予約一覧を表示します。
おまかせ自動録画　番組リスト	おまかせ自動録画対象の番組一覧を表示します。（録画予約されていない番組も含まれます。）
録画実行チェック	録画するための容量が足りているかどうかの判定マークつきの予約一覧を表示します。（詳しくは➡77ページをご覧ください。）

1 録画予約一覧を表示中に B赤 を押す

録画予約一覧切換画面が表示されます。

2 表示したい録画予約一覧を選び、決定 を押す

選択した録画予約一覧の表示に切り換わります。

お知らせ

- 録画予約は、ユーザー予約で 64 件、おまかせ自動予約で 60 件まで登録できます。
- 時刻の重複する予約を登録すると、文字色を変えてお知らせします。（赤：時間帯が重複しているとき。青：終了時刻と別録画の開始時刻が同じなどのとき。番組の全部または一部が録画されない状態です。）必要に応じて、予約の変更をしてください。
  ただし、以下のような場合もあります。
  － HDD と DVD の予約混在時には、終了時刻が青文字で表示されないことがあります。
  － デジタル放送を録画中、「番組追っかけ」機能（リアルタイム追跡）で終了時刻が延長された場合、その後の予約が赤文字で表示されることがあります。

予約キャンセル（録画予約一覧から予約を取り消す）

1 番組ナビ を押す

2 【録画予約一覧】を選び、決定 を押す

3 削除したい録画予約を選ぶ

4 クイックメニュー を押す

クイックメニューが表示されます。

5 【予約キャンセル】を選び、決定 を押す

メッセージを確認して、録画予約を削除します。

6 終了 を押して画面を終了する

録画予約一覧の使いかた(つづき)

録画優先度を変更する

録画優先度について詳しくは➡78ページをご覧ください。

1 「録画予約一覧」で、変更したい優先度アイコンを選び、決定 を押す

2 「録画優先度選択」画面で、お好みの優先度を選び、決定 を押す

- 録画優先度は録画予約（基本的な設定）画面からも変更できます。(➡ 74 ページ)

番組情報を取得する

ADAMS、iNETまたはデジタル放送波から該当する番組情報を取得します。詳しくは➡29ページをご覧ください。

1 「録画予約一覧」で、 を押す

2 【番組情報取得】を選び、決定 を押す

番組情報が取得されます。

- 予約録画準備中や実行中は、取得できません。
- iNET利用時は、ネットdeナビで情報を取得するための設定をしないと取得できません。

予約録画実行中に録画を止めるには

録画先（HDD または HD DVD）を押し、W録 で録画中のW録（エンコーダー）を選択したあと、リモコンの ■ を押して画面のメッセージにしたがって中止させます。

（ナビ画面などの表示中は働きません。）

通常録画・予約録画中に終了時刻を変更する／予約録画終了後の電源の入切を設定する

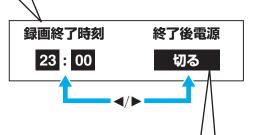
1 予約録画実行中に、 を押す

・ナビ画面などが表示されている場合は、終了 を押すなどして画面を消してから、 を押してください。

2 【録画終了時刻／電源設定】を選び、決定 を押す

3 終了時刻と、終了後の状態を設定する

録画終了時刻を設定する

▲/▼：時間／分を設定
（番号ボタンでもできます）
◀/▶：時／分の切換

▲/▼ボタンで設定を変更します。

切る：　通常または予約録画終了後に電源が切れます。

入り継続：通常または予約録画が終了しても、電源は切れません。

4 決定 を押す

- 予約内容によっては、設定できない場合があります。
- 終了時刻1分前や、次の予約開始2分前を過ぎると終了時刻の変更はできません。また、一度指定した時刻より前の時刻を設定することや、A1/A2/DL録画中の終了時刻設定は行なえません。
- 終了時刻を延長しても、空き容量がなくなると録画を終了します。また録画先がHDDで、TS以外の画質で録画した場合、録画開始から9時間を過ぎると、その時点で録画を終了します。TS録画の場合、放送の内容によって自動的に録画が終了する時間が変わります。(最長で約27時間)

録画実行チェックについて

録画するための容量が不足していないか、また、予約が重複していないかを確認するための画面です。
「✔」がついている予約に対して、録画が可能か、重複があるかどうかをチェックします。

ディスクの残量（表示は目安です）

選択している予約項目分

選択し (決定) を押して「✔」のつけはずしをします。
（下記の「録画実行チェックの注意点」①をご覧ください。）

マークの意味：

○・・・録画できます。

×・・・この条件では録画が最後までできません。（重複した予約がある、または録画可能な空き容量がないなどが考えられます）

△・・・予約の重複や隣接のために、録画の一部が切れてしまう可能性があります。

録画実行チェックの注意点

「録画実行チェック」画面は、チェックのためだけの画面でなく、通常の録画予約一覧も兼ねています。
以下の注意点をお読みになり、「録画実行チェック」を正しく活用してください。

①

① 「✔」は実際の録画予約の入／切も兼ねています。「✔」をはずしたままだと録画は実行されなくなりますのでご注意ください。

② 毎週・毎日などの「毎予約」（➡ 81 ページ）をしている予約は「毎○曜日」などの 1 行表示から、一つ一つの日付の予約に分けて表示されます。
この時の「✔」マークは、現在にいちばん近い予約が「✔C」、それ以降の予約が「✔C」で表示されます。
これらのアイコンの実行チェックマークをはずすと、関連する予約のチェックマークがすべてはずれますのでご注意ください。

- およそ1週間以上先の予約のチェックでは実行チェックの判定（○・×・△）に誤差が生じるおそれがあります。
- HD DVDドライブへの予約の際、対象となるディスクが挿入されていない場合、「VR」録画のときは、4.7GBとしてチェックします。（画質が「DL」のときは、8.5GBとしてチェックします。）
「TS」録画のときは、30GB（HD-R(DL)）としてチェックします。
実際の録画時に記録可能なディスクが必要です。ファイナライズ済みのディスク（HD-R、DVD-R/RW（VRモード）を入れると、実行チェックの判定は「×」になります。
- デジタル放送を録画中、「番組追っかけ」機能（リアルタイム追跡）で終了時刻が延長された場合、正しく判定できないことがあります。
- 予約録画準備中と予約録画中は、正しく判定できないことがあります。
- 判定は判定時の録画予約をもとに判定します。「番組追っかけ」や「スポーツ延長」機能で重複などが変化すると結果が変わるおそれがありますので、なるべく予約録画開始時刻に近い時点で確認をしてください。

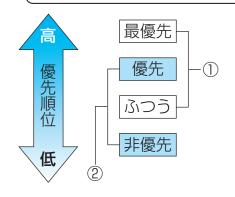
録画予約一覧の使いかた(つづき)

録画優先度の使いかた

それぞれの録画予約に対して、他の録画予約と録画時刻が重なった場合に、どちらを優先して録画するかの優先度をあらかじめ設定しておくことができます。

優先度の設定には以下の二種類があります。

■「録画予約(基本的な設定)」画面または「録画予約一覧」画面(「おまかせ自動予約」以外)の「優先度」で、「ふつう」または「最優先」を選択する。(➡73、76ページ)

■「お気に入り」または「シリーズ」番組リストの「おまかせ自動録画設定」画面と、「録画予約一覧」画面のおまかせ自動予約された予約の「優先度」で、「優先」または「非優先」を選択する。(➡89ページ)

① 「録画予約一覧」で設定(番組表・番組リストから手動で予約:ユーザー予約)

ふつう: 通常はこの設定で利用します。

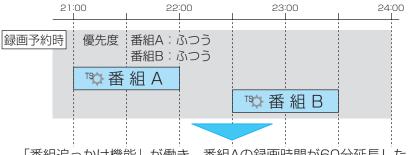
最優先: 放送時間が変更になって、他の録画と重なったときでも、優先的に録画をしたい場合や、有料(ペイパービュー)の放送を録画する場合など、優先的な録画をする必要があるときだけこの設定にします。

② 「おまかせ自動録画」関連で設定

非優先: 通常はこの設定で利用します。

優先: お気に入りのタレントの出演番組の設定など、録画優先度を高くしておきたいときにだけ、この設定にします。

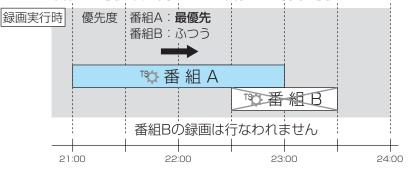
・「おまかせ自動録画」の予約を「ユーザー予約」に切り換えることができます。(➡94ページ)

例 1)地上デジタル放送の番組 A と番組 B(別チャンネル)を TS で録画する場合

通常は、録画時間が重ならないように予約をすれば、「優先度」を設定する必要はありません。

「番組追っかけ機能」が働き、番組Aの録画時間が60分延長した!

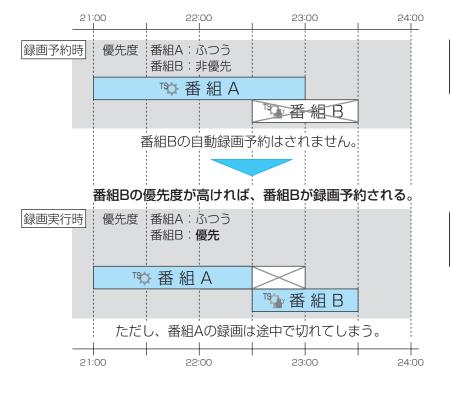
ただし、「スポーツ延長」や「番組追っかけ」機能を使用することで、番組の放送時間が変更になったとき、録画時間が重なってしまうことがあります。通常は、あとから始まる録画が優先されます。

番組Bの録画が始まると、番組Aの録画は途中で切れてしまう。

番組Aの優先度が高ければ、番組Aの録画が優先される。

そんなとき、番組 A の「優先度」が番組 B より高く設定してあれば、番組 A の録画が優先されます。

番組Bの録画は行なわれません

21:00 22:00 23:00 24:00

例 2）番組表から予約（ユーザー予約）をした番組 A（地上デジタル放送：TS で録画）と重なる時間の番組 B（別チャンネル：地上デジタル放送：TS で録画）が「おまかせ自動録画」（➡ 88 ページ）の予約時に見つかった場合

「おまかせ自動録画」機能でみつかった番組は、他の録画予約の時間と重なっていた場合は、通常は録画予約がされません。

そんなとき、番組 B の「優先度」が番組 A より高く設定してあれば、番組 B が録画予約され、実際の録画時に優先して録画されます。

■録画優先度の制約

- 隣接した予約の場合は、重複でないので優先度は適用されません。次の録画準備のために、前の録画の最後の部分が録画されないことがあります（HDD 録画で約 20 秒～ 2 分）。
- 予約開始約 2 分前以内での、優先度などの状態変化には対応できません。たとえば録画優先度の低い予約 A の開始 1 分前に優先度の高い予約 B の録画を停止しても、予約 A は実行されません。
- デジタル放送での「番組追っかけ」機能（リアルタイム追跡）で開始時刻が不明の状態のときに、他の予約の開始時刻になった場合は、他の予約を実行します。
- 録画準備中から録画中は優先度の変更はできません。

お知らせ

- 同じ優先度で録画が重複したなどの場合、優先度を高く設定していても録画ができないことがあります。たいせつな録画は事前にご確認ください。
- 「おまかせ自動録画」の自動予約で設定された予約を、「番組ナビ - 録画予約一覧」の「優先度選択」画面の【ユーザー予約にする】から手動予約化をした場合、録画優先度は以下のように変更されます。
  - 「優先」→「最優先」
  - 「非優先」→「ふつう」

録画予約一覧の使いかた（つづき）

録画予約の基本的な設定

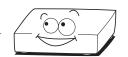
W録（エンコーダー）	TS		デジタル放送をそのままの高品質で録画します。（TS 録画タイトル）
	VR		録画品質で設定した画質で録画します。（VR 録画タイトル）
CH	地上アナログ、 地上デジタル、 BS デジタル、 110 度 CS デジタル、 ライン入力 A ～ C		録画したい番組の放送メディアまたはライン入力を選択します。
	（地上 A）1 ～ 64 （地上 D）3 けた+枝番 （BS_D）BS ＋ 3 けた （110 度 CS）CS ＋ 3 けた		録画したい番組のチャンネルを選択します。 （地上アナログ放送の場合、スキップ設定したチャンネルは表示されません。）
録画優先度 （➡ 78 ページ）	手動で予約したとき	最優先	他の録画と重なった場合、他の録画を中止して、この設定をした録画が優先されます。
		ふつう	通常の設定です。（他の録画と重なったときは、優先度の高い方が優先されます。）
	おまかせ自動録画のとき	非優先	通常、自動録画のときはこの設定を選びます。
		優先	お気に入りのタレントの出演番組の設定など、録画優先度を高くしておきたいときにだけ、この設定にします。
		ユーザー予約にする	「おまかせ自動録画」の自動予約で設定された予約を、手動で予約したときの設定に変更します。「優先」➞「最優先」、「非優先」➞「ふつう」に変更。
予約日 （毎予約）	今日から 2 ヵ月先（62 日）の日付まで、毎日曜日~毎土曜日、月~木、月~金、月~土、毎日		録画したい番組の日付を設定します。
予約時間	0：00 ～ 23：59		録画の開始時刻です。（初期値として現在の時刻が表示されます。）
	0：00 ～ 23：59		録画の終了時刻です。現在時刻から 2 分以降で録画開始時刻から 9 時間以内（TS 録画の場合は 23 時間 59 分以内）が設定できます。
録画品質 （画質モード）	SP		録画時間、画質とも標準の設定です。（音質に「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	LP		長時間録画したいとき。ただし、画質は「SP」モードに比べると下がります。（音質に「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	MN		ビットレートを任意に設定できます。
	A1		録画直前のディスクの空き容量に合わせて自動的に画質レートを設定します。（ディスクの空き容量が足りない場合は、番組の最後まで録画できません。）内蔵 HDD に録画すると、4.7GB の未使用 DVD ディスクにダビングできる時間分を録画します。約 4 時間以上の番組は設定できません。
	A2		未記録の両面ディスクになるべく高画質でおさまるように、自動的に画質レートを設定します。「記録先」は「HDD」に固定されます。録画後のタイトルは容量が片面ディスク 2 枚分で、中間点で前後二つのチャプターに分かれています。それぞれのチャプターをディスクにダビングすることで、容量のむだのない、高画質の保存ができます。
	DL		未記録の DVD-R DL（2 層）に、なるべく高画質でおさまるように、自動的に画質レートを設定します。内蔵 HDD に記録して、あとで DVD-R DL（2 層）ディスクにダビングするという使い方もできます。
録画品質 （画質レート）	1.0、1.4 2.0 ～ 9.2		録画モードが「SP」、「LP」、「A1」、「A2」、「DL」では指定できません。1.0、1.4 と 2.0 ～ 9.2 の範囲で 0.2Mbps ずつ任意に指定できます。（音質の設定値によって、設定できる上限値が変わります。）
録画品質 （音質）	DD D/M1		標準の音質です。
	DD D/M2		DD D/M1 よりも良い音質です。音楽番組などの録画にお勧めです。
	L-PCM		圧縮していないデジタル音声でオーディオ CD 同等の音質ですが、録画できる時間は短くなります。
録画品質 （高レート節約）	—		最高画質レートで録画しながら容量をなるべく節約したいときに選択します。通常は最高レートの 9.2Mbps（音質が L-PCM の場合は 8.0Mbps）で録画をし、映像に変化が少なく高いレートを必要としない部分だけ、一時的にレートを下げて録画します。TS 録画の場合は、この機能は選択できません。
記録先	DVD		本機で録画に対応している各 DVD ディスクや、HD-R に録画したいとき。
	HDD		内蔵 HDD に録画したいとき。
記録先 フォルダ			録画したタイトルを保存するフォルダを選択します。 選択しない場合は、フォルダの外（ルート）に保存されます。

DD D/M1、DD D/M2 は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定 1 としてDD D/M1 は Dolby Digital 192kbps、設定 2 としてDD D/M2 は Dolby Digital 384kbps となっています。

- W録（エンコーダー）に「TS」を選択した場合、チャンネルはデジタル放送のチャンネルだけからの選択となり、録画品質は固定となります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡186ページ）

■毎週や毎日の録画予約をするには（毎予約）

・「毎予約」とは、「番組ナビ - 録画予約（基本的な設定）」画面で、曜日や毎日という指定で予約した録画予約のことです。たとえば、「毎日曜日」を選択すれば、毎週日曜日に設定した条件の予約がはいり続けます。

連続ドラマの予約をする場合などに、「毎○曜日」、「月～金」のように設定すると、一回ごとに予約をいれる手間がなくなり便利です。

「毎予約」の設定のしかた

1 「録画予約（基本的な設定）」画面の【日時】を選び、決定 を押す

2 「毎予約」の選択項目を選び、決定 を押す

• ADAMS、iNET を利用している地上アナログ放送のチャンネルで、一部の連続もののドラマやアニメを予約すると、自動的に毎予約の表示となります（自動毎○予約設定）。ただし、実際の放送予定の曜日に沿っていることを保障するものではありません。「日時」の内容を確認することをおすすめします。

■番組名のフォルダを自動作成して録画タイトルをいれる（番組名フォルダ化）

・予約録画時に、番組名と同じ名前のフォルダを自動的に作成して、録画した番組をその中にいれることができます。

「番組名フォルダ化」の設定のしかた

1 「録画予約（基本的な設定）」画面の「記録先」のフォルダ側を選び、決定 を押す

2 「記録先フォルダ選択」画面で、【番組名フォルダ化】を選び、決定 を押す

文字入力画面に番組タイトルが表示されます。
・ここでフォルダ名を変更することもできます。（➡33ページ）

3 【登録】を選び、決定 を押す

「登録先フォルダ選択画面」が表示されます。

4 登録したいフォルダ番号を選び、決定 を押す

元の画面に戻ります。

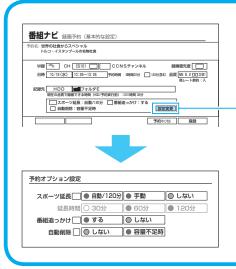
■シリーズ番組リストの条件として登録する（シリーズ予約にする）

・録画予約はせずに、番組名などの条件をシリーズ番組リスト（おまかせ自動録画対象）の条件として登録することができます。シリーズ番組リスト、おまかせ自動録画については➡69、88ページをご覧ください。

1 「録画予約（基本的な設定）」画面で、【シリーズ予約にする】を選び、決定 を押す

・「おまかせ自動録画一覧」画面が表示されます。
番組名などの一部情報が引き継がれます。
➡89ページを参考に、シリーズ予約の設定を行なってください。

録画予約一覧の使いかた(つづき)

録画予約(基本的な設定 - 予約オプション)について

1 録画予約(基本的な設定)画面で【設定変更】を選び、(決定) を押す

「予約オプション設定」画面が表示されます。

2 各項目の値を選び、(決定) を押す

・項目の内容と値については、以下からの説明をご覧ください。

■スポーツ延長 (解説は➡ 83 ページ)

番組表から録画予約をするときの設定です。
野球中継などの放送時間延長の可能性がある場合に、録画予約の終了時刻を自動的に延長します。この機能を利用するかどうか、また利用する場合の延長時間の設定ができます。

しない ：この機能は働きません。

自動 ：番組データから取得した時間分の延長で、この機能を働かせます。延長時間が不明の場合は、「延長時間」で選択されている時間分が延長されます。

手動

30分 ：延長時間30分でこの機能を働かせます。

60分 ：延長時間60分でこの機能を働かせます。

120分：延長時間120分でこの機能を働かせます。

- 初期値(録画予約ー基本的な設定を表示したとき、はじめに選ばれている値)を変えることができます。(➡接続・設定編47、48ページ)

- 各デジタル放送の録画予約の場合は、この機能は設定できません。「番組追っかけ」の設定に連動して、自動的に設定されます。

■番組追っかけ (解説は➡ 84 ページ)

番組表から録画予約をするときの設定です。予約している番組の放送時間の変更にあわせて、録画予約の開始／終了時刻を自動的に変更します。
この機能を利用するかどうかの設定ができます。

しない：この機能は働きません。

する ：この機能を働かせます。

- 番組追っかけ機能の初期値(録画予約ー基本的な設定を表示したとき、はじめに選ばれている値)の設定については➡接続・設定編47、48ページをご覧ください。

■自動削除

内蔵HDDの容量が不足したときに、容量を確保するために自動削除する対象にするかどうかを選びます。

しない ：自動削除の対象にしません。

容量不足時：内蔵HDD内の容量が不足した場合に削除の対象となります。

- タイトルの自動削除は、予約録画前と番組データ更新時に行なわれます。
- 自動削除の対象にしたタイトルの録画終了後に、自動削除されないように変更したい場合は、タイトルを保護するか、DVDディスクなどにダビングをしてください。

スポーツ延長機能について

ナイターが延長されたから、録画予約したドラマの後半部分が録画されなかった!! これってどうにかならない?

そんなときは**「スポーツ延長」機能**!
今までは同じチャンネルで放送の延長があった場合、放送時間がずれてしまい、録画予約した番組が正しく録画されないことがありました。
本機の「スポーツ延長」機能を「自動」または「手動」にすれば、前もって延長の可能性を判断し、延長分長く録画できます。(予約録画する番組が延長される番組自身の場合も延長分多く録画します。)

野球中継などのスポーツ番組の延長で、予約した番組の放送時間がずれる可能性がある場合、録画予約の録画終了時刻を自動的に見込み延長する機能です。
➡たとえば、野球中継の後のドラマを予約したときに、中継が延長されても、ドラマが最後まで録画できるので便利です。

以下の手順で「スポーツ延長」機能が使えます。

1 **「番組ナビ設定 - スポーツ延長(➡接続・設定編47、48ページ)」を設定しておく。**
・個々の予約に対して、録画予約(基本的な設定)の予約オプション設定画面で設定することもできます。(➡82ページ)

2 **番組表から録画予約をする。**
・ADAMS、iNETまたはデジタル放送を利用するチャンネルの録画予約であることが必要です。

例) ①「番組ナビ設定 - スポーツ延長」を「自動(30 分)」に設定。
②21:00 ~ 22:00 まで放送予定のドラマAを予約。
③ドラマAの前に野球中継がある。

ただし、他の予約録画の開始時刻になったときは、録画優先度の設定にしたがいます。

以下の各画面では、状況に応じて以下のアイコンが表示されるようになります。

録画予約一覧	録画予約(基本的な設定)	アイコンの意味
延	延:30 分含む	・録画時間が延長された予約
延X	延X	・延長機能が働かない予約 (「番組ナビ設定」で、延長設定が「切」になっている、または、録画予約後に録画開始/終了時刻やチャンネルを手動変更したり、「番組ナビ設定」の「地上アナログ/ライン入力の番組データ取得」を「しない」に変更すると、延長の対象外となります。)

●参考
・ADAMS の番組データを利用するチャンネルでは、予約番組自体または予約番組以前にある番組が以下 1 または 2 の条件にあたる場合、スポーツ延長機能が働きます。
(条件)
・番組表内に「延長」または「繰り下げ」の文字がある。
→延長時間は不明なので、「番組ナビ設定」で設定したスポーツ延長の時間分を延長します。
・番組表内に「最大延長○○:○○」などの文字がある。
→表示されている時間分を延長します。
※ただし、該当番組の終了時刻が 19 時~翌朝 5 時前の場合は、予約番組の終了時刻が翌朝 5 時より前であること。
該当番組の終了時刻が 5 時~ 19 時前の場合は、予約番組の終了時刻が 19 時前で該当番組の延長前終了時刻から 6 時間以内であること。

- 予約後に、番組の開始時刻が変更された場合は延長対応が正しく行なわれません。
- 録画の開始/終了時刻や録画チャンネルを変更した場合、変更した予約に関連する予約は延長が解除され、この設定の対象外となります。
- 一度この設定の対象外となった予約をもう一度対象にしたいときは、番組表から新規に予約しなおしてください。
- A1/A2/DL 画質(➡ 80 ページ)で録画予約した場合や、ディスクの空き容量によっては、自動延長をした結果、番組がディスクに入りきらなくなる場合があります。
また、自動延長が働くことによって、残量の値も変動します。
- 延長時間の自動設定は録画予約時と番組データ更新時に行なわれます。更新のタイミングによっては、自動延長が間に合わないことがあります。
- 録画予約の約 15 分前~録画中の番組は自動延長の対象外となります。

録画予約一覧の使いかた(つづき)

番組追っかけ機能について

連続ドラマを毎週録画予約するけど…初回や最終回を、スペシャルで通常より長く放送するときがあるよね。そんなときその回だけ予約時刻を設定しなおすのは面倒…

そんなときは「番組追っかけ」機能!
本機の「番組追っかけ」機能を使えば、延長があった回を延長分長く録画できます。予約した番組の前に特別番組がはいるなどして放送時間が変更された場合も、予約した番組に合わせて予約時間の変更を自動的に行ないます。

番組表上の放送時間の変更に合わせて、予約の録画開始 - 終了時刻を自動的に変更する機能です。

・地上デジタル、BS ／ 110 度 CS デジタル放送の番組の場合は、番組表の更新がなくても、予約録画開始時間以降の番組開始 - 終了時刻の変更に対応します(デジタル放送のリアルタイム追跡)。たとえば、野球中継の延長などで、番組の開始 - 終了時刻が番組表上で確定しない場合に力を発揮します。また、番組の臨時編成で放送チャンネルが変更になった場合にも対応します。

➡ たとえば、録画予約後に、何らかの理由で番組の放送時間が変更されても、予約の時間が自動変更されて、番組を逃さず録画できます。

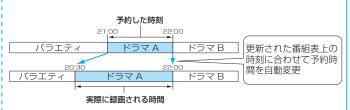
以下の手順で「番組追っかけ」機能が使えます。

1 **「番組ナビ設定 - 番組追っかけ(➡接続・設定編 47、48 ページ)」を【する】にしておく。**
・個々の予約に対して、録画予約(基本的な設定)の予約オプション設定画面で設定することもできます。(➡ 82 ページ)

2 **番組表から録画予約をする。**
・ADAMS、iNET またはデジタル放送を利用するチャンネルの録画予約であることが必要です。

例)21:00 ～ 22:00 まで放送予定のドラマ A を予約。

① 予約後、ドラマ A の前に特別番組がはいり、番組表が変更された場合。番組表上の放送時刻変更にあわせ、予約の開始 - 終了時刻が自動的に変更されます。

② 番組表上で放送開始時間が前倒しになった場合でも、予約時刻は自動的に変更されます。

③ただし、時間変更すると他の予約録画と重なってしまう場合は、録画優先度(➡ 78 ページ)にしたがって録画が実行されます。

「番組ナビ」の画面では、状況に応じて以下のアイコンが表示されます。

アイコン	アイコンの意味
追 (青色)	・番組追跡の結果、予約時間が自動変更された予約
追 (緑色)	・番組開始時刻リアルタイム追跡中 (デジタル放送の場合のみ)
追?	・番組追跡に失敗した場合。 ・最大録画可能時間を超えた予約

アイコン	アイコンの意味
追×	・録画開始／終了時刻やチャンネルを手動変更するなどして、番組追跡の対象外となった予約 ・録画予約(基本的な設定)で番組追っかけ「しない」を選択している場合

• 番組追っかけ機能は、すべての番組に対して機能が働くことを保証するものではありません。たとえば、同チャンネルで複数の録画予約があるとき、放送時刻変更後の前番組の録画予約時間が変更前の別番組の予約開始時刻と重なると、その別番組には番組追っかけ機能が働かず、録画に失敗することがあります。

(例)

※天気予報など、短時間番組を挟んで同じチャンネルの番組を連続して録画予約しているときは、後ろの番組に対して、番組追っかけ機能が働かないことがあります。

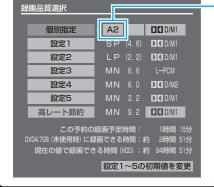
• 録画の開始／終了時刻や録画チャンネルを手動変更した場合は、番組追っかけの対象外となります。
• 番組追跡で予約時刻の変更ができるのは、予約時の開始時刻の前後 3 時間 10 分以内の変更と、予約時の録画時間 (開始時刻～終了時刻) の前後約 3 時間 10 分以内の増減の変更です。ただし、デジタル放送の場合は、予約時の開始時刻後 3 時間以内に放送開始時刻が確認できれば、予約時刻の変更が行なわれます。
• 放送時刻の変更が午前 5 時をまたぐ場合、予約時刻の自動変更は行なわれないことがあります。
• 予約時刻の自動変更は番組データ更新時と予約登録時、予約変更時に行なわれます。
• 予約録画開始の約 15 分前から録画中の予約に関しては、番組表上で放送時間の変更があっても、予約時刻の変更は行なわれません。また、放送時刻の変更によって開始時刻まで約 15 分に満たない場合、予約時刻の変更は行なわれません。
• デジタル放送のリアルタイム追跡は、放送開始時刻の前倒しには対応しません。
• A1/A2/DL 画質で録画予約した場合や、ディスクの空き容量によっては、予約時間の変更によって録画時間がふえると、番組がディスクにはいりきらなくなる場合があります。また、番組追跡対応の結果、残量の値も変動します。
• 予約名を手動変更していても、録画されたタイトル名は番組データからの番組名に更新されます。(予約名で番組追跡を行なうためです。)

A2（2面ジャスト）録画について

HDD

1枚の両面DVD-RAM（9.4GB）や2枚の片面DVD-RAM（4.7GB）または2枚の片面DVD-R/RW（VRモード）に、1件の予約録画タイトルを高画質でダビングするための録画機能です。
長時間にわたる内容をよりきれいな画質でDVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）にダビングして保存したい場合に便利です。

■設定するには

録画予約（基本的な設定）の「品質」で「A2」を選んでください。（「記録先」は自動的に「HDD」が設定されます。）

●録画終了後は

DVD-RAMまたはDVD-R/RW（VRモード）に前後二つのチャプターをそれぞれダビングしてください。両面ディスクの場合には表面と裏面に、片面ディスクの場合には2枚のディスクにダビングします。
ダビングについては➡「編集とダビング」の章をご覧ください。
「A2」を選んで予約すると片面ディスク2枚分にちょうど収まる画質･容量で内蔵HDDに録画され、中間点でチャプター分割され前後二つのチャプターが自動的に作られます。これらのチャプターをDVD-RAMまたはDVD-R/RW（VRモード）にダビングすることで、二つの面それぞれに半分ずつ最大限の高画質で保存したDVD-RAMまたはDVD-R/RW（VRモード）をつくることができます。

お知らせ

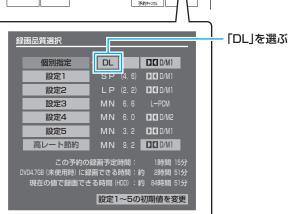
- 内蔵HDD側にDVD-RAM（またはDVD-R/RW（VRモード））2枚分の空き容量が必要です。
- DVD-R/RW（Videoモード）は利用できません。
(HDDへDVD互換「入」で録画された内容を、あとでDVD-R/RW(Videoモード)へダビングすることはできます。)

DL（2層ジャスト）録画について

HDD DVD-R（VRモード） ※DVD-R DL（2層）

1枚のDVD-R DL(2層)にぴったり収まるように、1件の予約録画タイトルを高画質で録画、またはあとでダビングするための録画機能です。

■設定するには

録画予約（基本的な設定）の「品質」で「DL」を選んでください。

●録画終了後は

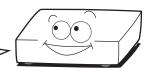
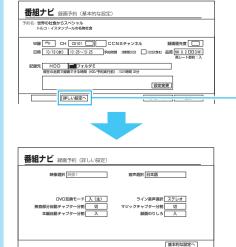
内蔵HDDに録画した場合は、DVD-R DL（2層）にダビングしてください。
ダビングについては➡「編集とダビング」の章をご覧ください。

- 内蔵HDD側に約8.5GBの空き容量が必要です。

録画予約一覧の使いかた(つづき)

録画予約の詳しい設定

「録画予約(詳しい設定)」では自動的にチャプター分割をしながら録画するなどの詳しい設定や、デジタル放送を録画する際の便利な設定ができます。
ご注意！録画方式(TS録画か、VRモード録画か)によって、設定をしても機能が無効になる項目があります。

1 録画予約(基本的な設定)画面で【詳しい設定へ】を選び、決定 を押す

2 設定を変更したい項目を選び、決定 を押す

3 項目の値を設定し 決定 を押す

・項目の内容と値については、各画面説明または以下からの説明をご覧ください。

■映像選択

デジタル放送では一つの番組内で関連する内容(例:野球中継では通常の放送、バックネット裏固定、バックスタンド固定など)を3チャンネル、または高画質放送1チャンネルと標準テレビ1チャンネルで同時に放送を行なう場合があります。
マルチビュー放送をTS録画以外の画質で録画するとき、どのチャンネルで録画するかを設定します。(TS録画はすべてのチャンネルを録画します。)

- 設定する内容は放送によって異なります。
- デジタル放送がマルチビューの情報を含まない場合は、設定することができません。

■音声選択

デジタル放送には最大で八つの音声ストリーム※がある番組があり、番組によってどの音声ストリームで録画するか設定することができます。選んだ音声ストリームが二重音声放送(二カ国語など)の場合、DVD互換設定で選んだ音声で録画されます。「詳しい設定」のDVD互換を「切」にしている場合は、二重音声となります。

- 内蔵HDDやHD-RへTS録画する場合、この機能の設定はできません。

※音声ストリームとは、デジタル信号の道路のようなものであり、チャンネルという意味ではありません。一つ目の音声ストリームが5.1chで二カ国語(日本語／英語など)、二つ目の音声ストリームが5.1chで日本語だけといった場合があります。

■DVD 互換モード

DVD-R/RW (Videoモード)にあとでダビングする場合に設定します。
設定する内容については➡60ページをご覧ください。

■ライン音声選択

本機に接続している外部機器から録画予約をするときに記録する音声を選びます。

- **ステレオ**：
  ステレオで記録します。
- **L**：
  左チャンネルの音声だけを記録します。
- **R**：
  右チャンネルの音声だけを記録します。
- **主+副**：(VRモード用)
  二カ国語放送などを二重音声で記録します。
  - 「主+副」の設定がされていても、音声をL-PCMで録画する場合は「ステレオ」になります。

■無音部分自動チャプター分割

音声が無い(聴感上音のない)部分で自動的にチャプター分割をする機能です。
たとえば、音楽クリップ集番組で、再生時の曲間頭出しの目安などに利用できます。完全なチャプター分割をしたり、あるいは完全に無音の部分でだけ自動的にチャプター分割をする機能ではありません。
この機能は通常または予約録画中に、ナビ画面などを表示していない場合は、【クイックメニュー】の【無音部分自動チャプター分割】から設定または変更することができます。

切：この機能は働きません。
入：無音部分でチャプター分割をします。

- 番組の内容や無音部分の状態によっては、チャプター分割されない場合や、分割位置が異なる場合があります。また、曲の中でも、無音部分やそれに近い部分があるとチャプター分割される場合もあります。
- 録音入力レベルの設定値によっては、チャプター分割されない場合や分割位置が異なる場合があります。
- 「入」にしたときは、自動的にたくさんのチャプターが作成されるため、チャプター数の上限に達すると、それ以上のチャプターの作成は別の方法も含めてできなくなります。その場合は、チャプターを結合するなどしてチャプター数を減らしてください。
- デジタル放送の場合は、この機能は設定できません。

■マジックチャプター分割

録画する番組のジャンルに合わせて、それぞれの番組に適した位置で自動的にチャプター分割をする機能です。
番組中のトピックスの切り換わりなどを判別してチャプター分割します。たとえば、ニュース番組でニュース項目の目安などに利用できます。ただし、すべてのトピックスを完全に判別するわけではありません。

切：この機能は働きません。
入：この機能を働かせます。

例)こんな場面でチャプターが分割されます

画面の切り替わりなどで自動的にチャプターを分割します。

- 初期値(録画予約－詳しい設定を表示したとき、はじめに選ばれている値)を換えることができます。(➡応用編64ページ)
- 録画時間が短い場合、チャプター分割されないことがあります。
- 番組の内容や受信の状態によっては、チャプター分割されないことや、分割位置が異なることがあります。
- 追っかけ再生時にはまだチャプター分割されていません。録画が終了したタイトルはチャプター分割されています。
- 分割位置はトピックス先頭のシーンから数フレームずれることがあります。
- マルチビュー放送をTS録画する場合は、主映像の場面を対象にチャプター分割されます。
- チャプター数の上限に達すると、それ以上のチャプターの作成はできなくなります。

■本編自動チャプター分割

番組の本編とそれ以外の放送（CM など）の切り換わった位置を判別して自動的にチャプター分割をする機能です。

切：この機能は働きません。
入：この機能を働かせます。

例 1)こんな場面でチャプターが分割されます

本編とその他(CM など)の変わり目などに自動的にチャプターを分割します。本編だけを頭出しして再生したいときに便利です。
「本編自動チャプター分割」を設定した録画番組をチャプター表示にしたとき、CM 部分のチャプターは名前が「CM」と付きます。

チャプター 0001　CM　チャプター 0003

例 2)こんな場面でチャプターが分割されます

バラエティ番組で CM の前の内容と後で同じ内容がくり返されるときに、CM の前の内容の付近と CM 部分を自動的にチャプターを分割します。
ジャンルがバラエティの番組を録画したタイトルをチャプター表示にしたとき、CM 部分のチャプターは名前が「CM」と付き、くり返される内容の前の部分のチャプター名が「D」になります。

チャプター 0001　D　CM　チャプター 0004

- 番組の内容や受信の状態によってはチャプター分割されないことや、分割位置が異なることがあります。
- 分割位置は本編とそれ以外の放送の境界から数フレームずれることがあります。
- マルチビュー放送をTS録画する場合は、主映像の場面を対象にチャプター分割されます。
- チャプター数の上限に達すると、それ以上のチャプターの作成はできなくなります。

■録画のりしろ

デジタル放送は、地域によっては最大で約4秒の映像遅延がおこることがあります。
録画のりしろ機能が【入】の場合、番組の前後約5秒をのりしろとして余分に録画することでタイトルの前後が欠けないようにします。

切：この機能は働きません。
入：録画のりしろを実行します。

■字幕を録画するには…

デジタル放送の字幕放送を録画するにはTS録画をしてください。再生する際の字幕の切換えは字幕ボタンまたはクイックメニューの【信号切換】→【字幕切換】で行ないます。

おまかせ自動録画

設定した条件にあてはまる番組を、自動的に検索してリスト表示します。（お気に入り番組リスト、シリーズ番組リスト）その中から番組が自動で録画予約されます。

おまかせ自動録画対象の番組リスト

「お気に入り番組リスト」「シリーズ番組リスト」に表示された番組から、番組が自動録画されます。

お気に入り番組リスト

設定したキーワードを含み、条件※にあてはまる番組を一覧表示します。

シリーズ番組リスト

設定した番組名と一致または類似し、条件※にあてはまる番組を一覧表示します。

※条件の設定は➡次ページの「お気に入り／シリーズ番組リスト（おまかせ自動録画）の条件を設定・変更する」をご覧ください。

おまかせ自動録画のしくみ

1 「おまかせ自動録画設定」で条件を設定します。

登録時に **1** の条件にあわせて最長2日後までの番組が自動的に録画予約されます。

番組データ取得

デジタル放送波：1日1回
ADAMS：1日2回
iNET：1日1回

番組データ取得後も **1** の条件にあわせて最長2日後までの番組が自動的に録画予約されます。

2 条件にあてはまる番組は「お気に入り」「シリーズ」番組リストで確認できます。

- おまかせ自動録画についてのお知らせは➡ 190 ページをご覧ください。

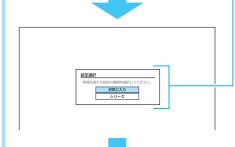
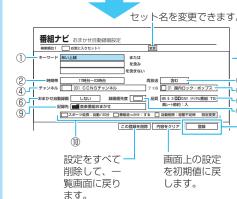
お気に入り／シリーズ番組リスト（おまかせ自動録画）の条件を設定・変更する

予約数：自動録画予約件数（本日分）
検索数：キーワードに合致している番組の数

セット名を変更できます。

⑩

設定をすべて削除して、一覧画面に戻ります。

画面上の設定を初期値に戻します。

番組表の表示順が上のチャンネルから予約されます。

同時刻の同一番組は重複予約されません。
デジタル放送とアナログ放送で同時刻に同一番組がある場合がありますので、優先的に予約してほしい放送を④チャンネルの項目で指定するか、チャンネルの表示順を上の方に並べかえる（➡ 97 ページ「チャンネルの表示順を変更する」）ことをお勧めします。

1 番組ナビ を押す

2 【お気に入り番組リスト】または【シリーズ番組リスト】を選び、決定 を押し、【おまかせ自動録画設定一覧】を選び、決定 を押す

3 新規設定の場合は空いているリスト行を、設定変更の場合は変更するリスト行を選択し、決定 を押す

- 設定変更の場合は手順５へ進みます。
- 全部で 12 件の設定ができます。

4 おまかせ自動録画（【お気に入り】または【シリーズ】）の種類を選び、決定 を押す

5 項目を選び、決定 を押して、条件を設定する

リスト表示したい番組の条件、おまかせ自動録画の条件を設定します。

①**キーワードを入力します。**（➡ 190 ページからのお知らせもご覧ください。）
キーワード１･２は OR 検索、キーワード３は NOT 検索です。
キーワード入力の詳細は➡次ページ手順３の表をご覧ください。
「お気に入り」の場合：番組名、番組説明（一部）、人名情報の中にキーワードが含まれる番組を検索します。
「シリーズ」の場合：番組名がキーワードに類似するか、第○話などのシリーズである番組を検索します。

（例）キーワードが『RD と薔薇』の検索結果

番組名	お気に入り	シリーズ
RDと薔薇	○	○
RD薔薇	×	○

（例）キーワードが『RD 入門第１回「W 録とは」』の場合

番組名	お気に入り	シリーズ
RD入門第3回「見るナビ」	×	○

②**時間帯**：検索する時間帯を指定します。
③**再放送**：再放送番組を検索対象に含めるかどうかを選びます。
④**チャンネル**：検索するチャンネルを指定します。（連動していない外部機器のチャンネルのおまかせ自動録画はできません。）
⑤**ジャンル**：ジャンルを指定します。
⑥**おまかせ自動録画**：自動録画をするかしないかを設定します。自動録画する場合は、ここでのキーワードで検索された番組を１日何時間まで自動録画の対象にするかを選びます。

以降は「おまかせ自動録画」をする場合に設定します。

⑦**録画優先度**：➡ 78 ページ
⑧**品質**：➡ 80 ページ
- 対象番組がデジタル放送の場合、いずれかの設定を選び『決定』を押すと、TS 録画にするかどうかの選択画面が表示されます。

⑨**記録先**：録画したタイトルの保存先を選びます。
⑩**予約オプション**：➡ 82 ページ

6 【登録】を選び、決定 を押す

- 条件の検索／予約は、登録時と番組データ更新時に行なわれます。

番組を検索する

お好きな番組を検索して、番組を録画したり、番組の情報を確認できます。検索結果から録画予約をすることもできます。「番組ナビ　トップ」からの検索には「番組検索」と「人名検索」の二つがあります。

検索条件を入力して番組検索する

1 番組ナビ を押す

2 【番組検索】を選び、決定 を押す

3 検索に必要な項目を設定する

① **キーワードを入力します。**キーワードはすべて AND 検索です。

新規入力／変更	キーワードを新規に入力、または変更して設定します
キーワード選択	あらかじめ登録しておいたキーワードを選んで設定します。キーワードの登録については➡ 95 ページをご覧ください
人名選択	「番組ナビ」を起動した日から最大８日分の番組データからの人名を表示します。該当する人名を選び設定します
指定なし	キーワードを設定しません。キーワード１～３すべてが指定なしだと検索はできません
戻る	「キーワード入力方法選択」画面を閉じます。「戻る」を押しても閉じることができます

② **時間帯：** 検索する時間帯を指定します。指定しない場合は「指定なし」を選びます。
③ **再放送番組：** 再放送番組を検索対象に含むかどうかを選びます。
④ **チャンネル：** 検索するチャンネルを指定します。
⑤ **対象期間：** 「番組ナビ」を起動した日から最大８日間までの指定が可能です。
⑥ **ジャンル：** ジャンルを設定します。
⑦ **前回の検索結果：** 前回検索した結果が表示されます。

4 【検索開始】を選び、決定 を押す

条件に該当した検索結果が表示されます。

5 録画する番組がある場合は、番組名を選び、決定 を押す

予約内容を確認、変更する場合は➡ 74 ページをご覧ください。

6 【登録】を選び、決定 を押す

予約完了です。

• 番組検索についての詳しいお知らせは➡ 189 ページをご覧ください。

人名で検索する

番組データに含まれる人名で検索することができます。

準備

①番組ナビ を押す

②方向ボタンで【人名検索】選び、決定 を押す

方向ボタン（◀/▶）であ行、か行…などの見出しを切り換えます。
複数ページある場合は、「«/»」で切り換えます。

1 検索する人名を選び、決定 を押す

番組情報データに含まれる、人名リストが 50 音順に表示されます。お好みの人物をリストから選びます。

2 必要に応じて、その他の検索項目を設定し、【検索開始】を選び、決定 を押す

人名検索画面を再び表示したい場合は、キーワード欄のどれかを選び 決定 を押し【人名選択】を選び 決定 を押します。

3 録画する番組がある場合は、前ページ「検索条件を入力して番組検索する」の手順5から行なう

• 【人名検索】で表示される人名選択リストは、ADAMS または iNET からの番組データより作成されます。ただし、番組表内のすべての人名を網羅したものではありません。また、番組説明の出演者情報と異なる場合があります。デジタル放送番組の出演者名は含まれません。

有料放送（PPV：ペイ・パー・ビュー）の番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、録画購入の操作を行なう。（➡ 43 ページ）

※録画購入をしないと、録画ができません。
TS 録画で映像／音声／データの追加購入をする場合は、追加したい分のすべての購入操作を行なってください。

視聴年齢制限／番組購入限度額設定で制限される番組を予約したときは…

放送開始時刻になったら、制限を解除する。（➡ 43 ページ）

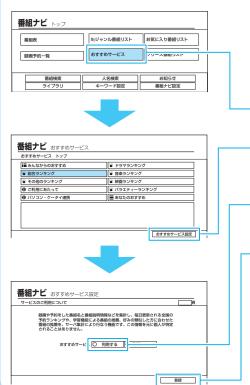
または

放送が開始される前に、制限を解除しておく。（➡接続・設定編 67、68 ページ）

※制限を解除しないと、録画ができません。

番組リスト「おすすめサービス」について(iNETのみ)

インターネットのサーバーと通信をして、現在の番組表からあなたにおすすめの番組や、「おすすめサービス」を設定しているユーザーの番組録画予約状況のランキングなどを表示します。
一覧リストから録画予約をすることもできます。(➡ 93ページ)
※番組リスト「おすすめサービス」は iNET を設定している地上アナログ、NHK BS アナログのチャンネルが対象です。(2006 年 5 月現在)

「おすすめサービス」を利用するための設定

準備

①本機をインターネット常時接続のルーターと接続します。(➡応用編 12 ページ)
②「番組ナビ設定 - 地上アナログ/ライン入力の番組データ取得」で iNET を選択します。(➡接続・設定編47ページ)

1 番組ナビ を押す

2 【おすすめサービス】を選び、決定 を押す

3 【おすすめサービス設定】を選び、決定 を押す

4 利用規約をよくお読みになり、【利用する】を選ぶ

5 【登録】を選び、決定 を押す

- 「おすすめサービス」の利用をやめる場合は、手順 4 で【利用しない】を選んで登録してください。

ご注意

「おすすめサービス」を【利用する】にした場合は、「番組ナビ設定 - 地上アナログ/ライン入力の番組データ取得」を【iNET】にしてください。

「おすすめサービス」の使いかた

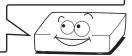
例：ドラマランキングを表示する

- この画面から録画予約をすることができます。(➡93ページ)

1 上記の「おすすめサービス」を利用するための設定の手順1、2を行なう

2 表示したいメニューを選び、決定 を押す

選択した「おすすめ番組」リストが一覧表示されます。
「おすすめサービス」で表示されるメニュー項目は、表示するタイミングで異なります。基本的には画面の表示や説明に従って操作をしてください。

メニュー項目や並び順は、表示タイミングや利用状況により変動しますが、「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」なども上記と同様の操作でリスト表示することができます。
「あなたのおすすめ」
本機での過去の予約履歴をもとに、おすすめの番組を表示します。
「みんなからのおすすめ」
好みが似ている人の予約履歴などをもとにおすすめの番組を表示します。

- メニュー項目以外のおすすめサービスの画面表示も予告なく変更する場合があります。
- おすすめサービスの番組リストでは、表示する時間の10分後以降に放送開始となる番組が表示対象となります。
- 設定メニューのチャンネル設定で設定している地域によって、リスト表示される番組が異なります。（その地域で視聴可能な番組を表示するためです）
- 本機の録画や予約状況によっては、おすすめリストに番組が表示されない場合や、表示できるまで数日かかる場合があります。
- リストを表示するタイミングによっては、表示内容が更新されていないこともあります。
- おすすめサービスの設定を【利用する】から【利用しない】に変更した場合、サービスご利用時に蓄積された番組の嗜好情報などのデータは削除されます。再度【利用する】に設定した際に、それらのデータはおすすめ番組の結果に反映されません。

番組リストから手動で録画予約をする

各番組リストの一覧表示から、手動で録画予約をすることができます。

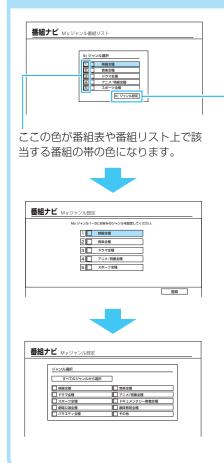
1 各番組リスト上で、録画予約をする番組を選び、㊋決定 を押す

・「録画予約（基本的な設定）」画面が表示されます。

2 【登録】を選び、決定 を押す

・予約内容を変更してから登録する場合は➡ 74 ページをご覧ください。

番組表の便利機能

My ジャンルを設定する

1 「番組ナビ トップ」画面で【Myジャンル番組リスト】を選び、決定 を押す

- 「Myジャンル選択」画面が表示されます。
  「Myジャンル番組リスト」（➡ 68 ページ）で B赤 を押しても表示できます。

2 【Myジャンル設定】を選び、決定 を押す

3 設定を変えたいジャンルを選び、決定 を押す

4 設定したいジャンルを選び、決定 を押す

「すべてのジャンルから選択」を選ぶと、さらに細かくジャンル指定ができます。

5 【登録】を選び、決定 を押す

おまかせ自動録画の予約をユーザー予約に切り換える

1 「録画予約一覧」画面で、ユーザー予約に変更する予約を選び、決定 を押す

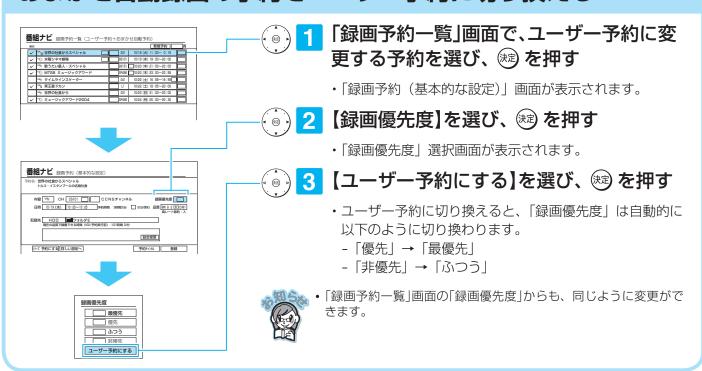
- 「録画予約（基本的な設定）」画面が表示されます。

2 【録画優先度】を選び、決定 を押す

- 「録画優先度」選択画面が表示されます。

3 【ユーザー予約にする】を選び、決定 を押す

- ユーザー予約に切り換えると、「録画優先度」は自動的に以下のように切り換わります。
  - 「優先」→「最優先」
  - 「非優先」→「ふつう」

お知らせ
- 「録画予約一覧」画面の「録画優先度」からも、同じように変更ができます。

入力支援用キーワードを登録する（通常キーワード設定）

「番組ナビ」「見るナビ」「編集ナビ」などで文字入力をする際に、文字入力画面の【キーワード選択】から呼び出して使用できます。よく使う言葉を登録しておくと便利です。

1 番組ナビ を押す

「番組ナビ　トップ」が表示されます。

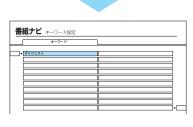
2 【キーワード設定】を選び、決定 を押す

3 キーワードを登録する場所を選び、決定 を押す

4 文字入力画面（➡33ページ）でキーワードを入力する

入力が終わったら、方向ボタンで【登録】を選び、決定 を押します。

5 続けて入力する場合は、手順3・4をくり返す

お知らせ

• キーワード設定の内容は、『クイックメニュー』の【キーワード削除】または【キーワード全削除】で消去できます。

番組説明から入力支援用キーワードを登録する

「番組説明」の文章の中の単語を入力支援用キーワードに登録できます。最大で全角48文字、半角96文字まで登録できます。

1 「番組説明」を表示中に クイックメニュー を押し、【キーワード登録】を選び 決定 を押す

2 方向ボタンで登録したいキーワードの先頭文字を選び 決定 を押し、次に語尾を選んで 決定 を押す

3 文字入力画面で【キーワード登録】を選び、決定 を押す

4 「キーワード」の入力位置を選び、決定 を押す

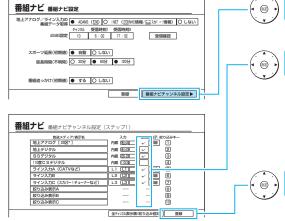
・手順３の画面に戻ります。さらに 戻る を押すと「番組説明」画面に戻ります。

・キーワード欄に最大数登録されている場合は、削除しても構わないキーワードを選び 決定 を押して、キーワードを入れかえます。

番組表の便利機能(つづき)

地上デジタル、BS/110度CSデジタル放送の表示/非表示を設定する

地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送の番組表を表示するときに設定します。
同様に非表示の設定もできます。

準備
① 番組ナビ を押す
② 【番組ナビ設定】を選び、決定 を押す

1 【番組ナビチャンネル設定】を選び、決定 を押す

2 各デジタル放送の「番組表表示」を選び、決定 を押して、表示/非表示を設定する

決定 を押して「✓」のつけはずしをします。
「✓」をつける・・・番組表に表示されます
「✓」をはずす・・・番組表に表示されません

3 【登録】を選び、決定 を押す

設定が登録されます。
(【登録】を押さないと設定はされません。)

• 各デジタル放送の番組表表示にチェックがない場合は、デジタル放送の番組表データは更新されません。ジャンル検索以外の検索などでも対象外となります。

リモコンの番号ボタンで番組表を絞り込み表示する(一発切換機能)

番組表では、各放送メディアごとにリモコンの番号ボタンが割りあてられています。
番組表を表示中に番号ボタンを押すと、割りあてられた放送メディアだけの番組表に絞り込むことができます。

割りあてられているリモコンの番号ボタン

お好きなチャンネルを絞り込み表示用に設定できます。
(➡97ページの「絞り込みチャンネルを設定する」をご覧ください。)

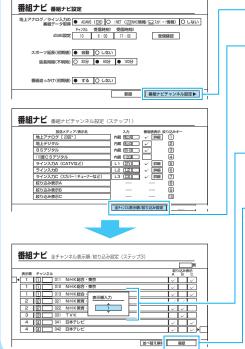
1 番組表表示中に、絞り込みをしたい放送メディアの番号ボタンを押す

番号ボタンに割りあてられた放送メディアだけの番組表に切り換わります。
例:■8 を押した場合

2 絞り込みを解除する場合は、チャプター分割 11/0 を押す

チャンネルの表示順を変更する

番組表での全チャンネルの表示順番を並べ替えることができます。
同一ジャンルの専門チャンネルを並べて見やすくするなど、お好みの設定ができます。

準備
① 番組ナビ を押す
②【番組ナビ設定】を選び、決定 を押す

1【番組ナビチャンネル設定】を選び、決定 を押す

2【全チャンネル表示順／絞り込み設定】を選び、決定 を押す

3 表示順を変更したいチャンネルを選び、決定 を押す

4 表示する順番を設定し、決定 を押す

表示順が変更されます。

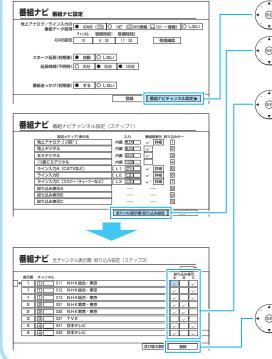
5【登録】を選び、決定 を押す

設定が登録されます。(【登録】をしないと設定はされません。)

ご注意
- 表示順を変更し、設定を完了すると、番組表や番組リストを表示した時点で番組データを取得しなおすので、表示されるまで時間がかかります。一時的な配列変更のために本機能をご利用になることはお勧めできません。

絞り込みチャンネルを設定する

リモコンの番号ボタン（8、9、10）に、お好きなチャンネルを絞り込み表示用として割りあてることができます。

準備
① 番組ナビ を押す
②【番組ナビ設定】を選び、決定 を押す

1【番組ナビチャンネル設定】を選び、決定 を押す

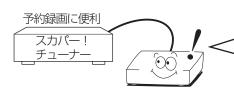
2【全チャンネル表示順／絞り込み設定】を選び、決定 を押す

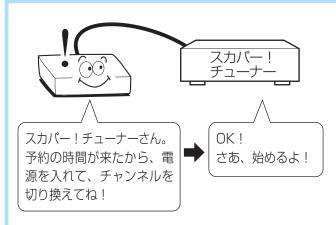
3 絞り込み表示に割りあてるチャンネルを設定する

絞り込み表示Ａ・・・リモコンの 8 に割りあてます
絞り込み表示Ｂ・・・リモコンの 9 に割りあてます
絞り込み表示Ｃ・・・リモコンの 10/＊ に割りあてます
決定 を押して「✓」のつけはずしをします。
「✓」をつける・・・絞り込み番組表に表示されます
「✓」をはずす・・・絞り込み番組表に表示されません
・ クイックメニュー を押して、放送メディアごとにまとめて「✓」のつけはずしをすることもできます。

4【登録】を選び、決定 を押す

設定が登録されます。(【登録】をしないと設定はされません。)

スカパー！チューナーから録画予約をする

スカパー！チューナーを接続して、スカパー！（SKY PerfecTV!）の番組を録画予約できます。
スカパー！放送の視聴には、受信契約が必要です。
チューナーの取扱説明書もご覧ください。

スカパー！連動機能を使うための設定

・本機で録画予約しておくと、予約時間に、スカパー！チューナーの電源を自動的に入れ、録画するチャンネルも自動的に切り換えます。
（スカパー！チューナーの機種によっては、電源を自動的に入／切できないものもあります。）

1 スカパー！チューナーと本機を映像・音声接続コードとCSデータケーブルの両方で接続します。
➡接続・設定編22ページ

2 スカパー！連動設定をします。【スカパー！連動】を【入】にします。スカパー！チューナーの電源入／切を制御するときは、【スカパー！電源連動】を【入】にします。➡接続・設定編76ページ

3 「番組ナビ」のチャンネル表示登録をします。 ➡接続・設定編 50 ページ

以下からの手順をご覧になり
「番組ナビ - 録画予約」で設定してください。

スカパー！連動機能を使わずに録画予約をするには…

スカパー！チューナーと本機の入力 1、入力 2、入力 3 端子のどれかに接続して、ライン入力として録画します。
➡73 または 74 ページの「録画予約（基本的な設定）」画面で設定します。

1 スカパー！チューナーを接続している端子(L3)に合わせて、ライン入力A～ライン入力Cを設定する

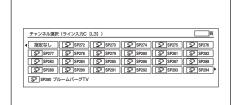
2 スカパー!チューナーの電源を入れた状態で、スカパー!チューナー側のチャンネル切換で録画をするチャンネルを設定しておく

スカパー！連動機能を使って録画予約する（本機をインターネットに接続している必要があります。）

➡73または74ページの「録画予約（基本的な設定）」画面で設定します。

以下の手順2でチャンネルを選択すると「連動」になります。

1 スカパー！チューナーを接続している端子（「設定メニュー － チャンネル／入力設定」の「スカパー！連動設定」で設定した入力端子）に合わせて、「L3」を設定しているライン入力A～ライン入力Cを設定します。

2 チャンネル選択画面で方向ボタンでチャンネルを選び、（決定）を押す

- «／»：前後のページに移動します。

「録画予約（基本的な設定）」画面に戻ります。各設定をしてください。
録画予約画面からもう一度スカパー！チャンネル選択画面を表示するときは、方向ボタン（▲/▼）で「CH」のライン入力A～ライン入力Cを選択してください。

- ペイパービュー番組を録画予約する場合は、スカパー！チューナーを接続している外部入力の通常予約として予約登録し、スカパー！チューナー側でも予約設定をしてください。
- スカパー！番組の予約シフトはできません。
- 電源制御が正しく動作しないスカパー！チューナーをご使用の場合は、「設定メニュー - チャンネル／入力設定」の「スカパー！連動設定」の「スカパー！電源連動」を【切】に設定し、スカパー！チューナー側は、録画開始の約 10 分前に電源を入れてください。
- スカパー！チューナーを複数機器で併用している場合、本機のスカパー！連動機能によって、接続される別機器の録画内容が別チャンネルに切り換わったり、スカパー！チューナーのアラート画面やミュート画面等が録画されたりする場合があります。

その他のお知らせ

番組ナビ「お知らせ」について

番組データに関するお問い合わせ先などの情報を表示します。

1 番組ナビ を押す

「番組ナビ　トップ」が表示されます。

2 【お知らせ】を選び、決定 を押す

番組表サポート情報画面が表示されます。
(例:ADAMS情報)

- サポート情報の内容は、「番組ナビ設定」の「地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」の選択によってかわります。

CATV をお使いのかたへ

CATV機器と本機を接続している場合で、以下の問題があるときはご確認ください。

問題

ADAMSを利用した番組表が表示されない

原因

- テレビ朝日系列の放送をご契約のCATV会社が提供していない。またはお住まいの地域がADAMSのサービスエリア外。
- ご契約のCATV会社が、テレビ朝日系列の放送周波数を変更して提供している。

以上の原因の場合はご契約のCATV会社にお問い合わせください。ADAMSを利用した番組表が利用できない場合は、iNETをお使いください。

問題

CATVが提供する地上アナログ放送は番組表で表示されるが、その他が提供しているBSデジタル専門チャンネルなどが表示されない

原因

- ADAMSから提供される番組表情報は、「地上アナログ」と「BSアナログ」となっています。「BSアナログ」に関しては「番組表の表示チャンネルを追加／変更する」(➡接続・設定編49ページ)を参照のうえ、CATV機器を接続した入力の「詳細」からCHコードを登録すると、ADAMS提供の情報が利用できます。ご契約のCATV会社が提供するBSデジタルや、専門チャンネルなどのチャンネルを番組表で表示するには、iNETを利用する必要があります。

本体チャンネル設定の変更メッセージについて

「本体チャンネル設定が変更されています。」というメッセージが毎回表示される場合、以下の手順を行なうと表示されなくなります。

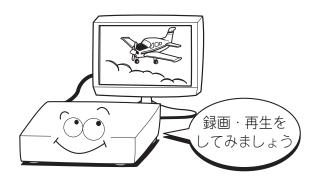
1 番組ナビ を押して「番組ナビ　トップ」を表示する

メッセージが表示されます。決定 を押して表示を消します。

2 【番組ナビ設定】を選択し、決定 を押す

3 【番組ナビチャンネル設定】を選択し、決定 を押す

4 地上放送の【詳細】を選択し、決定 を押す

5 番組ナビ を押して画面を閉じる

5 録画と再生

放送中の番組を録画する方法、録画したタイトルやDVDビデオの再生方法、「見るナビ」機能について紹介します。

操作をすると、以下のようなマーク（アイコン）が画面左上に約3秒間表示され、動作の状態を示します。

おもな状態表示

- ▶：再生
- II：一時停止
- ■：停止
- ▶▶：早送り
- ◀◀：早戻し
- ▶▶I：進む方向のスキップ(頭出し)
- I◀◀：戻る方向のスキップ(頭出し)
- I▶x1/2：進む方向のスローモーション
- ◀Ix1/2：戻る方向のスローモーション
- ▶II：コマ送り
- II◀：コマ戻し
- ●：録画
- ●II：録画一時停止
- タイトルエンド：タイトルの最後まで再生したときに表示
- ワンタッチスキップ
- ワンタッチリプレイ
- チャプター分割：チャプター分割
- 1/20：進む方向の1/20スキップ
- 1/20：戻る方向の1/20スキップ

番組を録画する

※本機ではHD-RにTS録画以外で番組を直接録画することはできません。地上アナログ放送などの番組をHD-Rに記録したいときは、一度内蔵HDDに録画したあと、HD-Rに、「高速そのままダビング」してください。ただし地上アナログ放送と、外部機器から録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術(AACS)の規定により、ダビングできません。
※本機ではDVD-R/RW（Videoモード)に番組を直接録画することはできません。
内蔵HDDに録画したあと、「高速そのままダビング」か「DVD-Video作成」をしてください。

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW(VRモード) | DVD-RW(Videoモード) | DVD-R(VRモード) | DVD-R(Videoモード)

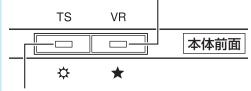
準備

- HD-R、DVD-RAM/R/RW（VRモード)に録画するときは、ディスクを入れます。
- あとでDVD-R/RW（Videoモード)にダビングするときは、はじめに必要な設定をしてください。(➡60ページ)

1 録画先のボタンを押す

HDD：内蔵 HDD（ハードディスク）
HD DVD：録画する HD-R または DVD ディスク

2 W録 を押して、W録(TSまたはVR)を選ぶ

通常の録画のとき：★(VR)を点灯させる

TS録画をしたいとき：☼(TS)を点灯させる
※TS録画ができるのは、デジタル放送のみです。また、記録先が内蔵HDDまたはHD-Rのときのみです。

3 放送切換 を押して、録画したい放送を選ぶ

本体表示窓

地上A-
地上D-
BS-
CS-

地上 A：地上アナログ放送※
地上 D：地上デジタル放送
BS　：BS デジタル放送
CS　：110 度 CS デジタル放送

- ボタンを押すたびに、地上A※→地上D→BS→CS→地上A※…と切り換わります。

※「TS」を選択中の場合、地上Aは表示されません。

4 録画するチャンネルを選ぶ

- チャンネルボタン・番号ボタン・ CH番号入力 で選局します。(チャンネルの選びかたについて詳しくは➡40ページをご覧ください。)
- 有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)の番組を録画する場合は、別途録画購入の操作をします。(➡43ページ)

5 TS録画でない場合は、録画モード を押して録画画質を選ぶ

(例)本体表示窓

(TS)
SP
LP
MN

- 押すたびに、録画品質設定No.順(例：SP→LP→MN→MN→MN→SP…)と切り換わります。

例：

録画モード	録画時間	画質
SP	約2時間*1	標準
LP	約4時間*1	SPより劣る
MN	自由に変更できます。 詳しくは➡57ページをご覧ください。	
TS点灯 (HD/SD) ※W録で「TS」を選び、デジタル放送のときのみ	(放送内容とHDDの空き容量によって変動します)*2	HD(デジタルハイビジョン画質)／SD（デジタルスタンダード画質)

*1 DVD-RAM 片面 4.7GB に記録した場合の目安です。
*2 詳しくは➡ 182 ページ「録画可能時間一覧表」をご覧ください。

6 ●録画 を押して、録画をはじめる

- 1回で連続して録画できる時間は、TS録画で24〜27時間程度(放送内容によっては、この範囲をはずれる場合もあります)、その他の録画で最長9時間です。これを超えると、自動的に停止します。

ご注意！

記録先がHD-Rのときには、●録画 を押しても、すぐに録画が開始されないことがあります。

- 録画中のタイトルは、録画モードの変更ができません。
- デジタル放送のラジオ番組および独立データ放送は録画できません。
- TS録画の場合、電波の状態によって正しく録画できないことがあります。
- TS録画をするときに、内蔵HDDやHD-R内にある、録画済みのTS録画タイトル数や内容によっては、録画対象ディスクに空き容量があっても録画が開始されないことがあります。
- デジタル放送を録画中は、データ放送は見られません。
- 画質がTS以外の録画では、字幕放送は録画されません。
- 録画できる最大のタイトル数は、DVD-RAM/R/RWは99、内蔵HDDは792、HD-Rは198です。これを超えると空き容量があっても録画ができなくなります。
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- DVD互換モード(➡60ページ)【切】で録画する場合、再生時に音声の主・副が切り換えられますので、二カ国語放送録画が可能です。再生時は『音声／音多』ボタンで出力する音声を選んでください。
- DVD互換モード(➡60ページ)【入】で録画した場合は、再生時に音声の切換えができません。特に外部入力で二カ国語音声の番組を録画するときは、ご注意ください。
- 上記以外にも、お知らせがあります(➡186ページ)。

録画を停止する／一時停止する

■ を押す

録画を終了します。

録画中に ⅠⅠ を押す

録画が一時停止します。
もう一度押すと、録画がはじまります。

- 録画中に一時停止することで、自動的にチャプターの境界ができます。

録画中にチャプターを作成する

録画中に チャプター分割 を押す

押したところにチャプター境界ができ、その前後が別々のチャプターになります。

- TS録画の場合、放送の内容によってはチャプター分割ができなかったり、正しい場所で分割されないことがあります。

録画チャンネルを変える

1 録画中に ⅠⅠ を押す

録画が一時停止します。

2 「チャンネル ⌃ / ⌄ 」を押して、録画するチャンネルを変える

3 ⅠⅠ を押し、録画を再開する

録画中に、録画の終了時刻／終了後の状態を設定する

1 録画中に クイックメニュー を押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン（▲／▼）で【録画終了時刻／電源設定】を選び、決定 を押す

例 録画終了時刻設定 (現在時刻 14:55) TS 17 25 VR 17 30 | 終了後電源設定(機器全体) 現在の設定：入り継続 切る

3 終了時刻と、終了後の状態を設定する

録画終了時刻を設定する

▲/▼：時間／分を設定
(番号ボタンでもできます)
◀/▶：時／分の切換

▲/▼ボタンで設定します。
切る：　録画終了後に電源が切れます。
入り継続：録画が終了しても、電源は切れません。

4 決定 を押す

終了時刻を設定したあと、設定時刻より前に録画を停止する場合は、リモコンの ■ を押して画面のメッセージにしたがって中止させます。

- 録画終了時刻を設定すると、録画予約となって本体表示窓に録画予約表示 ⏲ が点灯します。
- 終了時刻は、現在の時刻よりも5分以降の時刻にしか設定できません。
- 終了時刻1分前や、次の予約開始の2分前を過ぎると終了時刻の変更はできません。また、一度指定した時刻より前の時刻を設定することや、A1/A2/DL録画中の変更はできません。
- 予約内容によっては、設定できない場合があります。
- 上記以外にも、お知らせがあります(➡186ページ)。

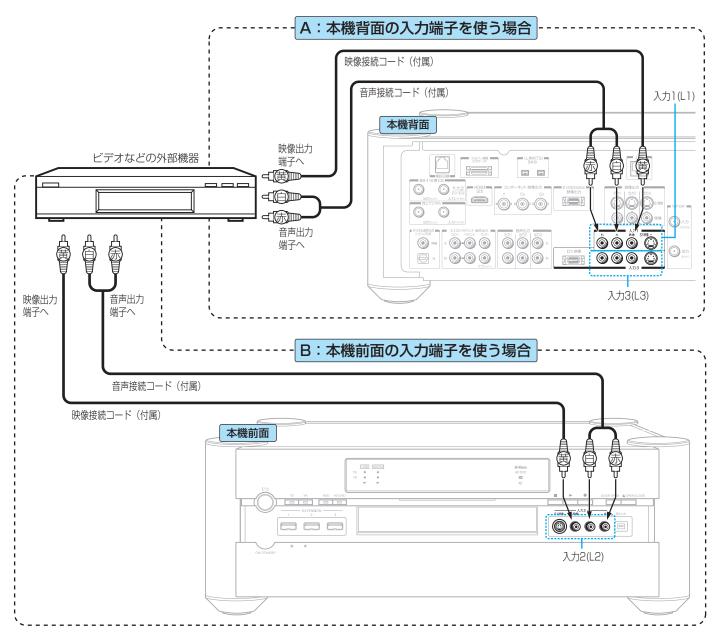
外部機器から録画する

ビデオデッキなどを接続して、それら外部機器からの番組を本機で録画します。

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

はじめに、本機と外部機器を接続します。A、Bどちらかの方法で接続してください。

A：本機背面の入力端子を使う場合

B：本機前面の入力端子を使う場合

- より鮮明な映像で録画するには、D1映像端子（入力3のみ）またはS映像端子で接続してください。
- 映像端子（黄）とS映像端子、D1映像端子が同時に接続されている場合は、D1映像端子→S映像端子→映像端子（黄）の順で優先されます。
- 外部機器から録画するときの入力音声の種類が選べます。「録画機能設定」の「ライン音声選択」をご覧ください。（➡応用編64ページ）
- カメラ一体型ビデオを再生するときは、バッテリーではなく、ACアダプターを使ってください。
  録画中にバッテリーが消耗すると、正しく録画できないことがあります。

1 [HDD] または [HD DVD] を押し、記録先を選ぶ

[HDD]：内蔵HDDに録画します。

[HD DVD]：DVDディスクに録画します。

(HD-Rには直接録画できません。内蔵HDDに録画してから、HD-Rにダビングしてください。録画したタイトルによっては、HD-Rにダビングできないことがあります。)

2 [W録] を押して、本体前面の「★(VR)」を点灯させる

3 [入力切換] をくり返し押して、本体表示窓に「L-1」、「L-2」、「L-3」を表示させる

押すごとに表示が切り換わります。

L-1： 背面の入力1端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-2： 前面の入力2端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-3： 背面の入力3端子に接続された外部機器からの映像を録画します。

L-U： 再生している番組を録画します。(➡169ページ)

4 外部機器を再生状態にする

5 [●録画] を押して、録画をはじめる

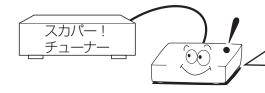
•録画を終了するときは、(■) を押します。

お知らせ

- DVDオーディオやSACDの再生機を外部入力に接続しても、本機では一般的な市販のDVDビデオと同様の音声帯域になります。本機から出力される音声や記録される音声は、L-PCMを選んだ場合でも従来の音楽用CDと同等の音質になります。接続する機器の説明書もご覧ください。
- DVD-R/RW（Videoモード）にあとで書き込む場合には、あらかじめ接続されている機器側で希望する音声を選んでおいてください。（たとえば二カ国語放送で日本語を選ぶ。）
- 録画が制限されている映像（コピーワンス）は、内蔵HDD、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）（いずれもCPRM対応ディスク）に録画できます。ただしHD-Rには、地上アナログ放送や外部機器から録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術（AACS）の規定により、ダビングできません。
- 録画が禁止されている映像（コピー禁止）は、録画先に関係なく、録画できません。
- 本機に接続する外部機器の種類や状態によっては、本機を通して見ている映像・音声が乱れたり、録画した内容の映像・音声が乱れる場合があります。

スカパー！チューナーから録画する

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

スカパー！チューナーを接続して、スカパー！（SKY PerfecTV!）を見たり、録画できます。
スカパー！放送の視聴には、受信契約が必要です。
チューナーの取扱説明書もご覧ください。

スカパー！チューナーからの録画には、以下の二つの方法があります。

ケース1 スカパー！連動機能を使わない

スカパー！チューナーのチャンネル切換で選局して本機で録画します。
・スカパー！チューナーを本機の入力1、入力2または入力3端子に接続します。映像・音声接続コードで接続してください。➡接続・設定編22ページ

ケース2 スカパー！連動機能を使う

本機からスカパー！チューナーを制御して、スカパー！チューナーの選局と録画をします。
1）**スカパー！チューナーを本機の入力1、入力2または入力3端子に接続します。このとき、映像・音声コードとスカパー！連動ケーブル両方を接続します。**
➡接続・設定編22ページ
2）**スカパー！連動設定をします。**（スカパー連動を【入】）
➡接続・設定編76ページ
3）**番組ナビチャンネル表示登録をします。**➡接続・設定編50ページ
（番組表から録画予約するには、本機をインターネットに常時接続している必要があります。）

準備

- あらかじめ録画先の HDD または HD DVD を選択しておきます。
  HDD：内蔵HDDに録画
  HD DVD：DVDディスクに録画
- DVDディスクを使う場合は、ディスクを入れます。（HD-Rには直接録画できません。HD-Rに記録したいときは、内蔵HDDに録画したあと、HD-Rにダビングしてください。ただし、録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術（AACS）の規定により、ダビングできません。）

ケース1：スカパー！連動機能を使わず録画

1 W録 を押して、本体前面の「★（VR）」を点灯させる

2 入力切換 をくり返し押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「L-1」、「L-2」または「L-3」を表示させる

押すごとに表示が切り換わります。

L-1：背面の入力１端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
L-2：前面の入力２端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
L-3：背面の入力３端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

3 スカパー！チューナーのチャンネル切換で選局する

4 ●録画 を押す

録画が始まります。

ケース2：スカパー！連動機能を使って録画

1 W録 を押して、本体前面の「★（VR）」を点灯させる

2 チャンネル/カーソル ︿ / ﹀ チャンネル を押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「L-1」、「L-2」または「L-3」を表示させる

L-1：背面の入力１端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
L-2：前面の入力２端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。
L-3：背面の入力３端子に接続されたスカパー！チューナーからの映像を録画します。

- L-1 ～ L-3 に切り換えるとチャンネル選択画面が表示されます。
- 入力切換 で切り換えると、手順３の画面が表示されません。必ず ︿ / ﹀ で切り換えてください。

3 スカパー！チャンネル選択画面で方向ボタンでチャンネルを選び、決定 を押す

- « / »：前後のページに移動します。
- 番組ナビのチャンネル表示登録がされていないと、選択画面は表示されません。（➡接続・設定編 50 ページ）

4 ●録画 を押す

録画が始まります。

クイックメニューからのチャンネル選択

「ケース 2」のスカパー！チャンネル選択画面を、クイックメニューから表示できます。

1) チャンネル カーソル ∧ / ∨ チャンネル を押し、スカパー！チューナーを接続した入力端子に合わせて「L-1」、「L-2」または「L-3」を表示させる

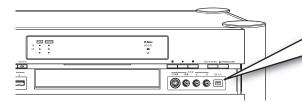
2) 停止中に、クイックメニュー を押す

クイックメニューが表示されます。

3) 方向ボタン（▲ / ▼）で、【スカパー！チャンネル選択】を選び、決定 を押す

スカパー！チャンネル選択画面が表示されます。

デジタルビデオカメラの映像を録画する(DV連動録画)

HDD　HD-R　DVD-RAM　DVD-RW(VRモード)　DVD-RW(Videoモード)　DVD-R(VRモード)　DVD-R(Videoモード)

[DV 端子]
DV 端子にデジタルビデオカメラを接続し、その映像を録画します。

1 デジタルビデオカメラを本機前面の「DV 端子」に接続し、録画先に HDD か HD DVD を選ぶ

HDD ：内蔵 HDD に録画
HD DVD ：DVD ディスクに録画
(HD-R には直接録画できません。HD-R に記録したいときは、内蔵 HDD に録画したあと、HD-R にダビングしてください。ただし、録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術(AACS)の規定により、ダビングできません。)

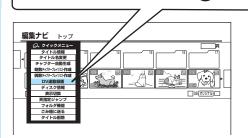
2 W録 を押して、本体前面の「★(VR)」を点灯させる

3 再生中または停止中に、編集ナビ を押す

「編集ナビ　トップ」が表示されます。

4 クイックメニュー を押す

クイックメニューが表示されます。

5 【DV連動録画】を選び、決定 を押す

6 方向ボタンで各項目を設定し、設定が終わったら【次へ】を選び、決定 を押す

・設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

●画質と音質を変えたいときは

1)方向ボタンで【録画品質】を選び 決定 を押す
2)録画品質設定の画面で、方向ボタンで設定を選ぶ
3) 決定 を押す

7 接続しているデジタルビデオカメラを再生一時停止状態にする

録画する情報を確認する画面が表示されます。

8 方向ボタンで【録画開始】を選び、決定 を押す

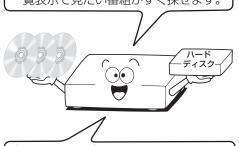
選択し 決定 を押すと映像が全画面に表示されます。

録画が始まり【録画開始】が【一時停止】の表示に切り換わります。
・録画を一時停止する場合は、【一時停止】を選んだ状態で 決定 を押します。
・録画を停止する場合は、方向ボタンで【停止（保存）】を選び、決定 を押します。

- DV 端子に機器を接続しているときは、前面扉を閉めないでください。
- デジタルビデオカメラなどの接続機器からの入力に DV 端子をご使用ください。接続機器への出力には対応していません。
- 以下の場合、DV 連動録画は起動できません。
  －録画中、タイムスリップ中
  －「見るナビ」「番組ナビ」で設定を変更中のとき
  －設定メニューで時刻を設定していないとき
  －5分以内に予約録画が始まる場合、または予約録画実行中
- DV 連動録画と予約録画が重なった場合、予約録画が始まる 5 分前に DV 連動録画は終了し、予約録画が実行されます。
- パソコンなど、デジタルビデオカメラ以外の機器を DV 端子に接続した場合、「DV 連動録画」は動作しません。
- DV 端子に複数の機器を接続していると、「DV 連動録画」は正常に動作しません。
  接続するのはデジタルビデオカメラ 1 台だけにしてください。
- デジタルビデオカメラの動作が本機の動作に影響することがあるため、DV 連動録画をするとき以外はデジタルビデオカメラをはずしてください。
- 【ブラウン管保護】（➡応用編 58 ページ）が【入】のとき、DV 連動録画詳細表示で録画を 15 分間続けたままで何も操作しないでいると、フル画面表示になります。
- デジタルビデオカメラに記録されたステレオ 1 とステレオ 2 の音声を同時に本機で記録するときは、デジタルビデオカメラに付属のオーディオビデオケーブルなどで外部入力端子と接続してください。（➡ 104 ページ）
- デジタルビデオカメラとの接続が正しく認識できないときは、何回かケーブルを抜き差ししてみてください。
- 接続するデジタルビデオカメラによっては、本機で使っている映像圧縮方式と異なるものがあります。映像圧縮方式の違う機器からは、録画できません。
- 接続するデジタルビデオカメラによっては、正しく動作しない場合や一部の機能が使えないことがあります。
- 途中から上書きした DV テープの映像を入力した場合、自動チャプター分割が正しく行なわれない場合があります。

見るナビで、録画した内容を再生する

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

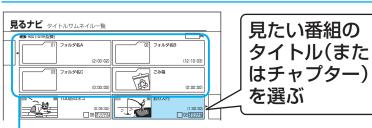
本機で録画した番組は、「見るナビ」から再生できます。
一覧表示で見たい番組がすぐ探せます。

市販のDVDビデオディスクなどの再生は、➡ 132ページをご覧ください。

1 停止中または再生中に、[見るナビ] を押す

「見るナビ」画面が表示されます。
• [見るナビ] をもう一度押すと、画面が消えます。

この画面で…
[HDD] を押す：内蔵HDDの録画内容を表示。
[HD DVD] を押す：HD DVDドライブに入っているディスクの録画内容を表示。
（他社機などで作成したDVD-R/RW（Videoモード）は、見るナビの表示ができません。）

2

見たい番組のタイトル(またはチャプター)を選ぶ

• [«] / [»]：前後のページに移動します。
• [モード]：**タイトル表示とチャプター表示を切り換えます。**

本機でフォルダ機能を使うときに使用します。
詳しくは、➡ 123ページをご覧ください。

3 [決定] を押す

選んだ番組のタイトル（またはチャプター）から再生が始まります。
• 早送り／早戻しやスローなどの再生は、➡117ページをご覧ください。

デジタル放送をTS録画（TS画質で録画）したタイトルの場合は、内容に応じて再生時に字幕・音声・映像の切換ができます。（➡42～45ページ）

手順スタート

• ラインUダビング中またはデジタル放送をTS以外の画質で録画中のときは、TS録画されたタイトルの再生はできません。
• 上記以外にも、お知らせがあります。（➡ 190ページ）

再生を停止する／一時停止をする

■ を押す

再生を終了します。

再生中に Ⅱ を押す

再生を一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

再生を少しとばす／少し前に戻る

ボタンを押すごとに、あらかじめ決めた一定量をとばしたり戻したりできます。

» を押す

押すたびに、一定量とばします。

« を押す

押すたびに、一定量前に戻します。

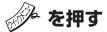
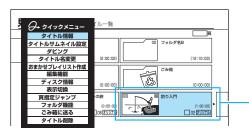
- とばしたり、戻したりする間隔を設定できます。
（➡応用編 61 ページ）

見終わった番組を消す

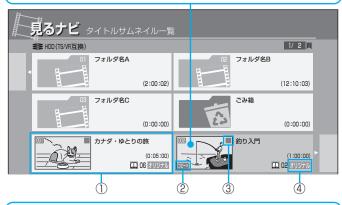
見終わった番組で、もう見ない番組を消去します。

1 ➡ 110 ページの手順 2 で、消したい番組（タイトル／チャプター）を選ぶ

2 **を押す**

3 【タイトル削除】を選び、決定 を押す

- 確認メッセージで【はい】を選び 決定 を押すと、消去されます。

「見るナビ」画面について

小さな画面をサムネイルと呼びます。

①
本機に録画された日時の古い順に並びます。

②
コピーワンス（1 回だけ録画が可能）の番組を録画したタイトルには、コピー禁止を示すアイコンが表示されます。

③
TS：TS 録画されたタイトルを表します。
VR：VR録画されたタイトルを表します。
V：見るナビ対応のDVD-R/RW（Videoモード）ディスクをいれたときに表示されます。
※サムネイルにアイコンが表示されないタイトルについては、再生などの動作を保障しておりません。

④
録画したそのもの（タイトル）は、「オリジナル」と表示されます。
「オリジナル」（タイトルやチャプター）の好きな部分を集めて再生の順番を記録したものを「プレイリスト」といいます。
プレイリストについては➡151 ページをご覧ください。
プレイリストは、オリジナルのあとに表示されます。

■「見るナビ」画面をリスト表示する

「見るナビ」画面のサムネイル表示をリスト表示に切り換えると、サムネイル表示よりも多くの番組が表示できます。

見るナビ表示中に ズーム を押す

- ズーム を押すたびに、サムネイル表示とリスト表示が切り換わります。

- タイトルサムネイル一覧の表示中に、クイックメニューの【表示切換】から【リスト一覧表示】を選んでも表示の切換えができます。

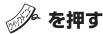
見るナビで、録画した内容を再生する(つづき)

タイトル一覧のページをジャンプする

頁指定ジャンプ

録画した番組の数が多いとき、ページを指定することができます。

1 見るナビ画面で、 を押す

2 【頁指定ジャンプ】を選び、決定 を押す

3 方向ボタン、番号ボタンで指定するページ番号を入力する

・入力した番号をキャンセルするときは クリア を押します。

4 決定 を押す

指定したページのタイトル一覧が表示されます。

タイトル情報を表示する

録画されているタイトルやチャプターの詳しい情報(タイトル情報画面)が表示できます。

1 見るナビ画面で、詳しい情報を見たい番組(タイトル/チャプター)を、方向ボタンで選ぶ

2 クイックメニュー を押す

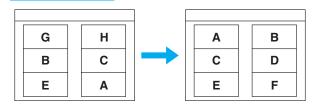
3 【タイトル情報】を選び、決定 を押す

タイトルの詳しい情報と、チャプターの内容が表示されます。« / » ボタンでチャプターが切り換わります。

 を押すと、「番組説明」が表示されます

・タイトル情報画面で クイックメニュー を押すと、このタイトルに関わる情報入力などができます。(➡177ページ)

タイトル一覧の表示を並べ替える

表示切換

録画してある番組のタイトル一覧の表示を並べ替えたり、ジャンル別の検索をします。

1 見るナビ画面で、クイックメニュー を押す

クイックメニューが表示されます。

2 【表示切換】を選び、決定 を押す

3 表示方法を選び、決定 を押す

- **並べ替え**
  並べ替える条件に合わせて表示します。
  並べ替えの条件を方向ボタン(▲/▼)で選び、決定 を押します
- **ジャンル別表示**
  登録してあるジャンル別に検索して表示します。ジャンルを方向ボタン(▲/▼)で選び、決定 を押します
- **オリジナル表示**
  オリジナルタイトルだけ表示します。
- **プレイリスト表示**
  プレイリストタイトルだけ表示します。

・表示切換をした結果は、電源を切るまで保持されます。
・解除するには、クイックメニューの【表示切換】から【並べ替え/絞り込み解除】を選択します。

サムネイルの画像を変更する

タイトルサムネイル設定

「見るナビ」画面のサムネイルを別の画像に変更できます。

1 見るナビ画面上で、サムネイルを変えたい番組(タイトル/チャプター)を選ぶ

2 を押す

3 【タイトルサムネイル設定】(チャプターを選んだときは、【チャプターサムネイル設定】)を選び、決定 を押す

4 サムネイルにしたいシーンをさがして、一時停止 を押す

『再生』『早送り』『早戻し』『スロー』ボタンなどを使ってシーンをさがします。

5 タイトルまたはチャプターの【再生位置に変更】を選び、決定 を押す

6 【完了】を選び、決定 を押す

見るナビ画面に戻ります。
選んだシーン(静止画)が新しいサムネイルになっています。
- 録画されている内容や編集後の状態によってはサムネイルの設定ができない場合があります。また、実際のサムネイルが設定した画像とずれる場合があります。

- 再生中や録画中でも、サムネイルにするシーンが選べます。再生中や録画中に(一時停止状態も含む)、『クイックメニュー』を押し、方向ボタンで【タイトルサムネイル設定】を選んでおきます。(再生中は【チャプターサムネイル設定】も選べます。)サムネイルにしたいシーンで『決定』を押すと、次に表示する「見るナビ」ではサムネイルが変更されています。

タイトルを保護する

録画した内容を削除できないように保護します。

1 タイトル情報画面で クイックメニュー を押す

タイトル情報画面の表示については➡112ページをご覧ください。

2 【保護設定】を選び、決定 を押す

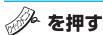
保護設定のマーク( )がつきます。

- クイックメニューで【保護解除】を選ぶと保護が解除されます。
- ディスクの初期化や【HDD初期化(全削除)】すると、保護設定をしていてもタイトルは削除されます。
- 保護設定は、HDD、DVD-RAM、HD-R(未ファイナライズ)やDVD-R/RW(VRモード･未ファイナライズ)の録画タイトルにできます。またHDDにTS録画した録画タイトルにもできます。

タイトル名を変更する

タイトル名変更

1 見るナビ画面で、名前を変更したいタイトルを選ぶ

2 を押す

3 【タイトル名変更】を選び 決定 を押す

文字入力画面が表示されます。(➡33ページ)
タイトル名を変更します。

チャプター名を変更する

チャプター名変更

1 見るナビ画面で、チャプター名を変更したいタイトルを選ぶ

2 トップメニュー/モード を押して、チャプター表示に切り換える

3 名前を変更したいチャプターを選び、クイックメニュー を押す

4 【チャプター名変更】を選び 決定 を押す

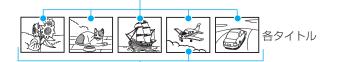
文字入力画面が表示されます。(➡33ページ)
チャプター名を変更します。

見るナビで、録画した内容を再生する(つづき)

最後に止めた位置から再生する（続き再生）

本機では、最後に再生を止めた位置を記憶して、次回にその位置から再生を始めることができます。

タイトル毎レジューム

1タイトルごとに再生を止めた位置を記憶します。
設定メニューの再生機能設定の「HDD/RAMタイトル再生設定」を【タイトル毎レジューム】に設定します。

各タイトル

タイトル連続再生

最後に止めた位置をタイトルごとに記憶しないで、各タイトルを一つの大きなくくり(ディスクの中はまとめて一つの番組)として、最後に止めた1箇所だけを記憶します。
設定メニューの再生機能設定の「HDD/RAMタイトル再生設定」を【タイトル連続再生】に設定します。

リモコンの 続き再生 クリア について

「続き再生」の機能は、内蔵HDDなどに録画したタイトルと、市販のディスクとでは、動きが異なることがあります。
リモコンの 続き再生 クリア ボタンは、市販のHD DVDビデオ用です。詳しくは➡134ページをご覧ください。

- ディスクの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生が始まるなど、タイトル毎レジューム再生の始まる位置が異なることがあります。
- ディスクによって、タイトル毎レジューム再生の始まる位置が多少ずれることがあります。
- HD-R、DVD-R/RWではタイトル毎レジューム再生はできません。
- DVD-RAMで、ソフトプロテクトが設定されているときや、ライトプロテクトタブを「PROTECT」側にしてあると、タイトル毎レジューム再生はできません。

番組連動データ放送番組の再生について

番組連動データ放送番組をTS録画すると、データ放送部分も録画する※ので、放送時には見きれなかった部分も、あとからゆっくり楽しむことができます。

※番組によっては録画できないことがあります。

※録画した番組が、クイズ番組や番組の最後に募集するアンケート(募集時刻の締め切りが決まっているもの)など、放映時に参加が可能な番組は、再生時にデータ放送の動作が実際の放映時と異なることがあります。

- デジタル放送をTS録画した番組は、音声がしばらく出ず、その後音声が乱れたあとに復帰したりすることがあります。

録画中に、録画してある別のタイトルを再生する(別タイトル再生)

録画中に別の録画番組を再生することができます。

●別の録画番組を再生できる条件

録画中＼再生	内蔵 HDD	HD DVD-R	DVD-RAM	DVD-R/RW
内蔵HDD	○※	○※	○	○
HD DVD-R	○	×	×	×
DVD-RAM	○※	×	×	×
DVD-R/RW	○※	×	×	×

※ただし、「VR」でデジタル放送を録画中に、TS録画されたタイトルは再生できません。

準備

- DVDディスクを再生する場合は、ディスクトレイにセットしておきます。
- 再生したい録画番組がある HDD または HD DVD を選んでおきます。

1 録画中に、見るナビ を押す

タイトル

2 見たいタイトルを選び 決定 を押す

選んだタイトルの再生が始まります。
■(8) を押すと再生が止まり、録画中の画面に戻ります。
▶(5) を押すと、止めた続きを再生します。

お知らせ

- 別タイトルの再生画像が出るまでに、時間がかかることがあります。
- 別タイトル再生中は、以下のことはできません。
  - －プログラム再生（リピートなど）
  - －編集（プレイリスト作成、ダビング、タイトル／チャプター名設定など）

再生だけが可能なディスクについて

本機では以下のディスクの再生ができます。

ディスク	内容	備考
DVDビデオディスク	・12cm／8cm ・リージョン番号が 2 および ALL ・映像方式：NTSC	本機のリージョン(地域)番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に②のように2が含まれているか、または②が表示されていないと、本機では再生できません。
HD DVD ビデオディスク	・12cm／8cm	市販のHD DVD（HDVideoモード)ディスクに限ります。ディスクによっては本機がブロードバンド常時接続の環境でネットワーク接続していると、よりディスクのコンテンツをお楽しみいただける内容のものがあります。
音楽用CD	・12cm／8cm	・ディスクによっては、再生できない場合があります。
CD-R CD-RW	・12cm ・CD-DA（音楽用 CD）フォーマット	ディスクによっては、再生できない場合があります。

- 本機で再生できる映像方式は、日本国内でのテレビ放送方式に従っています。
- 上記のディスクでも規格外のディスクなどは、再生できません。
- 上記以外のディスクは再生できません。上記のディスク（市販されている HD DVD ビデオディスク、DVD ビデオディスクや CD など）でもディスクの状態によっては、再生できない場合があります。（上記のディスクすべての再生を保証するものではありません。）
- ブルーレイディスクは再生できません。

はDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

ディスクの互換性とその他のお知らせ

●HD DVDは新規格です。ディスクによっては再生できないものもあります。
●高解像度の映像コンテンツの再生、あるいは従来画質のDVDをアップコンバート(従来画像の解像度を電子的にHDのレベルまであげることをいいます。)再生をモニターで楽しむ場合は、HDMI入力またはHDCP対応DVIポートのあるモニターが 必要です。
●HD DVDビデオディスクまたはDVDビデオディスクの中には一部の操作や機能が使えないものがあります。
●ドルビーデジタルプラス、DTS-HD（コアストリームに限る）は、5.1チャンネルのみの対応です。
●DTS-HDは、コアストリームのみの対応です。
●ドルビー TrueHDは2チャンネルのみの対応です。
●ピックアップレンズやディスクの構造上、ディスクによっては本機で使えないことがあります。
●CD-R/CD-RWを再生する場合は、CD-DAフォーマットで記録したCD-R/CD-RWをお使いください。
●機能の中には将来的に使用を予定しているものもあります。
●本機では、ディスクに関する情報やダウンロード内容を内部のフラッシュメモリーで一時的に記憶します。これらの記憶期間は、お使いのディスクによって異なります。

■ディスクの内容の区分

●一般に、HD DVDビデオディスクやDVDビデオディスクに収録された内容は、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
●音楽用CDの場合は、「トラック」で区切られています。

タイトル： DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
短編集の「話」に相当します。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
本の「章」に相当します。

トラック： 音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

市販の HD DVD ビデオディスク、DVD ビデオディスクや CD（CD-R や CD-RW などの作成したディスクも含む）の再生については、➡「市販の HD DVD ビデオディスク・DVD ビデオディスクや CD の再生」132 ページをご覧ください。

作成したDVD-R/RW(Videoモード)のディスクを再生する

HDD　HD-R　DVD-RAM　DVD-RW(VRモード)　DVD-RW(Videoモード)　DVD-R(VRモード)　DVD-R(Videoモード)

1 再生したいディスクを入れ、HD DVD を押す

本体の HD DVD インジケーターが点灯します。

2 ▶(5 な JKL) を押す

再生が始まります。

- ディスクによっては、HD DVD を押すだけで、再生が始まることがあります。
- 再生が始まるまで、多少時間がかかることがあります。これは、ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

再生を停止する／一時停止する

■(8 や TUV) を押す

再生を終了します。

再生中に ॥(2 か ABC) を押す

再生が一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

トップメニューを使って再生する

DVD-RW(Videoモード)　DVD-R(Videoモード)

作成したDVD-R/RW（Videoモード)のディスクには、全体の構成を確かめたり、見たい場面が選べるように、トップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されている場合があります。

1 ボタンを押す

トップメニューが表示されます。

2 方向ボタンで再生したいタイトルを選ぶ

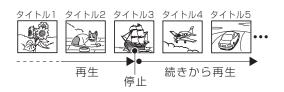
各タイトルに番号がついている場合は、その番号を シフト を押しながら番号ボタンを押して直接選ぶことができます。

3 (決定) を押す

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なることがありますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、『決定』を押さずにもう一度『トップメニュー』を押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なることがあります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクによっては『トップメニュー』ではなく『メニュー』を押してメニューを表示するものもあります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ）

最後に止めた位置から再生する（続き再生）

DVD-RW(Videoモード)　DVD-R(Videoモード)

■(8 や TUV) を押して再生を中断しても、その続きから再生ができます。

再生を止めたあと、▶(5 な JKL) を押すと、止めた続きが再生されます。

再生を止めたあと、もう一度 ■(8 や TUV) を押すと続き再生が解除されます。

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 設定メニュー - DVDプレイヤー設定の【DVDディスクメニュー言語】や【DVDパレンタルロック】の設定をしたとき
  - ディスクトレイを開けたとき
  - DVD-RWのファイナライズを解除したとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 続き再生中に設定画面を使って設定を変えても、続き再生を停止したあとでないと変更した設定が有効にならない場合があります。

基本的な再生機能

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

早送り／早戻しする

再生中に、4 または 6 を押す

・押すたびに、それぞれの再生する速さが切り換わります。
・普通の再生状態のときに、1 回だけ 6 を押すと、音声付きで早送りができます。ただし、再生内容の記録状態などによっては、音声付きで早送りの音声や映像が乱れたり、できないことがあります。
・5 を押すと、普通の再生に戻ります。
・早送り／早戻しの早さは、再生するディスクによって異なります。

コマ送り／コマ戻しする

一時停止中に、コマ戻し 1 または コマ送り 3 を押す

コマ送り 3：コマ送りします。
コマ戻し 1：コマ戻しします。

・5 を押すと、普通の再生に戻ります。

ワンタッチスキップ

再生中に、» を押す

・ボタンを押すたびに、設定した時間分（➡応用編 61 ページ）をスキップします。

ワンタッチリプレイ

再生中に、« を押す

・ボタンを押すたびに、設定した時間分（➡応用編 61 ページ）前に戻し、そこから再生を再開します。
・ディスクによっては、ワンタッチリプレイができないものがあります。

1/20 スキップ

再生中に、方向ボタン（◀ / ▶）を押す

ボタンを押すたびに、再生中のタイトルやトラックの約 1/20 にあたる時間をスキップします。
・タイトルやトラックの長さが 1 分以下だと働きません。
・状態表示（➡ 32 ページ）をしているときは、シフト を押しながら、方向ボタンを押します。

前後のチャプター／トラックへスキップする

スキップ 10/* / スキップ 12/# をくり返し押して、再生したいチャプター / トラック番号を選ぶ

スキップ 12/#：一つ先のチャプター／トラックから再生します。
スキップ 10/*：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
続けて 2 回押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

スローモーションで再生

再生中に、スロー 7 / スロー 9 を押す

スロー 9：進む方向のスローモーションで再生します。
スロー 7：戻る方向のスローモーションで再生します。
・押すたびに、速さが切り換わります。
・5 を押すと普通の再生に戻ります。

静止画をめくる
(静止画が記録されたディスクの再生)

静止画が記録されたディスクを入れ、5 を押す

静止画の 1 枚目が再生されます。

再生中に

コマ戻し 1 / コマ送り 3 を押す

コマ送り 3：次の静止画が再生されます。
コマ戻し 1：前の静止画が再生されます。

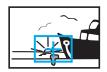
・5 を押し続けてめくる場合や、決定 や スキップ 10/* / スキップ 12/# を押してめくる場合があります。

• データ放送付きの番組を TS 録画したタイトルは、通常速度以外ではデータ放送が非表示となり、通常速度に戻しても非表示のままとなることがあります。
• マルチビューの放送や降雨対応放送を TS 録画したタイトルの場合、以下の再生が主映像でしかできません。
 － 逆スロー再生
 － コマ戻し再生
• TS 録画したタイトルの場合は、逆スロー再生の速さは 1 段階だけになります。
• マルチビューの放送を TS 録画したタイトルの場合、ワンタッチスキップ、ワンタッチリプレイ、1/20 スキップ、スキップは主映像から再生を開始する場合があります。
• データ放送付きの番組を TS 録画したタイトルは、1/20 スキップができないことがあります。
• スキップ位置は多少ずれることがあります。

基本的な再生機能(つづき)

拡大して見る（ズーム）

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-RW (Videoモード) | DVD-R (VRモード) | DVD-R (Videoモード)

再生画面や受信画面を拡大できます。

1 ズーム を押す

画面にズームガイドが表示されます。

・もう一度 ズーム を押すとズームが解除されます。

2 ズームする場所と倍率を選ぶ

・方向ボタン（▲/▼/◀/▶）：
ズームする場所が移動します。

・モード：
ズームする倍率が上がります。

・戻る：
ズームする倍率が下がります。

・クリア：
ズームする部分が画面の中央に戻ります。

3 ズームを解除するには、もう一度 ズーム を押す

- ディスクによっては、ズームできないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- デジタル放送、およびデジタル放送をTS録画したタイトルの場合は、ズームはできません。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ〜）

音声の切換

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-R (VRモード)

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や音声方式に切り換えられます。

1 再生中または放送受信中に 音声/音多 を押す

・現在の音声設定が表示されます。

言語名がコードで表示される場合は、言語コード表（➡応用編73ページ）と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に 音声/音多 を押して好きな音声を選ぶ

ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わりかたが異なります。

● HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-R (VRモード)、およびテレビ放送受信中

ステレオ音声の番組

「ステレオ」（左の（主）音声と右の（副）音声）→「L」（左の（主）音声）→「R」（右の（副）音声）（→「ステレオ」に戻る）

二重音声の番組

「主」（主音声）→「副」（副音声）→「主＋副」（主音声＋副音声）（→「主」に戻る）

● DVD-R/RW（Videoモード）、DVDビデオディスクの音声の切換えは➡133ページをご覧ください。

タイムスリップ機能を使う

TV お好み再生 HDD

放送中の番組を見ているときに、ふいの電話や来客などがあった場合、その続きをあとから見ることができます。

1 本機を通して番組を見ているときに、タイムスリップ を押す

（たとえば、電話が鳴ったときに、タイムスリップ を押します。）

タイムスリップの準備完了後は、自動的に再生を始めます。
タイムスリップ を押してからの放送内容は、ディスクに一時的に録画されていきます。

2 始めから見るときは、スキップ +10 10/* を押す

タイムスリップ を押したところに戻ります。

- 4 / 6 や スロー 7 / スロー 9 も使えますので、見たい場面を再生してください。
- 早送りできるのは、実際の放送の数十秒前までです。

3 終了するときは、タイムスリップ を押す

録画が止まります。録画した内容を保存するかを確認するメッセージが表示されます。方向ボタン（◀/▶）で【はい】【いいえ】を選び、決定 を押します。

- デジタル放送以外の番組を録画しているときは、W録を「TS」に切り換えればTVお好み再生ができます。
- TVお好み再生は空き容量がなくなると停止します。空き容量が全くない場合は動作しません。
- ディスクへの記録状態によっては、再生画像が数秒後戻りしたり一時停止することがあります。
- ダビング中などの場合は、TVお好み再生はできません。
- デジタル放送の番組をTVお好み再生したときは、その時に選択されている画質で録画されます。
- W録を「TS」にしてデジタル放送の副映像を視聴中にTVお好み再生を開始した場合、主映像で再生が始まります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ～）

追っかけ再生 HDD

予約録画中に帰宅したときなど、録画が終了するのを待たずに番組のはじめから見られます。

1 内蔵HDD の録画中に、タイムスリップ を押す

（たとえば、予約録画実行中に帰宅したときに、タイムスリップ を押します。）

現在録画している番組の先頭から再生が始まります。

- 再生状態になるまでに、少し時間がかかることがあります。
- 4 / 6 や スロー 7 / スロー 9 も使えますので、見たい場面を再生してください。
- 早送りできるのは、録画している実際の放送の数十秒前までです。

2 終了するときは、タイムスリップ を押す

画面が放送中の映像に戻ります。
録画は引き続き予約終了時刻まで行なわれます。

お知らせ

- ディスクへの記録状態によっては、再生画像が数秒後戻りしたり一時停止することがあります。
- ダビング中などの場合は、追っかけ再生ができません。
- TS録画中のデジタル放送の副映像を視聴中に追っかけ再生を開始した場合、主映像で再生が始まります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ～）

その他の再生機能

項目の例を紹介します。これ以外にも、他のページで説明している項目もあります。

くり返し再生する（リピート再生）

HDD HD-R DVD-RAM DVD-R DVD-RW

ディスクから、再生したい部分だけをくり返します。

1 再生中に、 を押す

2 【特殊再生モード】を選び、決定 を押す

特殊再生モード

サブメニューが出ますので、方向ボタンと 決定 で次の項目を選びます。

A-Bリピート

タイトル（またはトラック）のうち、指定した範囲だけをくり返します。
これを選んで 決定 を押すと、次の表示が出ます。手順1〜2を行なってください。

例 ⒶⒷリピート A点設定

・手順を中止するには 戻る を押します。

1) くり返したい範囲の始点になったら 決定 を押す

ボタンを押したところがA点（始点）として記憶されます。
表示が「B点設定」に変わります。

2) くり返したい範囲の終点になったら 決定 を押す

ボタンを押したところがB点（終点）として記憶され、A点とB点の間のくり返し再生がはじまります。

タイトルリピート

タイトルをくり返します。

チャプターリピート

チャプターをくり返します。

トラックリピート

トラックをくり返します。

ディスクリピート

ディスク全体をくり返します。

全タイトルORGリピート

ディスクのタイトル（オリジナル）全部をくり返します。

全タイトルPLリピート

ディスクのタイトル（プレイリスト）全部をくり返します。

リピート解除 ：（リピート再生中）

普通の再生に戻ります。

内蔵HDD、HD-R、DVD-RAM、DVD-R/RW（VRモード）の場合は停止します。

お知らせ

・録画中は、リピート再生はできません。
・ディスクによってはリピート再生ができないものがあります。
・リピート再生の範囲は多少ずれることがあります。
・上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ〜）

順不同に再生する（ランダム再生）

DVD-R (Videoモード) DVD-RW (Videoモード)

ディスクを、いろいろな単位で順不同に再生します。

1 再生中または停止中に、 を押す

2 【特殊再生モード】を選び、決定 を押す

特殊再生モード

サブメニューが出ますので、方向ボタンと 決定 で次の項目を選びます。

タイトルランダム

ディスクの全タイトルを、順不同に再生します。

各タイトルはチャプター１から順に再生されます。

チャプターランダム

タイトル内の全チャプターを、順不同に再生します。

トラックランダム

ディスクの全トラックを、順不同に再生します。

ランダム解除 ：（ランダム再生中）

普通の再生に戻ります。

お知らせ

・録画中は、ランダム再生はできません。
・ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
・上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ〜）

現在のビットレートを表示する

HDD　HD-R　DVD-RAM　DVD-R　DVD-RW

再生しているタイトルの画質のビットレートを表示します。

1 **再生中に、クイック メニュー を押す**

2 **【ビットレート表示】を選び、決定 を押す**

ビットレート表示

- ビットレート表示を消すには、同じ手順で【ビットレート非表示】を選びます。
- TS録画されたタイトルでは表示されません。

番号を指定して頭出しする

HDD　HD-R　DVD-RAM　DVD-R　DVD-RW

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。

1 **サーチ/文字 を押す**

音楽用CDのときは、手順2は不要です。

サーチ：タイトル 002　チャプター 0001

- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。

2 **頭出し先（【タイトル】または【チャプター】）を選ぶ**

例：チャプターを頭出しする。

サーチ：タイトル 002　チャプター 0001

3 **番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する**

例：チャプター／トラック番号25を入力するには

2 → 5 の順に押す

- クリア を押すと、入力した番号の表示が消えます。設定画面を消すときは、サーチ/文字 を数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。

4 **決定 を押す**

選んだ場所から再生がはじまります。

経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ）

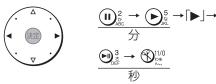
HDD　HD-R　DVD-RAM　DVD-R　DVD-RW

1 **サーチ/文字 を押す**

ディスクの種類で押す回数が異なります。
下の表示が出るまで押してください。

例　サーチ：タイトル 002　時間 17：25：12

2 **番号ボタンと方向ボタン（◀/▶）で、時間を入力する**

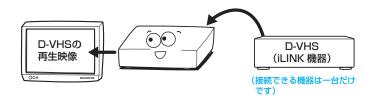
例：1時間25分30秒を入力するには

- クリア を押すと、入力した項目の時間表示が「00」になります。

3 **決定 を押す**

指定したところから再生が始まります。

- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡190ページ～）

D-VHSの映像を見る

D-VHS（i.LINK機器）を本機に接続している場合、D-VHSの再生映像を、本機を通して見ることができます。

準備
・D-VHS（i.LINK機器）を本機に接続する。
（➡接続・設定編27ページ）

1 i.LINK を押す

2 接続したD-VHS（i.LINK機器）を操作する

本機では、D-VHSを操作する機能はありません。再生や停止などの操作はD-VHS側で行なってください。

3 終了するときはもう一度 i.LINK を押す

・以下の場合、この機能は働きません。
ー 録画中、タイムスリップ中やダビング中など
ー「見るナビ」「番組ナビ」「ライブラリ」で設定を変更中のとき
ー 設定メニューで時刻を設定していないとき
ー 5分以内に予約録画が始まる場合、または予約録画実行中
・接続したD-VHSによっては、正しく動作しない場合があります。
・D-VHSの再生映像を録画することはできません。

見るナビでフォルダ機能を使う

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW（VRモード） | DVD-RW（Videoモード） | DVD-R（VRモード） | DVD-R（Videoモード）

フォルダを使いこなして録画タイトルをすっきり整理しましょう。

ルートモード

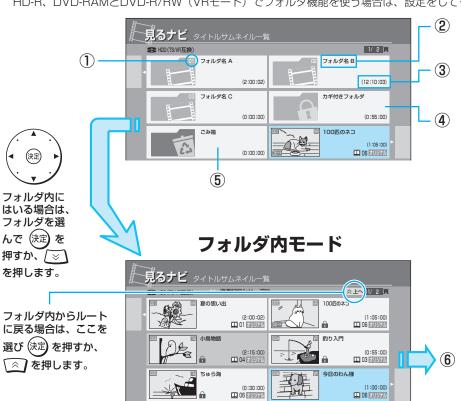
フォルダが置かれている「見るナビ　タイトルサムネイル（またはタイトルリスト）一覧」を「ルート」といいます。（HDDの場合は「ごみ箱」が置かれています。）

HDDの初期状態では「フォルダ名　A」、「フォルダ名　B」、「フォルダ名　C」を用意しています。
HD-R、DVD-RAMとDVD-R/RW（VRモード）でフォルダ機能を使う場合は、設定をしてください。（➡127ページ）

フォルダ内にはいる場合は、フォルダを選んで（決定）を押すか、（∨）を押します。

フォルダ内モード

フォルダ内からルートに戻る場合は、ここを選び（決定）を押すか、

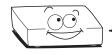
を押します。

①フォルダ番号
表示順は変更可能です。
（➡128ページ）

②フォルダ名
フォルダ名は変更が可能です。
（➡124ページ）

③フォルダ内の録画タイトル（オリジナル）の合計時間を表します。

④カギ付きフォルダ
フォルダによって録画タイトルを保護します。
（➡129ページ）
※HDDだけの機能です。

⑤ごみ箱
削除予定のタイトルを、あとでまとめて削除するために、しまっておくことができます。
（➡126ページ）
※HDDだけの機能です。

⑥フォルダ内の録画タイトルをルート上に移動したり、他のフォルダに移動することもできます。
（➡125ページ）
※フォルダ内にさらにフォルダを設定することはできません。

こんなときにフォルダを活用！

Q. フォルダはどんなときに使えばいいの？
A. 連続ドラマなどを録画する場合やご家族で本機を共有されている場合、それぞれフォルダを設定して管理すればスッキリ整理できます。

フォルダ設定でフォルダを作成すれば、録画タイトルをすっきり収納できます。詳しくは➡127ページをご覧ください。

Q. ルート上にたくさんある録画タイトルを一度にフォルダへ移動したりできるの？
A. クイックメニューの「一括フォルダ間移動」を使えば複数の録画タイトルも一度で移動ができます。（➡125ページ）

複数の録画タイトルを選んで移動先フォルダに楽々移動。（録画タイトルごとに移動先フォルダを個別指定も可能です。）

Q. 録画をするとき、フォルダを選んで予約はできるの？
A.「番組ナビ-録画予約」や「ネットdeナビ」でフォルダを指定して予約録画ができます。

「録画予約」画面で「記録先フォルダ」が選べます。（記録先フォルダについては➡80ページをご覧ください。）

見るナビでフォルダ機能を使う(つづき)

フォルダ名を変更する

必要に応じてフォルダ名を変更します。「カギ付きフォルダ」と「ごみ箱」は名前の変更はできません。

《フォルダ名として設定できない名前》
「ルート」、「ごみ箱」、「カギ付き」、「指定なし」という言葉(全角)を含む名前は設定できません。ただし、半角であれば設定は可能です。

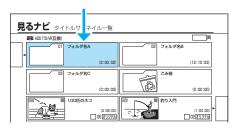
1 **を押す**

見るナビ画面が表示されます。

2 名前を変更するフォルダを選ぶ

例：「フォルダ名 A」を変更

3 **を押す**

4 【フォルダ機能】を選び、㊤決定 を押す

5 【フォルダ名変更】を選び、決定 を押す

6 文字入力画面でフォルダ名を変更する

文字入力の方法は➡ 33 ページをご覧ください。

例：「フォルダ名 A」を「私のフォルダ」に変更

文字入力が終わったら【登録】を選び 決定 を押して保存します。

録画タイトルをフォルダに移動する

録画タイトルを一つだけフォルダに移動します。

《移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するには ➡ 130ページ）

1 を押す

見るナビ画面が表示されます。

2 移動させる録画タイトルを選択し を押す

例：この録画タイトルを移動させる

3 【フォルダ機能】→【フォルダへ移動】を選び、決定 を押す

4 移動先のフォルダを選び、決定 を押す

例：「フォルダ名　C」に移動

移動先フォルダ選択

01 フォルダ名 A	02 フォルダ名 B	03 フォルダ名 C
04 フォルダD	05 フォルダE	06
07	08	09
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22 浪漫紀行シリーズ01	23 浪漫紀行シリーズ02	24 浪漫紀行シリーズ03
カギ付きフォルダ	フォルダから出す	ごみ箱

03 フォルダ名C

- 「カギ付きフォルダ」や「ごみ箱」への移動も可能です。
- フォルダ内にある録画タイトルも移動できます。
- フォルダ内の録画タイトルをルート上に出す場合は、【フォルダから出す】を選びます。

複数の録画タイトルを一括してフォルダに移動する

複数の録画タイトルを一つのフォルダ、または複数のフォルダに移動します。
一度に50タイトルまで移動できます。

《移動ができないもの》
・チャプターだけの移動
・録画中のタイトル
・「保護」されているタイトル
・施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
（開錠するには ➡ 130ページ）

1 を押す

2

3 【フォルダ機能】→【一括フォルダ間移動】を選び、決定 を押す

4 移動させるタイトルを選び、決定 を押し、移動先フォルダを選び 決定 を押す

例：録画タイトル No.「001」をフォルダ No.「01」へ移動

- フォルダ内の録画タイトルも移動できます。
- 『決定』を押したあと、選んだ録画タイトルのサムネイルには、移動先を表わすアイコンが表示されます。例：「 」
- 移動をキャンセルする場合は、キャンセルする録画タイトルを選び『クイックメニュー』を押し、選択キャンセルを選び『決定』を押します。
- 一括フォルダ間移動では、カギ付きフォルダの開錠はできますが、施錠することはできません。

5 手順4をくり返して、移動させる録画タイトルを追加する

例：録画タイトル No.「008」をフォルダ No.「03」へ移動

フォルダ内の録画タイトルをルート上に出す場合は、ルート上に出す録画タイトルを選び、移動先に「ルート」を選びます。

6 【移動開始】を選び、決定 を押す

録画タイトルが指定したフォルダに移動します。

見るナビでフォルダ機能を使う(つづき)

ごみ箱に移動する

削除予定の録画タイトルを、あとでまとめて削除できるよう「ごみ箱」に入れておけます。

《ごみ箱に移動ができないもの》
- チャプターだけの移動
- 録画中のタイトル
- 「保護」されているタイトル
- 施錠されている「カギ付きフォルダ」内のタイトル
  (開錠するには ➡ 130ページ)

1 **を押す**

見るナビ画面が表示されます。

2 **ごみ箱に移動する録画タイトルを選び、クイックメニューを押す**

3 **【ごみ箱に送る】を選び、決定を押す**

4 **内容を確認して決定を押す**

ごみ箱に移動する場合は【はい】を選び、キャンセルする場合は【いいえ】を選びます。
ごみ箱に録画タイトルがはいっている場合、ごみ箱のアイコンは、ふたのあいたアイコンに変わります。

ごみ箱を空にする

「ごみ箱」にはいっている録画タイトルをまとめて削除します。削除を実行するとキャンセルができませんのでご注意ください。
プレイリストで参照しているパーツをごみ箱へ移動しても再生はできます。ただし、空にしてしまうとプレイリストから削除されます。

《以下の状態の場合ごみ箱を空にできません》
- 予約録画準備中
- 録画中
- ダビング中

1 **見るナビを押す**

見るナビ画面が表示されます。

2 **ごみ箱を選び、クイックメニューを押す**

3 **【ごみ箱を空にする】を選び、決定を押す**

【ごみ箱を空にする】はごみ箱に削除するタイトルがはいっていない場合、表示されません。

4 **内容を確認して決定を押す**

ごみ箱を空にする場合は【はい】を選び、キャンセルする場合は【いいえ】を選びます。
削除中のキャンセルはできません。

見るナビでフォルダ機能を使う(応用機能)

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-R (VRモード) | DVD-RW (VRモード)

フォルダ機能を使って録画タイトルを整理できます。

フォルダを設定する

HDDの初期状態では「フォルダ名 A」、「フォルダ名 B」、「フォルダ名 C」の三つのフォルダを用意しています(フォルダ名の変更や解体が可能です)。フォルダは全部で24フォルダが設定できます。(HD-R、DVD-RAM、DVD-R/RW(VRモード)も同様です。)オリジナルのフォルダを設定してみましょう！

1 (見るナビ) を押す

見るナビ画面が表示されます。

2 (クイックメニュー) を押す

3 【フォルダ機能】を選び、(決定) を押す

4 【フォルダ設定】を選び、(決定) を押す

「フォルダ設定」画面が表示されます。

5 設定するフォルダ機能を選び、(決定) を押す

例：フォルダ番号「04」を選んだ場合

6 文字入力画面でフォルダ名を入力する

例：「僕のフォルダ」と入力

- フォルダ名は空白(スペースを入力)のままでも設定できます。その場合、見るナビではフォルダ名部分が空欄で表示されます。
- 入力できる文字数は、全角24文字、半角48文字までです。
- 文字入力が終わったら【登録】を選び (決定) を押してフォルダ名を設定します。
  保存後はフォルダ設定画面に戻ります。
- 続けて設定する場合は手順5〜6をくり返します。

《フォルダ名として設定できない名前》

「ルート」、「ごみ箱」、「カギ付き」、「指定なし」という言葉(全角)を含む名前は設定できません。ただし、半角であれば設定はできます。(例：半角による「ﾙｰﾄ」)

- 設定したフォルダは「番組ナビ - 録画予約一覧」、「番組ナビ」や「ネットde ナビ」などで、記録先のフォルダとして指定して録画予約ができます。録画中はルート上にタイトルが表示されますが、予約録画終了時に記録先として指定したフォルダへ自動的に移動します。その際、複数同じ名前のフォルダがある場合はフォルダ番号が若いほうへ移動されます(例：フォルダ番号01とフォルダ番号04 が同じ名前の場合は、フォルダ番号01のほうへ移動します)。
- 上記以外にも、お知らせがあります。(➡190ページ)

見るナビでフォルダ機能を使う（応用機能）（つづき）

フォルダの表示順を変更する

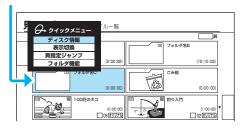
必要に応じてフォルダの表示順を変更します。
フォルダはフォルダ番号が若い順からルートモードで表示されます。

《表示順を変更できないもの》
・「カギ付きフォルダ」
・「ごみ箱」
・「保護」されているタイトルがはいっているフォルダ（「保護」を解除すれば表示順を変更できます）

1 **を押す**

見るナビ画面が表示されます。

2 表示順（フォルダ番号）を入れ替えるフォルダを選び、クイックメニュー を押す

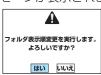
例　「フォルダ名　C」を選ぶ

3 【フォルダ機能】を選び、決定 を押す

4 【フォルダ表示順変更】を選び、決定 を押す

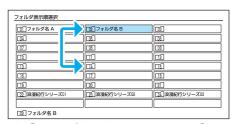
5 表示順を変更するフォルダを選び、決定 を押す

例「フォルダ名　C」と「フォルダ名　A」の表示順を変更する

「フォルダ名　C」と表示順を入れ替える「フォルダ名　A」を選択し 決定 を押す

メッセージが表示されます。

【はい】を選び、決定 を押すと表示順（フォルダ番号）が変更され、見るナビ画面に戻ります。
キャンセルする場合は、【いいえ】を選びます。

設定していないフォルダと表示順を入れ替える

フォルダ名を設定していないフォルダと表示順（フォルダ番号）を変更することもできます。

例：「フォルダ名　B」と設定していない「フォルダ番号14」と表示順を変更する場合

「フォルダ名　B」のフォルダ番号が「14」になり、変更前の番号「02」が、フォルダ名を設定していない状態に変更されます。

カギ付きフォルダを使う

HDD

「カギ付きフォルダ」はタイトルを保護する機能があります。中に入れたタイトルは、過って削除してしまったり、暗証番号を知らない人に再生されたりすることを防げます。ただし、「カギ付きフォルダ」内にある録画タイトルが、ルート上や他のフォルダ内にあるプレイリストのパーツに設定されている場合は、再生されますのでご注意ください。

《カギ付きフォルダに移動できないもの》
・チャプターだけの移動
・「保護」されているタイトル(「保護」を解除すれば移動できます)
・録画中のタイトル

「カギ付きフォルダ」の設定

カギ付きフォルダを使うには、最初に設定が必要です。

1 簡単メニュー を押す

2 【設定メニュー】を選び、決定 を押す

3 【管理設定】を選び、決定 を押す

4 【カギ付きフォルダ設定】を選び、決定 を押す

①切：　カギ付きフォルダを使用しません。
②入(表示)：　カギ付きフォルダを使用し、見るナビ(ルート上)に表示します。
③入(非表示)：カギ付きフォルダを使用し、見るナビ(ルート上)に表示しません。

5 ②または③を選んだ場合、番号ボタンで4けたの暗証番号を入力し、決定 を押す

番号を入れまちがえたときは 決定 を押す前に クリア を押して、入力し直します。
【入(表示)】から【入(非表示)】に変更する場合や、【入(表示)】や【入(非表示)】から【切】へ変更する場合も、設定した暗証番号の入力が必要です。

・カギ付きフォルダの暗証番号を忘れたときや、解除したいときは、暗証番号入力時に +10 10/* を4回押し、決定 を押してください。次に、新しい暗証番号を入力します。解除したいときも新しい番号を入力すれば、解除することができます。
・【入(表示)】から【切】にした場合は、カギ付きフォルダ内のタイトルはルート上へ移動します。また、設定メニューの【設定を出荷時に戻す】を行なった場合も、カギ付きフォルダの設定が【切】になるため、フォルダ内のタイトルはルート上へ移動します。

非表示のカギ付きフォルダの使いかた

他の人に再生されたくない、たいせつな録画タイトルがある場合、非表示のカギ付きフォルダを利用します。

1 【カギ付きフォルダ設定】で【入(表示)】を選ぶ

2 暗証番号を入力し、決定 を押す

3 見るナビ を押す

4 録画タイトルを選び、クイックメニュー の【フォルダ機能】で【フォルダへ移動】または【一括フォルダ間移動】を選び、「カギ付きフォルダ」へ移動し 終了 を押す

5 簡単メニュー から【設定メニュー】→【管理設定】を選び、【カギ付きフォルダ設定】で【入(非表示)】を選ぶ

6 手順2で設定した暗証番号を入力し、決定 を押す

「カギ付きフォルダ」が非表示になります。
「カギ付きフォルダ(非表示)」内にある録画タイトルが、ルート上や他のフォルダ内にあるプレイリストのパーツに設定している場合は、再生されます。

・【入(非表示)】から【切】にした場合は、カギ付きフォルダ内のタイトルはルート上へ移動します。また、設定メニューの【設定を出荷時に戻す】を行なった場合も、カギ付きフォルダの設定が【切】になるため、フォルダ内のタイトルはルート上へ移動します。

見るナビでフォルダ機能を使う（応用機能）（つづき）

カギ付きフォルダを開錠する

1 **を押す**

見るナビ画面が表示されます。

2 【カギ付きフォルダ】を選び、クイックメニュー を押す

3 【フォルダ機能】を選び、決定 を押す

4 【カギ付きフォルダを開錠】を選び、決定 を押す

5 設定した暗証番号を入力し、決定 を押す

番号ボタンで入力します。

カギ付きフォルダ暗証番号入力

「カギ付きフォルダ」が開錠されます。開錠している場合、フォルダから録画タイトルの移動、タイトルの編集やダビングもできます（保護されている録画タイトルは保護を解除してください）。
開錠されると、カギ付きフォルダのアイコンが「　」になります。

- カギ付きフォルダを施錠するときは、カギ付きフォルダを選び、手順2〜3を行ないます。手順4で【カギ付きフォルダを施錠】を選び、決定 を押します。
- カギ付きフォルダの開錠は、カギ付きフォルダを選び、決定 を押し、暗証番号を入力してもできます。
- カギ付きフォルダは開錠した状態でも、本機の電源を切ると施錠された状態になります。
- カギ付きフォルダ内のタイトルは、【HDD初期化(全削除)】、【HDD初期化(番組表／ライブラリ保持)】で、自動的に削除されます。
- 【HDD初期化(全削除)】や【設定を出荷時に戻す】をすると、暗証番号がクリアされます。

フォルダを解除する（フォルダ解体）

必要に応じてフォルダを解除します。
解除するとフォルダはなくなり、フォルダ内の録画タイトルはフォルダの外に移動します。

《解体ができないもの》
- 「カギ付きフォルダ」
- 「ごみ箱」
- 「保護」されているタイトルがはいっているフォルダ
（「保護」を解除すれば、解体できます）

1 見るナビ を押す

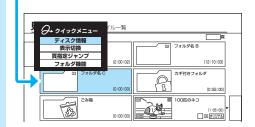
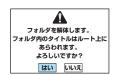
見るナビ画面が表示されます。

2 解体するフォルダを選び、クイックメニュー を押す

例　「フォルダ名 C」を解体

3 【フォルダ機能】を選び、決定 を押す

4 【フォルダ解体】を選び、決定 を押す

5 内容を確認して 決定 を押す

解体する場合は【はい】を選び 決定 を押します。
キャンセルする場合は【いいえ】を選び 決定 を押します。
【はい】を選び 決定 を押したあとでは、キャンセルできません。

フォルダ機能 Q&A

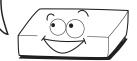
録画したタイトルをフォルダで整理したけれど…ダビングするとフォルダはどうなるの？

・「ダビング」をする前に、ダビング先に同じ名前のフォルダを作ればOK！タイトルはルートに出ることなく、同じ名前のフォルダにダビングされます。
・複数同じ名前のフォルダがある場合は、フォルダ番号が若いほうにダビングされます。（例：フォルダ番号01とフォルダ番号04が同じ名前の場合、フォルダ番号01にダビングされます。）
・HD-R、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）からHDDにダビングするときに、ダビング先に同じ名前のフォルダが見つからない場合は、自動で同じ名前のフォルダが作成され、そのフォルダにダビングされます。
・HDDからHD-R、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）にダビングするときに、ダビング先に同じ名前のフォルダが見つからない場合は、タイトルはダビング先のルート上にダビングされます。

「カギ付きフォルダ」の中の録画タイトルはライブラリに表示されるの？

「カギ付きフォルダ」が開錠時で【入(表示)】の場合は、カギ付きフォルダ内の録画タイトルはライブラリに表示されます。ただし、「カギ付きフォルダ」が施錠時で【入(表示)】と【入(非表示)】の場合は表示されません。

録画予約したあと、指定したフォルダを解体したり名前を変更した場合、録画されたタイトルはどうなるの？

録画予約(基本的な設定)で指定した記録先フォルダが、見るナビ側で変更された場合、記録先も変更されたフォルダに移ります。したがって、録画されたタイトルは変更先のフォルダに保存されます。指定したフォルダを解体した場合は、ルート上に表示されます。

ごみ箱に移動したら自動的に消去されたりするのかな？

ごみ箱フォルダには自動的にタイトルを削除する機能はありません。誤って移動された場合でも削除していなければごみ箱から移動や再生などができます。ただし、「録画予約（基本的な設定）- 予約オプション」の「自動削除」で「容量不足時」に削除する設定にされたタイトルは、ごみ箱とは無関係に削除されることがあります。（➡82ページ）

市販のHD DVDビデオディスク・DVDビデオディスクやCDの再生

HD DVDビデオ | DVDビデオ | CD

HD DVD は新規格です。ディスクによっては本機で再生できないものもあります。
市販の HD DVD ビデオディスクなどを、480p およびハイビジョン（720p、1080i、1080p※）出力でお楽しみいただくには、出力解像度に対応したテレビ（プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ）を、HDMI 端子もしくは D 端子／コンポーネント端子で接続してください。対応していないテレビでは、HD DVD の映像を見ることはできますが、ハイビジョン本来の映像をご覧いただくことはできませんので、ご注意ください。また、ディスクによっては AACS の規定により、アナログでの出力を禁止していることがあります。その場合は HDMI 端子を使わないと、見ることのできないコンテンツもあります。
（※本機は HDMI 出力での 1080p 出力に対応しています。ただし 1080p で出力するには、対応する HDMI ケーブルと HDMI 機器（HDCP 対応）が必要です。詳しくは当社ホームページなどで、最新情報をご確認ください。）

1 再生したいディスクを入れ、HD DVD を押す

ディスクの再生が始まります。

●再生が始まらないときは…

▶「再生」を押す

・再生が始まるまで、多少時間がかかることがあります。これは、ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

トップメニューが記録されているディスクは、再生したときにメニュー画面が表示されます。
ディスクによっては、メニュー画面が自動的に表示されず や ボタンを押して表示させる場合があります。
「トップメニューを使って再生する」➡同ページ

再生を停止する／一時停止する

■ を押す

再生を終了します。

再生中に ⏸ を押す

再生が一時停止します。
もう一度押すと、再生が始まります。

トップメニューを使って再生する

HD DVDビデオ | DVDビデオ

市販のHD DVDビデオディスクやDVDビデオディスクには、全体の構成を確かめたり、見たい場面が選べるように、トップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されている場合があります。

1 を押す

トップメニューが表示されます。

2 方向ボタンで再生したいタイトルを選ぶ

トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 決定 を押す

選んだタイトルのチャプター 1 から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、『決定』を押さずにもう一度『トップメニュー』を押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。
- ディスクによっては『トップメニュー』ではなく『メニュー』を押してメニューを表示するものもあります。

リモコンの A、B、C、D ボタンを使う

HD DVDビデオ

市販のHD DVDビデオディスクを再生中、画面上でボタンを使う指示が表示されたときに使用します。ディスクの内容によってボタン操作の内容が変わります。

音声の切換

HD DVD ビデオ　DVD ビデオ

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や音声方式に切り換えられます。

1 再生中に、[音声/音多]を押す

現在の音声設定を表示します。

例

音声： 日本語　1

音声の種類は、音声によってコードで表示される場合があります。そのときは言語コード表（➡応用編 73 ページ）と照し合わせてください。

2 音声設定の表示中に、[音声/音多]を押す

ディスクに記録されている音声が切り換わります。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、『メニュー』ボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、「DVD音声言語」で設定した音声になります（➡応用編55ページ）。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

字幕の表示と切換

HD DVD ビデオ　DVD ビデオ

字幕が記録されているディスクでは、再生画面に字幕を表示できます。複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。

1 再生中に、[字幕]を押す

現在の字幕設定を表示します。

例

字幕： 日本語　1

言語名は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（➡応用編 73 ページ）と照らし合わせてください。

- ディスクによっては、言語名が表示されないものもあります。

2 字幕設定の表示中に、[字幕]を押す

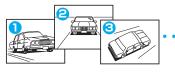
字幕言語が切り換わります。

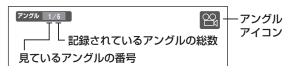
表示されない字幕言語は、ディスクに記録されていません。

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、「DVD字幕言語」で設定した言語になります（➡応用編55ページ）。ディスクによっては、ディスクで決められている言語になります。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

アングルを変えて見る

HD DVD ビデオ　DVD ビデオ

複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、その中から好きなアングルに切り換えられます。

1 再生中に、[アングル]を押す

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。表示中に好きなアングルに切り換えることができます。

2 アングル番号の表示中に、[アングル]を押して、好きなアングルを選ぶ

- 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生を始めてからアングルが切り換わります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、映像のアングルが切り換わらないことがあります。

市販のディスク再生時の応用機能

HD DVD ビデオ | DVDビデオ | CD

市販のディスク（作成した音楽 CD も含む）再生では、以下の機能も使えます。

コマ送り

再生中に (II 2 か ABC) を押す

一時停止になります。

一時停止中に (コマ送り 3 さ DEF) を押すとコマ送りします。

- (▶ 5 な JKL) を押すと、普通の再生に戻ります。
  ディスクによっては、コマ送りができないものもあります。
- CD では操作できません。

チャプター／トラックをスキップ

現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。続けて 2 回押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

続き再生

➡ 同ページ

頭出しサーチ・タイムサーチ

➡ 135ページ

早送り／早戻し

再生中に、(◀◀ 4 た GHI) / (▶▶ 6 は MNO) を押す

(◀◀ 4 た GHI)：早戻しをします。

(▶▶ 6 は MNO)：早送りをします。

- ボタンを押すたびに、再生する速さが切り換わります。
- (▶ 5 な JKL) を押すと、普通の再生に戻ります。
- 市販のディスク（作成した音楽 CD も含む）は、音声付き早送り（➡ 117 ページ）はできません。
- 早送り／早戻しの速さは、再生するディスクによって異なります。

スローモーションで再生

再生中に (スロー 9 ら WXYZ) を押す

進む方向のスローモーションで再生します。

- ボタンを押すたびに、速さが切り換わります。
- (▶ 5 な JKL) を押すと、普通の再生に戻ります。
- CD では操作できません。

チャプター／トラックをスキップ

一つ先のチャプター／トラックにスキップし再生します。

- 再生するディスクによっては、これらの機能が働かないことがあります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡185ページ）

最後に止めた位置から再生する（続き再生）

再生を止めたあと、(▶ 5 な JKL) を押すと、止めた続きから再生されます。(■ 8 や TUV) を2回押すと、続き再生が解除されます。

市販のHD DVDビデオの「続き再生」機能について

市販のHD DVDビデオによっては、通常の「続き再生」とは異なる、専用の「続き再生」機能があります。

専用の「続き再生」機能を使うには、再生を止めたあと、(シフト) を押しながら、(続き再生 クリア) を押すと、続き再生機能が働きます。解除するときは、(■ 8 や TUV) を2回押します。

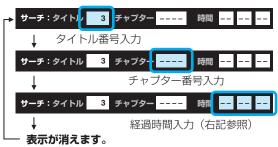
- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 設定画面で、「DVDディスクメニュー言語」や「DVDパレンタルロック」の設定をしたとき（➡応用編56ページ）
  - ディスクトレイが開閉されたとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- ディスクやシーンによっては、この機能が働かない場合があります。
- 続き再生中に設定画面を使って設定を変えることはできますが、変更した内容は確定されません。続き再生を解除したあとに設定されます。
- 『続き再生』ボタンで使用できる機能は、対応するディスクによって異なります。また、対応するボタン操作や動作が異なることがあります。

番号を指定して頭出しする（頭出しサーチ）

HD DVD ビデオ　DVD ビデオ　CD

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、通常順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。

1 サーチ/文字 をくり返し押して、入力したい項目を選ぶ

例：頭出ししたいチャプターを入力する

- ディスクによって表示は変わります。

方向ボタン◀/▶でカーソルの位置が変わります。

2 シフト 番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する

例：チャプター/トラック番号25を入力するには

シフト を押しながら 2 → 5 の順に押す

- クリア を押すと、入力した番号の表示が消えます。設定画面を消すときは、サーチ/文字 を数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。

3 決定 を押す

選んだ箇所から再生が始まります。
ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。

経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ）

HD DVD ビデオ　DVD ビデオ　CD

1 サーチ/文字 を押す

ディスクの種類で押す回数が異なります。
カーソルが「-- -- --」の位置に移動するまで押してください。

サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 -- -- --

2 番号ボタンを押して、時間を入力する

例：1時間25分30秒を入力するには

1 → 2 → 5 → 3 → 11/0

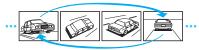
- クリア を押すと、入力した項目の時間表示がリセットされます。

3 決定 を押す

指定したところから再生が始まります。
ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。

くり返し再生（リピート再生）

DVD ビデオ　CD

タイトル、チャプター、トラックなど再生したい部分だけをくり返し再生できます。

1 再生中に クイックメニュー を押す

くり返し再生の種類が表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で、くり返し再生の種類を選ぶ

ディスクやコンテンツの状態で、くり返し再生の種類が変わります。

例

『決定』を押すと、リピート再生が解除されます。

オールリピート：
ディスク全体をリピートします。

タイトルリピート：
同じタイトルをリピートします。

チャプターリピート：
同じチャプターをリピートします。

トラックリピート：
同じトラックをリピートします。

ディスクリピート：
ディスク全体をリピートします。

A-Bリピート：
指定区間をリピートします。
この項目を選んだあとに、『決定』を押します。
下の1）と2）を行ないます。手順3は不要です。

ⒶⒷ リピート　A点指定

1）上の表示が出ている間に、リピートしたい開始地点で『決定』を押す

B点設定の設定表示に変わります。

ⒶⒷ リピート　B点指定

2）リピートの終了地点で『決定』を押す

指定したA地点とB地点の間をリピート再生します。

3 決定 を押す

くり返し再生が始まります。

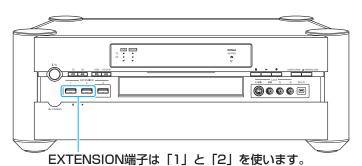
- ディスクによっては、この機能が働かないものがあります。
- くり返し再生は、『停止』を押して再生を止めても解除されます。

市販のHD DVDビデオのその他の機能を楽しむ

EXTENSION 端子について

HD DVD ビデオ

ディスクの機能によって、EXTENSION端子にUSBゲームコントローラーを接続するなど、いろいろな機能をお使いになれます。これらの拡張機能は、将来サポートされる予定です。
ゲームコントローラーを本機に接続するときは、EXTENSION端子の「1」または「2」に接続してください。「1」と「2」に同時に接続することもできます。

EXTENSION端子は「1」と「2」を使います。

ご注意！
EXTENSION端子にコントローラーを接続したまま、前面扉を閉めないでください。

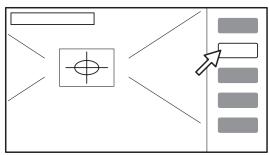
カーソル機能を使う

HD DVD ビデオ

市販のHD DVDのディスクのなかには、ゲームやお絵書きソフトなどがあります。ソフトによっては、カーソル機能を使う場合があります。

1 カーソル機能を使う専用ディスクを再生中に、チャンネル カーソル を押す

2 方向ボタン（8 方向）を使ってカーソルを操作する

例：ゲーム/お絵書きソフト

ゲームの標的や選択アイテムを選ぶときにカーソルを動かします。
実際の操作は、ディスク側の取扱説明書もご覧ください。
この機能はディスク側の仕様によって異なります。

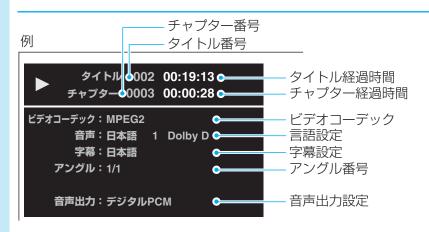
動作と設定の状態を画面で確認する

HD DVD ビデオ | DVDビデオ | CD

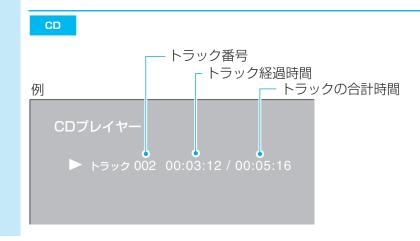
再生している状態やディスクの種類に合わせて、現在の状態を表示します。

1 ヘルプ 表示切換 を押す

以下のような表示が出ます。
(ディスクによって内容は異なります。)

例

※字幕や音声設定は、言語コードで表示される場合があります。
(➡応用編 73 ページ)

CD

例

• CD再生中は、本機に記録されている静止画が画面に表示されます。

■再生中に表示されるアイコンについて

左のアイコンが表示されたときは、いったん再生を停止してメッセージに従って操作してください。

市販のHD DVDビデオディスクのネット機能を楽しむには

●HD DVDディスクのなかには、本機をブロードバンド常時接続の環境でインターネット接続しておくと、HD DVD専用サイトなどに直接アクセスできるものがあります。
HD DVD専用サイトで、映画の予告編などがあれば、その内容をインターネットを通じて本機でご覧になれます。

お使いになる前に

ブロードバンド常時接続の環境への本機の接続と、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、➡応用編「ネット接続設定」章をご覧ください。

- 本機をお使いになる前に、➡応用編9ページの「制限事項と免責事項」などをよくお読みください。
- インターネット機能の使用可能な市販のHD DVDビデオディスクが必要です。この機能はディスク側の仕様によって異なります。ディスクの仕様によっては、ネットワーク機能がないディスクもあります。

ネット機能を使う（実際に操作してみる）

HD DVD ビデオ

準備

本機がインターネットにアクセスするための接続と設定を、あらかじめ行なってください。
(➡応用編10ページ～)
HD DVD を押して、HD DVD側にしてください。

1 市販のHD DVDビデオディスクを入れ、トレイを閉じる

ディスクの再生が始まります。
再生が始まらないときは、▶「再生」を押します。

2 メニュー画面で、操作したい項目を選ぶ

●メニュー画面が表示されないときは、トップメニュー／モード または 番組説明／メニュー を押してください。
●項目を選ぶときは、方向ボタンで選び、決定 を押します。
●ディスクによっては、カーソル機能を使う場合があります。(➡ 136 ページ)

例

たとえば、最新版の予告編をインターネットを通して、本機で見られます。

実際の操作は、ディスク側の取扱説明書もご覧ください。

■ディスクによっては、ユーザー名／パスワードを入力する必要があります。入力については、次のページをご覧ください。

ユーザー名／パスワードの入力について

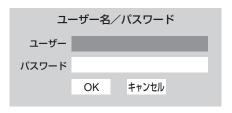
HD DVD
ビデオ

市販のHD DVDビデオディスクには、ユーザー名/パスワードの設定をしないと働かない機能が含まれていることがあります。

「ユーザー名／パスワード」の入力画面が表示されたときは、応用編「イーサネット設定をする」の「A:イーサネット設定をする（ネットdeナビ／ネットdeダビング用）」（➡14ページ）で設定した、「本体ユーザー名」と「本体パスワード」を入力します。

■【ユーザー名】と【パスワード】の入力

1 【ユーザー】を選び、決定 を押す

「ユーザー名／パスワード」画面が表示されます。
実際の画面は、ディスクによって異なる場合があります。

設定した「ユーザー名」を入力します。
入力を終了したら、決定 を押してください。

2 【パスワード】を選び、決定 を押す

設定した「パスワード」を入力します。
入力を終了したら、決定 を押してください。

3 【OK】を選び、決定 を押す

「ユーザー名／パスワード」画面が消えます。

基本的な編集からダビングの手順例

放送番組を内蔵HDDに録画

➡73ページ、
➡102ページ

チャプター編集や、プレイリストを作成

➡144ページ～

内蔵HDDに録画した番組や、編集した番組をHD-RディスクやDVDディスクなどにダビングする

➡158ページ～

HD-Rディスクや
DVDディスク

6 編集とダビング

好きな場面だけを集めて、お気に入りの映像集が手軽に作れます。
大事な録画はDVDディスクに保存しましょう。

この章で説明する編集とダビング方法は、「編集ナビ」を使って説明しています。

編集とは？

編集機能では、見たいシーンがすぐに見られるようなしおりをつけたり、好きな場面を集めた再生集や、タイトルの名前を変更したり、お好みの場面をサムネイルに変更したりすることができます。

■こんなときに編集機能を使います

以下の説明では、録画した番組のことを**「タイトル」**としています。

見たい場面をすぐに見られるようにする（頭出し再生）

例）①

タイトル「犬と猫の世界」

タイトルの「犬と猫の世界」で、この場面がお気に入りなの！でも再生したとき、この場面を探すのは大変！この場面からすぐに見られるような、しおりのようなものをつけられたらいいのに。

見たい場面だけを再生できるようにする（プレイリスト再生）

例）②

タイトル「犬と猫の世界」

タイトルの「犬と猫の世界」で、犬の場面と猫の場面を別々にして、犬の場面だけ、猫の場面だけを見られるようにしたい！

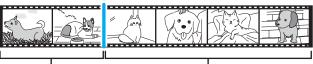
ステップ１：「チャプター」という区切りを作ります

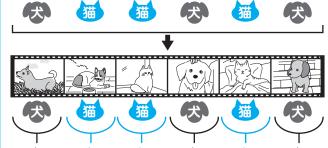
再生しながらこの部分で ⏸（2 かABC）を押し、そのあと （チャプター分割 11/0 わをん。）を押します。

区切りがないタイトルは全体でチャプターが１つの状態

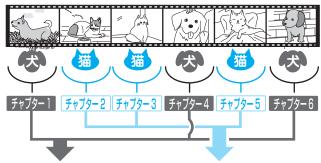
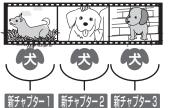
見たい場面の先頭で区切り（チャプター分割）を作ると、再生するときに見たい場面へ頭出し（スキップ ⏭ 12/# ／ +10 ⏮ 10/*）が簡単にできるようになります。

区切り

区切りを作ったのでチャプターが２つになります。

チャプター１　チャプター２

犬と猫の境目や違う種類の猫同士の境目で「区切り」を作ります。

見たい場面だけを再生するための材料作りが完了です。次に、見たい場面だけを再生する順番表（プレイリスト）を作ります。

ステップ２：「プレイリスト」という再生順番表（架空のタイトル）を作ります（➡次ページへ）

犬と猫の場面に分かれたチャプターで、それぞれプレイリストを作ります。

猫
猫
猫
新チャプター1
新チャプター2
新チャプター3

犬の場面だけを集めた新しいタイトル（プレイリスト）が完成

猫の場面だけを集めた新しいタイトル（プレイリスト）が完成

プレイリスト内では新しくチャプター番号が変更されます。
再生する順番はお好みで入れ替えることもできます。

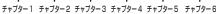
プレイリストを、タイトル化するには？

プレイリストは実体のない架空のタイトルですが、**プレイリストを 内蔵 HDD、HD-R や DVD にダビングすると、別の新しいオリジナルのタイトルになります。**

簡単にチャプターやプレイリストを作るには？

- **自動的にチャプター分割する**
  録画予約するときに、自動的にチャプター分割する設定があります（➡87 ページ）。
- **簡単にプレイリストを作る（おまかせプレイリスト作成）**
  「本編自動チャプター分割」を設定して予約録画した番組は、「おまかせプレイリスト作成」で簡単に本編だけを集めたプレイリストが作れます。（➡153 ページ）。

■タイトルとチャプターの関係

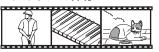
「タイトル」は簡単にいうと、内蔵 HDD や DVD ディスクなどに録画した 1 つの番組全体のことです。その番組を区切って分割したものを「チャプター」と呼びます。

■オリジナルとプレイリストの関係

「オリジナル」は内蔵 HDD や DVD ディスクなどに録画した映像そのものです。タイトルやチャプターの好きな部分を集めた再生の順番表が「プレイリスト」です。

「オリジナル」：お好みの番組を録画したり、外部入力（ビデオデッキなど）から本機（内蔵 HDD や DVD ディスクなど）へ録画した記録内容自体をオリジナルと呼びます。オリジナルは削除すると内蔵 HDD や DVD ディスクなどから無くなってしまいます。

「プレイリスト」：オリジナルから必要な部分を集めた架空のタイトルになります。本に例えると、一冊の本が「オリジナル」で「チャプター」はお好みの場所に挟んだしおりになり、お好みの場所のページを書き記した紙が「プレイリスト」になります。お好みのページを破り捨てたり（チャプター削除）その本自体も捨てると（タイトル削除）、プレイリストからも情報が消えてしまいます。また、プレイリストは情報だけでできているため、内蔵 HDD や DVD ディスクなどの容量をほとんどつかうことはありません。

「編集機能」を上手に使う！

録画した番組を場面ごとに区切りたい！ ① 場面を区切ります	チャプターを作る ➡146ページ～へ
区切ったお気に入りの場面をまとめたい！ ②必要な場面を集めます （集めたものを「プレイリスト」と呼びます。）	必要な場面を集める（プレイリストを作る） ➡151ページ～へ
まとめたタイトルを保存したい！ ③ダビングします （プレイリストは、ダビングすることによって新しいタイトル（オリジナル）になります。）	ダビングする ➡158ページ～へ

・チャプターの名前を変えたい！ ➡148ページへ

・見るナビや編集ナビ画面で表示されるサムネイルを好きな場面に変えたい！（サムネイル編集） ➡150ページへ

「編集ナビ」について

編集ナビの基本操作

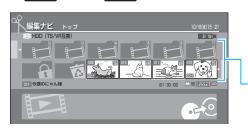
●パーツ（タイトルやチャプターなど）を選択し、決定を押して、**編集機能選択**から操作します。

編集機能選択

チャプター編集やダビングなどの編集機能を使いたいときは、最初に編集したいパーツ（タイトル、チャプターやプレイリスト）を選んでから、機能を選択します。（選択したパーツによっては機能が選択できないこともあります。）

準備

・ HDD または HD DVD を押して、編集機能を使いたいタイトルが録画されているディスクを選んでおきます。

1 編集ナビ を押す

「編集ナビ トップ」画面が表示されます。

2 編集機能を使いたいパーツ（タイトル、チャプターまたはプレイリスト）を選び、決定 を押す

- « / » ：前後のページに移動します。
- モード：選んでいるパーツのタイトル表示／チャプター表示を切り換えます。

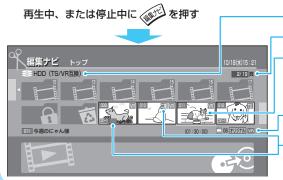
3 目的の機能を選び、決定 を押す

選択した機能の画面が表示されます。

「機能選択」について

機能項目	目的	関連ページ
再生	選択しているパーツ（タイトル、チャプターまたはプレイリスト）の再生をします。	ー
ダビング	内蔵HDDディスクに録画したタイトルをDVDディスクに保存したいときや、作成したプレイリストをタイトルにしたいときなどに選びます。	158ページ
サムネイル設定	選択したパーツのサムネイルをお好みの場面のサムネイルに変更するときに選びます。	150ページ
タイトル結合	選択しているタイトルと、他のタイトルを1つのタイトルにしたいときに選びます。	154ページ
チャプター編集	選択したパーツのチャプターの分割やチャプターを結合するなど、チャプターの編集をしたいときに選びます。	146ページ
メニュー背景登録	DVD-Videoを作るときに、メニュー画面の背景をお好みの背景にすることができます。お好みの背景を登録したいときに選びます。	155ページ
プレイリスト編集	タイトルやチャプターなどで見たい場面だけを集めた再生リストを作成したいときに選びます。	151ページ
DVD-Video 作成	旅先や結婚式の映像集を作品として配付するといった、他のDVDプレーヤーなどでも再生が可能なDVD-R/RW（Videoモード）を作りたいときに選びます。	165ページ
一括フォルダ間移動	複数のタイトルを1つのフォルダ、またはそれぞれ個別のフォルダに移動させたいときに選びます。	125ページ
一括削除	選択しているパーツを含む、複数のパーツを削除したいときに選びます。削除すると元には戻せません。	156ページ

■基本的な「編集ナビ トップ」画面の見かたと操作について

再生中、または停止中に 編集ナビ を押す

- 現在選択しているドライブを表します。
- 現在何ページ目を表示しているかを表します。ページは « か » で移動します。
- 録画タイトルはサムネイル（映像中のワンシーンを静止画で表示したもの）で表示します。タイトルまたはチャプターのサムネイルは変更することができます。（➡150ページ）
  選択しているタイトルとチャプターの表示変更は モード を押して切り換えます。
- 選択しているタイトルの情報が表示されます。
- 編集ナビ画面のサムネイル上に表示されるアイコンについては、➡160ページの「■「編集ナビ」サムネイルのアイコンについて」をご覧ください。

●パーツ（タイトルやチャプターなど）を選択し クイックメニュー を押して、編集に役立つ**クイックメニュー**から操作します。選択しているパーツによって表示される項目は異なります。

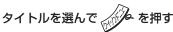
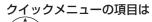
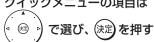
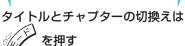
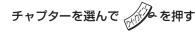
クイックメニュー選択

タイトルを選んで クイックメニュー を押す

クイックメニューの項目は

で選び、決定 を押す

タイトルとチャプターの切換えは
を押す

チャプターを選んで クイックメニュー を押す

タイトル選択時の「クイックメニュー」表示一覧（タイトルの種類や数によって表示項目は変わります）

メニュー項目	説 明	関連ページ
タイトル情報	選択しているタイトルの情報を表示します。	177 ページ
タイトル名変更	タイトル名を変更するときに選びます。決定 を押すと、文字入力画面が表示されます。	113 ページ
チャプター自動生成	選択しているタイトルに、一定間隔でチャプターを作成します。	148 ページ
奇数チャプター プレイリスト作成	奇数番号のチャプターを自動的に選んでプレイリストを作成します。	152 ページ
偶数チャプター プレイリスト作成	選択したタイトルに 2 つ以上のチャプターがあるとき、偶数番号のチャプターを自動的に選んでプレイリストを作成します。	152 ページ
DV 連動録画	本機に接続したデジタルビデオカメラの映像を録画するときに選びます。	108 ページ
ディスク情報	現在選択しているドライブ（HDD または HD DVD）の情報を表示します。HD DVD を選んだときは、挿入されているディスクについての情報が、表示されます。	177 ページ
表示切換	表示されているタイトルを、タイトル名やジャンル別などに並べ替えて表示させたいときに選びます。	112 ページ
頁指定ジャンプ	ページが複数あるときに、ページを指定して移動します。	112 ページ
フォルダ機能	フォルダに関する機能の選択が表示されます。	123 ページ
ごみ箱に送る	削除予定のタイトルをごみ箱へ移動します。	126 ページ
タイトル削除	選択しているタイトルを削除します。削除すると元には戻せません。（複数のタイトルを一度に削除したいときは➡ 156 ページをご覧ください。）	111 ページ

チャプター選択時の「クイックメニュー」表示一覧（チャプターの種類や数によって表示項目は変わります）

メニュー項目	説 明	関連ページ
タイトル情報	選択しているタイトルの情報を表示します。	177 ページ
チャプター名変更	選択しているチャプター名を変更するときに選びます。決定 を押すと、文字入力画面が表示されます。	113 ページ
前と結合	選択しているチャプターと前のチャプターを結合します。	148 ページ
全チャプター結合	複数あるチャプター全てを結合させて 1 つにします。	148 ページ
奇数チャプター プレイリスト作成	奇数番号のチャプターを自動的に選んでプレイリストを作成します。	152 ページ
偶数チャプター プレイリスト作成	選択したタイトルに 2 つ以上のチャプターがあるとき、偶数番号のチャプターを自動的に選んでプレイリストを作成します。	152 ページ
DV 連動録画	本機に接続したデジタルビデオカメラの映像を録画するときに選びます。	108 ページ
ディスク情報	現在選択しているドライブ（HDD または DVD）の記録などの情報を表示します。	177 ページ
頁指定ジャンプ	ページが複数あるときに、ページを指定して移動します。	112 ページ
チャプター削除	選択しているチャプターを削除します。削除すると元には戻りません。（複数のチャプターを一度に削除したいときは➡ 156 ページをご覧ください。）	111 ページ

フォルダ機能の操作方法や説明に関しては、➡ 123 ページをご覧ください。

ステップ1：チャプターを編集する(チャプター編集)

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW (VRモード) | DVD-R (VRモード)

見たい場面を頭出ししたり、好きな場面だけを集めてプレイリストの素材にするには、チャプターを作ります。

●チャプターはなぜ必要？

たとえば1本のドラマをチャプター分割しておくと…

・チャプター分割しておくと、見たいシーンの頭出しができます。
・好きなチャプターだけを集めて新しいタイトルを作れます。
※編集の最小単位がチャプターです。

チャプター分割する方法は、3通りあります。

① 録画予約するときに、自動的にチャプター分割する設定をする(➡87ページ)
② 録画中や再生中にチャプター分割をする
③ 位置を正確に指定してチャプター分割をする(➡147ページ)

HDD や DVD ディスクなどによってできる編集の違い

録画したタイトルの編集は、録画したメディアによって、できることに差があります。以下の表を参考にしてください。

※ TS 録画＝デジタル放送の番組を録画予約するときに「W 録」選択で「TS」を選んだタイトルを表します。また見ているデジタル放送を、本体またはリモコンのボタンで「TS」を選んで録画した場合も同様です。

※ VR 録画＝デジタルまたはアナログ放送の番組を録画予約するときに「W 録」選択で「VR」を選んだタイトルを表します。また見ているデジタルまたはアナログ放送を、本体またはリモコンのボタンで「VR」を選んで録画した場合も同様です。

	HDD		HD-R	DVD-RAM	DVD-RW		DVD-R	
	TS録画※	VR録画※(VR互換モード)	(HDVRモード)*3		VRモード	Videoモード*2	VRモード*3	Videoモード*2
チャプター分割	◎	◎	◎	◎	◎	×	○	×
チャプター削除	◎	◎	◎	◎	◎	×	○	×
チャプター結合	◎	◎	◎	◎	◎	×	○	×
チャプター境界シフト	◎	◎	◎	◎	◎	×	○	×
タイトル結合	○*1	◎*1	◎*1	◎	◎	×	○	×
Videoモード再生範囲化	○*4	◎	◎	◎	◎	×	○	×
プレイリスト編集	○*1	◎*1	◎*1	◎	◎	×	○	×

◎＝可能です。○＝条件付きで可能です。×＝できません。

*1 TS録画したタイトル同士でだけ結合が可能です。TS録画以外のタイトルとの結合や、TSとVRの混在したプレイリストの作成はできませんのでご注意ください。
*2 DVD-R/RW(Videoモード)へダビングしたときは、タイトル単位での削除はできますが、チャプター単位の削除はできません。削除はファイナライズ前のディスクだけ可能です。
*3 HD-RやDVD-R（VRモード)は、編集回数に限りがあります。また不要なタイトルを削除しても、削除した分が空き容量としてふえることはありません。
*4 TS録画されたタイトルの「Videoモード再生範囲化」はできますが、Videoモードのディスクにダビングすることはできないので注意が必要です。

録画中や再生中にチャプター分割をするには

チャプター分割 11/0

録画中や再生中にチャプター分割ができます。

●録画中にチャプター分割をする

予約をしない通常録画中や予約録画中に、チャプター分割をしたい場面で、『**チャプター分割**』を押す
（※予約をしない通常録画中は、『**一時停止**』を押してもチャプター分割できます。）

●再生中にチャプター分割をする

再生中や一時停止中に、チャプター分割をしたい場面で『**チャプター分割**』を押す

●追っかけ再生中にチャプター分割をする

追っかけ再生中にチャプター分割をしたい場面で、『**チャプター分割**』を押す
録画中の内容を録画を止めることなくシーンを戻してチャプターが作れます。

• ダビング中、早送り／早戻し中、スロー再生中などはチャプター分割できません。

タイトルに区切りを作る（チャプター分割）

準備

・ HDD または HD DVD を押して、チャプター編集したいタイトルが録画されているディスクを選んでおきます。

1 ➡144 ページの編集機能選択の手順1 〜 2 を行ない、【チャプター編集】を選び、決定 を押す

「編集ナビ　サムネイル／チャプター編集」画面が表示されます。

ロケーター：現在の位置を表示しています。

2 ▶ を押す

左上の画面を見ながら、チャプターの境界にしたい場面をさがします。

スロー 7、スロー 9 、II 2、コマ送り 3、シフト ＋ « » などの各再生機能ボタンが使えます。

●**チャプター分割しながら、チャプターのサムネイルを設定するには…**
左下の「効率よくチャプター分割とサムネイルを設定するには …」をご覧ください。

他のチャプターを見るには：
方向ボタン（▲ / ▼）でカーソルをサムネイルの列に移動したあと、方向ボタン（◀ / ▶）でサムネイルを選びます。

チャプターの最初と最後の場面を確認するには：
サムネイルを選んで 決定 を押すと、そのチャプターの最初と最後の部分を約 3 秒ずつ再生します。

3 チャプターの境界にしたい場面で、II を押す

4 【チャプター分割】を選び、決定 を押す

押したところにチャプターの境界が作られ、新しくできたチャプターの先頭場面が、サムネイルとして登録されます。
チャプター分割 を押してもチャプターは分割されます。

●**タイトルやチャプターのサムネイルを変更するには…**
「タイトルやチャプターのサムネイルをお好みの場所に変更するには（サムネイル編集）」（➡150ページ）をご覧ください。

効率よくチャプター分割とサムネイルを設定するには…

①カーソルはチャプターの【再生位置に変更】を選ぶ。
②リモコンの チャプター分割 でチャプター分割し、チャプターのサムネイルにしたい場面で 決定 を押す。

決定 を押した場面が、チャプターのサムネイルになります。

5 手順2 〜4 をくり返す

タイムバーの縦線のマーカーが、できたチャプター境界の位置を示します。チャプター境界を消したいときは、境界の後ろのチャプターを再生するなどして左上の画面に表示し、【前のチャプターと結合】を選び 決定 を押します。

・クイックメニューからチャプター結合することもできます。（➡148 ページ「チャプターをつなげたい！」をご覧ください。）

6 必要なチャプターを切り終わったら、【完了】を選び 決定 を押す

メッセージが表示され、設定したチャプター境界を保存しはじめます。

 を押しても保存されます。

保存が終わると、「編集ナビ　トップ」画面に戻ります。

お知らせ

• 作成できるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが表示されます。その場合は、チャプターを結合するなどして数を減らしてください。（➡ 148 ページ）
• 上記以外にも、お知らせがあります。（➡ 191 ページ）

ステップ1：チャプターを編集する(チャプター編集)(つづき)

より高度なチャプター編集をする（クイックメニュー）

画面上の部分とチャプター部分は で移動できます。

●こんなときに使うと便利です

●チャプターをつなげたい！

「前と結合」
選択しているチャプターと、前のチャプターをつなげます。

「全チャプター結合」
表示されているすべてのチャプターをつなげて、一つのチャプターにします。

- タイトル（オリジナル）の中でチャプター結合をしても、関連するタイトル（プレイリスト）には影響しません。また、タイトル（プレイリスト）の中でもチャプター結合はできます。このとき、元となったタイトル（オリジナル）には影響しません。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡ 191 ページ）

●一定の間隔でチャプター分割したい！

「チャプター自動生成」
タイトルの先頭から一定の間隔（5 分、10 分、15 分、20 分、30 分、60 分）でチャプター境界を作ることができます。
（すでに分割されているチャプター境界とは別に、新たに追加されます。）

●チャプターの名前を変えたい！

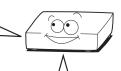
「チャプター名変更」
チャプターの名前を変更することができます。文字入力画面（➡ 33 ページ）が表示されます。

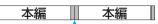
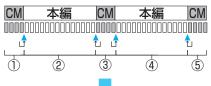
● DVD ディスクにタビングする前に、作成したチャプターの境界を確認／修正したい！

HD-R、DVD-RAM や DVD-R/RW（VR モード）に余計な映像を入れずにダビングするには

→チャプター境界シフト／フレームシフトモード（VR モード保存用）

（例）
▯＝本編映像フレーム　フレーム：VR モードの再生単位
▮＝CM 映像フレーム　（1 フレーム：約 0.03 秒）
▲＝チャプター分割位置

「本編自動チャプター分割」などを「入」で録画したタイトルでは、図のように、本編とCMのチャプター境界がずれていることがあります。

そのまま本編だけを集めたプレイリストを作成すると、CM 部分の余計な映像も入ったプレイリストになってしまいます。

②と④のチャプター（本編）を集めてプレイリストを作成

上記のようなときは、プレイリストを作成する前に**「フレームシフトモード（VR モード保存用）」**機能でチャプター境界位置を修正します。1 フレーム単位でチャプター境界を前後にシフトできます。シフトの手順は ➡ 右ページの下段をご覧ください。

：①と②、③と④のチャプター境界を後ろへ 1 フレーム分シフトする
：②と③、④と⑤のチャプター境界を前へ 1 フレーム分シフトする

チャプター境界を修正したあと、②と④のチャプター（本編）を集めてプレイリストを作成

本編	本編

CM 映像が入らないプレイリストが作成できる

DVD-R/RW（Video モード）に余計な映像を入れずにダビングするには

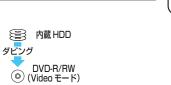
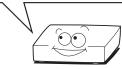
→ Video モード再生範囲化

→チャプター境界シフト／ GOP シフトモード（Video モード保存用）

（例）
▯＝本編映像フレーム
▮＝CM 映像フレーム
▭＝本編映像区間
■＝CM 映像区間
▼＝チャプター分割位置
フレーム：VR モードの再生単位（1 フレーム：約 0.03 秒）
GOP：Video モードの再生単位（1GOP：約 0.5 秒）

CM　本編　CM　本編　CM

CM　本編　CM　本編　CM

例）内蔵 HDD でチャプター分割したタイトルを、そのまま DVD-R/RW（Video モード）へダビングすると、フレーム単位で分割したチャプター境界が、GOP の先頭に移動してしまいます。

上記のようなことを防ぐために、以下の手順を行ないます。
→① Video モード再生範囲化
タイトルをダビングする前に「Video モード再生範囲化」をします。タイトル内の全チャプターの境界が GOP 境界に移動するので、ダビング後のチャプター境界が確認できます。（ただし、チャプターによっては再生範囲が拡大されないことがあります。）

①の「Video モード再生範囲化」のあとに
→②チャプター境界シフト／ GOP シフトモード（Video モード保存用）
次に**「GOP シフトモード（Video モード保存用）」**機能でチャプター境界位置を修正します。
GOP（約 0.5 秒）単位でチャプター境界を前後にシフトできます。

〈CM の映像を見えないように境界をシフト〉

ここにシフト　ここにシフト
CM　本編　CM　本編　CM

①、②を行なったあと、必要なチャプターを集めてプレイリストを作成し、ダビングすることをお勧めします。プレイリストについては ➡ 151 ページをご覧ください。

■フレーム／ GOP シフトモード内での操作手順

1 先頭の位置を変えたいチャプターを選ぶ

2 ⏮1 / ⏯3 をくり返し押して、チャプターの先頭にしたい場面を選ぶ

画面左上を見ながら設定します。
ほかにシフトしたいチャプターがある場合は、チャプターを選び、設定します。
シフトの設定を解除するには、［クイックメニュー］を押して、それぞれ【フレームシフトモード解除】または【GOP シフトモード解除】を選び、［決定］を押します。

3 設定が終わったら、［戻る］を押す

設定を保存します。

ご注意
Video モード再生範囲化やチャプター境界シフトなどを行なうと、チャプターサムネイルは変更されます。また、その一つ前のチャプターのサムネイルがリセットされる場合もあります。

- プレイリストなどによる不連続なチャプター部分は「Video モード再生範囲化」はされません。
- 前後のチャプターを越えてシフトすることはできません。また、チャプター分割されていなくても削除などで不連続になっている場合、それ以上シフトできません。

ステップ1：チャプターを編集する(チャプター編集)（つづき）

タイトルやチャプターのサムネイル位置を変更するには（サムネイル編集）

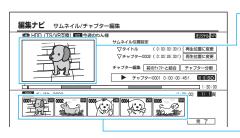
HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW | DVD-R

準備

・ HDD または HD DVD を押して、サムネイルを変更したいパーツ（タイトルやチャプター）が録画されているディスクを選びます。

1 ➡144 ページの編集機能選択の手順1 ～ 2 を行ない、【サムネイル設定】を選び、決定 を押す

「編集ナビ　サムネイル／チャプター編集」画面が表示されます。

2 ▶（5 な JKL）を押す

左上の画面を見ながら、サムネイルにしたい場面をさがします。

スロー◀◀（7 ま PQRS）、スロー▶▶（9 ら WXYZ）、❚❚（2 か ABC）、コマ送り（3 さ DEF）、シフト ＋ « » などの各ボタンが使えます。

●チャプターのサムネイルを選択するには：
方向ボタン（▲／▼）でカーソルをサムネイルの列に移動したあと、方向ボタン（◀／▶）でサムネイルを選びます。

3 タイトルまたはチャプターのサムネイルにしたい場面で、❚❚（2 か ABC）を押す

タイムバー上の▼はサムネイルが設定されている場所を表します。
▼ピンク：タイトルのサムネイルが設定されている場所を表します。
▼グリーン：現在ロケーターがあるチャプターのサムネイルが設定されている位置を表します。

4 【再生位置に変更】にカーソルを置き、決定 を押す

押した場面が新しいサムネイルとして登録されます。

5 手順2 ～4 をくり返す

6 サムネイルの設定が終わったら、【完了】にカーソルを置き、決定 を押す

設定したサムネイルを保存します。

お知らせ

• 再生中や録画中にサムネイルにしたいシーンを選ぶには、（一時停止状態も含む）、『クイックメニュー』を押し、方向ボタンで【タイトルサムネイル設定】を選んでおきます。(再生中は「チャプターサムネイル設定」も選べます。) サムネイルにしたいシーンで『決定』を押すと、サムネイルが変更されています。

ステップ2：必要な場面を集める(プレイリスト作成)

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW(VRモード) | DVD-R(VRモード)

オリジナルのタイトル（チャプター）を使って、プレイリストを作成してみましょう！

プレイリストを作成したら､以下のことに注意してください。
- 作成したプレイリストは見るナビ画面などで最後に表示されます。
- オリジナルのタイトルやチャプターを削除すると､関連するプレイリストも同時に削除されます｡反対にプレイリストのタイトルやチャプターを削除しても､元となるオリジナルのタイトルやチャプターは削除されません。
- プレイリストを作る前に､パーツの録画方式を確認しましょう｡録画モードによっては行なえる機能と行なえない機能があります｡(➡146ページ｢HDDやDVDディスクなどによってできる編集の違い｣をご覧ください)

必要な場面を集めてプレイリストを作る

準備

- HDD または HD DVD を押して、プレイリスト編集の材料となるパーツ（タイトルやチャプター）があるディスクを選びます。

1 ➡144ページの編集機能選択の手順1～2を行ない､【プレイリスト編集】を選び､決定を押す

｢編集ナビ プレイリスト編集｣の画面が表示されます。

2 必要なパーツ(タイトルやチャプター)を選び､決定を押す

- フォルダ内のタイトル（またはチャプター）もパーツに選ぶことができます。
- ▶(5) を押すと、パーツの内容を確認できます。

選択したパーツの合計容量が確認できます。（100%で片面DVDディスク1枚分：容量は目安です）。

3 パーツを入れる場所を選び､決定を押す

- 選んだパーツがカーソルのあった場所にはいります。
- パーツを選択すると、元のパーツに⬇がつきます。

4 操作手順2～3をくり返す

- TS録画されたタイトル（TS）とそれ以外のタイトル（VR）を同じプレイリストとして、混在させることはできません。

5 必要なパーツを並べ終わったら､【完了】を選び決定を押す

を押しても保存します。

保存が終わると、｢編集ナビ トップ｣画面になります。
最初に選んだパーツがフォルダ内にある場合は、プレイリストはそのフォルダ内に保存されます。

新しくプレイリストを作るときは、｢編集ナビ プレイリスト編集｣画面でクイックメニューを押して、【新規プレイリスト作成】を選び、決定を押します。

ダビングをすると、プレイリスト（仮のタイトル）を本タイトルにできます。選択し決定を押すと、｢編集ナビ ダビング｣画面が表示されます。（➡158ページ）

片面DVDディスクに収まるプレイリストを作る目安を活用！

片面DVDディスク1枚に収まるプレイリストを作成したい場合、左下の容量バーが100%より小さくなるように作成します。

- 結合したパーツが不連続の場合、再生中にパーツ境界で一時静止状態になる場合があります（たとえば奇数番号のチャプターを結合したプレイリストなど）。
- プレイリスト編集をして作成したタイトルを再生すると、パーツ境界で編集時の位置とずれることがあります。
- 編集しているタイトル（プレイリスト）自身、およびそれに含まれるチャプター（プレイリスト）は、パーツとして追加することはできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトル、またはチャプターをプレイリストに登録することはできません。
- 録画中または予約録画開始前20秒以内のタイトルは画面に｢録画中…｣の文字が表示され、編集対象として選ぶことはできません。

ステップ2：必要な場面を集める（プレイリスト作成）（つづき）

プレイリスト編集画面で使える便利な機能

を押す
画面上の部分と、選択したパーツ部分は ◎ で移動できます。

●こんなときに使うと便利です

●選択したパーツ（タイトルやチャプター）を取り消したい！

「選択キャンセル」

パーツの選択を取り消すことができます。

1 選択を取り消したいパーツを選んだあと、クイックメニュー を押す

【選択キャンセル】を選び、決定 を押す

選んだパーツが取り消されます。

●選択したパーツ（タイトルやチャプター）の情報を確認したい！

「タイトル情報」

1 情報を確認したいタイトルやチャプターを選んだあと、クイックメニュー を押す

【タイトル情報】を選び、決定 を押す

選んだパーツの情報が表示されます。

●プレイリストの内容を確認したい！

「プレイリストのつなぎ目確認」

作成しようとしているプレイリストの全パーツのプレビューをします。（タイトルにチャプターがある場合は、チャプターの先頭と最後も再生します。）

●作ったプレイリストに名前をつけたい！

「タイトル名変更」

プレイリストには、最初に選択したパーツ（タイトル）の名前がつきます。

1 選んだパーツ(画面下側)のどれかにカーソルを置き、クイックメニュー を押す

【タイトル名変更】を選び、決定 を押す

文字入力画面が表示されます。

2 ➡33ページの要領で、タイトル名を入力する

●新たにプレイリストを作りたい！

「新規プレイリスト作成」

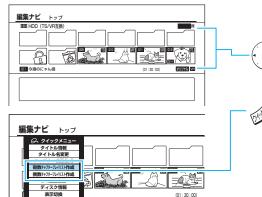
作成中のプレイリストがあるときは保存されます。そのあと、新たにプレイリストを作成できます。

- 「見るナビ タイトル一覧」画面で、名前をつけるタイトル(プレイリスト)を選び、『クイックメニュー』から【タイトル名変更】を選んでも、タイトル名をつけることができます。

選択したタイトルの奇数または偶数番号のチャプターでプレイリストを自動的に作る（奇数／偶数チャプタープレイリスト作成）

この機能は、選択したタイトルに必要なチャプターと不要なチャプターが交互にくり返し並んでいるときに使うと便利です。

例）本編のチャプターとCMのチャプターが交互に並んでいるときに、本編が奇数ならば【奇数チャプタープレイリスト作成】を選ぶと、本編だけのプレイリストが作成されます。

1 編集ナビ を押す

2 奇数、または偶数番号のチャプターでプレイリストを作りたいタイトル(チャプター)を選ぶ

3 クイックメニュー を押し、【奇数チャプタープレイリスト作成】または【偶数チャプタープレイリスト作成】を選び、決定 を押す

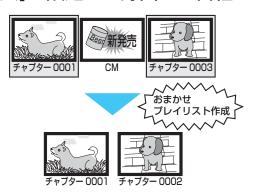
奇数または偶数番号のチャプターだけで構成されたプレイリストが作成されます。

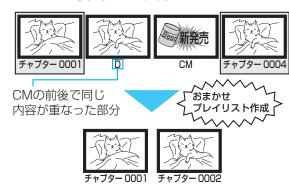
お知らせ

- 本編自動チャプター分割を「入」で録画したバラエティー番組は、重複部分を検出した場合、本編だけを集められない場合があります。

簡単に本編だけのプレイリストを作る（おまかせプレイリスト作成）

本編以外の部分（CM や、CM の前と後でくり返している内容の部分）を除いたプレイリストを作成することができます。
「おまかせプレイリスト作成」は「本編自動チャプター分割」を「入」で予約録画した番組だけにお使いいただけます。

例 1 【本編自動チャプター分割】を【入】に設定して録画した番組

CM を除いたプレイリストができます。
※チャプター分割している位置を変更したいときは、用途に合わせて➡147、または 148 ～ 149 ページをご覧ください。

例 2 ジャンルがバラエティで【本編自動チャプター分割】を【入】に設定して録画した番組

CM（CM）と、同じ内容の前の部分（D）を除いたプレイリストができます。

1 見るナビ を押す

2 プレイリストを作成したいタイトルを選び、クイックメニュー を押す

3 【おまかせプレイリスト作成】を選び、決定 を押す

本編だけのプレイリストが作成されます。

開始時刻が同じ番組を自動的に集めてプレイリストを作る

連続ドラマなどをプレイリストとしてまとめたいときに便利です。

1 見るナビ を押す

2 プレイリストにしたい番組タイトル（オリジナル）を選び、クイックメニュー を押す

3 【編集機能】を選び、決定 を押し、以下の二つから選んで 決定 を押す

「同一月金予約プレイリスト化」：
月曜から金曜までの平日の同時刻、同じチャンネルで録画した番組を集めてプレイリストにします。

「同一毎週予約プレイリスト化」：
同じ曜日の同時刻、同じチャンネルで録画した番組を集めてプレイリストにします。

- 同一の番組の予約録画であっても、録画日時を異なる日時に変更したタイトルは、同一予約の番組としてプレイリスト化できなくなります。逆に、チャンネルと開始時刻と曜日が一致するように変更したタイトルは、同一予約の番組としてプレイリスト化ができるようになります。
- 【同一月金予約プレイリスト化】の場合、月から金までそろっていなくても、チャンネルと開始時刻が一致する土日以外の番組をプレイリスト化することができます。
- 同一のフォルダ内の該当タイトル、またはルート上の該当タイトルを対象に作成します。フォルダ内とルート上など、異なった場所にある該当タイトル同士のプレイリスト化はできません。

その他の編集機能

HDD | HD-R | DVD-RAM | DVD-RW（VRモード） | DVD-R（VRモード）

編集ナビ機能にはチャプター編集やプレイリスト作成以外にも、便利な編集機能があります。

オリジナルのメニュー背景で DVD ディスク作成が楽しくなる
【メニュー背景登録】

2 つのタイトルを一つのタイトルにしたいとき
【タイトル結合】

見終わった番組をまとめて削除したいとき
【一括削除】

・上記の機能を行なう前にパーツの録画方式を確認しましょう。録画モードによっては行なえる機能と行なえない機能があります。（➡ 146 ページ「HDD や DVD ディスクなどによってできる編集の違い」をご覧ください）

二つのオリジナルタイトルをつなげて 1 つにする（タイトル結合）

二つのオリジナルタイトルを一つにまとめるときに使います。
後ろのタイトルが削除されて、前のタイトルの末尾につながります。
注意！
・デジタル放送を「TS」で録画したタイトルは、同様に「TS」で録画したタイトルとだけ結合ができます。

タイトル結合の使いかたは…
・ドラマやアニメのシリーズものを 1 タイトルにする
　➞ 連続して見ることができます。また、一つにすることで管理がしやすくなります。
・好きなアイドルやアーティストが登場しているシーンを一つにする。
　➞ あなただけのオリジナルビデオクリップ集が作れます。

準備

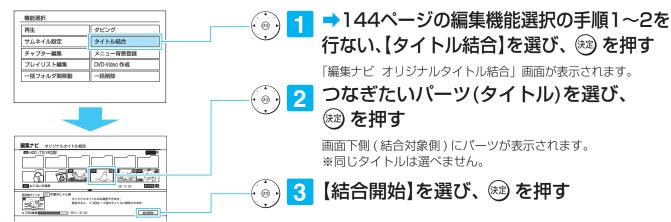
・ HDD または HD DVD を押して、結合して 1 つにしたいタイトルがあるディスクを選んでおきます。

1 **➡144ページの編集機能選択の手順1～2を行ない、【タイトル結合】を選び、決定 を押す**

「編集ナビ　オリジナルタイトル結合」画面が表示されます。

2 **つなぎたいパーツ（タイトル）を選び、決定 を押す**

画面下側（結合対象側）にパーツが表示されます。
※同じタイトルは選べません。

3 **【結合開始】を選び、決定 を押す**

2 で使うと便利な機能

●登録したパーツの情報を確認したい！
「選択済み全パーツの前後 3 秒プレビュー」
1）クイックメニュー を押す
2）【選択済み全パーツの前後 3 秒プレビュー】を選び、決定 を押す

●選択したパーツの情報を確認したい！
「タイトル情報」
1）確認するパーツを選んだ状態で、 を押す
2）【タイトル情報】を選び、決定 を押す

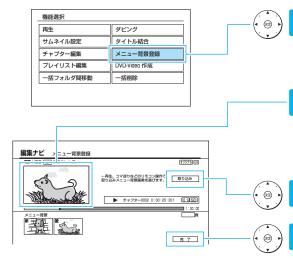
●選択したパーツを取り消したい！
「選択キャンセル」
1）取り消すパーツを選んだ状態で、クイックメニュー を押す
2）【選択キャンセル】（すべて取り消したいときは【全選択キャンセル】）を選び、決定 を押す

- オリジナルタイトルの結合の処理は、途中で中止できません。
- VR モードで録画されたタイトルで、二つのタイトルの合計の長さが 9 時間を超える場合は結合できません。また、デジタル放送で TS 録画したタイトル同士は、タイトルによっては約 25 ～ 27 時間を超える場合は結合できません。
- 保護設定されたタイトルや静止画を含むタイトルは、結合できません。
- 結合したタイトルには一つ目のタイトル情報や番組説明が引き継がれます。
- 後ろのタイトルは、チャプター境界の位置やチャプター名を保持したまま前のタイトルと結合されます。
- フォルダ内にはいっているタイトル同士を結合した場合、一つ目に選択したタイトルがあるフォルダに作成されます。
- デジタル放送を「VR」側で録画したタイトルは、他のアナログ放送などのタイトルと結合することができますが、コピーワンス情報などを含むため、あとで VR モードの DVD ディスクへダビングなどをするときに失敗することがあります。

DVD-Video 作成で使うメニュー背景を取り込む（メニュー背景登録）

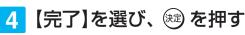
録画したタイトルの画像をメニュー背景として取り込み、DVD-Video 作成 (➡ 165 ページ) のメニューテーマの素材にすることができます。

準備

- HDD または HD DVD を押して、作成する DVD-Video のメニュー背景に使いたいパーツ (タイトルやチャプター) があるディスクを選んでおきます。

1 ➡144ページの編集機能選択の手順1～2を行ない、【メニュー背景登録】を選び、決定 を押す

2 メニュー背景として取り込みたい画像を選ぶ

再生、コマ送りなどをして、取り込みたい場面で を押します。

3 【取り込み】を選び、決定 を押す

4 【完了】を選び、決定 を押す

取り込んだ背景が本機に登録されます。

- コピーワンス映像(コピー禁止など)やTS録画したタイトル、または画像によってはメニュー背景に登録できないことがあります。

「メニュー背景登録」で使うと便利な機能

●メニュー背景に名前をつけたい！
「メニュー背景名登録」

1) 名前をつけたい画像を選んだ状態で、 を押す

2)【メニュー背景名登録】を選び、決定 を押す

文字入力画面が表示されます。
メニュー背景名を入力します。

●登録したメニュー背景を削除したい！
「メニュー背景削除」

1) 取り消すパーツを選んだ状態で、 を押す

2)【メニュー背景削除】（すべて取り消したいときは【全メニュー背景削除】）を選び、決定 を押す

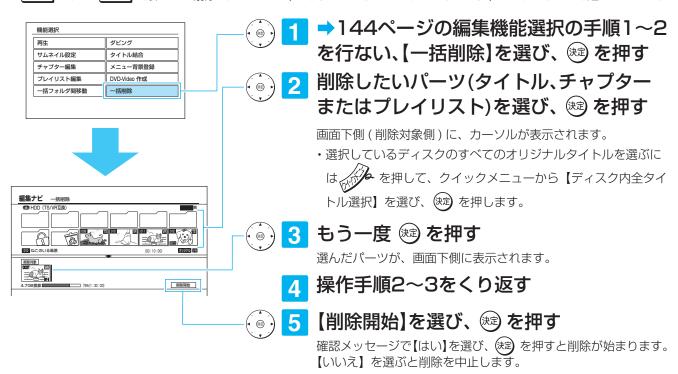
その他の編集機能(つづき)

タイトルやチャプターをまとめて削除する（一括削除）

HDD　HD-R　DVD-RAM　DVD-RW　DVD-R

※ファイナライズ処理をした HD-R、DVD-R/RW の内容は、一括削除はできません。

準備

・ HDD または HD DVD を押して、削除したいパーツ (タイトル、チャプターやプレイリスト) があるディスクを選んでおきます。

1 ➡144ページの編集機能選択の手順1～2を行ない､【一括削除】を選び、決定 を押す

2 削除したいパーツ(タイトル､チャプターまたはプレイリスト)を選び、決定 を押す

画面下側 (削除対象側) に、カーソルが表示されます。

・選択しているディスクのすべてのオリジナルタイトルを選ぶには クイックメニュー を押して、クイックメニューから【ディスク内全タイトル選択】を選び、決定 を押します。

3 もう一度 決定 を押す

選んだパーツが、画面下側に表示されます。

4 操作手順2～3をくり返す

5 【削除開始】を選び、決定 を押す

確認メッセージで【はい】を選び、決定 を押すと削除が始まります。
【いいえ】を選ぶと削除を中止します。

3 4 で使うと便利な機能

●選択したパーツの情報を確認したい！

「タイトル情報」

1) 確認するパーツを選んだ状態で、クイックメニュー を押す

2)【タイトル情報】を選び、決定 を押す

●登録したパーツの内容を確認したい！

「選択済み全パーツの前後 3 秒プレビュー」

1) クイックメニュー を押す

2)【選択済み全パーツの前後 3 秒プレビュー】を選び、決定 を押す

●選択したパーツを取り消したい！

「選択キャンセル」

1) 取り消すパーツを選んだ状態で、 を押す

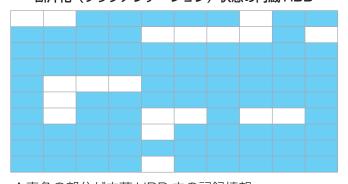
2)【選択キャンセル】（すべて取り消したいときは【全選択キャンセル】）を選び、決定 を押す

• 一括削除は実行すると取消しできません。実行する前に十分確認をしてください。
• HD-R や DVD-R の内容を削除しても、削除した分がディスクの空き容量としてふえることはありません。（➡ 157 ページ）
• DVD-RW（Video モード）では、最後に記録したタイトルを削除した場合だけ、空き容量が増えます。

編集に関してのお知らせ

ハードディスク（内蔵 HDD）の使いかたについて

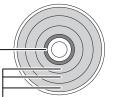
HDD に録画したタイトルから不要な部分を抜くためには、必要な部分のプレイリストを作成し、HD-R や DVD ディスクに保存するやりかたをお勧めします。
プレイリストにせずに、不要なチャプターを削除するやりかたの場合、内蔵 HDD 内の不連続領域をふやすことになり、空いた隙間に次の録画が不連続に記録されていくため、内蔵 HDD 内の記録場所が細かく複雑になり（このような状態を断片化（フラグメンテーション）と呼びます）、通常の動作が遅くなったり、場合によっては削除をしても空き領域が確保できない状態になったり、ディスクに保護がかかって録画や再生ができなくなることも考えられるためです。

断片化（フラグメンテーション）状態の内蔵 HDD

↑青色の部分が内蔵 HDD 内の記録情報。
白く抜けているところが断片化（フラグメンテーション）の箇所。

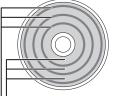
内蔵 HDD は【HDD 初期化（番組表 / ライブラリ保持）】や【HDD 初期化（全削除）】を実行することで、フラグメンテーションがおきにくくなりますが、すべてのデータが消去されますので、たいせつな録画番組はDVDディスクなどにダビングして残してから行なってください。

HD-R と DVD-R（VR モード）の「編集」について

HD-RとDVD-R（VRモード）でフォーマットしたディスクは、DVD-RAMやDVD-RW（VRモード）同様、編集機能を使って記録した内容の「チャプター分割」や「プレイリスト編集」を行なうことができます。ただし、DVD-RAMやDVD-RW（VRモード）と異なり、ディスクの空き容量やローディング回数によって編集可能回数に制限があります。
またHD-RとDVD-Rは、DVD-RAMやDVD-RWと異なり、一度書き込まれた内容を削除しても、削除した分が空き容量としてふえることはありません。

DVD-RAMとDVD-RWの場合

ディスクに記録されたタイトルの領域

タイトル編集情報の領域
（チャプター編集、プレイリスト編集や削除など）
情報が更新されるたびに、この領域に最新情報として上書きされます。

HD-RとDVD-Rの場合

ディスクに記録されたタイトルの領域

タイトル編集情報の領域
（チャプター編集、プレイリスト編集や削除など）
タイトルを編集すると領域が常に追記され、情報が更新されます。

■ HD-R と DVD-R（VR モード）の編集可能回数

HD-RとDVD-R（VRモード）の空き容量によって編集回数が制限されます。空き容量の残りが少なくなると、ディスクを入れたときに、編集できる回数が少なくなったことをお知らせするメッセージが表示されます。
編集作業でチャプターを作成した場合や「読込み中」アイコンが画面に現れるごとに情報が追記され、ディスクの空き容量が減少するのでご注意ください。
編集回数が上限に達した場合でも、ディスクはファイナライズ処理することができます。
空き容量が残っている状態でファイナライズ処理をすることも可能ですが、一度ファイナライズ処理をすると、DVD-RWと異なり、ファイナライズを解除することができませんのでご注意ください。

画面比が 4:3 と 16:9 の混在するタイトルを DVD-R/RW(Video モード) 用の素材にするには

BS デジタル放送などの番組を録画した場合、放送内容に応じて画面比が 4:3 の部分と 16:9 の部分が混在する場合があります。
DVD-R/RW（Video モード）作成時には、DVD-Video 規格の制限によって、これらの混在が許されていません。
DVD-R/RW（Video モード）作成の素材となるチャプターを作成するには、［4:3］と［16:9］の表示が切り換わる部分でチャプター分割し、同一チャプター内が 4:3 または 16:9 のどちらか一方に統一されるようにしてください。
なお、録画された映像は、GOP と呼ばれる 15 フレーム（0.5 秒）の圧縮の単位ごとに 4:3 か 16:9 かの属性が記録されますが、一つの GOP の中で画面比が 4：3 から 16：9 に変わった場合、その GOP の属性は 4：3 となります。このため、チャプター分割しようとしているフレームが映画などの 16:9 の本編であっても、4:3 と表示される区間があることになりますが、これは異常ではありません。

ステップ1：ダビングの準備と操作について

ここでは本機のダビングの操作方法と種類について紹介しています。

ダビングの手順

準備

・ HDD または HD DVD を押して、ダビングしたいタイトルが録画されているディスクを選んでおきます。

1 編集ナビ を押す

2 ダビングしたいパーツ（タイトル、チャプターまたはプレイリスト）を選び、決定 を押す

- « / »：前後のページに移動します。
- トップメニュー/モード：選んでいるパーツのタイトル表示とチャプター表示を切り換えます。

3 【ダビング】を選び、決定 を押す

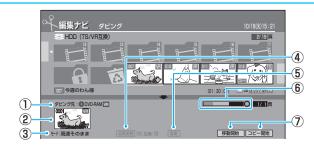
4 ダビング先を選ぶ

ダビング先を選び、決定 を押します。

ダビング先は、選択後も変更することができます。「ダビング先を変更するには」（➡163ページ）をご覧ください。

【LAN】を選んだときは、「ネットdeダビング機器を選択するには」（➡162ページ）をご覧ください。
【D-VHS】を選んだときは、「本機からD-VHSへダビング（移動）するには」（➡163ページ）をご覧ください。

※TS画質のパーツを画質を落とさずにダビング（移動）するにはダビング先は【DVD】か【D-VHS】を選びます。【DVD】を選んだときは、HD-Rディスクを初めに本機にセットしておいてください。D-VHSへはパーツは一度に複数ダビングすることはできません。
- 選択したパーツによってはダビングモードやダビング先が限定されます。
- ダビング先は【移動開始】または【コピー開始】を押す前に変更してください。

■「編集ナビ ダビング」画面について

「上段の画面部分」と「選択したパーツ一覧」はリモコンの で移動できます。

①ダビング先
ダビング先には「HDD」、「DVD」、「D-VHS」、「LAN」があります。
ダビング先が「DVD」のときは、HD-R または DVD ディスクの種類と記録方式（HD DVD は HDVR モード、DVD は VR モードか Video モード）が表示され、「LAN」のときは選択した機種の名前が表示されます。

②選択パーツ
上段の画面一覧から選択したパーツを表示します。

③モード
ダビングモードが何に設定されているか表します。

「高速そのまま」ダビング	選択したパーツをそのままダビングします。
「ぴったり」ダビング※	その時点で選択しているパーツを、ダビング先の空き容量（DVD ディスク片面 1 枚の範囲内）に合わせて、画質を自動的に調整してダビングします。
「画質指定」ダビング※	選択したパーツの画質や音質を指定してダビングします。ダビングしたいパーツが高レートで録画したため、DVD ディスク 1 枚にはいりきらないときなどに画質を指定してダビングします。また、デジタル放送を録画したときに、W録（エンコーダー）を「TS」で録画したパーツを、DVD ディスクなどにダビングしたいときにも選びます。

※ HD-R や DVD-R/RW（Video モード）のディスクにダビングするときは、「ぴったり」と「画質指定」ダビングはできません。

④品質変更
「画質指定」ダビングでダビングする画質を設定するときに選びます。

⑤ DVD 互換
DVD 互換を「切」で録画した音声多重放送（二カ国語など）や、Video モードで記録できない解像度などのパーツを DVD-R/RW（Video モード）にダビングできるパーツに作成しなおすときなどに設定します。ダビングモードで「高速そのまま」を選んだときは設定できません。

⑥ダビング先の空き容量表示
ダビング先の空き容量を表します。容量の表示は目安です。

例）

① **濃い青**：ダビング先のすでに使われている容量を表します。
② **薄い青**：選択したパーツの容量を表します。パーツを追加するたびに、増加します。
③ **黒**：空き容量を表します。
④ ○：「高速そのまま」ダビングと「画質指定」ダビングで、ダビングが可能であることを表します。
△：「ぴったり」ダビングでダビングが可能であることを表します。
×：ダビング先の空き容量を超えてパーツを選択しているなど、ダビングができないことを表します。

⑦移動開始／コピー開始
移動開始：選択パーツが移動元のドライブからダビング先に移動します。おもに TS 録画をしたタイトルや、1 回だけ録画が可能なタイトルのダビングで選択します。
コピー開始：選択したパーツがダビング先にコピーされます。

ダビングの目的	おすすめのダビングモード
●タイトルやチャプターをダビングしたい！ プレイリストをオリジナルタイトルにしたい！	①「高速そのまま」タビング（➡160、164ページ）
●最適なレートに変換してダビングしたい！ DVD互換を「切」で録画した音声多重放送（二カ国語放送など）のタイトルを、記録する音声を決めてダビングしたい！	②「画質指定」ダビング（➡160、164ページ）
●DVDディスク片面1枚分にぴったりはいるようにダビングしたい！	③「ぴったり」ダビング（➡160、164ページ）
●個人の映像集などの、DVD-R/RW（他社機などで作成したファイナライズ処理されたもの）のタイトルなどをHDDにダビングしたい！	④ラインUダビング（➡169ページ）
●HDDに録画してある、個人の映像集などをDVD-R/RWにダビングして作品として配付したい！	⑤DVD-Video作成（➡165ページ）

■ DVD-Video 作成について

DVD-Video 作成とは、内蔵 HDD から DVD-R/RW へ Video モードでダビングして、ファイナライズ済みのディスクを作ることです。本機では、以下の二つの方法があります。

DVD-Video 作成

- DVD-R DL（2層）にもダビングできます。
- ダビングからファイナライズまでを行なうので、知人にディスクを配付したいときに便利です。
- ファイナライズ済みのディスクになるので、追記ができなくなります。（DVD-RWはファイナライズを解除すると追記できます。）
- DVD-Rは新しいディスク以外は使用できません。また、DVD-RWは内容が書き込まれていても、上書きしてしまうので、注意してください。

HDD から DVD-R/RW（Video モード）にダビングする

- 「高速そのまま」ダビングでダビングできます。他社のプレーヤーなどで再生したいときは、ファイナライズが必要です。
- 容量が残っている場合には、追記ができます。
- DVD-R/RW（Videoモード）は規格上、音声を複数記録する事ができません。DVD互換【切】で録画したタイトル（二カ国語放送などの音声多重放送や、Videoモードでは記録できない解像度のもの）をDVD-R/RW（Videoモード）にダビングするときは、最初にダビングモードを「ぴったり」または「画質指定」に変更したあと、「DVD互換」の設定を【入(主)】または【入(副)】のどちらかに指定して、HDD内にダビング(コピー)して、ダビング可能なパーツを作成します。

ステップ2：ダビングをする

ダビング先別の「できること」一覧表

ディスクの種類や記録フォーマットの違いによって、以下のような差があります。
内蔵 HDD から各ディスクへのダビングのときに、ご参考ください。
※内蔵 HDD からダビング（移動またはコピー）ができる HD-R や DVD-R/RW は、全てファイナライズ処理をしてないものに限ります。

	ダビング元・内蔵 HDD の「TS 録画」タイトル						
ダビング先別「できること」	内蔵 HDD	HD-R（HDVR モード）	DVD-RAM	DVD-R/RW（VR モード）	DVD-R/RW（Video モード）	ネットdeダビング対応機器	iLINK 機器にダビング（D-VHS）
「高速そのまま」ダビング	×	○	×	×	×	×	○
「ぴったり」ダビング	○	×	○	○	×	×	×
「画質指定」ダビング	○	×	○	○	×	×	×
ライン U ダビング	×	×	×	×	×	×	×

「コピー」と「移動」の違いについては➡ 171 ページをご覧ください。　○＝ダビング（移動）可能　×＝ダビング不可

- 1 回だけ録画可能な番組を録画したタイトル（以下、コピーワンスタイトル）は、内蔵 HDD 上のオリジナルから高速そのままダビング（移動）が 1 回だけできます。HD-R や DVD ディスク（VR モード）にコピーワンス番組を録画やダビング（移動）するときは、HD-R は AACS、DVD ディスクは CPRM に対応したものに限ります。
- デジタル放送を TS 録画したタイトル（チャプター含む）は HD-R にはそのままダビング（移動）できますが、DVD ディスクには、そのままダビング（移動）することはできません。
- コピーワンスタイトルや、TS 録画したタイトルを「ぴったり」または「画質指定」ダビング（移動）をすると、移動先でコピー禁止（コピーと移動も禁止）となります。
- ダビング元の TS 録画したタイトルの内容や情報によっては、HD-R や DVD ディスクなどへダビング（移動）できないことがあります。

	ダビング元・内蔵 HDD の「VR 録画」タイトル						
ダビング先別「できること」	内蔵 HDD	HD-R（HDVR モード）	DVD-RAM	DVD-R/RW（VR モード）	DVD-R/RW（Video モード）	ネットdeダビング対応機器	iLINK 機器にダビング（D-VHS）
「高速そのまま」ダビング	○	○	○	○	○※	○	×
「ぴったり」ダビング	○	×	○	○	×	×	×
「画質指定」ダビング	○	×	○	○	×	×	×
ライン U ダビング	○	×	○	○	×	×	×

※アナログ放送を DVD 互換「入」で録画した VR タイトルに限ります。　○＝ダビング（移動またはコピー）可能　×＝ダビング不可

- HDVR モード、VR モードや Video モードに関して詳しくは➡ 54 ページをご覧ください。
- HD-R の片面 2 層（30GB）に対応しています。また、DVD-R の片面 2 層（8.5GB）は、VR ／ Video モードのどちらにも対応しています。
- DVD-R/RW（Video モード）へダビングするときのダビングモードは、「高速そのまま」だけです。

注意！
録画した番組の放送内容に応じて画面比が 4：3 の部分と 16：9 の部分が混在する場合があります。DVD-Video 規格の制限によって、これらの混在が許されていません。このようなタイトルはダビングする前に【設定メニュー】の【録画機能設定】-【Video モード記録時設定】-【画面比】で【4：3 固定】または【16：9 固定】でアスペクト比を固定します。（➡応用編 64 ページ）

ネット de ダビング対応の機器にダビングするとき

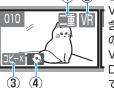
①本機と対応機器を接続する
接続に関して詳しくは➡応用編12ページの「LAN端子でネットワークに接続する」をご参照ください。
②「ネット de ダビング」の設定と、本機と対応機の「アドレス／プロキシ」、「アドレス／プロキシ（HD DVD）」の設定が必要です。
設定に関して詳しくは➡応用編14ページ～「イーサネットを設定する」の項目をご参照ください。

※HD-Rに直接ネットでダビングを使ってダビングすることはできません。

TS録画のタイトルを i.LINK機器（D-VHS）にダビング（移動）するとき

①本機と対応機器を接続する
接続に関して詳しくは➡接続・設定編27ページをご参照ください。
②対応機器にD-VHSテープを入れる

■「編集ナビ」サムネイルのアイコンについて

サムネイル上に表示されるアイコンで、ダビング先に移動やコピーができるかの目安になります。

① 二重：VR で録画したタイトルで、音多（主＋副）が含まれるタイトルであることを表します。（このアイコンが表示されるタイトルは、DVD-Video 作成のパーツに登録できないことや、DVD-R/RW（Video モード）へのダビングができないなどの制約があることを表します。）
② TS：TS 録画されたタイトルであることを表します。
VR：VR 録画されたタイトルであることを表します。
V：本機で作成した編集ナビ対応の DVD-R/RW（Video モード）ディスクをいれたときに表示されます。
③ コピー×：コピー禁止タイトルを表します。（内蔵 HDD の場合は、対応ディスクに 1 回だけ移動が可能です。）
④：HD-R にコピーや移動ができないタイトルを表します。（地上アナログ放送や外部チューナーなどで、録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術（AACS）の規定により、HD DVD には移動できません。）

ダビング先とタイトルごとの「移動」と「コピー」

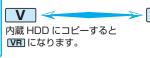
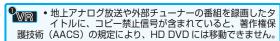
TS ：TS 録画タイトル（コピーフリー）
VR ：VR 録画タイトル（コピーフリー）
VR ：VR 録画（DVD 互換モード「入」）タイトル（コピーフリー）
V ：DVD-R/RW（Video モード内タイトル）

❶TS ：TS 録画タイトル（コピーワンス）
❶VR ：VR 録画タイトル（コピーワンス）
❶VR ：VR 録画タイトル（外部チューナーなどで録画したコピーワンス）
→：ダビング（コピー） ➡：ダビング（移動）

- HD-R、DVD-R/RW ディスクは、未ファイナライズのものに限ります。
- 移動：ダビング元からダビング先へタイトルが移動します。移動元のタイトルは残りません。
- コピー：ダビング元からダビング先へタイトルがコピーされます。移動元のタイトルはそのまま残ります。

（「TS」は画質指定・ぴったりで「移動」（フリーはコピー可）できます。移動先で「VR」になります。）

内蔵 HDD にコピーすると VR になります。

DVD-R/RW（Video モード）にコピーすると、V になります。

❶VR • 地上アナログ放送や外部チューナーの番組を録画したタイトルに、コピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術（AACS）の規定により、HD DVD には移動できません。
• 市販の HD DVD、DVD ビデオディスクや音楽 CD などのタイトルはダビングできません。

コピー

1 つのタイトル、またはいくつかのタイトルをダビングする

準備

• HDD または HD DVD を押して、ダビングしたいタイトルが録画されているディスクを選んでおきます。

1 ➡158ページのダビングの手順1～4を行なう

最初に選択したパーツだけをそのままダビングするときは、手順5に進みます。

2 ダビングしたいパーツを選び、決定 を押す

・ アイコンが表示されているタイトルは、HD-Rへのダビング（移動）はできません。

容量の表示は目安です

3 パーツを入れる場所を選び、決定 を押す

画面下側（ダビング対象側）に、カーソルが表示されます。
選んだパーツが、カーソルのあった場所にはいります。

4 操作手順2～3をくり返す

ダビング先の空き容量は、画面下部のバーで確認できます。
並んだパーツはそれぞれ一つのタイトルとしてダビング先に記録されます。

VR モードで初期化した片面 2 層（8.5GB）DVD-R ディスクと、片面 2 層（30GB）の HD-R ディスクは、1 層目と 2 層目を合わせた空き容量の表示になります。

カーソル

ステップ2：ダビングをする(つづき)

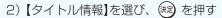
●ダビングできるか確認するには…
画面下側にダビングの種類と状態が表示されます。
○：ダビングできます。
△：「ぴったり」ダビングが可能です。
×：ダビングできません。

「×」が表示されたときは、パーツの選択を取り消すなどしてください。
「画質指定」では「×」が表示されても、設定している画質よりも低いレートに設定を変更するとダビングできる場合があります。

5 【コピー開始】を選び、決定 を押す

選択したパーツ(コピーが禁止された(コピーワンス)パーツやTS録画したパーツをダビングするときなど)によっては【移動開始】しか選べません。
確認メッセージで【はい】を選び、『決定』を押すと、ダビングが始まります。
進行状況がタイトル単位で画面※と本体表示窓に表示されます。
(※「高速そのまま」ダビングのときのみ)

※ DVD-R/RW（Videoモード)を他のプレーヤーなどで再生したいときはファイナライズ処理をします(➡168ページ)
HD-RやDVD-R/RW（VRモード)も、HDVRモードやVRモード対応の他のプレーヤーなどで再生したいときはファイナライズ処理をします(➡169ページ)

コピーと移動のちがいについては ➡171 ページをご覧ください。

3 4 で使うと便利な機能

●**選択したパーツの情報を確認したい!**
「タイトル情報」

1）確認するパーツを選んだ状態で、クイックメニュー を押す

2)【タイトル情報】を選び、決定 を押す

●**登録したパーツの内容を確認したい!**
「選択済み全パーツの前後3秒プレビュー」

1）クイックメニュー を押す

2)【選択済み全パーツの前後3秒プレビュー】を選び、決定 を押す

●**選択したパーツを取り消したい!**
「選択キャンセル」

1）取り消すパーツを選んだ状態で、クイックメニュー を押す

2)【選択キャンセル】(すべて取り消したいときは【全選択キャンセル】)を選び、決定 を押す

5 で決定のあとに使うと便利な機能

●**ダビングが終了したら自動的に本体の電源を「切」にしたい！**
「終了後電源切る」

1）ダビング中に、クイックメニュー を押す

2)【終了後電源切る】を選び、決定 を押す

※【終了後電源切る】を選択していても、予約録画が開始するなどの理由で電源が切れないことがあります。

●**開始したダビングを中止したい!**
「ダビング中止」

1）ダビング中に、クイックメニュー を押す

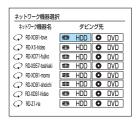
2)【ダビング中止】を選び、決定 を押したあと、メッセージに従って【はい】を選び、決定 を押す

ネット de ダビング機器を選択するには

ダビング先を【LAN】にしたとき、同一ネットワーク上の機器(当社製HDD&HD DVDおよびHDD&DVDレコーダー)にダビングすることができます。

この機能を使うには以下の条件が必要です。
・ネットdeダビング対応機種であること。
・本機と同一サブネット接続されていること。
(同一のルータに接続されている、またはクロスケーブルで直結している、など。)
・イーサネット設定の「ネットdeダビング」設定をする(➡応用編14ページ)
- 【ダビング要求】を【受け付ける】にする
- 【グループ名】をつける(ダビングしたい機器のグループ名はすべて同じ名前を設定します。)
- 【グループパスワード】を設定する。(ダビングしたい機器のグループパスワードはすべて同一のものに設定します。)
・本機と対応機器の「アドレス/プロキシ」と、「アドレス/プロキシ(HD DVD)」の設定をする(➡応用編15～16ページ)

これらの機器を、以下の状態にしてください。
①電源を入れる。(必要に応じてディスクを入れる。)
②停止状態にする。

1 ➡ 158 ページの手順４の【ダビング先切換】で【LAN】を選び、決定 を押す

ネットワーク内でダビング先に指定できる機器名が表示されます。(8台まで)

2 ダビングをしたいネットワーク機器名のダビング先を選び、(決定) を押す

ダビング先が設定されます。

●ダビング終了後に自動的に本機とダビング先の機器の電源が切れるようにするには

(ダビング先の機器では設定できません。)

1) ダビング中に、『クイックメニュー』を押す

2)【終了後電源切る(両方)】を選ぶ

3)『決定』を押す

【終了後電源切る(両方)】を選択していても、予約録画が開始するなどの理由で電源が切れないことがあります。

お知らせ

- TS録画したタイトルはダビング先がTS録画対応機でもネットdeダビングはできません。
- ネットdeダビングで直接HD-Rにダビングすることはできません。
- 本機能は、ネットdeダビング対応機種にだけ対応します。将来の機種と接続した際、本機発売時には想定していないドライブが認識された場合、ドライブ欄に#5などの数字が表示される場合がありますが故障ではありません。どのドライブであるかご確認の上、ダビングを実行してください。
  また、将来の機種で、一部のドライブへのダビングに対応できない場合があります。
- ネットdeダビングでは、コピーだけを行ないます。コピーワンスの番組を録画したコピー禁止のパーツは、ダビングできません。
- DVD-R/RW(Videoモード)をダビング先やダビング元にすることはできません。
- ダビング先のディスクがDVD-R(VRモード)のときは、ディスクの状態によってはダビングが途中で中断される場合があります。
- ダビング先が【LAN】のときは、ダビングモードは【高速そのまま】しか選べません。
- ネットdeダビング中に予約録画が開始されると、ネットdeダビングは中断されます。予約録画終了後に、ネットdeダビングをやり直してください。
- ネットdeダビング機能をお使いの場合、ネットワークのデータアクセス量がふえることによって、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズがはいることがあります。ネットdeダビング機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをお勧めします。

本機からD-VHSへダビング(移動)するには

本機をD-VHS(i.LINK機器)と接続してパーツをダビング(移動)することができます。D-VHSとの接続に関しては➡接続・設定編27ページをご覧ください。(i.LINK搭載機種であっても、この機能が働かない場合があります。D-VHSの操作については、D-VHSの取扱説明書をご覧ください。)

1 ➡ 158ページの手順4の【ダビング先切換】で【D-VHS】を選び、(決定) を押す

2 【移動開始】を選び、(決定) を押す

メッセージが表示されます。

メッセージに従って操作してください。【はい】を選んで『決定』を押すと、ダビングが始まります。

お知らせ

- ダビング中に予約録画開始時間になるとダビングを中止します。
- 本機に接続するD-VHSビデオ(i.LINK機器)は1台だけ接続できます。
- D-VHS(i.LINK機器)へダビング(移動)できるタイトルは、TS録画したタイトルだけです。
- ダビングするときは、D-VHS用のテープをお使いください。また、ダビングの前に必ずD-VHSテープの残量を確認してください。
- ダビング中はD-VHS(i.LINK機器)を操作しないでください。ダビング(移動)が失敗することがあります。
- テープに移動したタイトルは、チャプター境界などの不要な映像を再生したり、一部の映像が再生されないことがあります。
- i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。このIEEE1394-1995は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。

接続とD-VHS方式で録画するときの注意については、「D-VHSとの接続(i.LINK)」(➡接続・設定編27ページ)をご覧ください。

ダビング先を変更するには

ダビング先は選択したあとも変更することができます。(例:DVDからHDDにダビング先を切り換える)ただし、選択済みパーツの状態(TS録画タイトルなど)によっては、切り換えたダビング先にダビングできないことがあります。

■ダビング先の変更方法

1 (C 緑) を押す

「ダビング先切換」画面が表示されます。

2 ダビング先を選び、(決定) を押す

ダビング先が切り換わります。

ステップ2：ダビングをする（つづき）

ダビングモードを変更するには

パーツをそのまま高速でダビングする**「高速そのまま」**以外にも、DVDディスクの空き容量にぴったり合わせて自動的に画質レートを変えてダビングする**「ぴったり」**、またお好みの画質・音質に変更してダビングする**「画質指定」**があります。

■ダビングモードの変更方法

1 **B 赤 を押す**

「ダビングモード切換」画面が表示されます。

2 **ダビングモードを選び、決定 を押す**

ダビングモードが切り換わります。

■「画質指定」で録画する「画質」や「音質」を変更するには

画面下の**「品質変更」**を選び、決定 を押して**「録画品質選択」**を表示します。画質と音質を、【個別指定】でお好みの設定値に変えるか、または、あらかじめ設定してある5種類の組合せから選んで変更します。

●設定してある画質・音質に切り換えるには…

1 **【個別指定】または設定1～5のいずれかを選ぶ**

ダビング先によって表示は異なります。時間は目安です。

設定1～5の値を変更するときに選びます。

2 **決定 を押す**

「画質指定」は選択した画質･音質に変更されます。

●画質・音質の組合わせを作るには…

1 **【個別指定】を選ぶ**

2 **項目（【画質モード】、【レート】、【音質】）を選ぶ**

3 **方向ボタン(▲/▼)で設定を変更し、決定 を押す**

お知らせ

- 「SP」「LP」に設定すると「L-PCM」は選べません。
- 音質設定によって、画質設定のレートの上限が異なります。
- 画質のマニュアルレートは、1.0Mbpsから9.2Mbps（L-PCMの場合は8.0Mbps）の間で0.2Mbps刻みで設定できます。（1.0Mbpsから1.4Mbps、1.4Mbpsから2.0Mbpsの間は設定できません。）

DVD互換を「切」で録画したタイトルをDVD-R/RW（Videoモード）にダビングするには

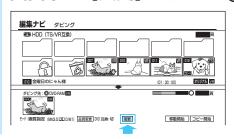
DVD-R/RW（Videoモード）にパーツをダビングするとき、選択したパーツはダビングできないことを示すメッセージが表示されることがあります。

（原因）

- ・TS録画されたデジタル放送タイトル
- ・Videoモードでは記録できない解像度で録画されたタイトル
- ・コピーが禁止されたタイトル
- ・DVD互換を「切」で録画した音声多重放送（二カ国語放送など）のタイトル

DVD互換を「切」で録画した音声多重放送のタイトルや、Videoモードでは記録できない解像度で録画されたタイトルなどは、「入(主)」または「入(副)」に設定したあと、HDD内にダビング(コピー)してDVD-R/RW（Videoモード）にダビングできるパーツを作成します。

■ダビングモードが「ぴったり」か「画質指定」のときに「DVD互換」の設定を変えるには

1 **画面下の【変更】を選び、決定 を押す**

2 **【入(主)】または【入(副)】を選び、決定 を押す**

選択した「DVD互換」が設定されます。

ファイナライズ済みの DVD ビデオディスクを作る（DVD-Video 作成）

内蔵 HDD に録画した内容を編集して、結婚式や旅先の映像集など、作品として配付するのに便利な DVD-R に書き込むことができます。書き込んだ DVD-R は、互換性のある DVD プレーヤーで、DVD ビデオとして再生できます。また、書換え可能な DVD-RW にも内蔵 HDD から書き込むことができます。

ご注意

- 著作権法上、放送番組などを録画して配付することはできません。
- 書込みの前に、内容を十分確認してください。*1
- 直後に録画予約がないことを書込みの前に確認してください。*2
- お使いになる DVD-R/RW を確かめてください。*3
- ディスクの取扱いに注意してください。

*1 DVD-R で DVD-Video 作成機能を利用するときは、新規のディスクでしか書込みができません。書き込んだ後はファイナライズ済みとなるので、内容の追加、削除、修正は一切できません。また、書込みを途中で中止すると、その DVD-R は使用できなくなります。
DVD-RW では、録画された内容があっても上書きしてしまいますのでご注意ください。本機能で書き込んだ内容に追加、削除、修正はできません。空き容量がある場合は、ファイナライズを解除すれば新たに追加することもできます。
録画した番組の放送内容に応じて画面比が 4：3 の部分と 16：9 の部分が混在する場合があります。DVD-Video 規格の制限によって、これらの混在が許されていません。このようなタイトルはダビングする前に「設定メニュー」の「録画機能設定」-「Video モード記録時設定」-「画面比」で「4：3 固定」または「16：9 固定」でアスペクト比を固定します。（➡応用編 64 ページ）

*2 書込みでかかる所要時間はディスクの種類、内容によって異なりますが、最大約 1 時間半かかる場合があります。（「書込み前テスト」の時間は含んでいません。「書込み前テスト」を実施するとさらに多く時間がかかります。「書込み前テスト」にかかる時間は、書き込む内容によっても変わります。）
DVD-Video 作成中に予約録画の開始時刻になると、内蔵 HDD へ録画予定のタイトルだけは録画されます。ただし、メニューテーマ作成中は実行されません。DVD-Video 作成中に予約録画が開始された場合は、続けて 2 枚目以降を作成することはできません。

*3 お使いになるディスクについては、➡ 52 ページをご覧ください。
「ファイナライズ済み」の DVD-RW（Video モード）のディスクも使えますが、初期化されます。

＊本機で作成した DVD-R/RW（Video モード）は DVD-Video 規格に準拠しておりますが、すべてのプレーヤーなど（当社、他社含む）での正常な再生を保証するものではありません。
DVD-R に記録できる容量と DVD-RW に記録できる容量では若干の差があります。DVD-RW に記録できる容量の方が少なくなるため、1 枚目を DVD-R で DVD-Video 作成したあと、2 枚目に DVD-RW で実施すると記録容量によっては DVD-RW には記録できない場合があります。

HDD	DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (Videoモード)	DVD-R DL (Videoモード)

準備

① DVD-R/RW（Video モード）に保存したい内容を、以下の条件で内蔵 HDD に録画しておきます。
- 「DVD 互換モード」（➡ 60 ページ）を必ず「入（主音声）」「入（副音声）」のどちらかに設定する。

②本機に未使用の DVD-R または DVD-RW を入れます。（DVD-R/RW の取扱い方法は、DVD-R/RW の説明書にしたがってください。）

1 ➡158ページのダビングの手順1～2を行ない、【DVD-Video作成】を選んで、決定 を押す

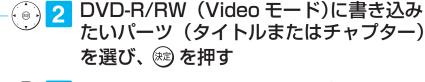
● DVD-R DL（2層）に書き込む場合

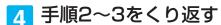
① を押す

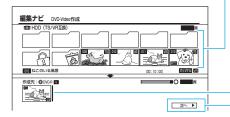
②【2層（DL）ディスクを使用】を選び、決定 を押す

・1層ディスクに戻すときは、同じ手順で【1層ディスクを使用】を選びます。

2 DVD-R/RW（Video モード）に書き込みたいパーツ（タイトルまたはチャプター）を選び、決定 を押す

3 パーツを入れる場所を選び、決定 を押す

選んだパーツが、カーソルの位置にはいります。

4 手順2～3をくり返す

DVD-R/RW の空き容量は、画面下部のバーで確認できます。

選んだパーツはそれぞれ一つのタイトルとして DVD-R/RW に書き込まれます。
- 登録したパーツを取り消したいときは（➡ 162 ページ）
- タイトルやチャプターの名前を変更するときは『クイックメニュー』から行ないます。
- パーツの内容を確認するときは ▶ 5 を押します。

5 【次へ】を選び、決定 を押す

ステップ2：ダビングをする(つづき)

6 各項目を設定する

設定内容は、選択時に画面に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

- 「書込み前テスト」に「パーツテスト」「全テスト」を選んだときは、事前にテストする分だけ多くの時間がかかります。なお「全テスト」は「パーツテスト」よりも時間がかかります。
  DVD-RWの場合は、「全テスト」を選択していても、「パーツテスト」として実行されます。
- 「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

7 【次へ】を選び、決定を押す

8 確認画面で書き込む内容を確認し、【次へ】を選び 決定 を押す

方向ボタン（▲）で【ディスク名変更】を選び 決定 を押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。

● **手順6で「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、画面右下の【次へ】ボタンが【作成開始】になります。これを方向ボタンで選び 決定 を押します。➡手順11へ。**

トップメニュー/モード を押すと、メニューイメージが確認できます。

メニューテーマ選択画面に戻りたいときは、戻る を押します。

9 タイトルメニューのデザインを選び、決定 を押す

● 手順6で「メニュー作成」に「タイトル＋チャプター」または「タイトルのみ」を選んだとき、タイトルメニューのテーマを選ぶ画面が表示されます。
「メニュー背景登録」で取り込んだメニューテーマ（➡ 155ページ）は、この画面で表示されます。
取り込んだメニュー背景を選んだときに、トップメニュー/モード を押すと、プレビューが表示され、更に トップメニュー/モード を押すと、メニューテーマの文字色を設定することができます。（➡ 167ページ「メニューテーマの文字色を設定するには（色設定）」）

- 手順6で「タイトル＋チャプター」を選んだ場合、メニューイメージ確認画面で、画面下側の「チャプターメニュー」の番号を選び、決定 を押すと、チャプターメニューのイメージを表示できます。

10 チャプターメニューのデザインを選び、決定 を押す

● 手順6で「メニュー作成」に「タイトル＋チャプター」または「チャプターのみ」を選んだ場合、チャプターメニューのデザインを選ぶ画面が表示されます。
デザインはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。

- 手順6で「タイトル＋チャプター」を選んだ場合、メニューイメージ確認画面で、画面下側の【戻る】を選び、決定 を押すと、タイトルメニューのイメージを表示できます。

11 確認メッセージで【はい】を選び、決定 を押す

書込みが始まります。進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。
選んだパーツの書込みの最後に、ファイナライズという処理が自動的に行なわれます。これは、DVD-R/RWを通常のDVDプレーヤーで再生できるようにするための処理です。
書込みが終了すると、「続けてもう1枚同じDVD-Videoを作成しますか。」というメッセージが表示されます。【はい】を選ぶと、同じ内容のDVD-R/RWを作ることができます。

お知らせ

- DVD互換モード（➡ 60ページ）を「入」にしないで録画したため「DVD-Video作成」ができないタイトルや、DVD互換モードに対応していない機器で録画したDVD-RAM内タイトルをDVD-R/RWに書き込みたいときは、DVD互換モードを「入」にして内蔵HDDに「画質指定ダビング」（➡ 160、164ページ）をしてから「DVD-Video作成」を行なってください。
- DVD-Rが16倍速記録対応であっても、ディスクの状態によっては高速記録できない場合があります。また、設定メニューの【DVDダビング速度】で【低速（静音）】が設定されているときも、記録速度は遅くなります。

メニューテーマの文字色を設定するには（色設定）

背景が写真などの場合に文字を見えやすくするために文字の下に敷く「背景台座」、ディスク名、タイトル名、チャプター名、時間、ページ番号などの「文字色」、完成したディスクでタイトルなどを選択するカーソルの色を決める「選択色」、「決定色」を設定することができます。

1 **「DVD-Video 作成（タイトルメニューテーマ選択）」を表示しているときに、方向ボタンを押してページを切り換え、取り込んだメニュー背景を選び、 を押す**

プレビュー画面が表示されます。

2 **トップメニュー/モード を押す**

DVD-Video 作成（色設定）画面が表示されます。

3 **画面左側の画像と説明を見ながら方向ボタンで各項目を設定し、【登録】を選んで 決定 を押すと完了する**

プレビュー画面が表示されます。

●背景台座をつける

方向ボタンで「背景台座」を「あり」にします。
色は背景の画像に応じて白系にするか黒系にするかを「白」「黒」から選択し、どの程度背景の画像が透けて見えるかの比率である「透明度」を「50%」「70%」「90%」から選びます。数字が大きいほど下にある画像が透けて見えますが、一番上にのる文字が読みにくくなります。

▲背景台座がない場合、タイトル名が読みにくい

▲背景台座があるので、タイトル名が読みやすい

●文字色を選択する

12 色の中から方向ボタンで文字の色を選択します。「背景台座」が白い場合は、黒などの濃い色の文字を選択します。

●選択色と決定色を選択する

再生時にタイトルメニューやチャプターメニューに表示されるカーソルの色です。選択時の「選択色」と、決定したときに一瞬表示される「決定色」を選択します。

●設定した結果を確認する

「登録」で色設定を完了すると、プレビュー画面に戻ります。確認した結果再度変更したい場合は、手順２～３をくり返してください。

DVD-Video 作成中と作成後について

■書込みを途中で中止したいときは

 を押して、【DVD-Video作成中止】を選び、 を押す

- DVD-Rの書込みを中止すると、ほとんどの場合ディスクは使用できなくなります。
- 処理の中止ができない場合もあります。

■パーツ選択でメッセージが表示されたときは

「画面比の混在やコピー禁止の有無を確認するために、次画面のオプション設定で書込み前テストを選択することをお勧めします」などのメッセージが表示されることがあります。コピー禁止部分が含まれるか、画面比が途中で切り換わっている場合は、選択をキャンセルしてください。不確かな場合は、書込み前テスト(「パーツテスト」または「全テスト」)を選択してください。

- パーツの選択を取り消すには、DVD-Video作成(パーツ選択)で取り消すパーツを選び、『クイックメニュー』を押して【選択キャンセル】を選び、『決定』を押してください。**これをしないで書込みを続行すると、途中でエラーが起こり、そのDVD-Rは使えなくなることがあります。**

ステップ2：ダビングをする(つづき)

他のプレーヤーで再生できるDVDビデオディスクにする（DVDファイナライズ処理）

ダビングしたディスクをファイナライズすることで、他のDVDプレーヤーでも再生できるようになります。

準備

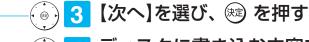
① 簡単メニュー を押す(再生中または停止中に)
② ファイナライズしたいディスクを入れる

1 【DVDファイナライズ】を選び、決定 を押す

「DVD」が選ばれていないときは HD DVD を押します。

2 各項目を設定する

設定の内容は、選択時に画面に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

・「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、「再生開始」と「1タイトル再生後動作」の設定は自動的に省略されます。

3 【次へ】を選び、決定 を押す

4 ディスクに書き込む内容を確認したら、【次へ】を選び、決定 を押す

方向ボタン（▲）で【ディスク名変更】を選び 決定 を押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名を入力できます。

●手順２で「メニュー作成」に「なし」を選んだときは、画面右下の【次へ】が【作成開始】になります。これを方向ボタンで選び 決定 を押します。➡手順７へ。

5 タイトルメニューのデザインを選び、決定 を押す

● 手順２で「メニュー作成」に「タイトル＋チャプター」または「タイトルのみ」を選んだときに、タイトルメニューのテーマを選ぶ画面が表示されます。「メニュー背景登録」で取り込んだメニューのデザイン（➡ 155、応用編 40 ページ）は、次ページに表示されます。

取り込んだメニュー背景を選んだときに、トップメニュー モード を押すと、プレビューが表示され、更に トップメニュー モード を押すと、メニューテーマの文字色を設定することができます。(➡ 167ページ「メニューテーマの文字色を設定するには(色設定)」)

・手順２で「タイトル＋チャプター」を選んだ場合、メニューイメージ確認画面で、画面下側の「チャプターメニュー」の番号を選び、決定 を押すと、チャプターメニューのイメージを表示できます。

トップメニュー モード を押す

メニューイメージを確認できます。

メニューテーマ選択画面に戻りたいときは、戻る リターン を押します。

6 チャプターメニューのデザインを選び、決定 を押す

テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。

・手順２で「タイトル＋チャプター」を選んだ場合、メニューイメージ確認画面で、画面下側の【戻る】を選び、決定 を押すと、タイトルメニューのイメージを表示できます。

7 確認メッセージで【はい】を選び、決定 を押す

終了後の電源についてのメッセージが表示されます。

電源を切る場合は【はい】を、切らない場合は【いいえ】を選び、決定 を押してください。

ファイナライズ処理が始まります。

• DVD-R/RW（Videoモード）は、録画をした本機自身では、ファイナライズ処理前でも再生できますが、他の機器ではファイナライズ処理をしていないとディスクが認識されず、使用できません。
• 上記以外にも、お知らせがあります。(➡ 191ページ)

HD-R や DVD-R/RW（VR モード）のファイナライズ

HD-R や DVD-R/RW（VR モード）もファイナライズすることができます。DVD-R/RW（VR モード）をファイナライズすることで、より多くの DVD プレーヤーやレコーダー（他社機、パソコン含む）で再生できる場合があります。HD-R の場合、HD-R に対応した機器でのみ、再生できる場合があります。

1 ファイナライズをするディスクを入れ、停止中に［HD DVD］を押す

HD DVD 側に切り換わります。

2 ［簡単メニュー］を押したあと、【DVD ファイナライズ】を選び、㊋決定 を押す

3 メッセージの内容を確認したあと【はい】を選び、決定 を押す

終了後の電源についてのメッセージが表示されます。
電源を切る場合は【はい】を、切らない場合は【いいえ】を選び、決定 を押してください。
ファイナライズ処理が始まります。

- HDVR モードや VR モードのディスクをファイナライズしても、HDVR モードや VR モード再生に対応した機種でしか再生できません。
- 予約録画の準備中や録画中は、ファイナライズを実行できません。

ファイナライズを解除する

ファイナライズ処理をした DVD-RW（Video モードまたは VR モード）のファイナライズを解除し、追記できるようにします。

1 停止中に［クイックメニュー］を押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2 【ディスク管理】を選び、決定 を押す

3 【ファイナライズ解除】を選び、決定 を押す

4 メッセージの内容を確認したあと【はい】を選び、決定 を押す

ファイナライズ解除の処理が始まります。
HD-R や DVD-R（VR モード／Video モード）はファイナライズを行なうと、解除することはできません。

- 予約録画の準備中や録画中は、ファイナライズ解除を実行できません。
- 本機以外で録画した DVD-RW（Video モードまたは VR モード）のファイナライズは解除できません。
- ファイナライズ解除を実行すると、タイトル・チャプターサムネイルの位置が変わることがあります。

再生中の映像を録画するには（ライン U ダビング）

コピーの禁止されていないディスクの映像を、再生しながら録画することができます。静止や早送り、スローなども含め、ダビング中に画面に表示されるそのままの状態（上下や左右の黒部分を含む、テレビ側がフル表示の状態で表示される内容）が録画されます。以下のようなときにご利用ください。
ー 他社機器などで作成した「見るナビ」に未対応の DVD-R/RW の内容を内蔵 HDD にダビングしたいとき。

手順例：DVD-R/RW から内蔵 HDD にダビングする（ダビングしたい番組がはいったディスクを、本機に入れておきます。）

1 ［W録］を押して、「VR」を選ぶ

「TS」では、ライン U ダビングできません。
また、［放送切換］で地上アナログ放送に切り換えてください。

2 ［入力切換］または［チャンネル︿］/［チャンネル﹀］をくり返し押して、入力に「ライン U」を選ぶ

黒画面になります。

3 ［HDD］を押したあと、［●録画］を押す

録画が始まります。

4 ［HD DVD］を押したあと、HD DVD ドライブ側のダビングしたい番組を再生する

5 ダビングしたい内容の再生が終わったら、［■］を押す

再生が停止し、黒画面に戻ります。

6 ［HDD］を押したあと、［■］を押す

録画が停止します。

元の映像比率でダビングしたいときは、以下の設定をします。

①ライン U ダビングしたい映像が **【16：9 スクィーズ映像】** のとき
→【TV 画面形状】の設定を【16：9 ワイド】にする

②ライン U ダビングしたい映像が **【4：3 映像】** のとき（上下に黒帯があるものも含む）
→【TV 画面形状】の設定を【4：3 ノーマル】にする

【TV 画面形状】について詳しくは➡応用編 70 ページを、設定については➡接続・設定編 35 ページをご覧ください。

- 次の組合せでダビングができます。
  内蔵 HDD →内蔵 HDD、内蔵 HDD → DVD ディスク、DVD ディスク→内蔵 HDD
- ライン U で録画したタイトルのサムネイルを変更するには➡ 150 ページをご覧ください。
- ライン U ダビング先の音声は、すべてステレオ方式で記録されますが、録画実行中は音声出力が切り換えられます。
- 市販の HD DVD ビデオディスクや DVD ビデオディスク、一回だけ録画が可能な映像（コピーワンス）、TS 録画をしたタイトル、音楽用 CD や「見るナビ」などの画面表示はライン U ダビングできません。
- TS 録画タイトルや、TS 録画タイトルを含むタイトル（プレイリストなど）は、ライン U ダビングできません。

ダビングについてのお知らせ

録画した内容は、内蔵 HDD と HD DVD ドライブの間、または同一ドライブ内でダビングできます。
本機のダビング機能に関するお知らせや注意事項です。ご参考にしてください。

内蔵 HDD と HD DVD ドライブのダビング機能について

< フォルダ機能のダビングについて >

ダビングするときにダビング先のフォルダ指定はできません。フォルダ内にはいっているタイトルをダビングする場合、ダビング先に同一のフォルダ名を作成してからダビングを行なうと、ダビング先の同一のフォルダ内にダビングされます。フォルダの作り方は「フォルダを設定する」(➡ 127 ページ) をご覧ください。

- ダビング先が HDD で一致するフォルダ名がない場合は、自動的にフォルダを作成します。フォルダの上限数を超えるなどしてフォルダが作成できない場合は、HDD のルート上にダビングされます。
- ダビング先が HD-R、DVD-RAM や DVD-R/RW(VR モード) で一致するフォルダ名がない場合は、ダビング先のルート上にダビングされます。

内蔵 HDD ⇔ HD-R 間でのダビングで、タイトルによってはダビングができないことがあります。

< 内蔵 HDD と HD DVD ドライブ間のダビングに関してのお知らせ >

- 本機以外で録画した DVD-R/RW（Video モード）から内蔵 HDD、またはその逆方向の高速そのままダビングはできません。
- 本機以外で録画したファイナライズ前の DVD-R/RW から HDD へのダビングはできません。
- 「ラインUダビング」では、フォルダ機能のダビングはできません。

ダビング（コピー）中の録画や再生

高速そのままダビング中に、録画または別のタイトルの再生や、ダビング元のタイトルを再生することができます。(「移動」中はできません)

- 内蔵HDDからHD DVD側へダビング中は、内蔵HDDの録画または再生ができます。HD DVD側ではできません。
- DVDから内蔵HDDへダビング中は、それ以外の動作はできません。
- 内蔵HDDから内蔵HDD内へダビング中は、HD DVD側の録画または再生ができます。内蔵HDDの録画や再生はできません。
- ダビングよりも予約録画が優先されるため、**ダビング中に予約録画の開始時刻が近づくとダビングが中止される場合があります**。
- ダビング中に録画をしているときは「見るナビ」などの画面を表示することはできません。

	内蔵HDDでの再生	内蔵HDDでの録画	HD DVD側での再生	HD DVD側での録画
内蔵HDD→HD DVD側	○	○	×	×
HD DVD側→内蔵HDD	×	×	×	×
内蔵HDD→内蔵HDD	×	×	○	○
HD DVD側→HD DVD側	○	○	×	×

※上記表の「HD DVD側」→「HD DVD側」は、DVD-RAMのみの対応です。

「コピー」と「移動」

本機では、ダビングに以下の二つの定義があります。

コピー： ダビングする内容は、ダビング後もダビング元のディスクに残ります。

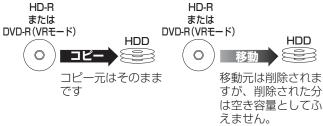
移動： ダビングする内容は、ダビング後はダビング元のディスクから消去されます。
タビングする内容がプレイリストのときは、プレイリストが参照するダビング元のオリジナルタイトルの該当部分が消去されます。

状況によって、選べる場合と自動的に決まる場合があります。

以下の場合は移動ができません。（コピーをしてください。）
- 保護設定（➡113ページ）にしてあるとき。
- 内蔵HDDからDVD-R/RW（Videoモード）への移動とDVD-R/RW（Videoモード）から内蔵HDDへの移動はできません。

以下の場合はコピーもできません。
- 著作権保護のため1回だけ録画を許された番組を録画した内容は、コピーできません（詳しくは「1回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の編集／ダビングについて」をご覧ください）。
- コピー禁止の部分を含むタイトルやチャプターは、DVD-RAM/R/RW（VRモード）から内蔵HDDへの移動はできません。
- コピー禁止の部分を含むタイトル（プレイリスト）は、コピーが禁止されています。コピー禁止の部分を含まないように再度プレイリストを作り直してください。

■ HD-R と DVD-R（VR モード）のダビングについて

HD-RやDVD-R（VRモード）内のコピーや移動が可能なタイトルやチャプターを内蔵HDDにダビングすることができます。ただし、以下の制約があります。

お知らせ

- ダビング時、内蔵HDD、HD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RWなどそれぞれのディスクの状態が悪いと、「移動」を実行したときにエラーが発生し、そのタイトルやチャプターを失ってしまう場合があります。コピー可のタイトルやチャプターを移動したい場合は、まず「コピー」でコピー先のドライブにタイトルを作り、内容を確認した上で、コピー元のタイトルやチャプターを削除するとより安全です。なお、「移動」の失敗によって失われた内容の補償はいっさいできません。
- 市販のHD DVDビデオディスク、DVDビデオディスク、音楽用CDやCD-R、CD-RWはダビングできません。
- ディスクの残量が少ないなど、何かの事情でダビングができないときは、画面にメッセージが出ます。そこに表示された指示にしたがって操作してください。
- 内容・手順によっては、一部の管理情報や付属情報などがダビングされない場合があります。
- 上記以外にも、お知らせがあります。（➡ 191 ページ）

1回だけ録画可能な番組（コピーワンス）の録画／ダビングについて

CSデジタルやBSデジタル・地上デジタル放送では番組制作サイドの著作権を守るため、コピー制御信号を入れて、録画を1回に制限する「1回だけ録画可能」な（コピーワンス）番組を放送しています。
「コピーワンス番組」にはいくつかの制約があります。

■ デジタル放送のコピーワンス番組をHDDに録画しましたが、DVD-R/RW（Videoモード）へのダビングができない?

● DVD-R、DVD-RW（Videoモード）に記録する「Videoモード」の規格の制限によって、コピーワンスの番組は録画／ダビングができません。ダビング（移動）には、AACS対応のHD DVD-R（HDVRモード）や「VRモード」でCPRM対応のDVD-RAM、DVD-R/RWをお使いください。

※地上アナログ放送や外部チューナーなどで、内蔵HDDへ録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術（AACS）の規定により、HD DVDにはダビング（移動）できません。

■ デジタル放送のコピーワンス番組をHDDに録画しましたが、DVDに「高速そのまま」でコピーできない?

● コピーワンスで録画した番組は、コピー禁止となり、「移動」しかできなくなります。
元のタイトルが大きくてDVDに収まらない場合は、ディスクにはいる大きさにチャプター分割し、「高速そのまま」で複数のディスクにそれぞれのチャプターを「移動」してください。
なお、タイトルで「移動」せずに複数のチャプターにわかれたものをそれぞれ一枚のディスクに移動すると、ダビング先ではそれぞれが異なるタイトルになってしまいます。その場合、DVDディスク一枚に収まる大きさに「チャプター結合」をし、移動後に再度DVD側でチャプター分割してください。

● 内蔵HDDに「1回だけ録画可能」番組（オリジナルタイトル）をプレイリスト編集したあと、作成したプレイリストをHD-Rや対応のDVDディスクにダビング（移動）した場合、プレイリストとして使用されなかった部分（たとえばCMなど）だけ、内蔵HDD上に残されます。この残された部分が不要のときは、プレイリストを移動したあとに削除することをおすすめします。連続していた内蔵HDDの領域を同じタイミングで空き領域とすることで、領域の断片化を防ぐことができます。また再び空き領域として使用可能となります。

■ デジタル放送のコピーワンス番組をHDDに録画した場合、「ラインUダビング」はできません

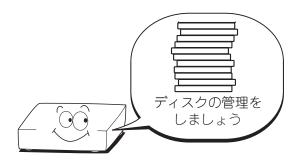
● コピーワンスで録画した番組は、コピー禁止となり、「移動」しかできなくなります。ラインUダビングの場合は、再生しながらダビング先に録画する仕様のため、コピー禁止番組をダビングするのに必要な「移動」ができません。

■ デジタル放送のコピーワンス番組をHD-RやDVDディスクからHDDに移動することはできません

● コピーワンスで録画した番組は、コピー禁止となり、HDDからAACSやCPRM対応のHD-R、DVD-RAMやDVD-R/RWへの「移動」しかできなくなります。HD-RやDVDディスクから内蔵HDDへのコピー禁止タイトルの「移動」は禁止されています。

ダビングについてのお知らせ(つづき)

■ デジタル放送のコピーワンス番組を録画したDVDをパソコンで再生することはできません

● コピーワンスで録画した番組は、コピー禁止となり、DVDなどではCPRMというコピープロテクション方式で保護されています。CPRMに対応したパソコン上での再生ソフトと対応したHD DVDドライブやDVDドライブでない場合、再生することはできません。

7 ライブラリ

ライブラリを活用して、タイトルやディスクを上手に管理しましょう。

- ライブラリの使いかた
- 見たいタイトルを探す
- ライブラリ情報を見る／編集する

ライブラリの使いかた

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

「ライブラリ」では、内蔵HDD内や本機で使用したHD-RやDVDディスクのタイトルの情報(録画日、チャンネル、タイトル名、ジャンル、推定残量など)を記憶し管理しています。この情報を利用して、空きのあるディスクを探したり、見たいタイトルがどのディスクに入っているかを簡単に探すことができます。

●ライブラリでできること
①見たいタイトルがどのディスクにあるかを探す ➡175ページ
②ディスク残量の順に並べ替えたりするなどして、空きのあるHD-RやDVDディスク(DVD-RAM、DVD-R/RW(VRモード))を探す ➡175ページ
③挿入したHD-RやDVDディスクの情報を表示する ➡177ページ

ライブラリの表示切換(タイトル名一覧／ディスク名一覧)

ライブラリには「タイトル名一覧」と「ディスク名一覧」があります。用途に応じて、[トップメニュー/モード] で表示を切り換えます。

タイトル名一覧：本機で管理している全タイトルの一覧です。

で切り換える

ディスク名一覧：本機で管理している全ディスクの一覧です。

ライブラリ対応ディスクについて

本機ライブラリ対応表(DVDディスク)

モード＼ディスク	CPRM*対応ディスク		CPRM*非対応ディスク	
	プロテクト無し	プロテクト有	プロテクト無し	プロテクト有
VRモード	○	○	○	×
Videoモード	×	×	×	×

*CPRMとは著作権保護のために映像を暗号化する技術です。1回だけ録画可能な番組を録画することができます。

ライブラリの基本操作

1 [番組ナビ] を押す

2 【ライブラリ】を選び、[決定] を押す

「ライブラリ タイトル名一覧」が表示されます。

3 を押す

クイックメニューが表示されます。

4 項目を選び、[決定] を押す

・項目の詳細は、次ページからご覧ください。

- 「ライブラリ」画面では、タイトルを選んで『決定』を押すと、そのタイトルのディスクがはいっていれば再生が始まります。
- 「カギ付きフォルダ」内のタイトルは開錠すればライブラリに表示されます。施錠されている場合は、表示されません。
- 上記以外にも、お知らせがあります。(➡190ページ)

見たいタイトルを探す

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

「ライブラリ」画面では、見たいタイトルを方向ボタン(▲/▼)で探せますが、表示順を変えたり条件をつけて絞込みをすると、よりスピーディーに探せます。

表示順を並べ替える

1 クイックメニューから【並べ替え】を選んで 決定 を押す

サブメニューが表示されます。

クイックメニュー
タイトル情報
並べ替え
絞り込み
ジャンプ
ディスク情報
ライブラリ管理

2 表示順を選び、決定 を押す

選んだ順で全タイトルが並べ直されます。

- 異なる並べ替えを続けて実行した場合、先に実行したものの配列結果があとに実行したものの配列の中で保持されます。たとえば、「ジャンル順」・「ディスク番号順」というように並べ替えると「ディスク番号順」に並んだ中で同一ディスク番号内では、一つ前に並べ替えた「ジャンル順」に並びます。

表示を絞り込む

1 クイックメニューから【絞り込み】を選んで 決定 を押す

サブメニューが表示されます。

2 次の絞り込みの条件を選び、決定 を押す

ジャンル別

サブメニューが表示されます。
ジャンルを選び、決定 を押します。
選んだジャンルで登録してあるタイトルが選び出されます。

ディスク別(DVD)

入力用ウィンドウが表示されます。

ディスク別 (DVD)
ディスク番号 0 0 1 −

以下の手順1～2を行なってください。

1) **方向ボタン(◀/▶)で入力位置を選び、方向ボタン(▲/▼)でディスク番号を入力する**

2) **決定 ボタンを押す**
選んだ番号のディスクにはいっているタイトルが選び出されます。たとえば「001－」で検索すると、001、001A、001Bのディスクに含まれるタイトルの一覧となります。

ディスク別(HDD)

内蔵HDD内のタイトルが選び出されます。

曜日別

サブメニューが表示されます。
方向ボタン(▲/▼)で曜日を選び、決定 を押します。
選んだ曜日に録画したタイトルが選び出されます。

キーワード指定

登録してあるキーワードで指定して、タイトルを絞り込みます。

- 全タイトルの表示に戻したいときは、『クイックメニュー』を押し、【全絞り込み解除】を選び、『決定』を押します。
- 『戻る』を押すと、一つ前の絞り込みの表示に戻ります。

見たいタイトルを探す(つづき)

頭出しをする(ジャンプ)

1 クイックメニューから【ジャンプ】を選んで (決定) を押す

サブメニューが表示されます。

2 頭出しの方法を選び、(決定) を押す

ディスク番号指定

入力用ウィンドウが表示されます。

ディスク番号指定ジャンプ
ディスク番号 0 0 1 –

以下の手順1～2を行なってください。

1) 方向ボタン(◀/▶)で入力位置を選び、方向ボタン(▲/▼)でディスク番号を入力する

前方一致検索に必要な数値を最大3けたと、AB両面の区別を必要に応じてAまたはBを入れます。特定のけたを「–」にすることで、それ以下の数値を指定しない検索ができます。たとえば、「10––」で検索すると、100、100A、102などの中で最初に発見されたディスク番号の行にジャンプします。あらかじめディスク番号順に並べ替えておくと便利です。

2) (決定) を押す

選んだ番号のディスクのタイトルが選ばれます。

先頭文字指定

入力用ウィンドウが表示されます。

先頭文字指定ジャンプ
文字列：　　実行

以下の手順1～3を行なってください。

1) 「文字列」が選択された状態で、(決定) を押す

文字入力画面が現れます。

2) 探すタイトルの先頭(最大3文字)を入力し、【登録】を選び、(決定) を押す

入力用ウィンドウに戻ります。

3) 方向ボタン(▶)で【実行】を選び、(決定) を押す

選んだ文字で始まる名前のタイトルがあると、該当のタイトルが選ばれます。

頁指定

入力用ウィンドウが表示されます。

以下の手順1～2を行なってください。

1) 方向ボタン(▲/▼)でページ番号を入力する

2) (決定) を押す

選んだページが表示されます。

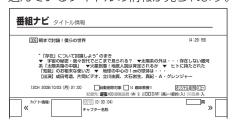
ライブラリ情報を見る／編集する

HDD	HD-R	DVD-RAM	DVD-RW (VRモード)
DVD-RW (Videoモード)	DVD-R (VRモード)	DVD-R (Videoモード)	

ライブラリ情報を見たり、ライブラリ情報を編集します。

タイトル情報を見る

1 クイックメニューから【タイトル情報】を選んで 決定 を押す

選んでいるタイトルの情報が見られます。

クイックメニューで編集

 を押して、以下の項目から選び 決定 を押します。

（DVD-R/RW（VRモード）でファイナライズ済のディスク以外）

タイトル名変更：
文字入力画面が表示されます。

チャプター名変更：
（名前を入力するチャプターを、«/» で表示させてから選んでください。）
文字入力画面が表示されます。

チャプター名削除：
（対象のチャプターを、«/» で表示させてから選んでください。）

ジャンル変更：
サブメニューが表示されます。
方向ボタン（▲/▼）でジャンルを選び、決定 を押します。
選んだジャンル名とマークが表示されます。

録画日時入力：
日付の項目に移動します。

保護設定：
選んでいるタイトルの保護を設定します。
保護設定のマーク「🔒」がつきます。
（すでに保護設定されている場合は、メニュー名が「保護解除」になり、選択すると保護設定が解除されます。）

お知らせ
- 対象のディスクがはいっていないと設定を変更できません。

ディスク情報を見る

1 クイックメニューから【ディスク情報】を選んで 決定 を押す

本機にはいっているディスクの情報を確認できます。

推定残量を表示します。

ディスク番号やディスク名を変える

プロテクトやソフトプロテクトされていないHD-R、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）の未ファイナライズディスクの場合、以下の操作ができます。

1）【ディスク番号変更】または【ディスク名変更】を選び、決定 を押す

2）ディスク名を入力する
ディスク番号を変更するときは方向ボタンで変更します。

ソフトプロテクトを設定する

HD-R、DVD-RAM、DVD-R/RW（VRモード、未ファイナライズ）のソフトプロテクト（論理）を行なうことができます。

1）「ディスク情報」を表示しているときに、 を押す

2）【ソフトプロテクト設定】を選び、決定 を押す
メッセージが表示され、ソフトプロテクトの処理が行なわれます。

お知らせ
- ソフトプロテクトを設定したDVD-RAM、DVD-RW（VRモード）は、論理フォーマットはできません。ただし、DVD-RAMでは「DVD-RAM物理フォーマット」は実行できます。
HD-RとDVD-R（VRモード）では、ソフトプロテクトの変更（設定／解除）をしても、ディスク情報が更新され、ディスク残量を消費します。
- HD-RとDVD-R（VRモード）はプロテクト設定に関わらず、論理フォーマットはできません。

ライブラリ情報を見る／編集する(つづき)

ソフトプロテクトを解除する

ソフトプロテクトを解除するディスクを入れ、前述の「ソフトプロテクトを設定する」の手順1を行ない、手順2で【ソフトプロテクト解除】を選び、決定 を押します。
メッセージが表示され、ソフトプロテクト解除の処理が行なわれます。

不要なライブラリ情報を消す

ライブラリ情報は3000件まで登録できます。上限に達して追加できない場合などは、不要な情報を削除して、ライブラリ情報を整理してください。

タイトル情報を消す

1 ライブラリで、消すタイトルを選ぶ

2 クイックメニュー を押す

3 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

4 【タイトル情報削除】を選び、決定 を押す

5 【はい】を選び、決定 を押す

手順2で選んだタイトルの情報をライブラリから削除します。
削除を中止したいときは【いいえ】を選びます。

ディスク情報を消す

指定したディスクに含まれるタイトルの情報をまとめて削除します。

1 ライブラリで、消すディスクを選ぶ

2 クイックメニュー を押す

3 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

4 【ディスク毎の情報削除】を選び、決定 を押す

5 削除するディスクの番号を、方向ボタン（▲/▼）で入力し、決定 を押す

6 【はい】を選び、決定 を押す

削除を中止したいときは【いいえ】を選びます。

ライブラリ情報をすべて消す

ライブラリ情報を最初から整理しなおしたいときなどに使います。

1 ライブラリで クイックメニュー を押す

2 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

3 【DVD全情報削除】または【全ライブラリ情報削除】を選ぶ

DVD全情報削除：
内蔵HDDのライブラリ情報は残し、HD-R、DVD-RAMとDVD-R/RW（VRモード）の全ライブラリ情報を削除します。
全ライブラリ情報削除：
内蔵HDD、HD-R、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード）の全ライブラリ情報を削除します。

4 決定 を押す

5 【はい】を選び、決定 を押す

削除を中止したいときは【いいえ】を選びます。

ディスク番号を削除する

使わなくなったHD-R、DVD-RAMやDVD-R/RW（VRモード未ファイナライズ）のディスク番号は、強制的に削除することで他のディスクの番号として使えるようになります。

1 ライブラリで クイックメニュー を押す

2 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

3 【強制ディスク番号削除】を選び、決定 を押す

4 削除するディスク番号を、方向ボタン（▲/▼）で入力し、決定 を押す

5 【はい】を選び、決定 を押す

削除を中止したいときは【いいえ】を選びます。

お知らせ

- 【強制ディスク番号削除】を実行すると、そのディスクの全タイトルの情報も同時に削除されます。
- 同じディスク番号のディスクが複数ある場合、この機能を実行するとすべて削除されます。

手動ディスク登録をする

本機以外の機器で録画されたディスクをライブラリに登録するには「手動ディスク登録」をしてください。

1 本機のライブラリに情報を追加したいディスクを、本機に入れる

2 ライブラリで [クイックメニュー] を押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

サブメニューが表示されます。

4 【手動ディスク登録】を選び、決定 を押す

5 【はい】を選び、決定 を押す

登録を中止したいときは【いいえ】を選びます。

- ディスク登録されていないディスクに追加で録画しても、ライブラリには登録されません。
- ライブラリの手動ディスク登録をすると、ライブラリ内にディスク番号の同じディスクが複数できることがあります。このときの全ディスク残量は、ディスクごとまたはページごとに表示されます。そのような場合は、【ディスク番号変更】(➡177ページ)をすることをお勧めします。
- 上記以外にも、お知らせがあります。(➡190ページ)

ライブラリ機能を使用する／使用しないを選ぶ

未登録のディスクや新規のディスクを本機に入れたときに、ライブラリ起動時に自動的にディスク登録するかどうかを設定できます。
複数台RDシリーズを使っている場合は、ディスクの情報はいずれか一台で管理することをおすすめします。

1 ライブラリで [クイックメニュー] を押す

2 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

サブメニューが表示されます。

3 【ライブラリ機能】を選び、決定 を押す

使わない：
未登録のディスクを入れた場合、ライブラリ起動時に自動的に登録されません。
録画やダビングをしても、新たにライブラリ登録されなくなります。

使う：
未登録のディスクを入れた場合、ライブラリ起動時に自動的に登録されます。またディスクを入れた際、メッセージでお知らせします。

4 設定する項目を方向ボタン（▲/▼）で選び、決定 を押す

■ライブラリ機能が「使う」に設定された場合、以下の便利な機能があります。

1) ライブラリ画面を開いた状態で、ライブラリ管理に有効なHD-RやDVDディスクを挿入すると、自動登録されたあと、「タイトル名一覧」に自動的に切り換わり、先頭のタイトルが選択状態になります。
2) 他の機器でダビングや変更を加えたディスクは、本機に挿入し、ライブラリを表示するだけで、ディスク側の最新の状態をライブラリに反映することができます。ライブラリを表示したまま、ディスクを挿入した場合でも、同様に更新されます。

ライブラリ情報を見る／編集する(つづき)

ライブラリ情報をバックアップする

1 保存に使う DVD-RAM を本機に入れる

2 番組ナビ を押し、【ライブラリ】を選択し 決定 を押す

3 クイックメニュー を押す

4 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

5 【バックアップ作成】を選び、決定 を押す

6 【はい】を選び、決定 を押す

保存を中止したいときは【いいえ】を選びます。

ライブラリ情報のバックアップを本機に上書きする

1 データを保存してある DVD-RAM を本機に入れる

2 番組ナビ を押し、【ライブラリ】を選択し 決定 を押す

3 クイックメニュー を押す

4 【ライブラリ管理】を選び、決定 を押す

5 【バックアップ書戻し】を選び、決定 を押す

6 【はい】を選び、決定 を押す

上書きを中止したいときは【いいえ】を選びます。

お知らせ

- ライブラリ情報のバックアップをDVD-RAMに保存する場合は、本機以外のライブラリ情報をすでに保存してあるDVD-RAMを使わないでください。本機と本機以外では、ライブラリ機能の形式が異なることがあります。これらをディスク内に混在させると、本機以外のライブラリ情報のバックアップが書き戻せなくなりますので、ご注意ください。
- 本機のライブラリバックアップを、本機以前の機種に書き戻すことはできません。

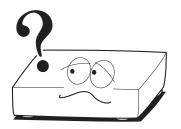
ディスクの残量を再計算する

1 ライブラリ画面の【変更】を選び、決定 を押す

録画品質変更画面が表示されます。

2 方向ボタン（◀/▶）で項目を選び、方向ボタン（▲/▼）で変更する

3 決定 を押す

- 残量は推定です。HDD 内の TS 録画タイトルの残量の計算基準は画面表示と異なり、24Mbps で計算しています。
また、タイトル名一覧(➡174ページ)では、HD-RのTS録画タイトルの残量計算基準は24Mbpsで計算し、ディスク名一覧(➡174ページ)では、VR録画の指定画質で計算します。

8 その他

- 録画可能時間一覧表
- 仕様
- 各機能やディスクに関する詳しいお知らせ
- 商品の保証とアフターサービス
- 商品のお問い合わせに関して

録画可能時間一覧表

本一覧表は、本機での録画可能時間を表しています。

■HDD、DVD-RAM、DVD-R DLとHD-R（VR記録の場合）

音質レート / 画質レート	DM1(192kbps)										DM2(384kbps)										L-PCM										備考
	HDD		DVD-RAM		DVD-R DL		HD-R		HD-R DL		HDD		DVD-RAM		DVD-R DL		HD-R		HD-R DL		HDD		DVD-RAM		DVD-R DL		HD-R		HD-R DL		
	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	
1.0	1788	24	08	10	15	01	26	15	52	30	1548	37	07	04	13	00	22	44	45	28	858	12	03	55	07	12	12	36	25	13	
1.4	1350	33	06	10	11	21	19	51	39	43	1209	10	05	31	10	10	17	46	35	33	742	40	03	23	06	14	10	55	21	50	
2.0	967	33	04	25	08	08	14	13	28	27	892	45	04	05	07	30	13	07	26	15	609	54	02	47	05	07	08	58	17	56	*1
2.2	889	53	04	04	07	29	13	05	26	10	826	14	03	46	06	56	12	08	24	17	578	06	02	38	04	51	08	30	17	00	*2
2.4	823	47	03	46	06	55	12	06	24	13	768	56	03	31	06	28	11	18	22	36	549	27	02	30	04	37	08	04	16	09	
2.6	766	48	03	30	06	26	11	16	22	33	719	04	03	17	06	02	10	34	21	08	523	31	02	23	04	24	07	41	15	23	
2.8	717	12	03	16	06	01	10	32	21	05	675	16	03	05	05	40	09	55	19	51	499	54	02	17	04	12	07	21	14	42	
3.0	673	38	03	04	05	39	09	54	19	48	636	31	02	54	05	21	09	21	18	43	478	20	02	11	04	01	07	02	14	04	
3.2	635	03	02	54	05	20	09	20	18	40	601	57	02	45	05	03	08	51	17	42	458	34	02	05	03	51	06	44	13	29	
3.4	600	39	02	44	05	03	08	49	17	39	570	57	02	36	04	48	08	23	16	47	440	21	02	00	03	42	06	28	12	57	
3.6	569	47	02	36	04	47	08	22	16	45	543	00	02	29	04	34	07	59	15	58	423	32	01	56	03	33	06	13	12	27	
3.8	541	56	02	28	04	33	07	58	15	56	517	39	02	22	04	21	07	36	15	13	407	57	01	51	03	25	05	59	11	59	
4.0	516	41	02	21	04	20	07	35	15	11	494	33	02	15	04	09	07	16	14	32	393	28	01	48	03	18	05	47	11	34	
4.2	493	41	02	15	04	09	07	15	14	31	473	26	02	09	03	58	06	57	13	55	379	59	01	44	03	11	05	35	11	10	
4.4	472	38	02	09	03	58	06	56	13	53	454	03	02	04	03	49	06	40	13	21	367	24	01	40	03	05	05	24	10	48	*3
4.6	453	19	02	04	03	48	06	39	13	19	436	11	01	59	03	40	06	24	12	49	355	37	01	37	02	59	05	13	10	27	*4
4.8	435	30	01	59	03	39	06	24	12	48	419	41	01	55	03	31	06	10	12	20	344	33	01	34	02	53	05	04	10	08	
5.0	419	03	01	55	03	31	06	09	12	19	404	22	01	51	03	24	05	56	11	53	334	10	01	31	02	48	04	54	09	49	
5.2	403	47	01	50	03	23	05	56	11	52	390	09	01	47	03	16	05	44	11	28	324	24	01	29	02	43	04	46	09	32	
5.4	389	36	01	46	03	16	05	43	11	27	376	53	01	43	03	10	05	32	11	05	315	10	01	26	02	39	04	38	09	16	
5.6	376	22	01	43	03	09	05	32	11	04	364	30	01	40	03	03	05	21	10	43	306	28	01	24	02	34	04	30	09	00	
5.8	364	01	01	39	03	03	05	21	10	42	352	54	01	36	02	58	05	11	10	22	298	13	01	21	02	30	04	23	08	46	
6.0	352	27	01	36	02	57	05	10	10	21	342	00	01	33	02	52	05	01	10	03	290	25	01	19	02	26	04	16	08	32	
6.2	341	35	01	33	02	52	05	01	10	02	331	46	01	31	02	47	04	52	09	45	283	00	01	17	02	22	04	09	08	19	
6.4	331	23	01	30	02	47	04	52	09	44	322	08	01	28	02	42	04	44	09	28	275	57	01	15	02	19	04	03	08	06	
6.6	321	46	01	28	02	42	04	43	09	27	313	02	01	25	02	37	04	36	09	12	269	15	01	13	02	15	03	57	07	55	
6.8	312	41	01	25	02	37	04	35	09	11	304	27	01	23	02	33	04	28	08	57	262	52	01	12	02	12	03	51	07	43	
7.0	304	07	01	23	02	33	04	28	08	56	296	18	01	21	02	29	04	21	08	42	256	47	01	10	02	09	03	46	07	33	
7.2	295	59	01	21	02	29	04	21	08	42	288	36	01	19	02	25	04	14	08	29	250	58	01	08	02	06	03	41	07	22	
7.4	288	18	01	19	02	25	04	14	08	28	281	16	01	17	02	21	04	08	08	16	245	25	01	07	02	03	03	36	07	13	
7.6	280	59	01	17	02	21	04	07	08	15	274	19	01	15	02	18	04	02	08	04	240	06	01	05	02	01	03	31	07	03	
7.8	274	03	01	15	02	18	04	01	08	03	267	42	01	13	02	15	03	56	07	52	235	01	01	04	01	58	03	27	06	54	
8.0	267	26	01	13	02	14	03	55	07	51	261	23	01	11	02	11	03	50	07	41	230	08	01	03	01	56	03	23	06	46	*5
8.2	261	08	01	11	02	11	03	50	07	40	255	22	01	10	02	08	03	45	07	30											
8.4	255	08	01	10	02	08	03	45	07	30	249	37	01	08	02	05	03	40	07	20											
8.6	249	23	01	08	02	05	03	40	07	20	244	07	01	07	02	03	03	35	07	10											
8.8	243	54	01	06	02	03	03	35	07	10	238	51	01	05	02	00	03	30	07	01											
9.0	238	39	01	05	02	00	03	30	07	01	233	49	01	04	01	58	03	26	06	52											
9.2	233	37	01	04	01	57	03	26	06	52	228	59	01	02	01	55	03	22	06	44											*6

*1 DD D/M2時のLPの画質モード　*2 DD D/M1時のLPの画質モード　*3 DD D/M2時のSPの画質モード　*4 DD D/M1時のSPの画質モード
*5 L-PCM時のマニュアル最高値　*6 マニュアルモードの上限値

■HDDとHD-R（TS記録の場合）

画質レート	HDD		HD-R		HD-R DL		備考
	時間	分	時間	分	時間	分	
約17.0（地上デジタル放送のとき）	130	50	01	55	03	50	TS画質のレートは放送によって異なります

- 本一覧表は録画時間を保証するものではありません。
- 内蔵HDDおよびDVD-RAMを初期化状態で連続録画した場合（内蔵HDDでは9時間の録画をくり返した場合）の録画可能時間です。ディスクによって表示が若干ばらつくことがあります。
- 録画後の残量は、本一覧表に書かれた時間から録画時間を引いた時間にはなりません。
- 録画された映像や音声の状態によって、使用される容量は異なります。
- 録画後の内蔵HDDおよびHD-R、DVD-RAM/DVD-R/DVD-RWの残量は、本機の状態表示機能（➡32ページ）で確認できます。
- 録画できる最大タイトル数（HDD：792、HD-R:198、DVD-RAM：99）を超えた場合は、上記の表に記載された時間まで録画できません。

DD D /M1、DD D /M2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。設定1として DD D /M1はDolby Digital 192Kbps、設定2として DD D /M2はDolby Digital 384Kbpsとなっています。

仕様

■ **動作時消費電力**

RD-A1：133W（BS アンテナ供給時 148W）

■ **待機時消費電力**

6.5W（待機時省エネ設定：切）
4.0W（待機時省エネ設定：セーブ）

■ **電源**

AC100V　50/60Hz

■ **質量**

RD-A1：15.2kg

■ **外形寸法**

幅 457 ×高さ 159 ×奥行 408mm
（突起物除く）

■ **受信チャンネル**

地上アナログ：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～63）
地上デジタル：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～63）
BSデジタル：BS000～BS999、
110度CSデジタル：CS000～CS999

■ **アンテナ入出力端子**

VHF/UHF：75Ω　F 型コネクター

■ **BS・110 度 CS アンテナ入出力端子**

75Ω　F 型コネクター、
入力端子（最大 DC15V、4W）

■ **地上デジタル入出力端子**

75Ω　F 型コネクター

■ **信号方式**

NTSC カラーテレビジョン方式

■ **使用レーザー**

半導体レーザー　波長 405nm/650nm/780nm

■ **フォーマット**

HD DVD-VR 規格
DVD-VR 規格 /DVD-Video 規格

■ **録画方式**

MPEG2

■ **録音方式**

ドルビーデジタル M1 ／ M2、リニア PCM、AAC

■ **録画使用ディスク**

HD DVD-R ディスク
（1 層：15GB ／ 2 層：30GB）*
DVD-RAM ディスク
（片面：4.7GB ／両面：9.4GB）*
DVD-RW ディスク
（片面：4.7GB）*
DVD-R ディスク
（1 層：4.7GB ／ 2 層：8.5GB）*

■ **内蔵 HDD 容量**

1TB（1000GB）

■ **映像入力**

1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック× 3 系統、背面 2、前面 1

■ **映像出力**

1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック× 3 系統、背面 3

■ **S 映像入力（入力 3 のみ S1 ／ S 対応）**

（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニ DIN4 ピン× 3 系統、背面 2、前面 1

■ **S1 映像出力**

（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニ DIN4 ピン× 3 系統、背面 3

■ **D1 映像入力端子**

14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ　入力信号 D1
Y 入力 1.0V（p-p）（75Ω）
CB 入力 0.7V（p-p）（75Ω）
CR 入力 0.7V（p-p）（75Ω）

■ **コンポーネント映像出力（Y、CB、CR）**

Y 出力 1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、
ピンジャック× 1 系統
CB、CR 出力 0.7V（p-p）（75Ω）、
ピンジャック×各 1 系統

■ **D1/D2/D3/D4 端子出力**

14 ピン、2 列、1.27mm ピッチ　出力信号 D1/D2/D3/D4
Y 出力 1.0V（p-p）（75Ω）
CB 出力 0.7V（p-p）（75Ω）
CR 出力 0.7V（p-p）（75Ω）

●ディスク容量に関して

・HDD、HD DVD-R、DVD-RAM/DVD-RW/DVD-Rの容量は 1GB=10億バイト、として計算しています。
・実際に記録できる容量は、ファイル管理システムや製品固有の管理領域等の使用によって、物理的な容量より少なくなります。

仕様(つづき)

■ 音声入力
2.0V（rms）、入力インピーダンス 22kΩ 以上、
ピンジャック（L、R）× 3 系統
背面 2、前面 1

■ 音声出力
2.0V（rms）、出力インピーダンス 2.2kΩ 以下、
ピンジャック（L、R）× 3 系統、背面 3
2.0V（rms）、出力インピーダンス 2.2KΩ 以下、
ピンジャック× 6

■ 音声出力（ビットストリーム／ PCM 端子）
光コネクター× 1 系統
同軸ピンジャック× 1 系統 0.5V（p-p）、75Ω

■ スカパー連動（CS データ）端子
CS データコネクター× 1 系統

■ DV 入力
4 ピン× 1 系統、前面 1
（IEEE1394 準拠）

■ EXTENSION 端子
EXTENSION 端子× 3 系統

■ LAN ポート（LAN 端子）
100BASE-TX/10BASE-T × 1

■ i.LINK（TS）端子
4 ピン× 1 系統、背面 2
（IEEE1394 準拠）

■ HDMI 出力端子
19 ピン、背面 1

■ 電話回線接続端子
背面 1
モジュラージャック方式

■ リモコン
ワイヤレスリモコン
RD-A1：SE-R0219

■ 使用条件
温度：5 ～ 35℃
動作姿勢：水平

■ 時計表示
24 時間デジタル表示

■ 時間精度
クォーツ方式（月差約± 30 秒程度）

●録画予約件数
ユーザー予約：64件／ 2 ヶ月
おまかせ自動予約：60件
終了時刻設定用：2件

●録画可能オリジナルタイトル数（目安です）
HDD：792
DVD-RAM：99
HD DVD-R：198

●ライブラリ登録件数
3000件まで

・意匠、仕様、ソフトウェアなどは製品改良のため予告なく変更することがあります。
・本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。
・本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

各機能やディスクに関する詳しいお知らせ

各項目の操作の際に、あわせてお読みください。

市販の HD DVD ビデオディスクや、HD-R について

■ HD DVD ビデオ／HD-R の再生について

• HD DVDは新規格です。ディスクによっては本機で再生できないものもあります。
市販のHD DVDビデオディスクなどを、480pおよびハイビジョン(720p、1080i、1080p※)出力でお楽しみいただくには、出力解像度に対応したテレビ(プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ)を、HDMI端子もしくはD端子／コンポーネント端子で接続してください。
対応していないテレビでは、HD DVDの映像を見ることはできますが、ハイビジョン本来の映像をご覧いただくことはできませんので、ご注意ください。また、ディスクによってはAACSの規定により、アナログでの出力を禁止していることがあります。その場合はHDMI端子を使わないと、見ることのできないコンテンツもあります。
(※本機はHDMI出力での1080p出力に対応しています。ただし1080pで出力するには、対応するHDMIケーブルとHDMI機器が必要です。詳しくは当社ホームページなどで、最新情報をご確認ください。)
• 本機は従来のDVDプレーヤーやDVDレコーダーと異なり、リモコンなどの操作方法、操作時の画面・効果音・アイコンなどは、すべて映像ソフト側のプログラミングの構成に依存しているため、映像ソフトによって個別に操作方法等が異なることがあります。あらかじめご理解いただきますとともに、詳細については、映像ソフトに添付されている取扱説明書をご参照されるか、お手数ですが発売元・製造元に直接お問い合わせください。
• 高画質・高精細コンテンツ本来の画質をお楽しみになるには、再生するコンテンツにあわせて本機の解像度を設定する必要があります。たとえば、720pプログレッシブ記録のソフトを再生するときは本機の解像度を「720p」に、1080iインターレース記録のソフトでは「1080i」というように、再生するソフトの解像度に本機の解像度を合わせます。解像度の切り換え方は、接続設定編➡18、19ページをご覧ください。
また、お使いになるハイビジョンテレビやハイビジョン対応モニターが、その解像度に対応していることもご確認ください。お使いの機種によっては、本機で設定した解像度の出力にあわせてテレビ側で解像度を自動的に切り換える場合があります。こうした機能のないテレビの場合は、テレビ側でも解像度の切換えが必要です。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をお読みください。ソフトに解像度の明記がないときは、解像度をそれぞれお試しになり、最もきれいに見える設定にして再生をお楽しみになることをおすすめします。ただしAACSの規定により、本機で設定した解像度で出力できないことがあります。
• 市販のHD DVDビデオディスクによっては、AACSの規定により、アナログ出力ができない場合があり、HDMI端子を使わないと見ることのできないコンテンツもあります。該当する端子がない場合は、そのコンテンツはお楽しみいただけません。また本機は、著作権保護技術であるHDCPを採用しています。接続するHDMI機器は、HDCP機能に対応している機器に限ります。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧いただき、ご確認ください。
• 本機では、ディスクに関する情報やダウンロード内容を内部のフラッシュメモリーで一時的に記憶します。これらの記憶期間は、お使いのディスクによって異なります。
• 市販のHD DVDビデオディスクには、インターネット機能を使って専用のコンテンツにアクセスするディスクがあります。この機能はディスク側の仕様によって異なります。ディスクの仕様によっては、ネットワーク機能がないディスクもあります。
• 市販のHD DVDビデオディスク・DVDビデオディスクやCDの再生では、ワンタッチスキップ、ワンタッチリプレイ、1/20スキップ、コマ戻し、逆スロー、通常再生中の「早送り」1回押しによる音声付き早送りはできません。

■ HD-R の録画について

• HD-Rへの直接録画は、本機内蔵チューナーで受信したデジタル放送のTS録画に限ります。また、HD-Rに1回だけ録画可能な番組(コピーワンス)の録画やダビング(移動)をするときは、「AACS」に対応しているディスクが必要です。
• 本機ではHD-RにTS録画以外で番組を直接録画することはできません。地上アナログ放送などの番組をHD-Rディスクに記録したいときは、一度内蔵HDDに録画したあと「高速そのままダビング」してください。ただし、地上アナログ放送や外部機器から録画したタイトルにコピー禁止信号が含まれていると、著作権保護技術(AACS)の規定により、ダビングできません。
• 記録先がHD-Rのときは、予約録画、通常録画ともに、録画が始まるまでに多少時間がかかることがあります。
HD-Rへは直接録画できますが、いったん内蔵HDDに録画したあとに、編集してからHD-Rへダビング(移動)することをおすすめします。
• HD-Rは、編集回数に限りがあります。また不要なタイトルを削除しても、削除した分の空き容量はふえません。
• HD-Rは、空き容量が残っている状態でファイナライズ処理をすることも可能ですが、ファイナライズを解除することができませんのでご注意ください。

DVD-RAM について

• ディスクがよごれている状態で「DVD-RAM物理フォーマット」をすると、物理フォーマットに失敗する場合があります。
また、物理フォーマットできても、録画に失敗しやすいディスクになります。必ず事前によごれを確認し、必要に応じてディスクをクリーニングしてください。クリーニングをしても取り除けない傷やよごれがある場合、物理フォーマットはしないでください。
• ディスク内部の欠陥数が、本機の管理上限を超えた場合、物理フォーマットをしても使用できません。
• 物理フォーマットでエラーが発生すると、表示窓に「ERR−01」が表示されます。
このエラーメッセージを消すときは、リモコンの『表示切換』を押してください。

各機能やディスクに関する詳しいお知らせ(つづき)

DVD-R/RW について

- DVD-R/RWにダビングするときは、タイトルの属性によっては異なるタイトルに分割されることがあります。また「DVD-R/RWに一回でまとめて書き込む(DVD-Video作成)」でDVD-R/RWに書き込んだ場合と、サムネイルの位置が変わることがあります。
- DVD-R/RW（Videoモード)にはレート1.4Mbps以下で画面比16:9のパーツはダビングできません。画面比を変更してから行なってください。
- 「高速そのまま」でDVD-R/RWにダビングするとき、アスペクト比(画面比)は「Videoモード記録時設定(画面比)」で固定されます。
- DVD-Rは、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できますが、一度録画に使用されたディスクの領域は再使用できません。
- DVD-RWは、ファイナライズ処理をするまでは、ディスクの記録可能な空き容量の範囲で追記できます。また、録画したタイトルは削除できます。Videoモードの場合は、最後に記録したタイトルを削除した場合だけ空き容量が増えます。
- DVD-RWは、ファイナライズを解除したり、ディスクを初期化して録画・ダビングをやり直すことができます。
- 予約録画の準備中では、DVD-RWのファイナライズ解除を実行できません。
- DVD-R/RW（Video モード）に書き込むと、DVD-Video 規格と DVD-VR 規格の違いによって、チャプターの数や位置が若干変わることがあります（このとき生じたチャプターは、元のチャプターと同じサムネイルが表示されます）。
  最大で約 0.5 秒余分な映像がつきます。
- 音声モード・音声多重、画面形状などの異なるパーツが混在している場合や、途中で設定や条件が変わる画像内容は、DVD-R/RW（Video モード）に書き込むと、いくつかのタイトルに分割されます。(このとき生じたタイトルのサムネイルは、元のタイトルと同じサムネイルが表示されます。ただし、「見るナビ」画面で表示されるタイトルサムネイルとは異なります。)
- プレイリストの構造が複雑な場合やパーツが多すぎる、あるいは極端に短いなど、状態によっては DVD-R/RW（Video モード）に正しく書き込めないことがあります。
- 1 回だけ録画が可能な番組は、DVD-Video 規格の制限によって、DVD-R/RW（Video モード）に書き込むことはできません。
- 当社製 HDD&HD DVD レコーダー、および当社製 HDD&DVD レコーダー RD-2000 で録画されたディスクは、そのまま本機の内蔵 HDD に高速そのままダビングしても、DVD-Video 作成はできません。【DVD 互換モード】(➡ 60 ページ）を【入】にして「画質指定」ダビング（➡ 160、164 ページ）を行ない、内蔵 HDD にディスクの内容をコピーしてください。
- 「MN（マニュアル)」モード1.4Mbps以下で録画した場合、16：9のアスペクト比(画面比)の部分があると、DVD-Video作成でパーツとして登録できなかったり、DVD-Video作成の途中でエラーが起こることがあります。この場合「オプション設定」の【タイトル画面比設定】を【4:3固定】にしてください。

録画について

- 終了時刻を延長しても、空き容量がなくなると録画を終了します。また録画先がHDDの場合、TS録画の場合は録画開始から24～27時間(放送内容によっては、この範囲をはずれることもあります。)、それ以外の録画では9時間を過ぎると、その時点で録画を終了します。
- モノラル放送は、録画すると左右に同じ音声が録画されます。
- 「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送を録画したときは、ステレオ音声(主＋副)として記録されます。
- ディスクの記録状態によって、『録画』を押してから実際に録画が始まるまでの時間には若干の差があります。
- 録画中に同じW録(TSまたはVR)を使う予約録画の開始時刻になると、現在の録画を中止して予約録画を優先して開始します。現在の録画を継続するには、録画予約を取り消してください。
- 24：00以降(25：00、26：00など)の録画予約時刻は、番号ボタンで0：00～30：59まで入力することができます。
- レート設定をおおよそ4.0Mbpsより低くした場合、いろいろな速さの再生が正しく働かないことがあります。また、他のレート設定よりノイズが多く発生し、画質も下がります。
- DVDディスクの再生中に内蔵HDDへの予約録画がはじまると、一瞬再生画面が静止します。
- 本機に接続する外部機器の種類や状態によっては、本機を通して見ている映像・音声が乱れたり、録画した内容の映像・音声が乱れる場合があります。
- DVDディスクへの録画やダビング時には、「HD DVD」での各ナビ画面は表示できません。(「HDD」に切り換えてください。)
- 予約録画の開始時刻になったときに、ディスクトレイが開いていると、DVD 側の予約録画は実行されません。HD-R や DVD ディスクに録画するときは、あらかじめ録画するディスクを本機に入れておいてください。
- 内蔵 HDD の残量が少なくなると、録画予約の時間に対して残量に余裕があっても、W 録（同時録画）ができなかったり、録画が途中で止まったり、後の予約録画のほうが実行されることがあります。大切な録画の前には「録画実行チェック」(➡ 77 ページ）で確認することをお勧めします。

番組表について

■ ADAMS での制限事項

- ADAMSの番組データは、テレビ朝日系列から送信されています。テレビ朝日系列を受信できない以下の地域では、ADAMSによる番組データ提供サービスを利用することができません。（2006年5月現在）
  富山、福井、山梨、鳥取、島根、高知、宮崎、徳島
  上記以外の地域でも、受信形態や電波の状態によって利用できない場合があります。
- ADAMSによる番組データの提供は、2006年5月現在、通常当日を含めて8日分です。（ただし一部局は7日分や2日分の場合があります。）
- 番組表を表示した現在時刻より過去の番組表は表示されません。そのため、8日分、7日分または2日分のすべての番組表が表示されない場合もあります。
- ADAMSによる番組データ提供サービスで番組データが提供される放送局や番組データの提供日数は、将来変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ADAMSによる番組データ提供サービスは、将来地上アナログ放送から地上デジタル放送への移行に伴い、2011年までに中止や廃止となります。あらかじめご了承ください。
- お買い上げ後、番組ナビ設定をしてから番組データをはじめて受信するまで一日程度かかる場合があります。
- 一部のCATVでは、ADAMSからのデータを受信できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、気象条件や電波環境（不法電波混入やゴーストなど）によって送信電波が弱くなり、正常に受信できない場合があります。
- ADAMSによる番組データは、マンションなどの共同受信システムでは受信できないことがあります。
- ADAMSによる番組データの受信中に以下のことが行なわれると、受信を延期し、次回のADAMSデータ受信時刻に再受信を試みます。
  - 「番組ナビ設定」の「ADAMS設定」で選択したチューナーでのテレビ朝日系列局以外の録画
  - 本機の電源を切った場合
  - HDDの初期化
  - 「ネットdeナビ」機能のネットdeナビ設定、録画予約、おまかせ自動録画設定で【登録】が押された場合
  - 「ネットdeナビ」機能のバージョンアップ作業

  各ナビ画面、ライブラリ画面などを表示しているときや、外部接続（ライン）を録画中、画質指定ダビング中にADAMS受信時刻になった場合も同様に受信を延期し、次回配信時刻に再受信を試みます。
  また、ADAMS受信時刻から20分以内に予約録画が開始される場合は、ADAMSの受信は延期されます。
- 番組データは以下の場合に一度空の状態になります。次回配信時刻にデータを取得し、再表示ができます。
  - HDDを初期化した場合
  - 「番組ナビ設定 - 地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」で【しない】を選択して登録した場合

  上記の作業をする場合は、直後に番組ナビ機能を使用する予定がないかご確認ください。
- 以下の作業を行なったあとに、ADAMSによる番組データの受信を中断すると、番組表が空の状態になる場合があります。
  - 「番組ナビチャンネル設定」で、表示チャンネルを追加／変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」の「全チャンネル表示順／絞り込み設定」で、チャンネル表示順の変更をした場合
  - 「設定メニュー」の「時刻設定」で時刻を変更した場合
  - 「設定メニュー」の「地上アナログ設定-地域選択」で、地域設定を変更した場合
- ADAMS利用時はジャストクロック機能は選択することができません。ADAMS配信の放送波またはデジタル放送波を利用して自動で調整されます。
- 予約名や番組タイトルは、途中で切れて番組説明の冒頭についたり、番組説明の冒頭部が予約名や番組タイトルの後ろについてしまうことがあります。
- 「番組ナビチャンネル設定」で多くのチャンネルを追加し、取得する番組データが多量になったときには、一部の番組データを取得できなくなる場合があります。このとき、遠い日付の番組データから取得されなくなります。
- 再生中にADAMSデータの受信を行なうと、再生が一時的に止まることがあります。

■ iNET での制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 本機の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。なお、プロバイダ指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に10BASE-Tまたは、100BASE-TXのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。（契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。ルーターの使用が禁止されていないときは、ルーターを接続することをおすすめします。）
- プロバイダによってはルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリー5と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。

各機能やディスクに関する詳しいお知らせ（つづき）

- iEPGと「番組ナビ」で利用される番組名や番組説明はサーバーから提供されるデータが異なるため、同一の内容にならない場合があります。また、サーバーから提供されるデータは取得した時期やサイトによっても内容は異なります。
- iEPGと「番組ナビ」で利用される番組名や番組説明は、起動する状況や画面によって、表示する内容が異なります。番組ナビや放送表示中の画面では基本的にリアルタイムにサーバーの情報を確認しますが、録画予約一覧では予約設定時の内容または、一日1回更新された内容が、見るナビ、ライブラリ、編集ナビでは、録画時の内容が表示されます。リアルタイムに表示するものを除き、保存できる文字数は番組名が全角で最大48文字（DVDディスクの場合は32文字）、番組説明は全角で最大400文字です。
  また、サーバーで提供されるデータは取得した時期、サイトによっても内容は異なり、同一の内容にならない場合があります。
- 番組データはランダムな日時に更新されますが、他の操作や動作と重なった場合は更新が延びる、またはできない場合があります。
- ネットワークの通信状況によっては、番組情報が更新あるいは取得できない場合があります。
- 番組データは以下の場合に一度空の状態になります。次回番組表や番組リストを表示するときにデータを取得し、再表示ができます。（再表示できるまで数分かかります。待ち時間は環境によって異なります。）
  - 「番組ナビ設定」で「地上アナログ／ライン入力の番組データ取得」の設定を変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」で、表示チャンネルを追加／変更した場合
  - 「番組ナビチャンネル設定」の「全チャンネル表示順／絞り込み設定」で、チャンネル表示順の変更をした場合
  - 「設定メニュー」の「時刻設定」で時刻を変更した場合
  - 「設定メニュー」の「地上アナログ設定-地域選択」で、地域設定を変更した場合
  - HDDを初期化した場合

  上記の作業をする場合は、一つずつではなくできるだけまとめて行なうことをお勧めします。
- iNETの「スポーツ延長」機能はスカパー！（本機に接続しているとき）には対応していません。

■ デジタル放送の番組表での制限事項

- **番組表取得のため、毎日3時間以上、本機の電源を待機状態（リモコンで電源を切った状態）にしてください。**
  デジタル放送の場合、番組についての情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中にはいって送られてきます。本機はその番組情報を取得して、番組表表示やジャンル検索、予約などに使用します。そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されないといったことが起きます。番組情報の取得は電源待機時に行なわれます。（本体の電源プラグを抜いている場合や、「番組ナビチャンネル設定」で各デジタル放送の「番組表表示」のチェックマークをすべてはずしている場合（➡96ページ）には、番組情報は一切取得できません。）

  [詳しい説明]
  電源が「入」のときにも番組情報の取得は行なわれますが、今ご覧のデジタル放送以外の放送については、番組情報を取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のそのときのモードによって、取得できる内容は異なります。）
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、番組表に表示されません。
- お買い上げ後、デジタル放送のチャンネル設定をしてから番組データをはじめて受信するまで一日程度かかることがあります。
- 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
- 番組表で表示できるのは、最大7日後までですが、チャンネルや放送メディアによって異なる場合があります。
- 番組情報取得中に、番組表からの録画予約や番組説明の表示、放送や放送メディアの切換えなどの操作をすると、番組情報取得を中止します。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の内容が実際の番組と異なってしまう場合があります。
- 移動体受信サービスについては、数番組しか表示されない場合があります。

■ その他の制限事項

- 番組表の番組名や放送時間と、番組説明の内容とは一致しないことがあります。
- 番組説明を表示する際は、可能なかぎり全番組名や番組説明を表示しますが、予約情報や録画結果には、番組名は最大48文字（DVDディスクの場合は32文字）、番組説明は最大400文字（全角換算）までしかはいりません。
- 番組表と、番組リスト、検索結果、番組説明の結果がそれぞれ異なる場合があります。番組表や検索結果、番組説明、予約画面で表示される番組のジャンルを表す記号（マーク）は目安です。
- 「人名検索」で表示される人名選択リストは、チャンネル設定で登録している放送局の番組に出演しているおもなタレントのリストで、情報提供サイトで作成したものです。番組表内のすべての人名を網羅したものではありません。また、番組説明の出演者情報と異なる場合があります。
- ADAMSの番組データとiNETの番組データは内容が異なることがあります。
- 番組情報の内容、更新のタイミング、予約状況や本機の動作状態によっては、「番組追っかけ」機能が正しく働かない場合があります。
- 番組表から選択して予約した番組の予約時刻やチャンネルを変更した場合、正しい番組名や番組説明が表示されないことがあります。
- 電源をいれた後、約５分間は番組表の一部が表示されない場合があります。

■ 免責事項

- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 番組表機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 番組ナビはDEPG機能に番組内容を表示する機能を提供するもので、表示する内容に関しては一切の責任を負いません。
- DEPGで表示される番組表や番組情報は、突発的な事件や緊急番組、スポーツ中継の延長などによって、実際の放送時間や番組内容と異なる場合があります。その場合、番組の変更情報が反映されず、ご希望の番組が正しく録画できないことがありますが、あらかじめご了承ください。
- 検索結果や「お気に入り」「シリーズ」などの番組リストの結果は指標としてお使いください。結果については保証いたしません。
- 本機能によって、接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- iNETを利用する設定にした場合、DEPG機能では、サーバーにアクセスしてデータを取得します。サーバー側では、お使いの機器で設定されたチャンネルやキーワード、録画予約に基づいて、番組名、番組説明などの番組データを機器に送信し、番組ナビで表示します。サーバー側にはお客さまのアクセスログとして履歴が蓄積されますが、この情報で個人を特定することはありません。
  これらの情報は、お客さまのさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。情報の取扱いについては東芝の個人情報保護方針
  （http://www.toshiba.co.jp/privacy/）をご覧ください。
- ダウンロードした番組表のデータには再放送番組の情報（人名や番組説明など。また再放送番組は番組タイトルが異なる場合があります。）が含まれていない場合があります。
- iEPGなどのネットワークサービスを前提とするデータの提供は、その継続を永久保証するものではなく、予告なく一時停止したり終了する場合があります。
  ADAMSやiNETから提供されるサービスやDEPGは、お客様への予告無く一時的に停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■ ネットワーク動作環境

本機は、IEEE（米国電気電子技術者協会）802.3規格に準拠しています。番組ナビ機能（iNET）をお使いいただくためには、以下の環境が必要です。

- DEPG機能や、番組情報、番組説明取得機能を利用するには、インターネット常時接続が必要（ブロードバンド接続を必須）
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター
  （DHCP機能搭載を推奨）
- 有線のLAN接続が家庭の環境で困難な場合
  無線LANアクセスポイントと本機につなぐ無線LANイーサネットアダプタ（市販品）

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されていますので、東芝ホームページをご覧いただくことを、お勧めします。番組データサーバーに関するメンテナンス情報や、トラブル情報については、お問い合わせの前に、以下のホームページをご確認ください。
  http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support/

■ 放送メディアをこえたシームレスな番組表表示

本機で取得できる番組情報は地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS アナログ放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送、専門チャンネル、スカパー！です。（放送メディアによっては iNET での取得になります）

- 放送メディアごとの絞込み表示やお好きなチャンネルを登録して絞込み表示することもできます。
- 地上アナログの放送局の中から好きなチャンネルを最大50 チャンネルまで任意に登録できます。登録にあたっては、同一ジャンルのチャンネルを並べるなど、お好みの放送局順に並べ替えることもできます。
- 地上アナログ放送以外の外部チューナー、たとえばチューナーなどからライン入力で録画する場合は、別途、それぞれのチューナーでの予約が必要となります。

■ 番組検索について

- キーワード検索では、以下の点にご注意ください。
  - 設定したすべての項目に該当するものを検索します。条件をたくさん設定するほど、検索される番組は少なくなるか、全くなくなってしまいます。
  - 空白（全角、半角）をはさんで文字列を指定すると、AND 検索になります。パソコンの検索等で一般的に利用される正規表現や、ワイルドカード、OR 検索はありません。
  - iNET では、ひらがな、カタカナ、漢字、英字を区別します。ADAMS とデジタル放送では、ひらがなとカタカナの区別をしません。
  - 全角／半角は区別しません。
  - 大文字／小文字は区別しません。

  また、デジタル放送、ADAMS、iNET のどの番組データであるかによって、検索条件に以下の違いがあります。
  - 記号の検索（＋、－、＝、！、＃、＄、％、￥、{ } など）
    デジタル放送・ADAMS：する／ iNET：しない

各機能やディスクに関する詳しいお知らせ(つづき)

－ キーワードを含む語句の完全な検索
デジタル放送・ADAMS：する／ iNET：しない※
※ iNET では、たとえばキーワードが「ドラ」の場合、「連ドラ」や「ドラをたたく」は検索されますが、「ヘッドライン」は検索されません。

- iNET でのキーワード検索の条件（全角／半角の区別をしない、など）はサーバーの都合で変更することがあります。
- 番組表の中に含まれていないキーワードの場合は検索できません。

■ おまかせ自動録画について

- おまかせ自動録画では、以下の場合、「お気に入り」「シリーズ」番組リストにある番組でも自動的に予約登録を行ないません。予約をしたい場合は、番組リストから手動で予約をしてください。
  - － 視聴年齢制限で制限されている番組
  - － 有料放送(PPV：ペイ・パー・ビュー)番組
  - － 未契約チャンネルの番組
  - － 録画禁止の番組
- キーワードの設定には以下の点にご注意ください。

－ 自動録画予約は、設定された録画優先度順に、同じ優先度のときはリスト番号の順に実施されます。
－「シリーズ」番組リストの検索対象は番組名です。「お気に入り」番組リストは番組名＋番組説明の先頭64文字と出演者情報(漢字＋読み)（番組説明で表示される出演者情報とは異なる場合があります）が検索対象です。デジタル放送の場合は番組名＋番組説明の一部が検索対象となります。従って、キーワードが番組説明に含まれていても「お気に入り」「シリーズ」にはいらない場合があります。読みがな(最大5文字)をキーワード設定しても、検索される場合があります。
例）「とうしばた」で「東芝太郎」が検索されます。
－ 設定したすべての項目に該当するものを検索します。条件をたくさん設定するほど、検索される番組は少なくなるか、全くなくなってしまいます。
－ ひらがな／カタカナは区別しません。
－ 大文字／小文字は区別しません。
－ 全角／半角は区別しません。
－「お気に入り」「シリーズ」番組リストの番組検索の対象はテレビ放送番組だけです。ラジオ、データ放送番組は対象外となります。
－「お気に入り」と「シリーズ」ではキーワード欄に半角や全角スペースを入れて単語を並べると、以下の表のように検索を行ないます。

	お気に入り	シリーズ
1・2 番目 キーワード欄 （OR 検索）	スペース間は AND 検索	スペースは無視
3 番目 キーワード欄 （NOT 検索）	スペース間は OR 検索	

－ シリーズ番組の検索では、番組表の性質により、シリーズ番組リストに追加されない場合があります。キーワードを短くしたり(例：自然大紀行アジア編→自然大紀行)、おまかせ自動録画の種類を「お気に入り」に変更するなどしてお試しください。
－ 番組データ更新時と、「おまかせ自動録画設定」画面の【登録】を押した時に該当番組を検索し、自動で録画する設定にしていた場合は、自動で録画予約を行ないます。その後キーワードを変更して登録しなおしても、いちどいれられた予約は削除されることはありません。自動録画をする設定でキーワードを頻繁に変えて登録すると、その分の予約が蓄積されます。

- 「おまかせ自動録画設定一覧」で表示される「予約数」と「検索数」は、更新のタイミングによっては、録画予約一覧や番組リストの表示内容と一致しないことがあります。
- 番組ナビ設定の番組データの取得先を「ADAMS」⇔「iNET」で切り換えると、おまかせ自動録画設定の項目で「チャンネル」を設定しているときは、切り換えるたびに、「チャンネル」を設定し直す必要があります。

■ 番組追っかけについて

- 番組追跡がうまくいかない場合（失敗すると、録画予約一覧画面に 追? マークが表示される)、予約名を変更すると、番組追跡が正しく機能することがあります。
（例）
予約名：自然大紀行アジア編
番組名：自然大紀行日本編
の場合、予約名を「自然大紀行」に変更すると、番組追跡ができるようになります。

ライブラリについて

- 「このディスクは 1 回コピーが許可された番組の録画に対応しています」「AACS 対応」「CPRM 対応」などの記載がない HD DVD-R、DVD-RAM や DVD-R/RW（VR モード）でも、ライブラリ機能を利用できますが、そのディスクを本機以外で使用するとライブラリが正しく機能しなくなることがあります。この記載がある HD DVD-R、DVD-RAM や DVD-R/RW（VR モード）をお使いください。
- 本機で録画されたディスクを本機以外の機器で編集すると、ライブラリ情報が消えたり、本機での動作に影響がある場合があります。
- ライブラリのタイトル名は全角で 32 文字、半角で 64 文字まで登録可能です。これより長い場合、末尾が登録されません。

再生について

- フォルダ内にさらにフォルダを作ることはできません。
- 作ったフォルダを録画予約時に録画先として設定できます。

• 本機でフォルダを設定したディスク（HD-R、DVD-RAM、DVD-R/RW（VR モード））は、フォルダ機能に対応していない当社機器や他社機・パソコン等で使用すると、フォルダ分類が失われたり、タイトルがルート上に出たりすることがあります。
• 追っかけ再生中や TV お好み再生中に空き容量がなくなると録画は停止しますが、録画された分までは再生を続けます。空き容量がない場合は録画ができないので、TV お好み再生も動作しません。
• 追っかけ再生や TV お好み再生中の再生画像が出るまでに、時間がかかることがあります。
• 追っかけ再生中や TV お好み再生中は､録画予約はできません。
• 追っかけ再生中や TV お好み再生中に、終了後の電源入切の設定はできません。
• ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。
• ズーム中、ディスクに記録されているメニューの機能を使うと、ズームは解除されます。
• メニュー（GUI など）表示中は、ズームできません。
• 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。
• タイムサーチできるのは、内蔵HDD、HD-RやDVD-RAM/R/RW、市販のHD DVDビデオディスクやDVDビデオディスクでは現在選択している同じタイトル内、音楽用CDでは現在選択している同じトラック内です。
• ランダム再生中は、リピート再生はできません。
• リピート再生中に『停止』を押すと、リピート再生は解除されます。
• 内蔵HDD､HD-R､DVD-RAM､DVD-R/RW（VRモード）のリピート再生中は、停止以外の操作はできません。
• デジタル放送を TS 録画（TS 画質で録画）したタイトルの場合、再生中に一時的に再生が停止したり、コマ落ちすることがあります。また、黒画面がはいったり、画像がみだれることがあります。
• デジタル放送を TS 録画したタイトルの再生で、データ放送の動作や映像･音声が実際の放映時と異なることがあります。
• デジタル放送を TS 録画したタイトルの場合、音声がしばらく出ず、その後音声が乱れたあと復帰したりすることがあります。
• 複数の映像・音声を含む TS 録画したタイトルのオリジナルの再生と、プレイリストにした同タイトルの再生では、チャプター境界などを再生するときや、レジューム再生やスキップしたときの映像・音声が異なることがあります。
• デジタル放送の TS 録画以外の録画中のとき、TS 録画したタイトル／チャプターのサムネイルが見るナビ画面に表示されないことがあります。
• リピート再生中はランダム再生はできません。
• ランダム再生中に『停止』を押すと、ランダム再生を停止し、ランダム機能も解除されます。
• マルチビューなどの複数の映像と音声を含むTS録画タイトルを再生しているときに、映像切換や音声切換をすると、映像または音声だけが切り換わるなど、受信時とは異なる組み合わせで再生されることがあります。

編集／ダビングについて

• チャプターをつなぐと、以降のチャプターはチャプター番号がくり上がります。
• タイトル（オリジナル）の中でチャプター分割をしても、関連するタイトル（プレイリスト）には影響しません。
• チャプター分割で設定された位置と実際の再生時のチャプターの切り換わり位置に、若干のずれが生じることがあります。
• 内蔵HDDでチャプター編集したタイトルをDVD-R/RW（Videoモード）にダビングした場合は、チャプター境界の位置がDVD-Video規格の制限によって変更される場合があります。
• 名前をつけられるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。
• チャプター名変更は、ファイナライズ前のDVD-R/RWでもできます。
• 保護設定されたタイトルや静止画を含むタイトルは、結合できません。
• 結合したタイトルには一つ目のタイトル情報や番組説明が引き継がれます。
• 後ろのタイトルは、チャプター境界の位置やチャプター名を保持したまま前のタイトルと結合されます。
• フォルダ内にはいっているタイトル同士を結合した場合、一つ目に選択したタイトルがあるフォルダに作成されます。
• 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルは、ダビングできません。
• DVD-R/RW（Videoモード）にはレート1.4Mbpsまたは1.0Mbpsで、画面比16:9のパーツはダビングできません。画面比を変更してから行なってください。
• ネットdeダビング機能をお使いの場合、ネットワークのデータアクセス量がふえることによって、本機のチューナー受信映像や外部入力映像にノイズがはいることがあります。ネットdeダビング機能は、これらの入力での録画をしていないときにご使用になることをお勧めします。

ソフトウェアのバージョンアップについて

本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって、機能アップや機能の改善などができます。ソフトウェアをバージョンアップするには以下の方法があります。

・放送局がデジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによってバージョンアップする。（「放送からの自動ダウンロード」には本機が地上デジタル放送または BS デジタル放送を受信できる環境と設定が必要です。）
・東芝サーバーから LAN 端子を使ったイーサネット通信で、ソフトウェアのダウンロードをすることによってバージョンアップする。

詳しくは➡応用編 76 ページをご覧ください。